

法学部に在籍する学生に対する法曹志望に関するアンケート調査結果

法 務 省
文部科学省

1. 目的・趣旨

法学部(法学系課程を含む。以下「法学部」という。)に在籍する学生を対象に志望動向等に関する意識調査を実施し、調査を通じて得たデータを収集・分析することによって、法曹志望者の減少に関する要因等を把握し、今後の施策の検討に活用することを目的とする。

2. 調査方法等

(1) 調査方法

ウェブアンケート

(2) 調査実施期間

令和6年度調査:令和6年9月30日(月)～令和6年10月31日(木)

(3) 対象範囲

下記大学の法学部に在籍する学生

(4) 対象大学・回答数等(令和元年度以降の各調査を含む)

令和元年度調査は、調査翌年度以降、学生の募集を継続する法科大学院を設置する大学のうち法学部を設置している大学が対象

令和3年度から令和6年度調査は、調査年度以降、入学者の募集を継続する法科大学院を設置する大学及び各年度4月1日時点※において連携法曹基礎課程(法曹コース)を置く大学が対象

※令和3年度調査については10月25日時点、令和4年度調査については9月21日時点

(5) 記述統計

記述統計については、学生回答者全体(以下「全学生」という。)を示したものと別に、女性の回答者を抽出したもの(以下「女性」という。)も示している。

	連携 協定	令和元年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
		対象 者数	回答 数	回答 率	対象 者数	回答 数	回答 率	対象 者数	回答 数	回答 率	対象 者数	回答 数	回答 率	対象 者数	回答 数	回答 率
北海道大学		672	73	10.9%	902	143	15.9%	871	63	7.2%	889	10	1.1%	689	27	3.9%
東北大学		714	108	15.1%	702	159	22.6%	696	151	21.7%	692	123	17.8%	695	37	5.3%
筑波大学		211	6	2.8%	49	6	12.2%	57	5	8.8%	59	3	5.1%	696	0	0.0%
千葉大学		817	145	17.7%	829	87	10.5%	822	102	12.4%	816	41	5.0%	1,572	191	12.2%
東京大学		1,795	237	13.2%	1,803	247	13.7%	1,806	78	4.3%	1,804	266	14.7%	1,800	183	10.2%
一橋大学		772	69	8.9%	758	119	15.7%	754	94	12.5%	740	102	13.8%	735	63	8.6%
新潟大学	○	-	-	-	787	136	17.3%	757	158	20.9%	740	159	21.5%	734	178	24.3%
金沢大学		731	314	43.0%	717	158	22.0%	693	194	28.0%	663	246	37.1%	637	233	36.6%
信州大学	○	-	-	-	345	50	14.5%	345	58	16.8%	349	57	16.3%	360	49	13.6%
名古屋大学		694	74	10.7%	683	54	7.9%	647	66	10.2%	686	28	4.1%	679	74	10.9%
京都大学		1,459	198	13.6%	1,455	57	3.9%	1,436	27	1.9%	1,434	9	0.6%	1,442	36	2.5%
大阪大学		1,077	120	11.1%	1,084	146	13.5%	1,085	127	11.7%	1,101	110	10.0%	1,096	132	12.0%
神戸大学		825	89	10.8%	822	30	3.6%	800	26	3.3%	791	40	5.1%	794	43	5.4%
岡山大学		964	270	28.0%	991	121	12.2%	972	231	23.8%	941	345	36.7%	863	111	12.9%
広島大学		795	232	29.2%	771	184	23.9%	770	136	17.7%	746	258	34.6%	753	138	18.3%
香川大学	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	686	53	7.7%	696	110	15.8%
九州大学		834	82	9.8%	815	59	7.2%	818	89	10.9%	815	43	5.3%	821	47	5.7%
熊本大学	○	-	-	-	900	73	8.1%	889	226	25.4%	882	58	6.6%	892	3	0.3%
鹿児島大学	○	-	-	-	1,795	44	2.5%	1,049	24	2.3%	377	36	9.5%	1,789	77	4.3%
琉球大学		246	32	13.0%	322	9	2.8%	332	13	3.9%	350	43	12.3%	881	34	3.9%
東京都立大学		867	35	4.0%	862	64	7.4%	874	42	4.8%	889	20	2.2%	903	24	2.7%
大阪市立大学		716	70	9.8%	702	57	8.1%	717	31	4.3%	744	42	5.6%	777	34	4.4%
北海学園大学	○	-	-	-	1,938	172	8.9%	1,956	41	2.1%	1,936	51	2.6%	2,005	62	3.1%
学習院大学		2,058	114	5.5%	1,985	190	9.6%	1,980	195	9.8%	1,980	132	6.7%	2,033	83	4.1%
慶應義塾大学		5,148	118	2.3%	5,252	308	5.9%	5,165	124	2.4%	5,234	6	0.1%	5,203	92	1.8%
駒澤大学		2,988	101	3.4%	2,833	133	4.7%	2,794	110	3.9%	-	-	-	-	-	-

上智大学		1,424	242	17.0%	1,413	194	13.7%	1,401	34	2.4%	1,391	36	2.6%	1,395	31	2.2%
専修大学		3,190	1	0.0%	3,025	100	3.3%	3,016	63	2.1%	3,000	34	1.1%	3,023	26	0.9%
創価大学		1,096	406	37.0%	1,084	138	12.7%	1,010	28	2.8%	968	81	8.4%	877	26	3.0%
中央大学		5,818	523	9.0%	5,794	128	2.2%	5,563	196	3.5%	5,509	87	1.6%	5,509	215	3.9%
日本大学		6,864	442	6.4%	7,326	1,151	15.7%	7,379	306	4.1%	7,273	133	1.8%	7,227	167	2.3%
法政大学		3,728	315	8.4%	3,431	197	5.7%	3,441	236	6.9%	3,507	59	1.7%	3,620	114	3.1%
明治大学		3,662	79	2.2%	3,691	170	4.6%	3,717	184	5.0%	3,813	77	2.0%	3,773	118	3.1%
明治学院大学	○	–	–	–	2,557	381	14.9%	2,586	620	24.0%	2,611	405	15.5%	2,654	482	18.2%
立教大学	○	–	–	–	2,423	156	6.4%	2,420	114	4.7%	2,456	116	4.7%	2,440	96	3.9%
早稲田大学		3,062	276	9.0%	3,152	198	6.3%	3,160	301	9.5%	3,180	153	4.8%	3,168	193	6.1%
愛知大学		1,466	2	0.1%	1,475	52	3.5%	1,522	28	1.8%	1,498	22	1.5%	1,434	105	7.3%
南山大学		1,164	188	16.2%	1,116	225	20.2%	1,109	172	15.5%	1,166	59	5.1%	1,183	171	14.5%
同志社大学		3,700	95	2.6%	2,604	168	6.5%	3,499	169	4.8%	3,528	139	3.9%	3,612	114	3.2%
立命館大学		3,024	537	17.8%	2,920	150	5.1%	2,963	291	9.8%	2,966	63	2.1%	3,114	80	2.6%
関西大学		3,109	23	0.7%	2,943	196	6.7%	3,035	309	10.2%	2,917	175	6.0%	3,055	283	9.3%
近畿大学	○	–	–	–	–	–	–	–	–	–	2,113	57	2.7%	2,120	367	17.3%
関西学院大学		2,888	32	1.1%	2,800	213	7.6%	2,848	294	10.3%	2,865	0	0.0%	2,945	161	5.5%
西南学院大学	○	–	–	–	1,727	87	5.0%	1,676	212	12.6%	1,645	106	6.4%	1,652	114	6.9%
福岡大学		2,654	166	6.3%	2,555	201	7.9%	2,541	146	5.7%	2,544	88	3.5%	2,588	101	3.9%
計	10	71,232	5,814	8.2%	82,138	6,911	8.4%	81,971	6,114	7.5%	81,294	4,171	5.1%	84,934	5,025	5.9%

目次

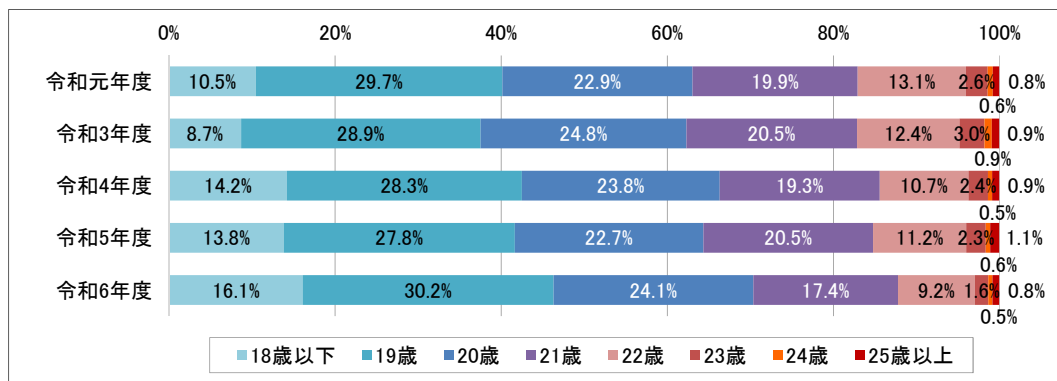
第1 回答者の属性.....	1
1. 年齢.....	1
2. 性別.....	1
3. 在籍学年.....	2
第2 法学部選択理由.....	3
第3 進路選択.....	6
1. 法曹等志望の有無.....	6
2. 過去の法曹等志望の有無.....	7
3. 将来の職業等を選択するにあたり、法曹コースの導入、在学中受験の考慮.....	8
4. 将来の職業志望(第一志望).....	10
5. 職業選択に当たり重視すること.....	14
第4 法曹等志望の時期・進路・契機、法曹等の魅力等.....	21
1. 法曹等を志望した時期.....	21
2. 法曹等を志望したきっかけ.....	23
3. 法曹等の魅力.....	34
4. 法曹等としての進路.....	39
第5 法曹等を志望するに当たっての不安や迷い、法曹等を断念した理由等.....	41
1. 法曹等を志望するに当たっての不安や迷いの有無.....	41
2. 法曹等を志望するに当たって感じている不安や迷いの内容.....	42
3. 不安や迷いを軽減、払拭するためにあったらよいと思うもの.....	47
4. 法曹コースに在籍している又は在籍していたことがあるか.....	49
5. 法曹コースに在籍していたが途中で辞めた(辞める)理由.....	50
6. 法曹等を断念した(選択肢から外した)理由.....	51
7. 法曹等を志望しない(選択肢の1つとしても考えない)理由.....	60
8. 法曹等に魅力を感じない理由.....	64
第6 法曹コース(連携法曹基礎課程)・法科大学院への進学希望の有無等.....	66
1. 法曹コースの認知度.....	66
2. 法曹コースについてどこで知ったか.....	68
3. 法曹コースへの進学希望.....	71
4. 法曹コースへの進学希望理由.....	73
5. 法曹コースに在籍して良かったこと、良くなかったこと.....	76
6. 法曹コースに在籍していたが途中で辞めた理由.....	81
7. 法曹コースを希望しない理由.....	82
8. 法科大学院への進学予定.....	85
9. 法科大学院選択の際に重視するもの.....	91
10. 予備試験受験予定.....	95
11. 予備試験受験理由.....	96
12. 予備試験に合格した場合の法科大学院進学予定.....	100
13. 予備試験に合格しなかった場合の法科大学院進学予定.....	102
14. 予備試験を受験しない理由.....	104
15. 司法試験予備校の利用の有無.....	106
16. 在学中受験の予定.....	110
17. 在学中受験を希望する理由.....	115
18. 在学中受験を希望しない理由.....	118
第7 法曹等の活動領域拡大についての認知度・関心.....	120
1. 法曹等の活動領域拡大についての認知度.....	120
2. 拡大領域への関心の有無.....	123
3. 具体的な関心分野.....	124
資料(調査票).....	129

第1 回答者の属性

回答者の性別については、令和5年度まで女性の割合が増加傾向にあり、令和6年度も女性が男性を上回っている。

また、回答者の在籍学年については、1・2年次がおよそ64%を占めている。

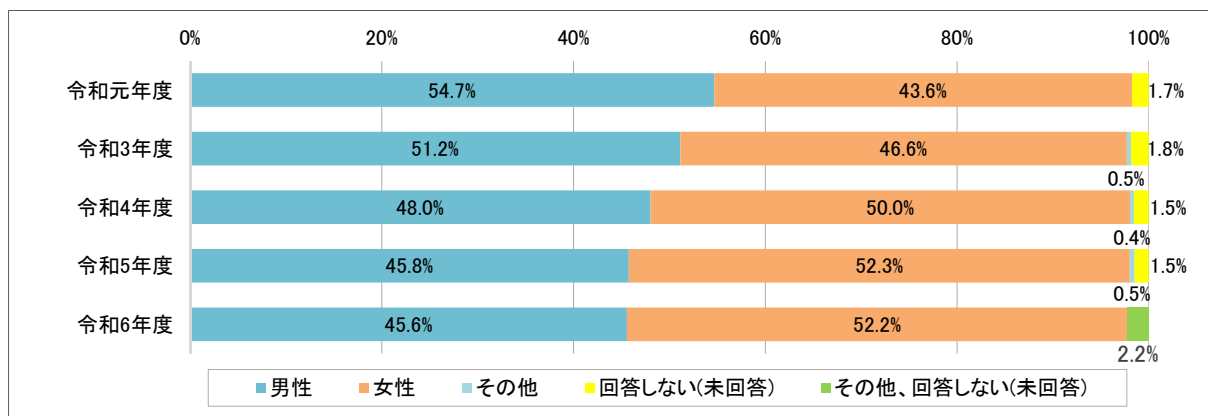
1. 年齢



SA	選択肢	18歳以下	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳以上	回答者数
令和元年度	回答数	608	1,726	1,332	1,156	759	151	36	46	5,814
	割合	10.5%	29.7%	22.9%	19.9%	13.1%	2.6%	0.6%	0.8%	100.0%
令和3年度	回答数	600	1,994	1,713	1,419	854	207	62	62	6,911
	割合	8.7%	28.9%	24.8%	20.5%	12.4%	3.0%	0.9%	0.9%	100.0%
令和4年度	回答数	868	1,730	1,457	1,178	653	145	31	52	6,114
	割合	14.2%	28.3%	23.8%	19.3%	10.7%	2.4%	0.5%	0.9%	100.0%
令和5年度	回答数	576	1,161	947	853	468	98	23	45	4,171
	割合	13.8%	27.8%	22.7%	20.5%	11.2%	2.3%	0.6%	1.1%	100.0%
令和6年度	回答数	809	1,518	1,210	876	464	82	25	41	5,025
	割合	16.1%	30.2%	24.1%	17.4%	9.2%	1.6%	0.5%	0.8%	100.0%

※令和3年度調査までは10月末日現在、令和4年度調査以降は9月末日現在の年齢

2. 性別

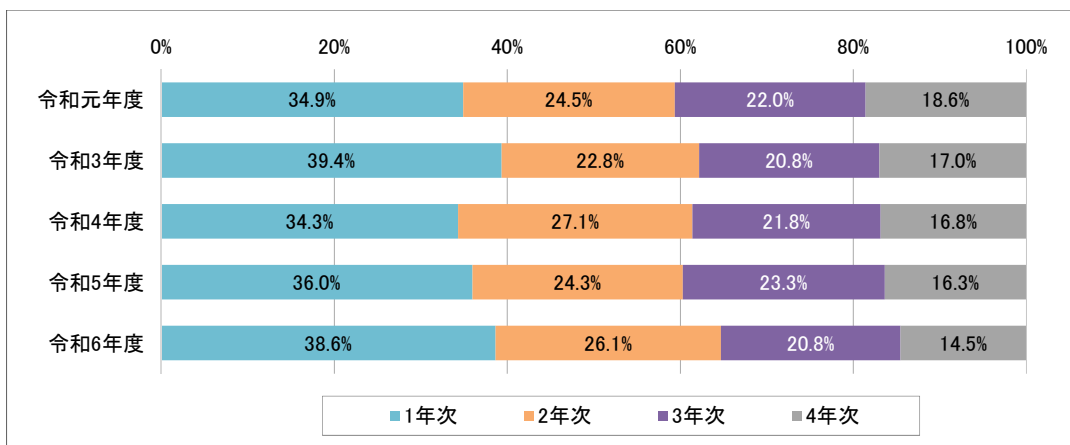


SA	選択肢	男性	女性	その他	回答しない(未回答)	その他、回答しない(未回答)	回答者数
令和元年度	回答数	3,180	2,533	—	101	—	5,814
	割合	54.7%	43.6%	—	1.7%	—	100.0%
令和3年度	回答数	3,536	3,218	32	125	—	6,911
	割合	51.2%	46.6%	0.5%	1.8%	—	100.0%
令和4年度	回答数	2,937	3,059	25	93	—	6,114
	割合	48.0%	50.0%	0.4%	1.5%	—	100.0%
令和5年度	回答数	1,910	2,180	20	61	—	4,171
	割合	45.8%	52.3%	0.5%	1.5%	—	100.0%
令和6年度	回答数	2,291	2,623	—	—	111	5,025
	割合	45.6%	52.2%	—	—	2.2%	100.0%

※令和3年度調査から、選択肢に「その他」及び「回答しない」を追加

※令和6年度調査は、選択肢から「その他」及び「回答しない」を削除し、「その他、回答しない」を追加

3. 在籍学年



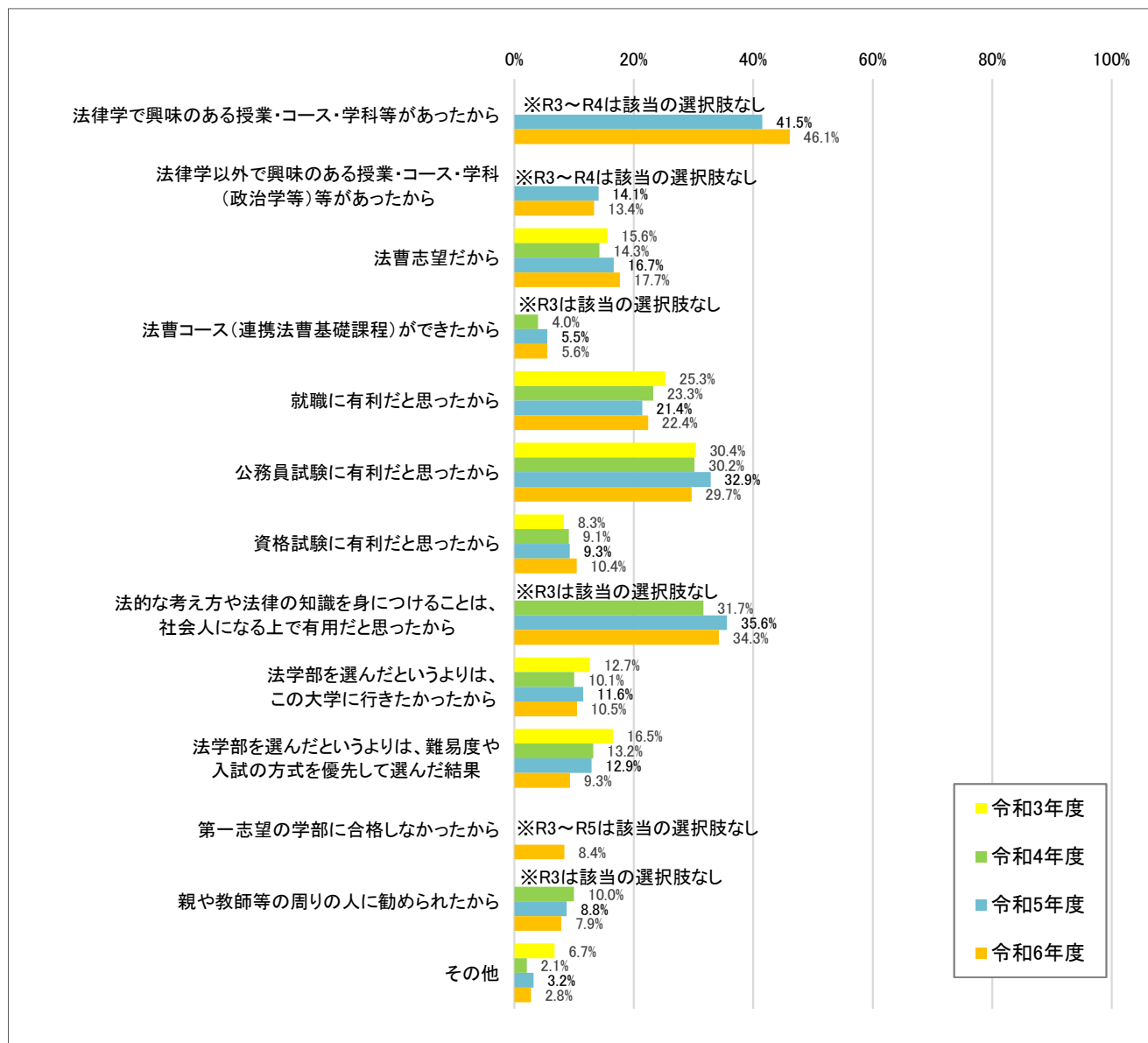
SA	選択肢	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	回答者数
令和元年度	回答数	2,288	1,328	1,211	987	5,814
	割合	39.4%	22.8%	20.8%	17.0%	100.0%
令和3年度	回答数	2,373	1,873	1,504	1,161	6,911
	割合	34.3%	27.1%	21.8%	16.8%	100.0%
令和4年度	回答数	2,200	1,488	1,427	999	6,114
	割合	36.0%	24.3%	23.3%	16.3%	100.0%
令和5年度	回答数	1,415	1,051	938	767	4,171
	割合	33.9%	25.2%	22.5%	18.4%	100.0%
令和6年度	回答数	1,942	1,311	1,043	729	5,025
	割合	38.6%	26.1%	20.8%	14.5%	100.0%

第2 法学部選択理由

大学進学の際、法学部(法学系課程を含む)を選んだ理由を尋ねた結果、「法律学で興味のある授業・コース・学科等があったから」との回答割合が約46%と最も高く、「法的な考え方や法律の知識を身につけることは、社会人になる上で有用だと思ったから」が約34%、「公務員試験に有利だと思ったから」が約30%、「就職に有利だと思ったから」が約22%、などとなった。女性に限って見た場合も、各選択肢の回答割合は全体とほぼ同様であった。法曹志望だからという回答は約18%(女性約16%)で微増の傾向がみられる。

なお、「その他」として、令和6年度調査では、「スポーツ推薦で入学したため」、「メディア、ジャーナリズムについて学びたかったから」、「公認会計士を目指すため」、「法律に興味があったため」、「ドラマに影響されて」などの回答があった。

ア 全学生



MA	選択肢	法学 学以外 で興味 のある 授業・ コース・ 学科等 があった から	法学 学以外 で興味 のある 授業・ コース・ 学科等 があった から	法曹志 望だか ら	法曹コ ース(連 携法曹 基礎課 程)がで きたか ら	就職に 有利だ と思っ たから	公務員 試験に 有利だ と思っ たから	資格試 験に有 利だと思 ったか ら	法的な 考え方 や法律 の知識 を身に つける ことは、 社会人 になる 上で有 用だと思 ったか ら	法学部 を選ん だとい うより は、こ の大学 に行き たかっ たから	法学部 を選ん だとい うより は、難 易度や 入試の 方式を 優先し て選ん だ結果	第一志 望の学 部に合 格しな かった から	親や教 師等の 周りの 人に勧 められ たから	その他	回答者 数
令和3年度	回答数	—	—	1,079	—	1,748	2,100	575	—	876	1,142	—	—	466	6,911
	割合	—	—	15.6%	—	25.3%	30.4%	8.3%	—	12.7%	16.5%	—	—	6.7%	—
令和4年度	回答数	—	—	872	243	1,422	1,846	558	1,937	615	808	—	612	129	6,114
	割合	—	—	14.3%	4.0%	23.3%	30.2%	9.1%	31.7%	10.1%	13.2%	—	10.0%	2.1%	—
令和5年度	回答数	1,733	588	695	231	894	1,371	387	1,486	482	540	—	366	135	4,171
	割合	41.5%	14.1%	16.7%	5.5%	21.4%	32.9%	9.3%	35.6%	11.6%	12.9%	—	8.8%	3.2%	—
令和6年度	回答数	2,317	671	889	279	1,126	1,492	525	1,722	527	469	422	396	141	5,025
	割合	46.1%	13.4%	17.7%	5.6%	22.4%	29.7%	10.4%	34.3%	10.5%	9.3%	8.4%	7.9%	2.8%	—

※令和3年度調査で新たに追加した質問

※1番目の選択肢(法学で興味のある授業・コース・学科等があったから)と、2番目の選択肢(法学以外で興味のある授業・コース・学科(政治学等)等があったから)は令和5年度調査から新たに設けたもの

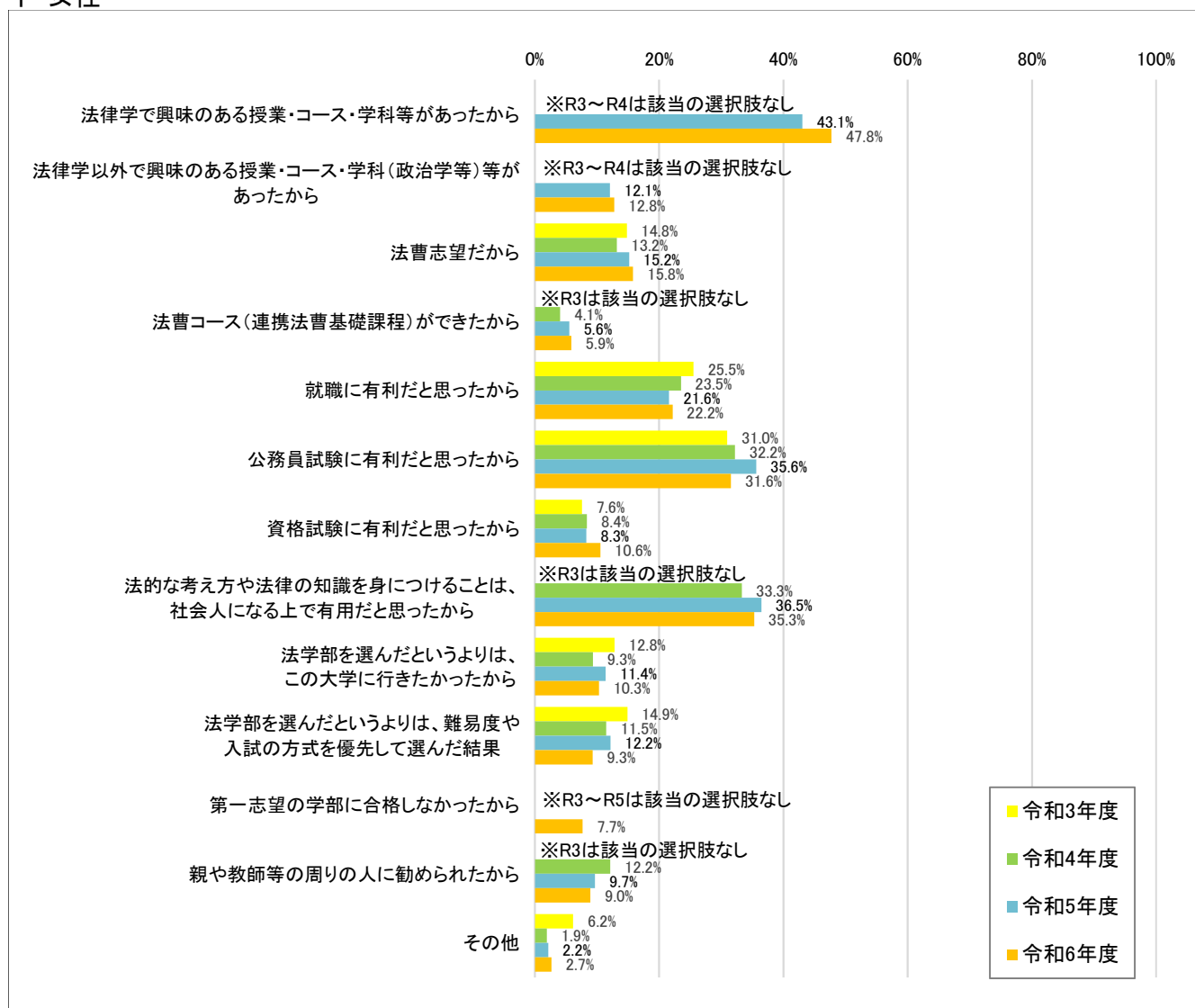
※4番目の選択肢(法曹コースができたから)は令和4年度調査から新たに設けたもの

※8番目の選択肢(法的な考え方や法律の知識を身につけることは、社会人になる上で有用だと思ったから)は令和4年度調査から新たに設けたもの

※12番目の選択肢(親や教師等の周りの人に勧められたから)は令和4年度調査から新たに設けたもの

※11番目の選択肢(第一志望の学部合格しなかったから)は令和6年度調査から新たに設けたもの

イ 女性



MA	選択肢	法律学 で興味 のある 授業・コ ース・学 科等が あった から	法律学 以外で 興味 のある 授業・コ ース・学 科(政治 学等)等 があった から	法曹志 望だか ら	法曹コ ース(連 携法曹 基礎課 程)がで きたか ら	就職に 有利だ と思っ たから	公務員 試験に 有利だ と思っ たから	資格試 験に有 利だと思 ったか ら	法的な 考え方 や法律 の知識 を身に つける ことは、 社会人 になる 上で有 用だと思 ったか ら	法学部 を選ん だとい うより は、こ の大学 に行 きたか ったか ら	法学部 を選ん だとい うより は、難 易度 や入試 の方式 を優先 して選 んだ結 果	第一志 望の学 部に合 格しな かった から	親や教 師等の 周りの 人に勧 められ たから	その他	回答者 数
令和3年度	回答数	-	-	477	-	822	997	244	-	413	480	-	-	199	3,218
	割合	-	-	14.8%	-	25.5%	31.0%	7.6%	-	12.8%	14.9%	-	-	6.2%	-
令和4年度	回答数	-	-	404	124	720	986	257	1,019	286	352	-	372	59	3,059
	割合	-	-	13.2%	4.1%	23.5%	32.2%	8.4%	33.3%	9.3%	11.5%	-	12.2%	1.9%	-
令和5年度	回答数	939	264	331	121	471	777	181	795	249	266	-	211	47	2,180
	割合	43.1%	12.1%	15.2%	5.6%	21.6%	35.6%	8.3%	36.5%	11.4%	12.2%	-	9.7%	2.2%	-
令和6年度	回答数	1,253	336	415	154	582	828	277	926	271	244	202	235	70	2,623
	割合	47.8%	12.8%	15.8%	5.9%	22.2%	31.6%	10.6%	35.3%	10.3%	9.3%	7.7%	9.0%	2.7%	-

※令和3年度調査で新たに追加した質問

※1番目の選択肢(法律学で興味のある授業・コース・学科等があったから)と、2番目の選択肢(法律学以外で興味のある授業・コース・学科(政治学等)等があったから)は令和5年度調査から新たに設けたもの

※4番目の選択肢(法曹コースができたから)は令和4年度調査から新たに設けたもの

※8番目の選択肢(法的な考え方や法律の知識を身につけることは、社会人になる上で有用だと思ったから)は令和4年度調査から新たに設けたもの

※12番目の選択肢(親や教師等の周りの人に勧められたから)は令和4年度調査から新たに設けたもの

※11番目の選択肢(第一志望の学部合格しなかったから)は令和6年度調査から新たに設けたもの

第3 進路選択

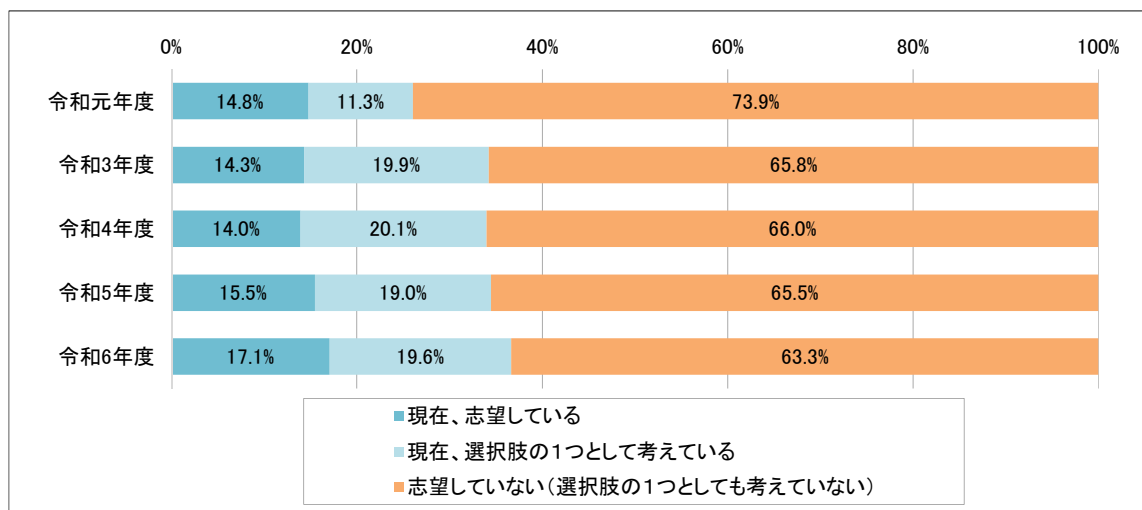
1. 法曹等志望の有無

法曹等※を志望する学生の割合は令和6年度調査で約17%、選択肢の1つとして考えている学生の割合は約20%となっており、令和5年度から微増となっており、「現在、志望している」と「現在、選択肢の一つとして考えている」の回答割合の合計は、令和元年度と比べて増加している。

女性に限って見た場合、全体と比べて各回答割合に大きな違いはないが、「現在、選択肢の1つとして考えている」が約20%とやや増加している。

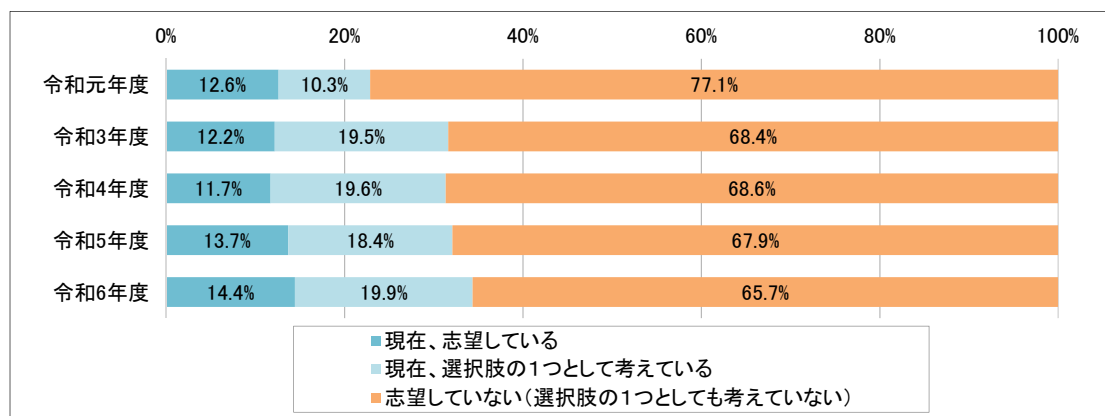
※ 法曹(裁判官、検察官及び弁護士)だけでなく、司法試験合格後法曹資格を取得せず活動する場合を含む。以下、同じ。

ア 全学生



SA	選択肢	現在、志望している	現在、選択肢の1つとして考えている	志望していない (選択肢の1つとしても考えていない)	回答者数
令和元年度	回答数	860	655	4,299	5,814
	割合	14.8%	11.3%	73.9%	100.0%
令和3年度	回答数	989	1,377	4,545	6,911
	割合	14.3%	19.9%	65.8%	100.0%
令和4年度	回答数	853	1,227	4,034	6,114
	割合	14.0%	20.1%	66.0%	100.0%
令和5年度	回答数	646	793	2,732	4,171
	割合	15.5%	19.0%	65.5%	100.0%
令和6年度	回答数	858	984	3,183	5,025
	割合	17.1%	19.6%	63.3%	100.0%

イ 女性

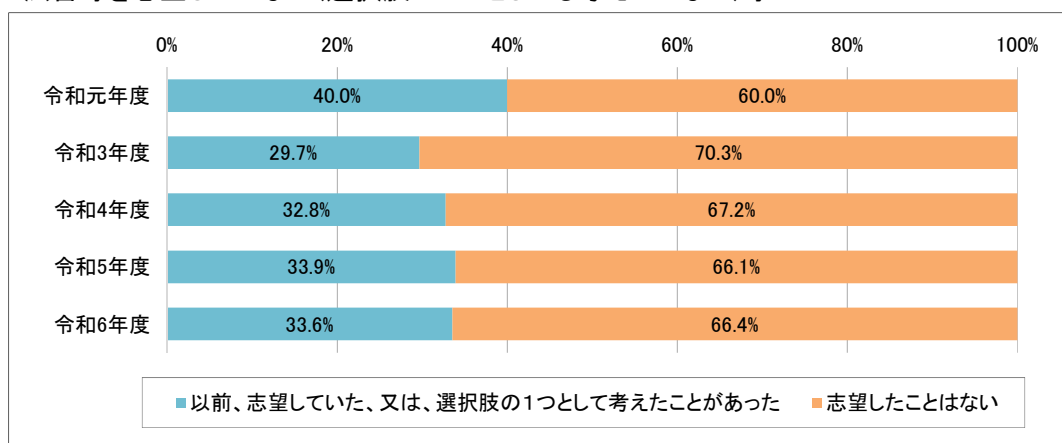


SA	選択肢	現在、志望している	現在、選択肢の1つとして考えている	志望していない(選択肢の1つとしても考えていない)	回答者数
令和元年度	回答数	319	260	1,954	2,533
	割合	12.6%	10.3%	77.1%	100.0%
令和3年度	回答数	392	626	2,200	3,218
	割合	12.2%	19.5%	68.4%	100.0%
令和4年度	回答数	358	601	2,100	3,059
	割合	11.7%	19.6%	68.6%	100.0%
令和5年度	回答数	298	402	1,480	2,180
	割合	13.7%	18.4%	67.9%	100.0%
令和6年度	回答数	379	522	1,722	2,623
	割合	14.4%	19.9%	65.7%	100.0%

2. 過去の法曹等志望の有無

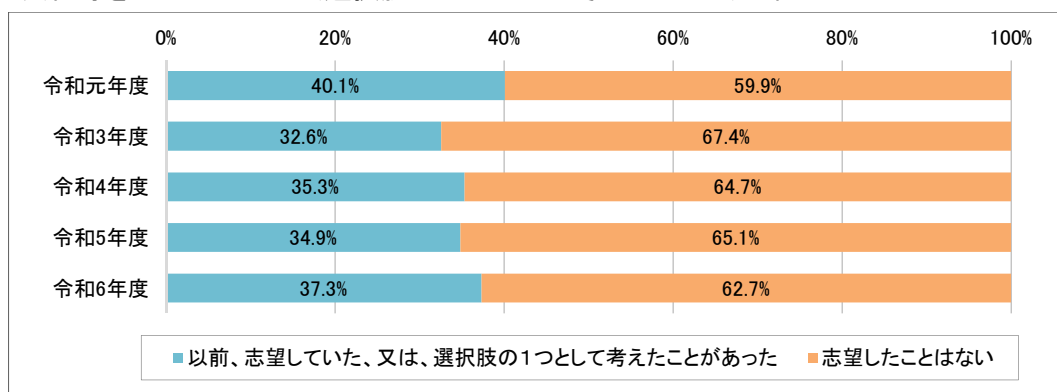
法曹等を志望していない(選択肢の1つとしても考えていない)と回答した学生に、過去に法曹等を志望したことがあるかを尋ねた結果、令和6年度調査では約34%の学生が「以前、志望していた、又は選択肢の1つとして考えたことがあった」と回答した。過去に法曹等を志望していた(選択肢の1つとして考えていた)学生の割合は、令和3年度に減少したが、令和4年度以降はおおむね増加傾向が見られる。女性に限って見た場合も同様である。

ア 法曹等を志望していない(選択肢の1つとしても考えていない)学生



SA	選択肢	以前、志望していた、又は、選択肢の1つとして考えたことがあった	志望したことはない	回答者数
令和元年度	回答数	1,720	2,579	4,299
	割合	40.0%	60.0%	100.0%
令和3年度	回答数	1,350	3,195	4,545
	割合	29.7%	70.3%	100.0%
令和4年度	回答数	1,322	2,712	4,034
	割合	32.8%	67.2%	100.0%
令和5年度	回答数	927	1,805	2,732
	割合	33.9%	66.1%	100.0%
令和6年度	回答数	1,068	2,115	3,183
	割合	33.6%	66.4%	100.0%

イ 法曹等を志望していない(選択肢の1つとしても考えていない)女性



SA	選択肢	以前、志望していた、 又は、選択肢の1つ として考えたことがあった	志望したことはない	回答者数
令和元年度	回答数	784	1,170	1,954
	割合	40.1%	59.9%	100.0%
令和3年度	回答数	717	1,483	2,200
	割合	32.6%	67.4%	100.0%
令和4年度	回答数	742	1,358	2,100
	割合	35.3%	64.7%	100.0%
令和5年度	回答数	516	964	1,480
	割合	34.9%	65.1%	100.0%
令和6年度	回答数	643	1,079	1,722
	割合	37.3%	62.7%	100.0%

3. 将来の職業等を選択するにあたり、法曹コースの導入、在学中受験の考慮

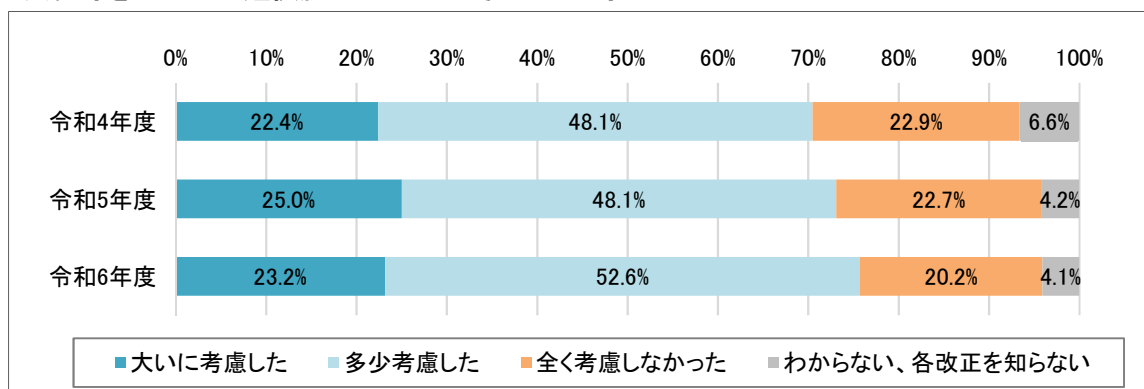
現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生に、法曹コースの導入や、法科大学院在学中に司法試験を受験できるようになったことは、将来の職業等を選択するにあたり、考慮したか尋ねたところ、約23%の学生が「大いに考慮した」と回答し、約53%の学生が「多少考慮した」と回答した。75%以上の学生がある程度考慮しており、令和5年度より増加している。

女性に限って見た場合も、全体とほぼ同様であった。

法曹等を志望している学生については、78%以上の学生が、ある程度考慮しており、「大いに考慮した」が約34%となり、令和5年度より減少している。

また、過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた学生については、「全く考慮しなかった」が約41%となっており、令和5年度より減少している。女性に限って見た場合も同様に減少している。

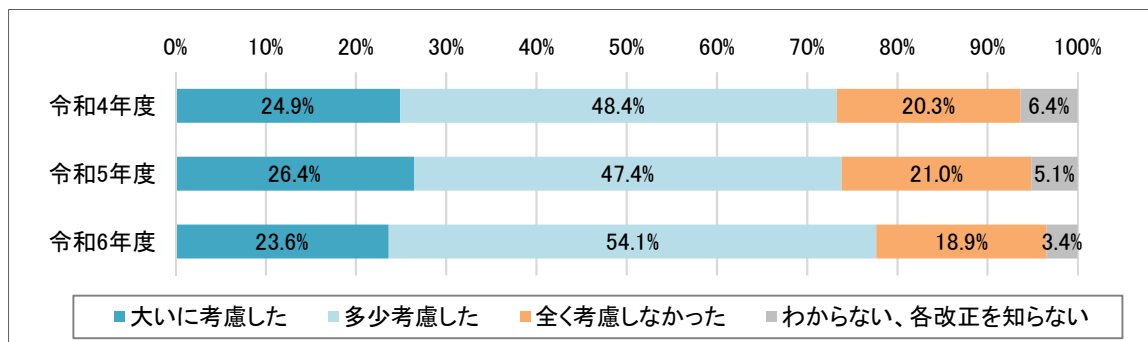
ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



SA	選択肢	大いに考慮した	多少考慮した	全く考慮しなかった	わからない、 各改正を知らない	回答者数
令和4年度	回答数	466	1,000	476	138	2,080
	割合	22.4%	48.1%	22.9%	6.6%	100.0%
令和5年度	回答数	360	692	326	61	1,439
	割合	25.0%	48.1%	22.7%	4.2%	100.0%
令和6年度	回答数	427	968	372	75	1,842
	割合	23.2%	52.6%	20.2%	4.1%	100.0%

※令和4年度調査で新たに追加した質問

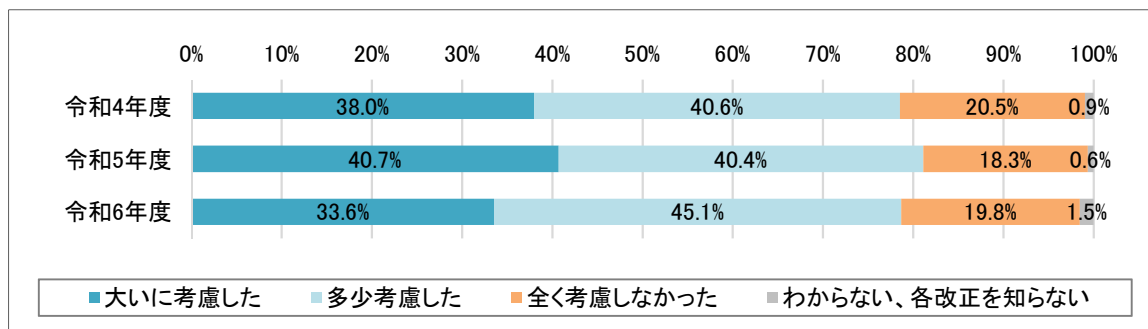
イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



SA	選択肢	大いに考慮した	多少考慮した	全く考慮しなかった	わからない、各改正を知らない	回答者数
令和4年度	回答数	239	464	195	61	959
	割合	24.9%	48.4%	20.3%	6.4%	100.0%
令和5年度	回答数	185	332	147	36	700
	割合	26.4%	47.4%	21.0%	5.1%	100.0%
令和6年度	回答数	213	487	170	31	901
	割合	23.6%	54.1%	18.9%	3.4%	100.0%

※令和4年度調査で新たに追加した質問

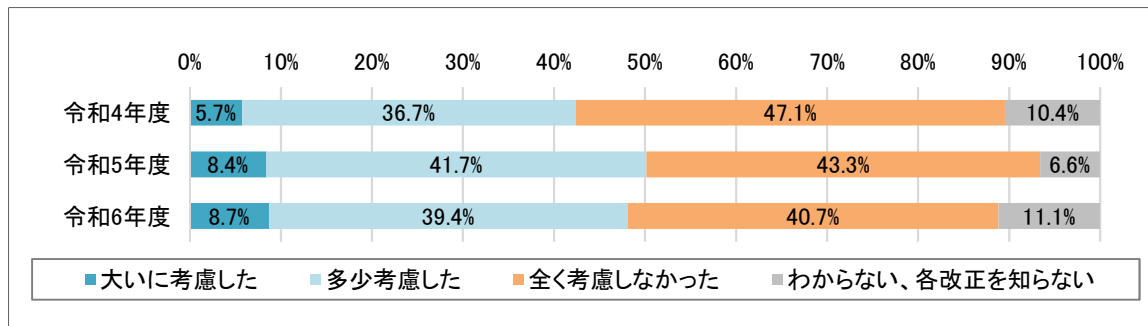
ウ 法曹等を志望している学生



SA	選択肢	大いに考慮した	多少考慮した	全く考慮しなかった	わからない、各改正を知らない	回答者数
令和4年度	回答数	324	346	175	8	853
	割合	38.0%	40.6%	20.5%	0.9%	100.0%
令和5年度	回答数	263	261	118	4	646
	割合	40.7%	40.4%	18.3%	0.6%	100.0%
令和6年度	回答数	288	387	170	13	858
	割合	33.6%	45.1%	19.8%	1.5%	100.0%

※令和4年度調査で新たに追加した質問

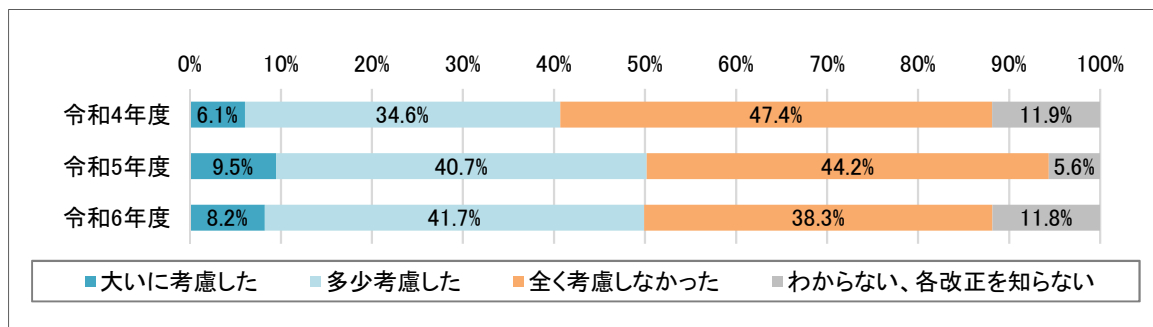
エ 過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた学生



SA	選択肢	大いに考慮した	多少考慮した	全く考慮しなかった	わからない、各改正を知らない	回答者数
令和4年度	回答数	76	485	623	138	1,322
	割合	5.7%	36.7%	47.1%	10.4%	100.0%
令和5年度	回答数	78	387	401	61	927
	割合	8.4%	41.7%	43.3%	6.6%	100.0%
令和6年度	回答数	93	421	435	119	1,068
	割合	8.7%	39.4%	40.7%	11.1%	100.0%

※令和4年度調査で新たに追加した質問

オ 過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた女性



SA	選択肢	大いに考慮した	多少考慮した	全く考慮しなかった	わからない、各改正を知らない	回答者数
令和4年度	回答数	45	257	352	88	742
	割合	6.1%	34.6%	47.4%	11.9%	100.0%
令和5年度	回答数	49	210	228	29	516
	割合	9.5%	40.7%	44.2%	5.6%	100.0%
令和6年度	回答数	53	268	246	76	643
	割合	8.2%	41.7%	38.3%	11.8%	100.0%

※令和4年度調査で新たに追加した質問

4. 将来の職業志望(第一志望)

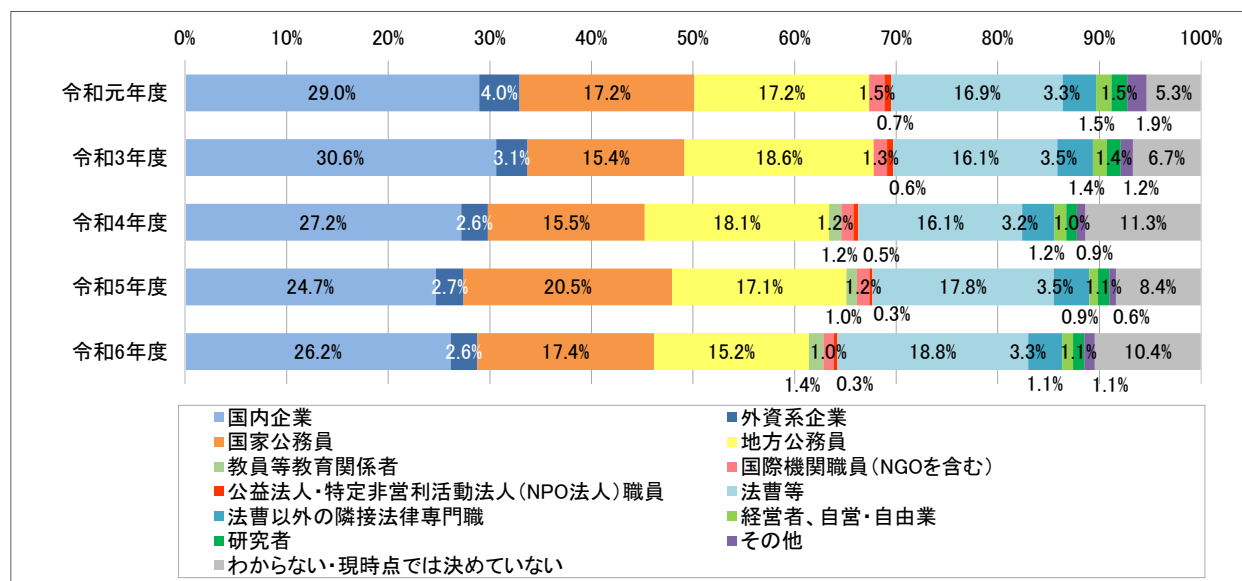
現時点で第一志望として考えている職業について尋ねた結果、「国内企業」が約 26%と最も高く、次いで「法曹等」、「国家公務員」、「地方公務員」の順となっている。「国家公務員」、「地方公務員」は減少しているが、「国内企業」、「法曹等」は令和 5 年度と比較して増加している。

女性に限って見た場合、全体と比べて顕著な違いは見られないが、相対的に「国家公務員」の志望割合が高く、「法曹等」の志望割合が低い。

学年別で見ると、「国家公務員」、「地方公務員」は学年を問わず横ばい、「国内企業」の志望者は年次を追うごとに増加する傾向にあり、逆に「法曹等」の志望者は減少する傾向にある。

なお、「その他」として令和 5 年度調査では、パラリーガル、アナウンサー・記者、芸術、エンタメ系、公認会計士などの回答があった。

ア 全学生

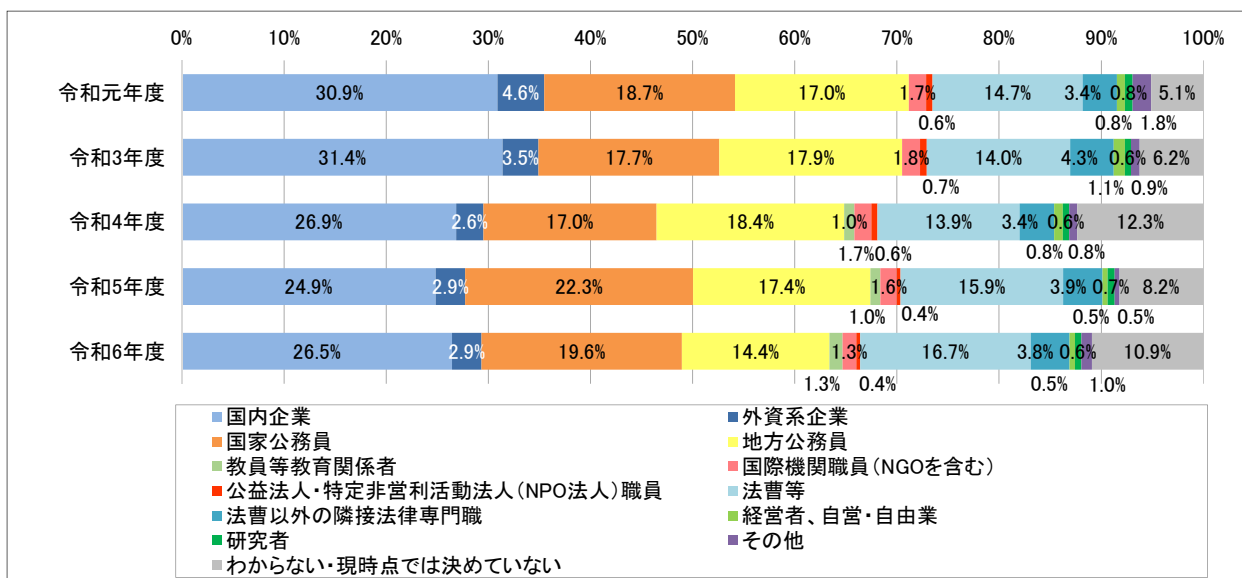


SA	選択肢	国内企業	外資系企業	国家公務員	地方公務員	教員等教育関係者	国際機関職員(NGOを含む)	公益法人・特定非営利活動法人(NPO法人)職員	法曹等	法曹以外の隣接法律専門職	経営者、自営・自由業	研究者	その他	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和元年度	回答数	1,685	230	1,000	1,001	—	88	39	982	189	88	90	113	309	5,814
	割合	29.0%	4.0%	17.2%	17.2%	—	1.5%	0.7%	16.9%	3.3%	1.5%	1.5%	1.9%	5.3%	100.0%
令和3年度	回答数	2,117	215	1,067	1,287	—	90	43	1,116	242	95	95	81	463	6,911
	割合	30.6%	3.1%	15.4%	18.6%	—	1.3%	0.6%	16.1%	3.5%	1.4%	1.4%	1.2%	6.7%	100.0%
令和4年度	回答数	1,664	159	945	1,109	74	73	29	985	193	74	64	52	693	6,114
	割合	27.2%	2.6%	15.5%	18.1%	1.2%	1.2%	0.5%	16.1%	3.2%	1.2%	1.0%	0.9%	11.3%	100.0%
令和5年度	回答数	1,031	113	857	715	43	51	13	744	146	36	46	27	349	4,171
	割合	24.7%	2.7%	20.5%	17.1%	1.0%	1.2%	0.3%	17.8%	3.5%	0.9%	1.1%	0.6%	8.4%	100.0%
令和6年度	回答数	1,315	132	874	766	71	52	17	945	167	54	55	53	524	5,025
	割合	26.2%	2.6%	17.4%	15.2%	1.4%	1.0%	0.3%	18.8%	3.3%	1.1%	1.1%	1.1%	10.4%	100.0%

※13番目の選択肢について、令和3年度調査までは「特になし」

※5番目の選択肢(教員等教育関係者)は令和4年度調査から新たに設けたもの

イ 女性

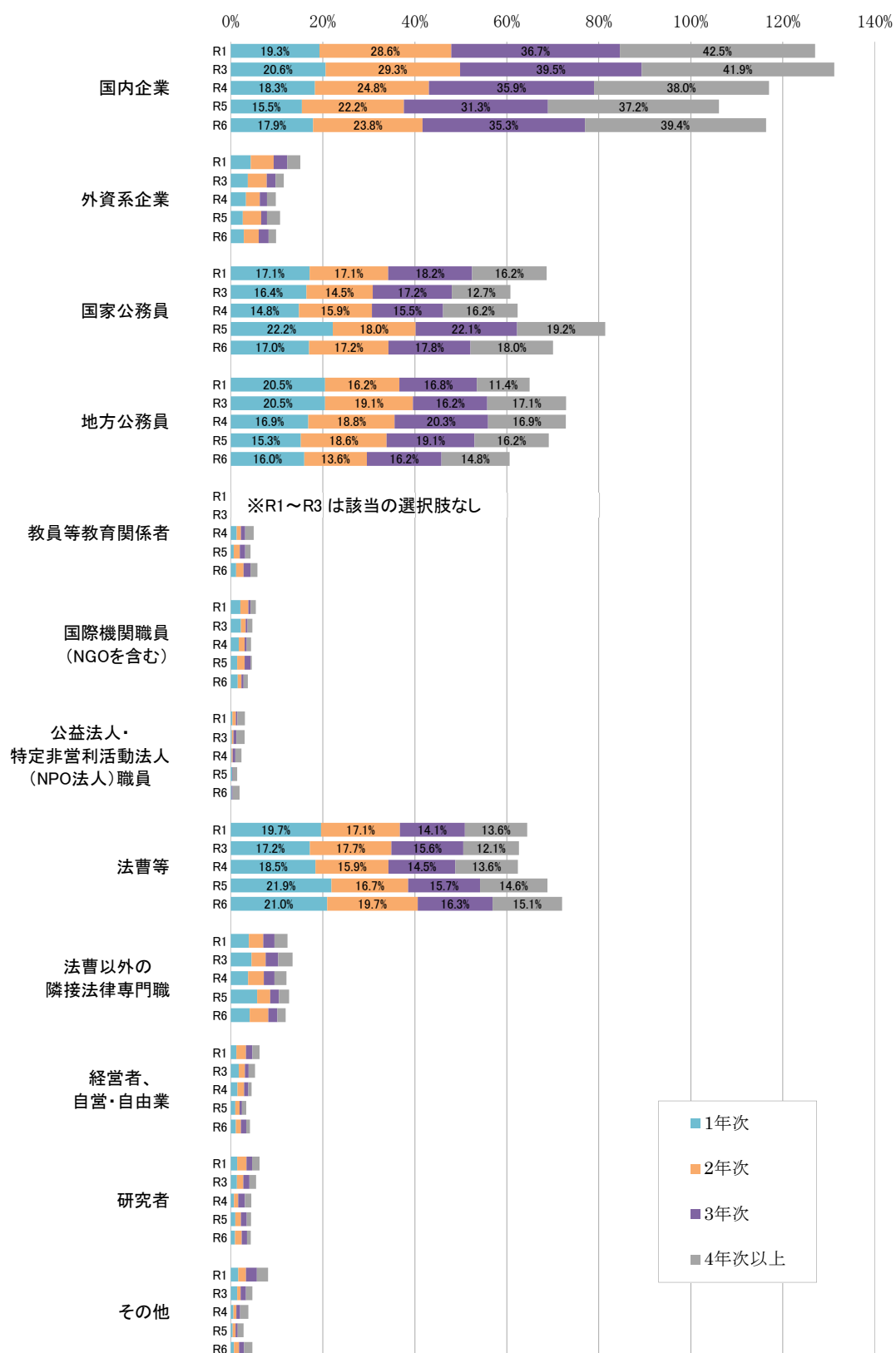


SA	選択肢	国内 企業	外資系 企業	国家 公務員	地方 公務員	教員等 教育関係者	国際機 関職員 (NGOを 含む)	公益法人・特定 非営利活動法人(NPO 法人職員)	法曹等	法曹以 外の隣 接法律 専門職	経営 者、自 営・自 由業	研究者	その他	わから ない・ 現時点 では決 めてい ない	回答 者数
令和元年度	回答数	783	116	473	431	—	43	16	372	85	20	19	46	129	2,533
	割合	30.9%	4.6%	18.7%	17.0%	—	1.7%	0.6%	14.7%	3.4%	0.8%	0.8%	1.8%	5.1%	100.0%
令和3年度	回答数	1,011	113	570	575	—	57	21	452	137	35	19	28	200	3,218
	割合	31.4%	3.5%	17.7%	17.9%	—	1.8%	0.7%	14.0%	4.3%	1.1%	0.6%	0.9%	6.2%	100.0%
令和4年度	回答数	822	81	519	562	30	51	18	426	104	26	19	24	377	3,059
	割合	26.9%	2.6%	17.0%	18.4%	1.0%	1.7%	0.6%	13.9%	3.4%	0.8%	0.6%	0.8%	12.3%	100.0%
令和5年度	回答数	542	63	486	379	21	35	8	347	84	11	15	10	179	2,180
	割合	24.9%	2.9%	22.3%	17.4%	1.0%	1.6%	0.4%	15.9%	3.9%	0.5%	0.7%	0.5%	8.2%	100.0%
令和6年度	回答数	694	76	514	379	34	35	10	438	100	14	16	27	286	2,623
	割合	26.5%	2.9%	19.6%	14.4%	1.3%	1.3%	0.4%	16.7%	3.8%	0.5%	0.6%	1.0%	10.9%	100.0%

※13 番目の選択肢について、令和3年度調査までは「特になし」

※5番目の選択肢(教員等教育関係者)は令和4年度調査から新たに設けたもの

ウ 学年別



	SA	選択肢	国内 企業	外資系 企業	国家 公務員	地方 公務員	教員等 教育関係 者	国際機 関職員 (NGO を含む)	公益法人 ・NPO 法人職員	法曹等	法曹以 外の隣 接法律 専門職	経営 者、自 営・自 業	研究者	その他	わからない・ 現時点 では決 めてい ない	回答 者数
1 年次	令和元年度	回答数	442	100	392	469	—	48	9	450	90	28	32	38	190	2,288
		割合	19.3%	4.4%	17.1%	20.5%	—	2.1%	0.4%	19.7%	3.9%	1.2%	1.4%	1.7%	8.3%	100.0%
	令和3年度	回答数	489	89	390	487	—	53	6	408	107	42	32	34	236	2,373
		割合	20.6%	3.8%	16.4%	20.5%	—	2.2%	0.3%	17.2%	4.5%	1.8%	1.3%	1.4%	9.9%	100.0%
	令和4年度	回答数	403	73	326	371	28	38	4	406	83	32	16	13	407	2,200
		割合	18.3%	3.3%	14.8%	16.9%	1.3%	1.7%	0.2%	18.5%	3.8%	1.5%	0.7%	0.6%	18.5%	100.0%
	令和5年度	回答数	219	37	314	216	9	20	4	310	81	14	14	6	171	1,415
		割合	15.5%	2.6%	22.2%	15.3%	0.6%	1.4%	0.3%	21.9%	5.7%	1.0%	1.0%	0.4%	12.1%	100.0%
	令和6年度	回答数	348	55	331	311	23	30	4	407	80	22	18	14	299	1,942
		割合	17.9%	2.8%	17.0%	16.0%	1.2%	1.5%	0.2%	21.0%	4.1%	1.1%	0.9%	0.7%	15.4%	100.0%
2 年次	令和元年度	回答数	380	66	227	215	—	23	10	227	42	28	27	22	61	1,328
		割合	28.6%	5.0%	17.1%	16.2%	—	1.7%	0.8%	17.1%	3.2%	2.1%	2.0%	1.7%	4.6%	100.0%
	令和3年度	回答数	548	77	271	358	—	19	6	332	58	25	26	14	139	1,873
		割合	29.3%	4.1%	14.5%	19.1%	—	1.0%	0.3%	17.7%	3.1%	1.3%	1.4%	0.7%	7.4%	100.0%
	令和4年度	回答数	369	45	236	279	14	19	4	236	51	22	14	10	189	1,488
		割合	24.8%	3.0%	15.9%	18.8%	0.9%	1.3%	0.3%	15.9%	3.4%	1.5%	0.9%	0.7%	12.7%	100.0%
	令和5年度	回答数	233	42	189	196	14	17	1	175	30	10	13	7	124	1,051
		割合	22.2%	4.0%	18.0%	18.6%	1.3%	1.6%	0.1%	16.7%	2.9%	1.0%	1.2%	0.7%	11.8%	100.0%
	令和6年度	回答数	312	43	226	178	21	10	0	258	53	14	19	14	163	1,311
		割合	23.8%	3.3%	17.2%	13.6%	1.6%	0.8%	0.0%	19.7%	4.0%	1.1%	1.4%	1.1%	12.4%	100.0%
3 年次	令和元年度	回答数	444	36	221	204	—	6	4	171	29	17	15	29	35	1,211
		割合	36.7%	3.0%	18.2%	16.8%	—	0.5%	0.3%	14.1%	2.4%	1.4%	1.2%	2.4%	2.9%	100.0%
	令和3年度	回答数	594	28	258	243	—	6	10	235	41	12	20	17	40	1,504
		割合	39.5%	1.9%	17.2%	16.2%	—	0.4%	0.7%	15.6%	2.7%	0.8%	1.3%	1.1%	2.7%	100.0%
	令和4年度	回答数	512	22	221	290	13	7	8	207	33	13	20	11	70	1,427
		割合	35.9%	1.5%	15.5%	20.3%	0.9%	0.5%	0.6%	14.5%	2.3%	0.9%	1.4%	0.8%	4.9%	100.0%
	令和5年度	回答数	294	12	207	179	11	12	1	147	18	5	12	4	36	938
		割合	31.3%	1.3%	22.1%	19.1%	1.2%	1.3%	0.1%	15.7%	1.9%	0.5%	1.3%	0.4%	3.8%	100.0%
	令和6年度	回答数	368	22	186	169	16	5	2	170	21	12	12	12	48	1,043
		割合	35.3%	2.1%	17.8%	16.2%	1.5%	0.5%	0.2%	16.3%	2.0%	1.2%	1.2%	1.2%	4.6%	100.0%
4 年次 以上	令和元年度	回答数	419	28	160	113	—	11	16	134	28	15	16	24	23	987
		割合	42.5%	2.8%	16.2%	11.4%	—	1.1%	1.6%	13.6%	2.8%	1.5%	1.6%	2.4%	2.3%	100.0%
	令和3年度	回答数	486	21	148	199	—	12	21	141	36	16	17	16	48	1,161
		割合	41.9%	1.8%	12.7%	17.1%	—	1.0%	1.8%	12.1%	3.1%	1.4%	1.5%	1.4%	4.1%	100.0%
	令和4年度	回答数	380	19	162	169	19	9	13	136	26	7	14	18	27	999
		割合	38.0%	1.9%	16.2%	16.9%	1.9%	0.9%	1.3%	13.6%	2.6%	0.7%	1.4%	1.8%	2.7%	100.0%
	令和5年度	回答数	285	22	147	124	9	2	7	112	17	7	7	10	18	767
		割合	37.2%	2.9%	19.2%	16.2%	1.2%	0.3%	0.9%	14.6%	2.2%	0.9%	0.9%	1.3%	2.3%	100.0%
	令和6年度	回答数	287	12	131	108	11	7	11	110	13	6	6	13	14	729
		割合	39.4%	1.6%	18.0%	14.8%	1.5%	1.0%	1.5%	15.1%	1.8%	0.8%	0.8%	1.8%	1.9%	100.0%

※13 番目の選択肢について、令和3年度調査までは「特になし」

※5番目の選択肢(教員等教育関係者)は令和4年度調査から新たに設けたもの

5. 職業選択に当たり重視すること

職業選択に当たり重視することについて尋ねた結果、「自分の興味・関心のある分野で活躍できること」との回答割合が68%前後と最も高く、「経済的に安定していること」がおおよそ58%程度で続いている。

女性に限って見た場合、全体と比べて「ワークライフバランスを実現できること」との回答割合が相対的に高い。

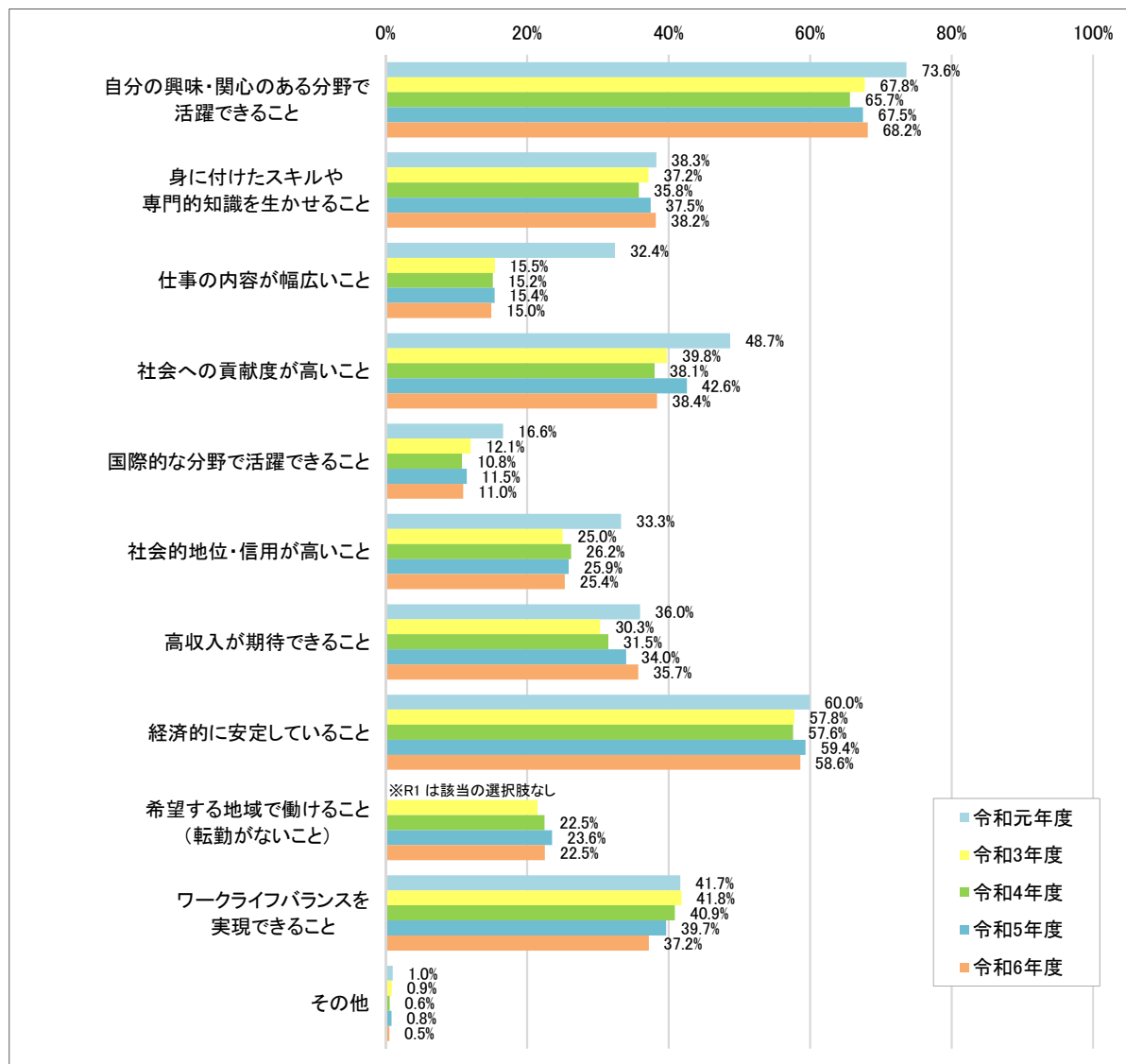
法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生に限って見ると、全体に比して「身に付けたスキルや専門的知識を生かせること」、「社会的地位・信用が高いこと」及び「高収入が期待できること」の回答割合が相対的に高く、その傾向は、法曹等を志望している学生のみを見た場合により顕著である。また、法曹等を志望している学生は、法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生と比べて「身に付けたスキルや専門的知識を生かせること」、「社会的地位・信用が高いこと」の回答割合がやや高い。

法曹等を志望していない学生では、全体と比べて「身に付けたスキルや専門的知識を生かせること」、「高収入が期待できること」との回答割合が低い。

在籍学年別では、全体に比して1年次の「高収入が期待できること」や4年次の「仕事の内容が幅広いこと」、「社会への貢献度が高いこと」がやや高い。

なお、「その他」として、令和6年度調査では、「人間関係が安定しており、風通しの良い団体であること」、「福利厚生がしっかりしていること」、「公共性が高い職業であること」、「1人じゃなくてチームで働けること」、「クリエイティブなこと」などの回答があった。

ア 全学生



MA	選択肢	自分の興味・関心のある分野で活躍できること	身に付けたスキルや専門的知識を生かせること	仕事の内容が幅広いこと	社会への貢献度が高いこと	国際的な分野で活躍できること	社会的地位・信用が高いこと	高収入が期待できること	経済的に安定していること	希望する地域で働けること（転勤がないこと）	ワークライフバランスを実現できること	その他	回答者数
令和元年度	回答数	4,282	2,226	1,886	2,834	968	1,936	2,092	3,486	—	2,424	59	5,814
	割合	73.6%	38.3%	32.4%	48.7%	16.6%	33.3%	36.0%	60.0%	—	41.7%	1.0%	—
令和3年度	回答数	4,683	2,570	1,068	2,751	834	1,731	2,097	3,994	1,487	2,891	61	5,814
	割合	67.8%	37.2%	15.5%	39.8%	12.1%	25.0%	30.3%	57.8%	21.5%	41.8%	0.9%	—
令和4年度	回答数	4,015	2,190	928	2,327	662	1,604	1,926	3,524	1,375	2,501	36	6,911
	割合	65.7%	35.8%	15.2%	38.1%	10.8%	26.2%	31.5%	57.6%	22.5%	40.9%	0.6%	—
令和5年度	回答数	2,815	1,563	643	1,777	479	1,081	1,419	2,476	983	1,654	35	4,171
	割合	67.5%	37.5%	15.4%	42.6%	11.5%	25.9%	34.0%	59.4%	23.6%	39.7%	0.8%	—
令和6年度	回答数	3,425	1,920	752	1,929	551	1,274	1,795	2,946	1,132	1,870	27	5,025
	割合	68.2%	38.2%	15.0%	38.4%	11.0%	25.4%	35.7%	58.6%	22.5%	37.2%	0.5%	—

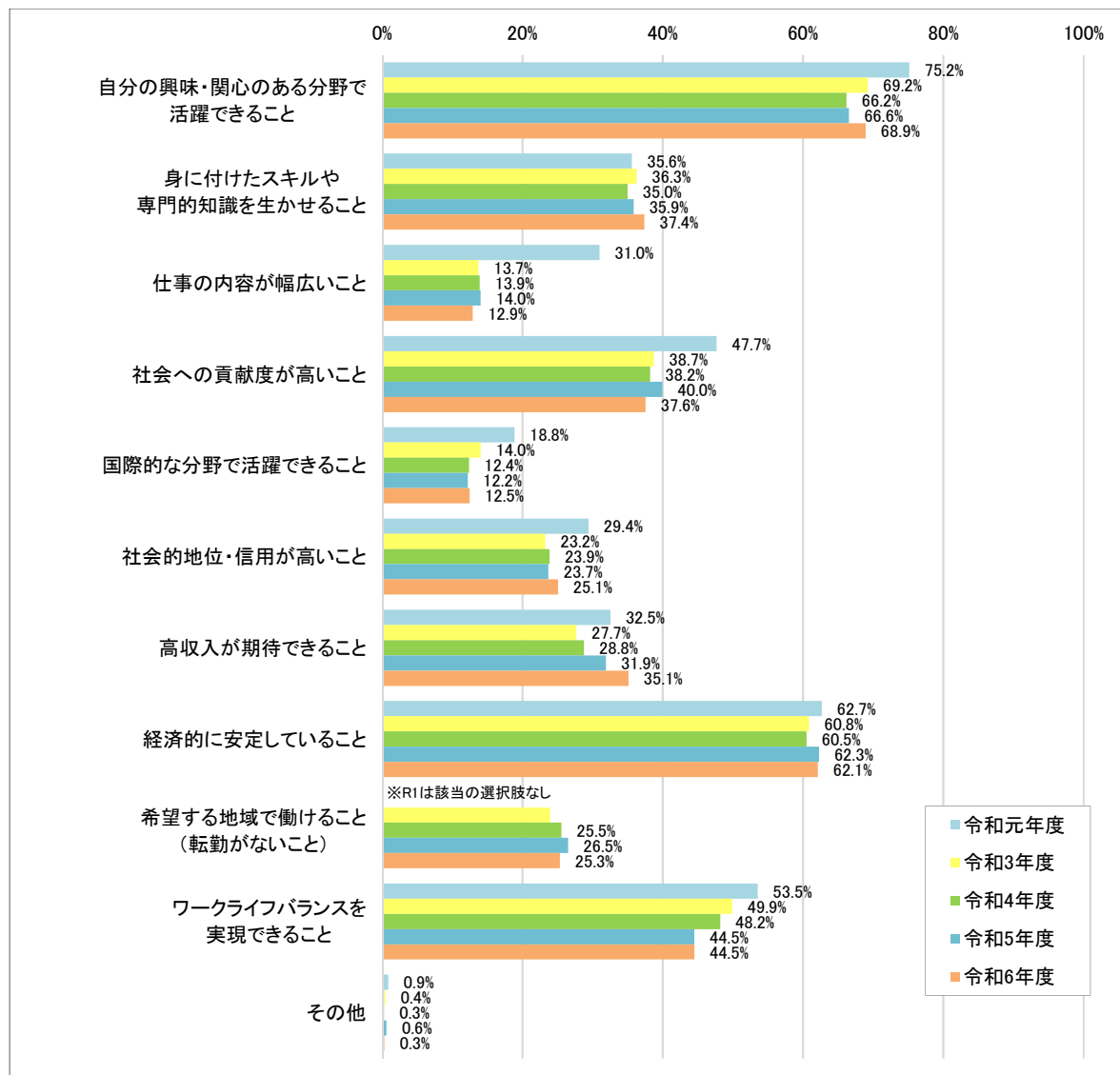
※2番目の選択肢について、令和元年調査は「身に付けた専門的知識をいかせること」

※3番目の選択肢について、令和元年調査は「仕事の内容に多くの選択肢があること」

※9番目選択肢（希望する地域で働けること）は、令和3年度調査から新たに設けたもの

※10番目の選択肢について、令和元年調査は「働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスを実現できること」

イ 女性



MA	選択肢	自分の興味・関心のある分野で活躍できること	身に付けたスキルや専門的知識を生かせること	仕事の内容が幅広いこと	社会への貢献度が高いこと	国際的な分野で活躍できること	社会的地位・信用が高いこと	高収入が期待できること	経済的に安定していること	希望する地域で働けること（転勤がないこと）	ワークライフバランスを実現できること	その他	回答者数
令和元年度	回答数	1,904	902	785	1,208	477	745	824	1,588	—	1,356	22	2,533
	割合	75.2%	35.6%	31.0%	47.7%	18.8%	29.4%	32.5%	62.7%	—	53.5%	0.9%	—
令和3年度	回答数	2,228	1,167	442	1,246	451	748	890	1,958	770	1,605	14	3,218
	割合	69.2%	36.3%	13.7%	38.7%	14.0%	23.2%	27.7%	60.8%	23.9%	49.9%	0.4%	—
令和4年度	回答数	2,025	1,070	425	1,168	378	730	880	1,851	781	1,474	8	3,059
	割合	66.2%	35.0%	13.9%	38.2%	12.4%	23.9%	28.8%	60.5%	25.5%	48.2%	0.3%	—
令和5年度	回答数	1,451	782	306	871	266	516	695	1,358	578	970	13	2,180
	割合	66.6%	35.9%	14.0%	40.0%	12.2%	23.7%	31.9%	62.3%	26.5%	44.5%	0.6%	—
令和6年度	回答数	1,808	980	338	985	327	658	921	1,629	664	1,167	8	2,623
	割合	68.9%	37.4%	12.9%	37.6%	12.5%	25.1%	35.1%	62.1%	25.3%	44.5%	0.3%	—

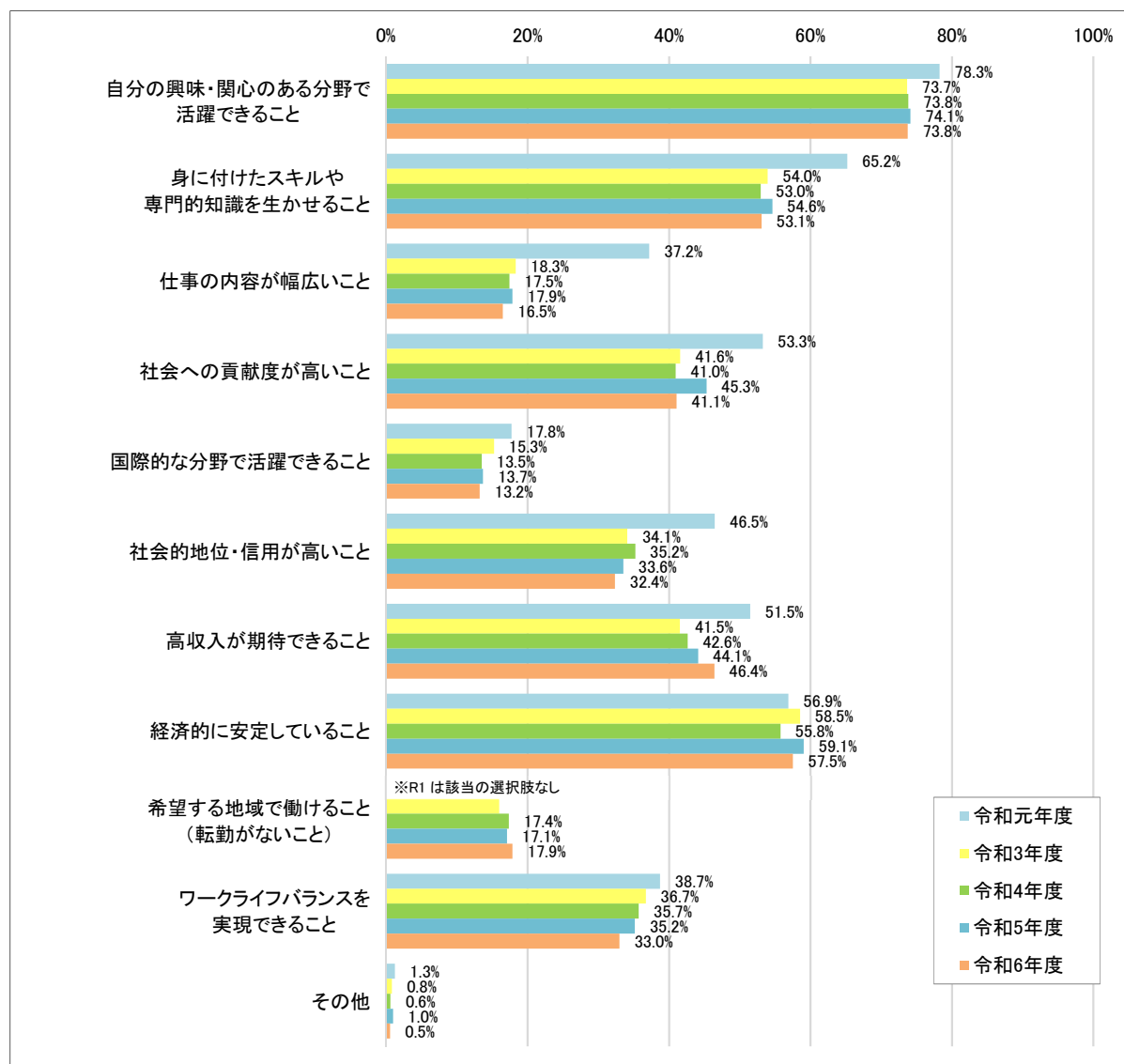
※2番目の選択肢について、令和元年調査は「身に付けた専門的知識をいかせること」

※3番目の選択肢について、令和元年調査は「仕事の内容に多くの選択肢があること」

※9番目選択肢（希望する地域で働けること）は、令和3年度調査から新たに設けたもの

※10番目の選択肢について、令和元年調査は「働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスを実現できること」

ウ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



MA	選択肢	自分の興味・関心のある分野で活躍できること	身に付けたスキルや専門的知識を生かせること	仕事の内容が幅広いこと	社会への貢献度が高いこと	国際的な分野で活躍できること	社会的地位・信用が高いこと	高収入が期待できること	経済的に安定していること	希望する地域で働けること（転勤がないこと）	ワークライフバランスを実現できること	その他	回答者数
令和元年度	回答数	1,186	988	564	807	269	704	780	862	—	587	19	1,515
	割合	78.3%	65.2%	37.2%	53.3%	17.8%	46.5%	51.5%	56.9%	—	38.7%	1.3%	—
令和3年度	回答数	1,743	1,277	434	984	361	807	983	1,385	378	869	19	2,366
	割合	73.7%	54.0%	18.3%	41.6%	15.3%	34.1%	41.5%	58.5%	16.0%	36.7%	0.8%	—
令和4年度	回答数	1,536	1,102	363	852	281	733	887	1,160	361	743	13	2,080
	割合	73.8%	53.0%	17.5%	41.0%	13.5%	35.2%	42.6%	55.8%	17.4%	35.7%	0.6%	—
令和5年度	回答数	1,067	786	257	652	197	483	635	850	246	506	14	1,439
	割合	74.1%	54.6%	17.9%	45.3%	13.7%	33.6%	44.1%	59.1%	17.1%	35.2%	1.0%	—
令和6年度	回答数	1,359	978	304	757	244	596	855	1,060	329	608	10	1,842
	割合	73.8%	53.1%	16.5%	41.1%	13.2%	32.4%	46.4%	57.5%	17.9%	33.0%	0.5%	—

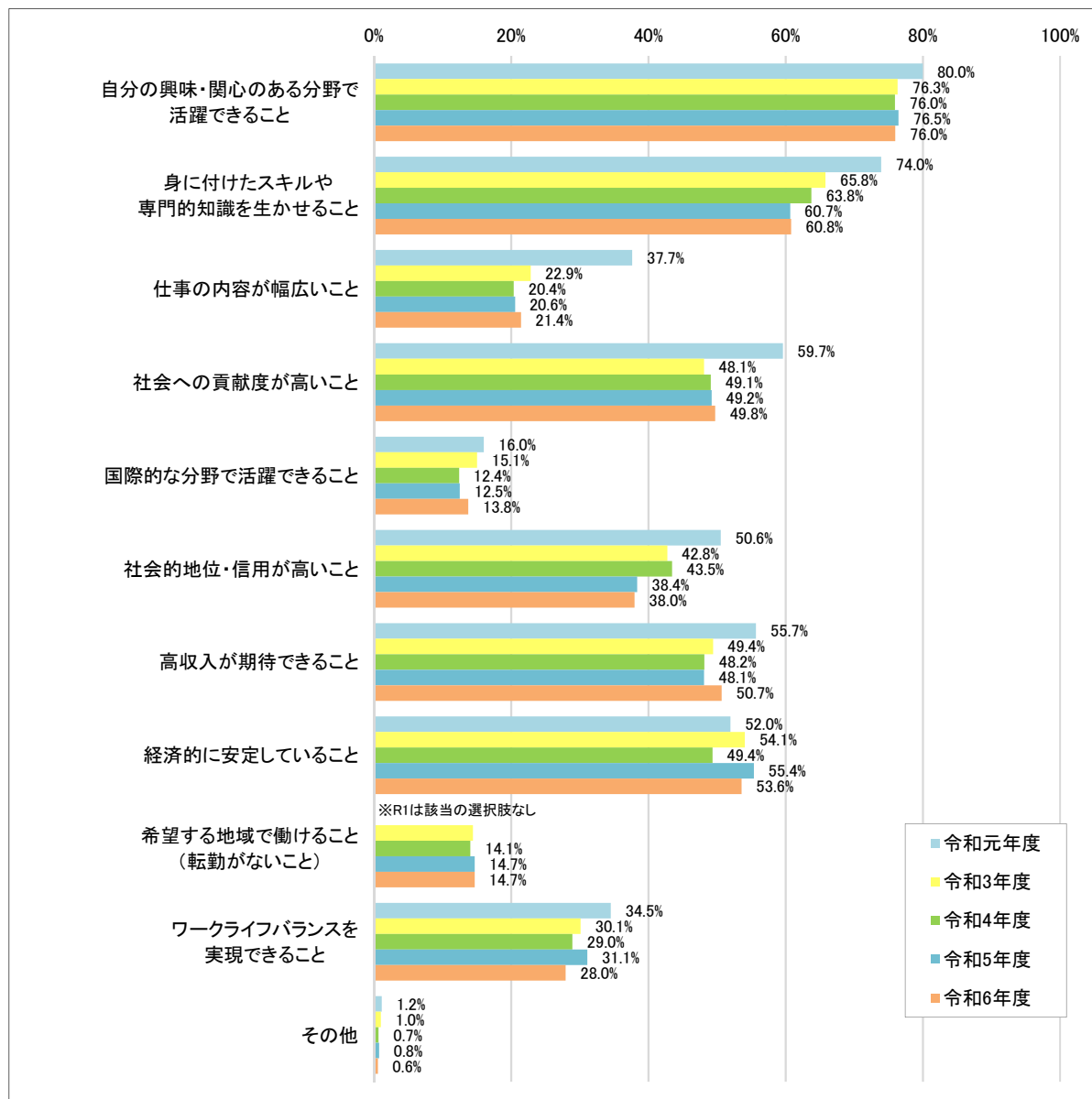
※2番目の選択肢について、令和元年調査は「身に付けた専門的知識をいかせること」

※3番目の選択肢について、令和元年調査は「仕事の内容に多くの選択肢があること」

※9番目選択肢（希望する地域で働けること）は、令和3年度調査から新たに設けたもの

※10番目の選択肢について、令和元年調査は「働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスを実現できること」

エ 法曹等を志望している学生



MA	選択肢	自分の興味・関心のある分野で活躍できること	身に付けたスキルや専門的知識を生かせること	仕事の内容が幅広いこと	社会への貢献度が高いこと	国際的な分野で活躍できること	社会的地位・信用が高いこと	高収入が期待できること	経済的に安定していること	希望する地域で働けること（転勤がないこと）	ワークライフバランスを実現できること	その他	回答者数
令和元年度	回答数	688	636	324	513	138	435	479	447	—	297	10	860
	割合	80.0%	74.0%	37.7%	59.7%	16.0%	50.6%	55.7%	52.0%	—	34.5%	1.2%	—
令和3年度	回答数	755	651	226	476	149	423	489	535	143	298	10	989
	割合	76.3%	65.8%	22.9%	48.1%	15.1%	42.8%	49.4%	54.1%	14.5%	30.1%	1.0%	—
令和4年度	回答数	648	544	174	419	106	371	411	421	120	247	6	853
	割合	76.0%	63.8%	20.4%	49.1%	12.4%	43.5%	48.2%	49.4%	14.1%	29.0%	0.7%	—
令和5年度	回答数	494	392	133	318	81	248	311	358	95	201	5	646
	割合	76.5%	60.7%	20.6%	49.2%	12.5%	38.4%	48.1%	55.4%	14.7%	31.1%	0.8%	—
令和6年度	回答数	652	522	184	427	118	326	435	460	126	240	5	858
	割合	76.0%	60.8%	21.4%	49.8%	13.8%	38.0%	50.7%	53.6%	14.7%	28.0%	0.6%	—

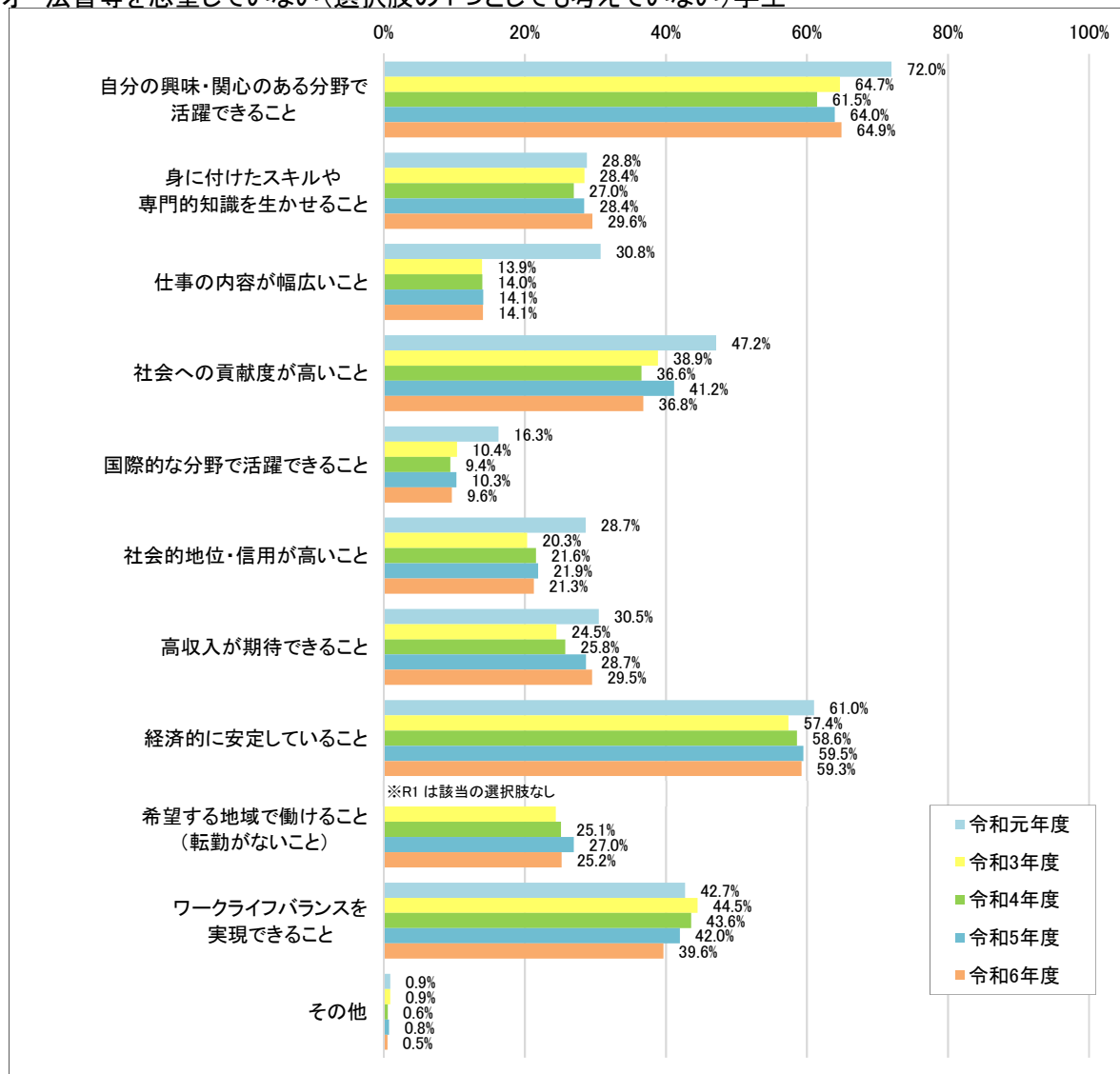
※2番目の選択肢について、令和元年調査は「身に付けた専門的知識をいかせること」

※3番目の選択肢について、令和元年調査は「仕事の内容に多くの選択肢があること」

※9番目選択肢（希望する地域で働けること）は、令和3年度調査から新たに設けたもの

※10番目の選択肢について、令和元年調査は「働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスを実現できること」

オ 法曹等を志望していない(選択肢の1つとしても考えていない)学生



MA	選択肢	自分の興味・関心のある分野で活躍できること	身に付けたスキルや専門的知識を生かせること	仕事の内容が幅広いこと	社会への貢献度が高いこと	国際的な分野で活躍できること	社会的地位・信用が高いこと	高収入が期待できること	経済的に安定していること	希望する地域で働けること(転勤がないこと)	ワークライフバランスを実現できること	その他	回答者数
令和元年度	回答数	3,096	1,238	1,322	2,027	699	1,232	1,312	2,624	—	1,837	40	4,299
	割合	72.0%	28.8%	30.8%	47.2%	16.3%	28.7%	30.5%	61.0%	—	42.7%	0.9%	—
令和3年度	回答数	2,940	1,293	634	1,767	473	924	1,114	2,609	1,109	2,022	42	4,545
	割合	64.7%	28.4%	13.9%	38.9%	10.4%	20.3%	24.5%	57.4%	24.4%	44.5%	0.9%	—
令和4年度	回答数	2,479	1,088	565	1,475	381	871	1,039	2,364	1,014	1,758	23	4,034
	割合	61.5%	27.0%	14.0%	36.6%	9.4%	21.6%	25.8%	58.6%	25.1%	43.6%	0.6%	—
令和5年度	回答数	1,748	777	386	1,125	282	598	784	1,626	737	1,148	21	2,732
	割合	64.0%	28.4%	14.1%	41.2%	10.3%	21.9%	28.7%	59.5%	27.0%	42.0%	0.8%	—
令和6年度	回答数	2,066	942	448	1,172	307	678	940	1,886	803	1,262	17	3,183
	割合	64.9%	29.6%	14.1%	36.8%	9.6%	21.3%	29.5%	59.3%	25.2%	39.6%	0.5%	—

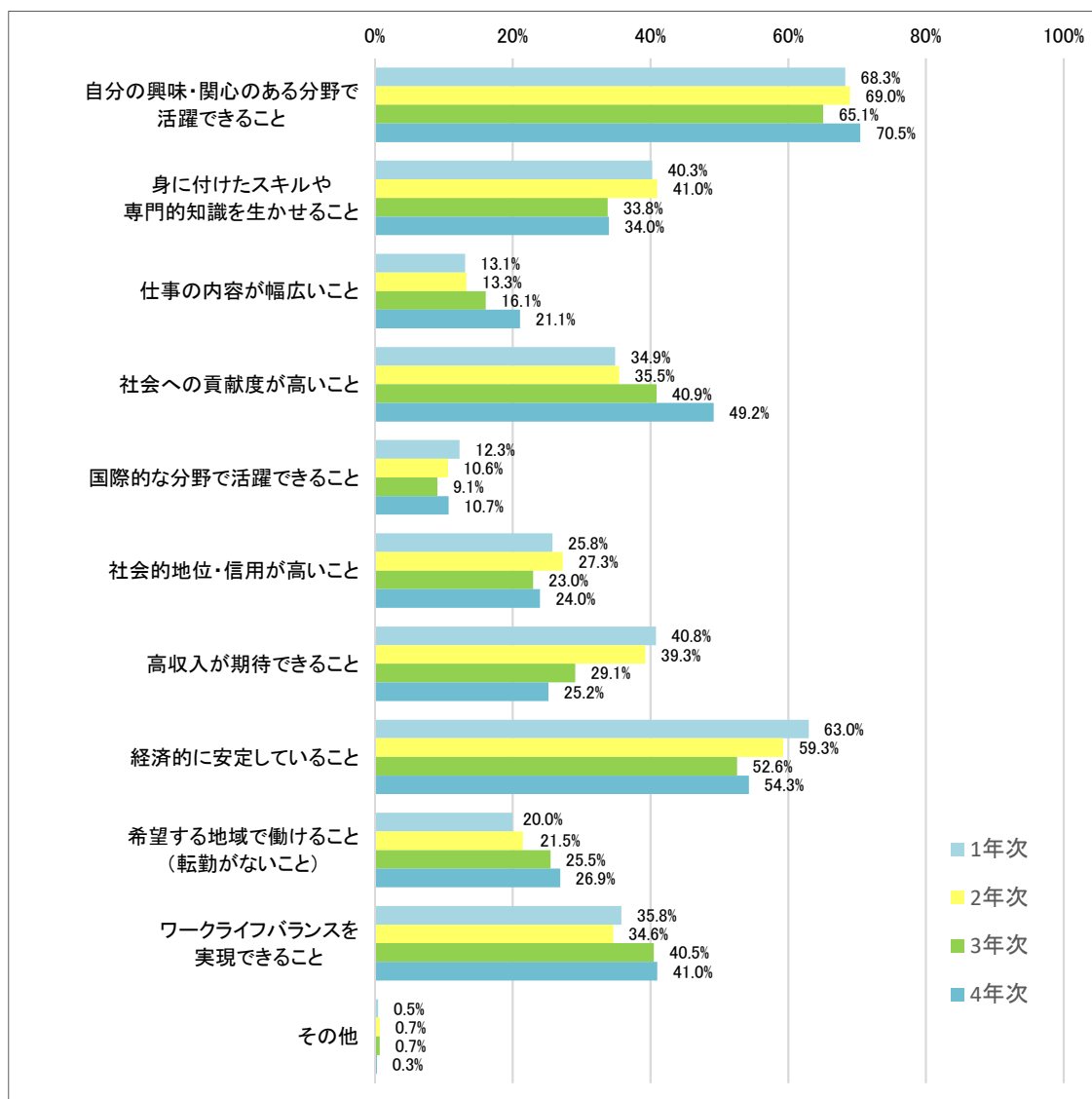
※2番目の選択肢について、令和元年調査は「身に付けた専門的知識をいかせること」

※3番目の選択肢について、令和元年調査は「仕事の内容に多くの選択肢があること」

※9番目選択肢(希望する地域で働けること)は、令和3年度調査から新たに設けたもの

※10番目の選択肢について、令和元年調査は「働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスを実現できること」

カ 在籍学年別



MA	選択肢	自分の興味・関心のある分野で活躍できること	身に付けたスキルや専門的知識を生かせること	仕事の内容が幅広いこと	社会への貢献度が高いこと	国際的な分野で活躍できること	社会的地位・信用が高いこと	高収入が期待できること	経済的に安定していること	希望する地域で働けること（転勤がないこと）	ワークライフバランスを実現できること	その他	回答者数
1年次	回答数	1,327	782	255	678	239	501	792	1,224	388	695	9	1,942
	割合	68.3%	40.3%	13.1%	34.9%	12.3%	25.8%	40.8%	63.0%	20.0%	35.8%	0.5%	-
2年次	回答数	905	537	175	465	139	358	515	777	282	454	9	1,311
	割合	69.0%	41.0%	13.3%	35.5%	10.6%	27.3%	39.3%	59.3%	21.5%	34.6%	0.7%	-
3年次	回答数	679	353	168	427	95	240	304	549	266	422	7	1,043
	割合	65.1%	33.8%	16.1%	40.9%	9.1%	23.0%	29.1%	52.6%	25.5%	40.5%	0.7%	-
4年次	回答数	514	248	154	359	78	175	184	396	196	299	2	729
	割合	70.5%	34.0%	21.1%	49.2%	10.7%	24.0%	25.2%	54.3%	26.9%	41.0%	0.3%	-

第4 法曹等志望の時期・進路・契機、法曹等の魅力等

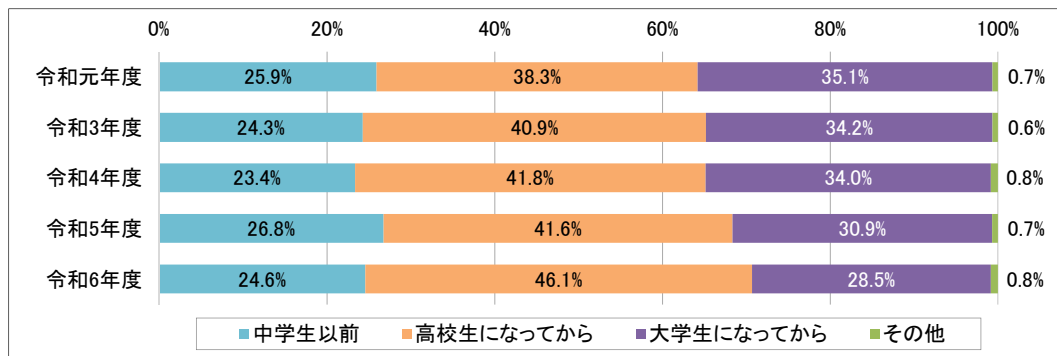
1. 法曹等を志望した時期

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生に法曹等を志望した時期を尋ねた結果、7割以上の学生が高校生以前と回答した。「中学生以前」では令和5年度より減少し、令和4年度とほぼ同様になった。

女性に限って見た場合もほぼ同様の結果であった。

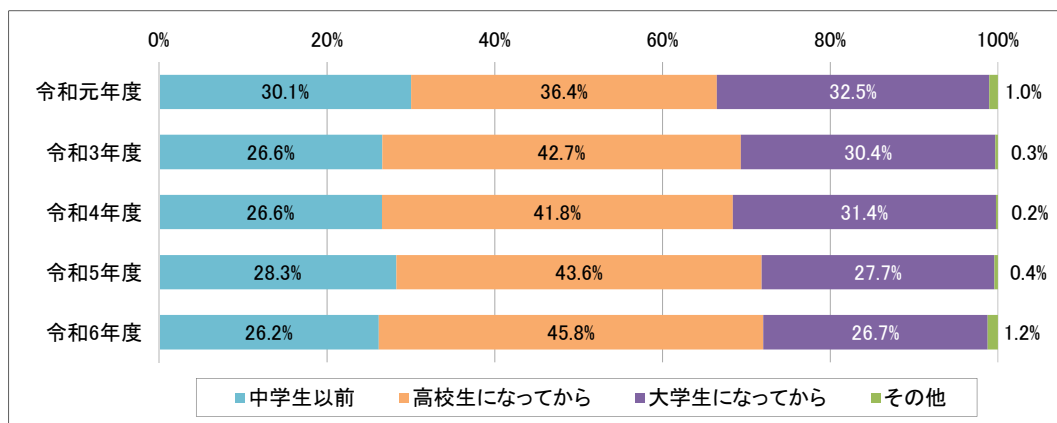
また、過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた学生については、高校生以前に志望した割合が約79%であったところ、その中で「中学生以前」と回答した割合は約29%であり、現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生よりも高い割合であった。女性に限って見た場合は、高校生以前に志望した割合が約82%を占めており、「中学生以前」についても約32%となっている。

ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



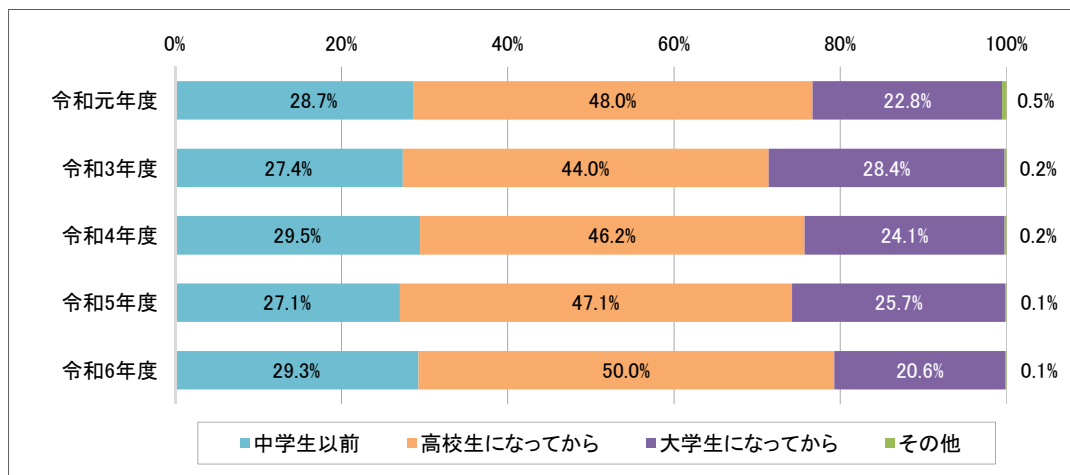
SA	選択肢	中学生以前	高校生になってから	大学生になってから	その他	回答者数
令和元年度	回答数	393	580	532	10	1,515
	割合	25.9%	38.3%	35.1%	0.7%	100.0%
令和3年度	回答数	575	968	808	15	2,366
	割合	24.3%	40.9%	34.2%	0.6%	100.0%
令和4年度	回答数	486	869	708	17	2,080
	割合	23.4%	41.8%	34.0%	0.8%	100.0%
令和5年度	回答数	385	599	445	10	1,439
	割合	26.8%	41.6%	30.9%	0.7%	100.0%
令和6年度	回答数	453	849	525	15	1,842
	割合	24.6%	46.1%	28.5%	0.8%	100.0%

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



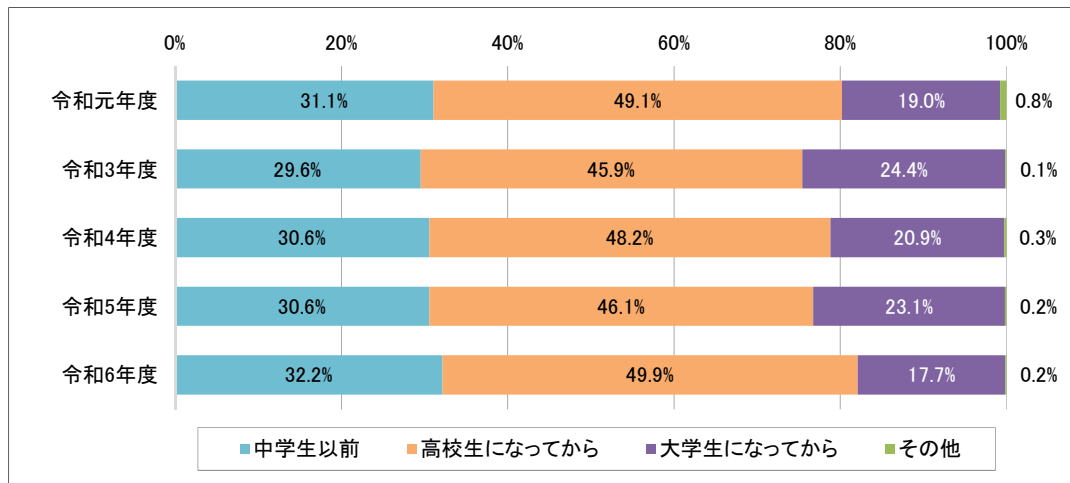
SA	選択肢	中学生以前	高校生になってから	大学生になってから	その他	回答者数
令和元年度	回答数	174	211	188	6	579
	割合	30.1%	36.4%	32.5%	1.0%	100.0%
令和3年度	回答数	271	435	309	3	1,018
	割合	26.6%	42.7%	30.4%	0.3%	100.0%
令和4年度	回答数	255	401	301	2	959
	割合	26.6%	41.8%	31.4%	0.2%	100.0%
令和5年度	回答数	198	305	194	3	700
	割合	28.3%	43.6%	27.7%	0.4%	100.0%
令和6年度	回答数	236	413	241	11	901
	割合	26.2%	45.8%	26.7%	1.2%	100.0%

ウ 過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた学生



SA	選択肢	中学生以前	高校生になってから	大学生になってから	その他	回答者数
令和元年度	回答数	494	825	392	9	1,720
	割合	28.7%	48.0%	22.8%	0.5%	100.0%
令和3年度	回答数	370	594	383	3	1,350
	割合	27.4%	44.0%	28.4%	0.2%	100.0%
令和4年度	回答数	390	611	318	3	1,322
	割合	29.5%	46.2%	24.1%	0.2%	100.0%
令和5年度	回答数	251	437	238	1	927
	割合	27.1%	47.1%	25.7%	0.1%	100.0%
令和6年度	回答数	313	534	220	1	1,068
	割合	29.3%	50.0%	20.6%	0.1%	100.0%

エ 過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた女性



SA	選択肢	中学生以前	高校生になってから	大学生になってから	その他	回答者数
令和元年度	回答数	244	385	149	6	784
	割合	31.1%	49.1%	19.0%	0.8%	100.0%
令和3年度	回答数	212	329	175	1	717
	割合	29.6%	45.9%	24.4%	0.1%	100.0%
令和4年度	回答数	227	358	155	2	742
	割合	30.6%	48.2%	20.9%	0.3%	100.0%
令和5年度	回答数	158	238	119	1	516
	割合	30.6%	46.1%	23.1%	0.2%	100.0%
令和6年度	回答数	207	321	114	1	643
	割合	32.2%	49.9%	17.7%	0.2%	100.0%

2. 法曹等を志望したきっかけ

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生に法曹等を志望したきっかけを尋ねた結果、令和元年度調査以降の全調査において「法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから」との回答割合が最も高く、60%を超えている。続いて、「社会的弱者や困っている人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから」が38%前後、「テレビやドラマ、インターネット(You Tube 等)、書籍等を見て法曹等に憧れを持ったから」が30%前後で推移している。

「テレビやドラマ、インターネット(You Tube 等)、書籍等を見て法曹等に憧れを持ったから」、「周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたり、その姿を見たりして、興味や関心を持ったから」との回答割合は、令和元年度調査以降減少傾向にある。

女性に限って見た場合は「テレビやドラマ、インターネット(You Tube 等)、書籍等を見て法曹等に憧れを持ったから」、「学校等で法曹等の講演を聞いたり出前授業を受けたりするなどして、興味や関心を持ったから」との回答割合は全体と比べてやや高い。

また、過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた学生について見ると、現在志望又は選択肢の1つとして考えている学生に比べて、「テレビやドラマ、インターネット(You Tube 等)、書籍等を見て法曹等に憧れを持ったから」との回答割合が相対的に高い。この傾向は、女性に限って見た場合も同傾向である。

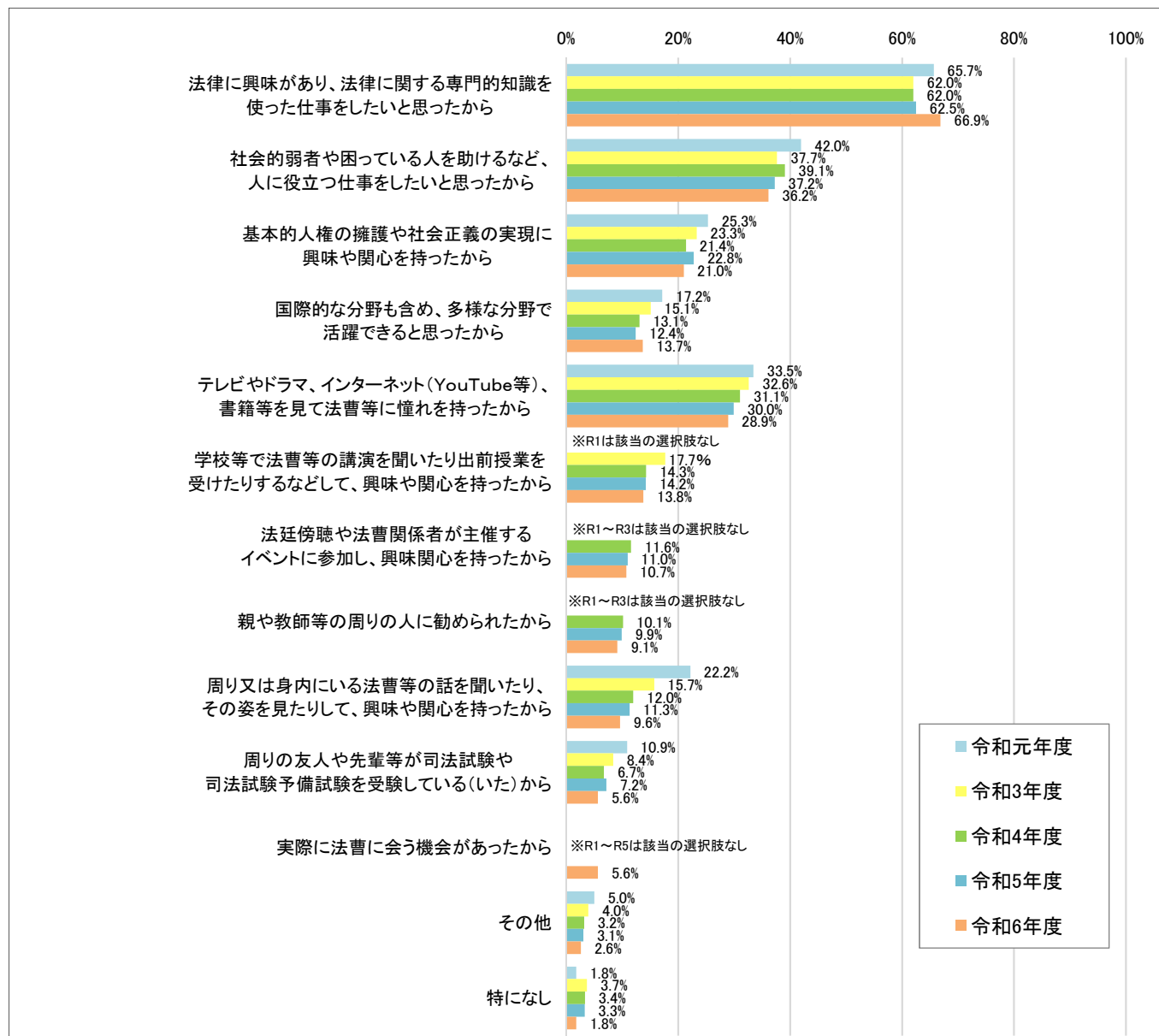
現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹等を志望した時期が中学生以前の学生については、「テレビやドラマ、インターネット(You Tube 等)、書籍等を見て法曹等に憧れを持ったから」との回答割合が相対的に高く、女性に限って見た場合も同様の傾向がみられる。

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹等を志望した時期が高校生になってからの学生については、「周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から」がやや低い。この傾向は、女性に限って見た場合も同様である。

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹等を志望した時期が大学生になってからの学生については、「学校等で法曹等の講演を聞いたり出前授業を受けたりするなどして、興味や関心を持ったから」や「周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から」の回答割合が相対的に高く、「テレビやドラマ、インターネット(You Tube 等)、書籍等を見て法曹等に憧れを持ったから」で低い。この傾向は、女性に限って見た場合も同様である。

なお、「その他」として、令和6年度調査では、「国家資格を持っていると安定した収入が期待できそうだから。また、転職の際にも有利だと思うから」、「興味がある分野(社会系)の中で一番高収入のイメージがあったから」、「親戚が法曹だから」「企業法務や知的財産関連に興味があったから」などの回答があった。

ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



MA	選択肢	法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから	社会的弱者や困っている人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから	基本的人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから	テレビやドラマ、インターネット(YouTube等)、書籍等を見て法曹等に憧れを持ったから	学校等で法曹等の講演を聞いたり出前授業を受けたりするなどして、興味や関心を持ったから	法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベントに参加し、興味関心を持ったから	親や教師等の周りの人に勧められたから	周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたりその姿を見たりして、興味や関心を持ったから	周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から	実際に法曹に会う機会があったから	その他	特になし	回答者数
令和元年度	回答数	995	636	384	260	507	-	-	-	336	165	-	76	27	1,515
令和元年度	割合	65.7%	42.0%	25.3%	17.2%	33.5%	-	-	-	22.2%	10.9%	-	5.0%	1.8%	-
令和3年度	回答数	1,468	891	552	357	772	419	-	-	372	199	-	94	88	2,366
令和3年度	割合	62.0%	37.7%	23.3%	15.1%	32.6%	17.7%	-	-	15.7%	8.4%	-	4.0%	3.7%	-
令和4年度	回答数	1,290	813	445	272	646	297	241	211	249	140	-	67	70	2,080
令和4年度	割合	62.0%	39.1%	21.4%	13.1%	31.1%	14.3%	11.6%	10.1%	12.0%	6.7%	-	3.2%	3.4%	-
令和5年度	回答数	900	536	328	179	431	205	158	143	163	103	-	44	48	1,439
令和5年度	割合	62.5%	37.2%	22.8%	12.4%	30.0%	14.2%	11.0%	9.9%	11.3%	7.2%	-	3.1%	3.3%	-
令和6年度	回答数	1,232	666	387	252	533	254	198	168	177	104	104	48	33	1,842
令和6年度	割合	66.9%	36.2%	21.0%	13.7%	28.9%	13.8%	10.7%	9.1%	9.6%	5.6%	5.6%	2.6%	1.8%	-

※5番目の選択肢について、令和3年度調査までは「テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから」

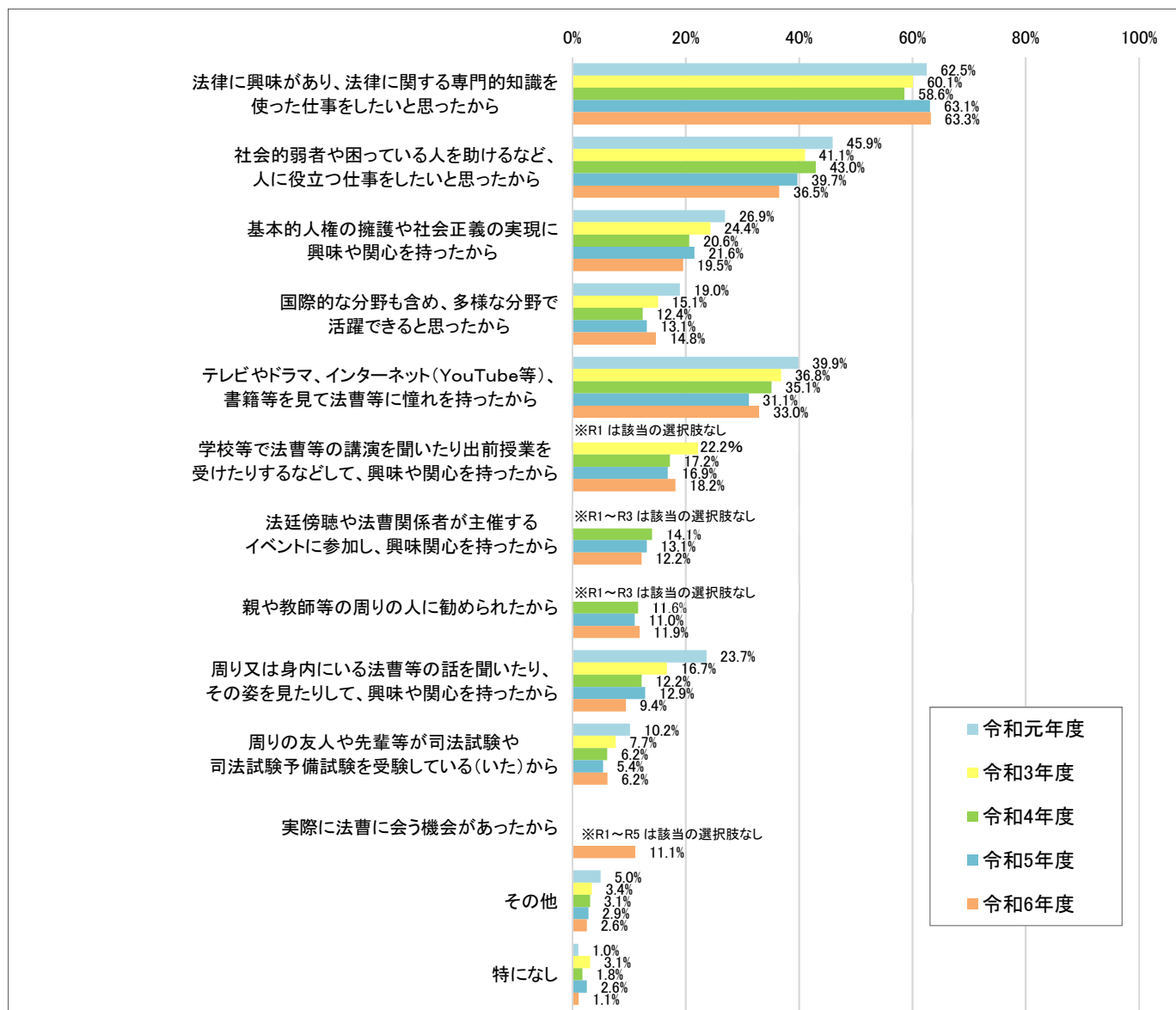
※6番目の選択肢(法曹等の講演や出前授業)は令和3年度調査から新たに設けたもの

※7番目の選択肢(法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベント)は令和4年度調査から新たに設けたもの

※8番目の選択肢(親や教師等の周りの人に勧められた)は令和4年度調査から新たに設けたもの

※11番目の選択肢(実際に法曹に会う機会があったから)は令和6年度調査から新たに設けたもの

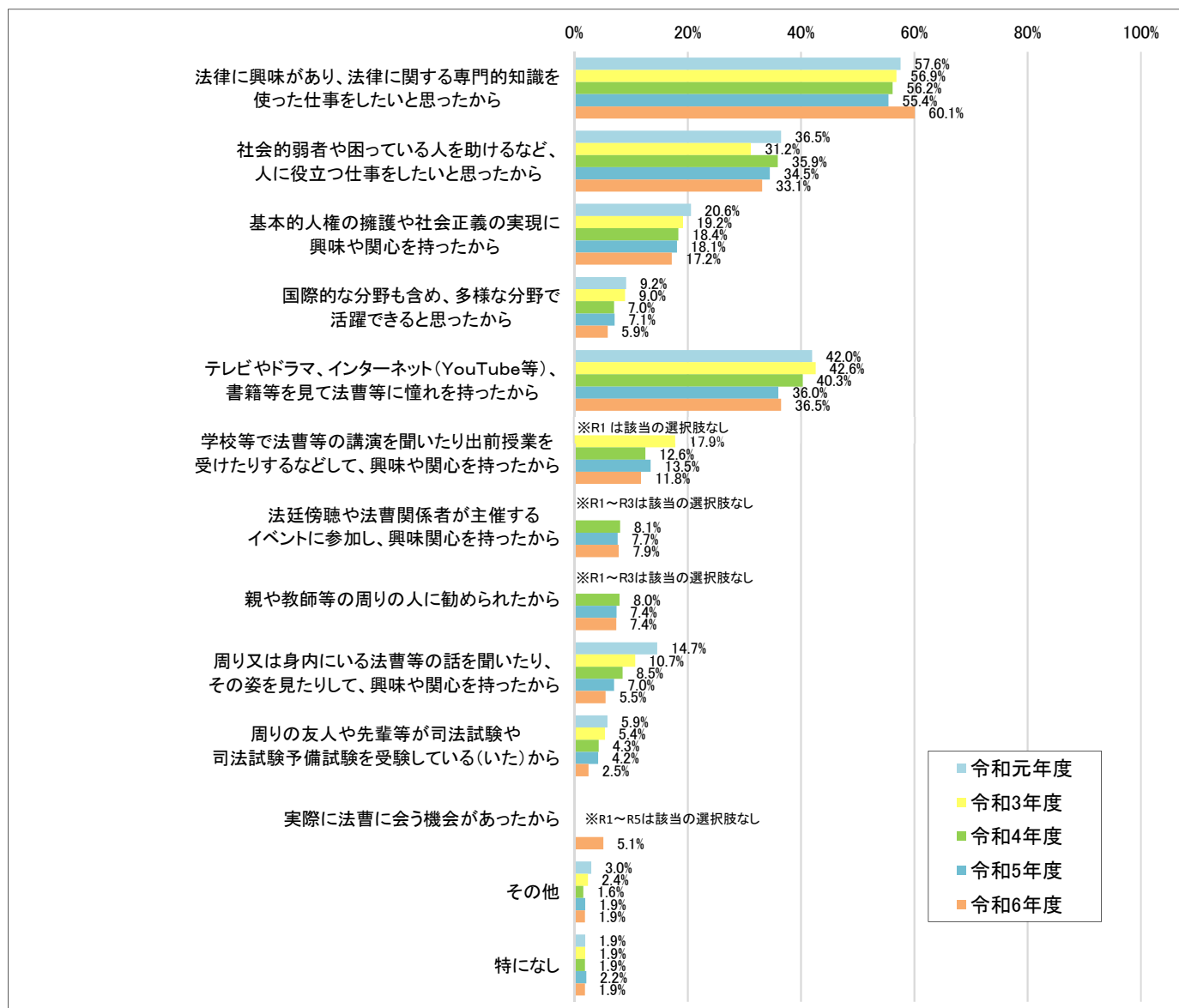
イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



MA	選択肢	法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから	社会的弱者や困っている人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから	基本的人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから	テレビやドラマ、インターネット(YouTube等)、書籍等を見て法曹等に憧れを持ったから	学校等で法曹等の講演を聞いたり出前授業を受けたりするなどして、興味や関心を持ったから	法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベントに参加し、興味関心を持ったから	親や教師等の周りの人に勧められたから	周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたりその姿を見たりして、興味や関心を持ったから	周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から	実際に法曹に会う機会があったから	その他	特になし	回答者数
令和元年度	回答数	362	266	156	110	231	—	—	—	137	59	—	29	6	579
	割合	62.5%	45.9%	26.9%	19.0%	39.9%	—	—	—	23.7%	10.2%	—	5.0%	1.0%	—
令和3年度	回答数	612	418	248	154	375	226	—	—	170	78	—	35	32	1,018
	割合	60.1%	41.1%	24.4%	15.1%	36.8%	22.2%	—	—	16.7%	7.7%	—	3.4%	3.1%	—
令和4年度	回答数	562	412	198	119	337	165	135	111	117	59	—	30	17	959
	割合	58.6%	43.0%	20.6%	12.4%	35.1%	17.2%	14.1%	11.6%	12.2%	6.2%	—	3.1%	1.8%	—
令和5年度	回答数	442	278	151	92	218	118	92	77	90	38	—	20	18	700
	割合	63.1%	39.7%	21.6%	13.1%	31.1%	16.9%	13.1%	11.0%	12.9%	5.4%	—	2.9%	2.6%	—
令和6年度	回答数	570	329	176	133	297	164	110	107	85	56	100	23	10	901
	割合	63.3%	36.5%	19.5%	14.8%	33.0%	18.2%	12.2%	11.9%	9.4%	6.2%	11.1%	2.6%	1.1%	—

※5番目の選択肢について、令和3年度調査までは「テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから」
 ※6番目の選択肢(法曹等の講演や出前授業)は令和3年度調査から新たに設けたもの
 ※7番目の選択肢(法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベント)は令和4年度調査から新たに設けたもの
 ※8番目の選択肢(親や教師等の周りの人に勧められた)は令和4年度調査から新たに設けたもの
 ※11番目の選択肢(実際に法曹に会う機会があったから)は令和6年度調査から新たに設けたもの

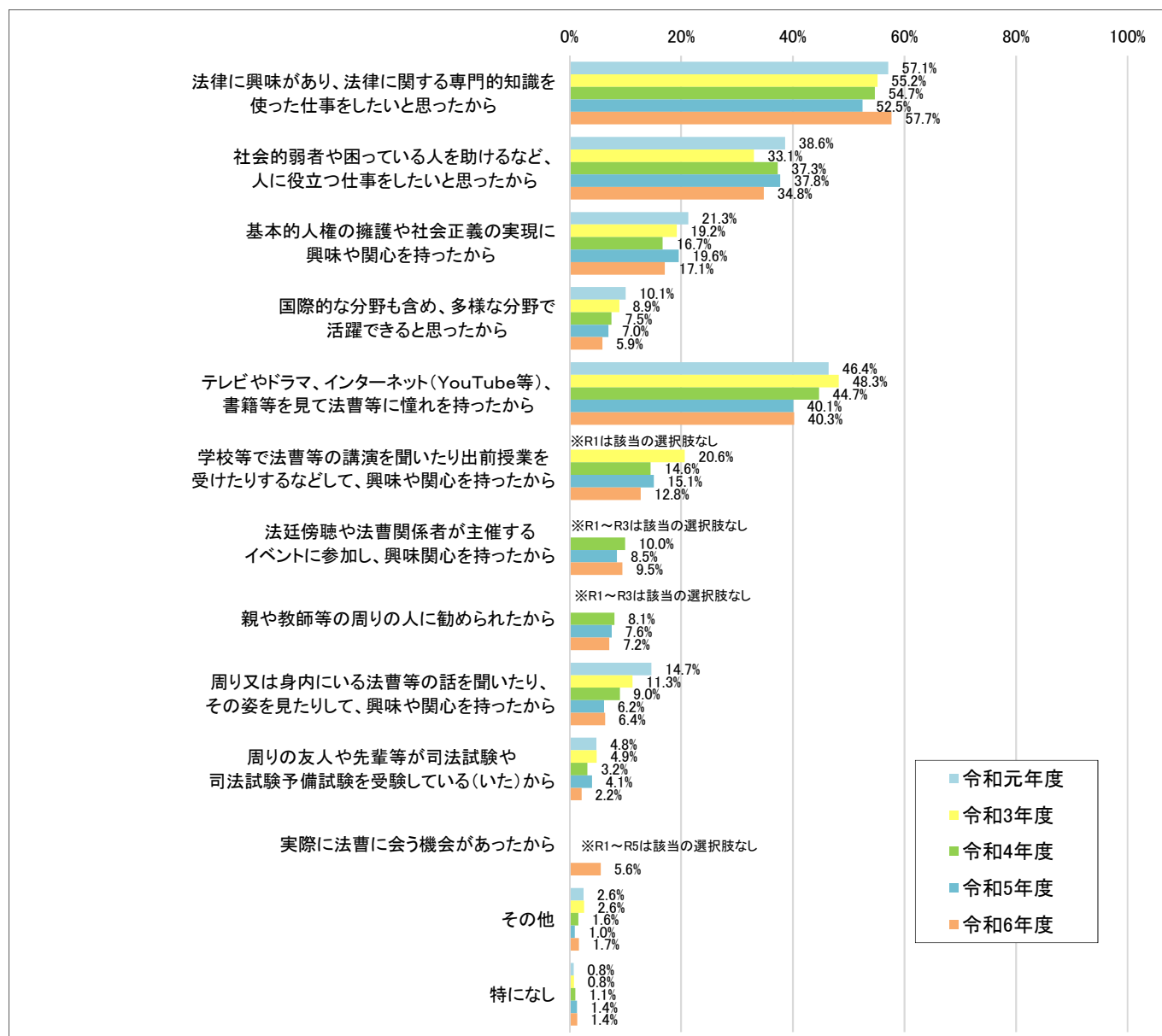
ウ 過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた学生



MA	選択肢	法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから	社会的弱者や困っている人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから	基本的人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから	テレビやドラマ、インターネット(YouTube等)、書籍等を見て法曹等に憧れを持ったから	学校等で法曹等の講演を聞いたり出前授業を受けたりするなどして、興味や関心を持ったから	法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベントに参加し、興味関心を持ったから	親や教師等の周りの人に勧められたから	周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたりその姿を見たりして、興味や関心を持ったから	周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から	実際に法曹に会う機会があったから	その他	特になし	回答者数
令和元年度	回答数	991	628	354	158	722	—	—	—	252	101	—	52	33	1,720
	割合	57.6%	36.5%	20.6%	9.2%	42.0%	—	—	—	14.7%	5.9%	—	3.0%	1.9%	—
令和3年度	回答数	768	421	259	121	575	241	—	—	145	73	—	33	26	1,350
	割合	56.9%	31.2%	19.2%	9.0%	42.6%	17.9%	—	—	10.7%	5.4%	—	2.4%	1.9%	—
令和4年度	回答数	743	475	243	93	533	166	107	106	113	57	—	21	25	1,322
	割合	56.2%	35.9%	18.4%	7.0%	40.3%	12.6%	8.1%	8.0%	8.5%	4.3%	—	1.6%	1.9%	—
令和5年度	回答数	514	320	168	66	334	125	71	69	65	39	—	18	20	927
	割合	55.4%	34.5%	18.1%	7.1%	36.0%	13.5%	7.7%	7.4%	7.0%	4.2%	—	1.9%	2.2%	—
令和6年度	回答数	642	354	184	63	390	126	84	79	59	27	55	20	20	1,068
	割合	60.1%	33.1%	17.2%	5.9%	36.5%	11.8%	7.9%	7.4%	5.5%	2.5%	5.1%	1.9%	1.9%	—

※5番目の選択肢について、令和3年度調査までは「テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから」
 ※6番目の選択肢(法曹等の講演や出前授業)は令和3年度調査から新たに設けたもの
 ※7番目の選択肢(法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベント)は令和4年度調査から新たに設けたもの
 ※8番目の選択肢(親や教師等の周りの人に勧められた)は令和4年度調査から新たに設けたもの
 ※11番目の選択肢(実際に法曹に会う機会があったから)は令和6年度調査から新たに設けたもの

エ 過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた女性



MA	選択肢	法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから	社会的弱者や困っている人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから	基本的人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから	テレビやドラマ、インターネット(YouTube等)、書籍等を見て法曹等に憧れを持ったから	学校等で法曹等の講演を聞いたり出前授業を受けたりするなどして、興味や関心を持ったから	法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベントに参加し、興味関心を持ったから	親や教師等の周りの人に勧められたから	周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたりその姿を見たりして、興味や関心を持ったから	周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から	実際に法曹に会う機会があったから	その他	特になし	回答者数
令和元年度	回答数	448	303	167	79	364	—	—	—	115	38	—	20	6	784
	割合	57.1%	38.6%	21.3%	10.1%	46.4%	—	—	—	14.7%	4.8%	—	2.6%	0.8%	—
令和3年度	回答数	396	237	138	64	346	148	—	—	81	35	—	19	6	717
	割合	55.2%	33.1%	19.2%	8.9%	48.3%	20.6%	—	—	11.3%	4.9%	—	2.6%	0.8%	—
令和4年度	回答数	406	277	124	56	332	108	74	60	67	24	—	12	8	742
	割合	54.7%	37.3%	16.7%	7.5%	44.7%	14.6%	10.0%	8.1%	9.0%	3.2%	—	1.6%	1.1%	—
令和5年度	回答数	271	195	101	36	207	78	44	39	32	21	—	5	7	516
	割合	52.5%	37.8%	19.6%	7.0%	40.1%	15.1%	8.5%	7.6%	6.2%	4.1%	—	1.0%	1.4%	—
令和6年度	回答数	371	224	110	38	259	82	61	46	41	14	36	11	9	643
	割合	57.7%	34.8%	17.1%	5.9%	40.3%	12.8%	9.5%	7.2%	6.4%	2.2%	5.6%	1.7%	1.4%	—

※5番目の選択肢について、令和3年度調査までは「テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから」

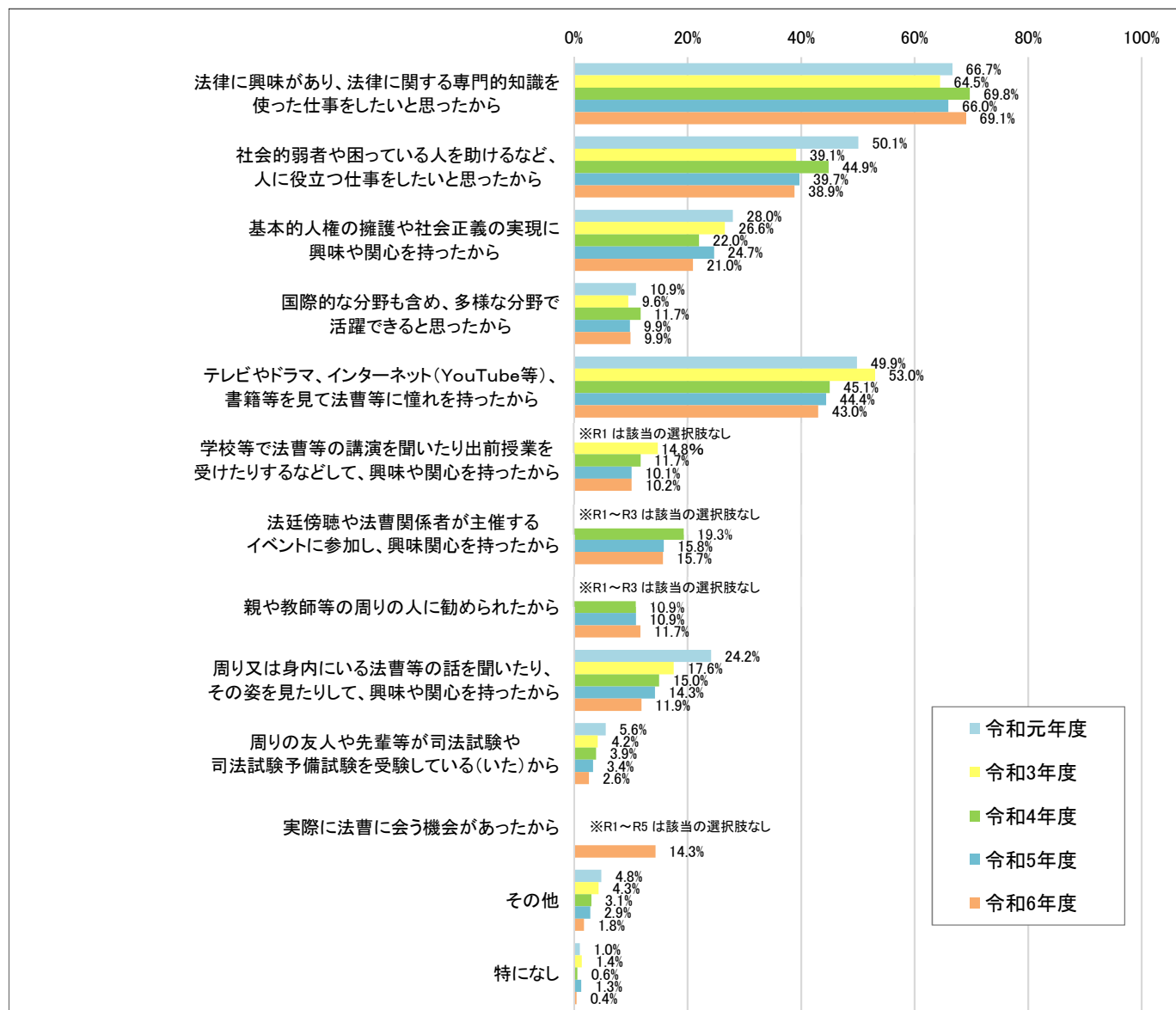
※6番目の選択肢(法曹等の講演や出前授業)は令和3年度調査から新たに設けたもの

※7番目の選択肢(法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベント)は令和4年度調査から新たに設けたもの

※8番目の選択肢(親や教師等の周りの人に勧められた)は令和4年度調査から新たに設けたもの

※11番目の選択肢(実際に法曹に会う機会があったから)は令和6年度調査から新たに設けたもの

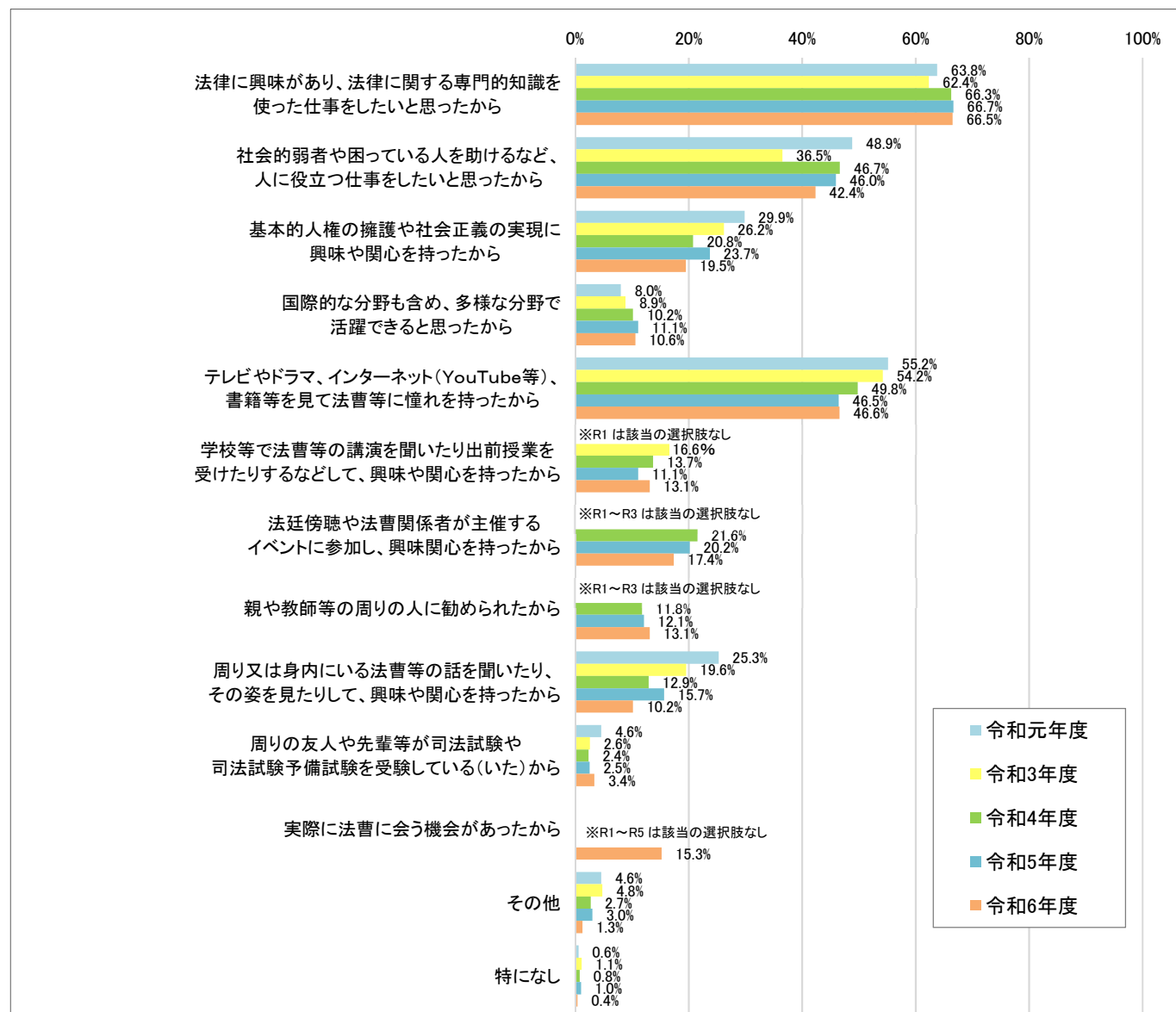
オ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹等を志望した時期が中学生以前の学生



MA	選択肢	法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから	社会的弱者や困っている人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから	基本的人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから	テレビやドラマ、インターネット(YouTube等)、書籍等を見て法曹等に憧れを持ったから	学校等で法曹等の講演を聞いたり出前授業を受けたりするなどして、興味や関心を持ったから	法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベントに参加し、興味関心を持ったから	親や教師等の周りの人に勧められたから	周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたりその姿を見たりして、興味や関心を持ったから	周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から	実際に法曹に会う機会があったから	その他	特になし	回答者数
令和元年度	回答数	262	197	110	43	196	—	—	—	95	22	—	19	4	393
	割合	66.7%	50.1%	28.0%	10.9%	49.9%	—	—	—	24.2%	5.6%	—	4.8%	1.0%	—
令和3年度	回答数	371	225	153	55	305	85	—	—	101	24	—	25	8	575
	割合	64.5%	39.1%	26.6%	9.6%	53.0%	14.8%	—	—	17.6%	4.2%	—	4.3%	1.4%	—
令和4年度	回答数	339	218	107	57	219	57	94	53	73	19	—	15	3	486
	割合	69.8%	44.9%	22.0%	11.7%	45.1%	11.7%	19.3%	10.9%	15.0%	3.9%	—	3.1%	0.6%	—
令和5年度	回答数	254	153	95	38	171	39	61	42	55	13	—	11	5	385
	割合	66.0%	39.7%	24.7%	9.9%	44.4%	10.1%	15.8%	10.9%	14.3%	3.4%	—	2.9%	1.3%	—
令和6年度	回答数	313	176	95	45	195	46	71	53	54	12	65	8	2	453
	割合	69.1%	38.9%	21.0%	9.9%	43.0%	10.2%	15.7%	11.7%	11.9%	2.6%	14.3%	1.8%	0.4%	—

※5番目の選択肢について、令和3年度調査までは「テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから」
 ※6番目の選択肢(法曹等の講演や出前授業)は令和3年度調査から新たに設けたもの
 ※7番目の選択肢(法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベント)は令和4年度調査から新たに設けたもの
 ※8番目の選択肢(親や教師等の周りの人に勧められた)は令和4年度調査から新たに設けたもの
 ※11番目の選択肢(実際に法曹に会う機会があったから)は令和6年度調査から新たに設けたもの

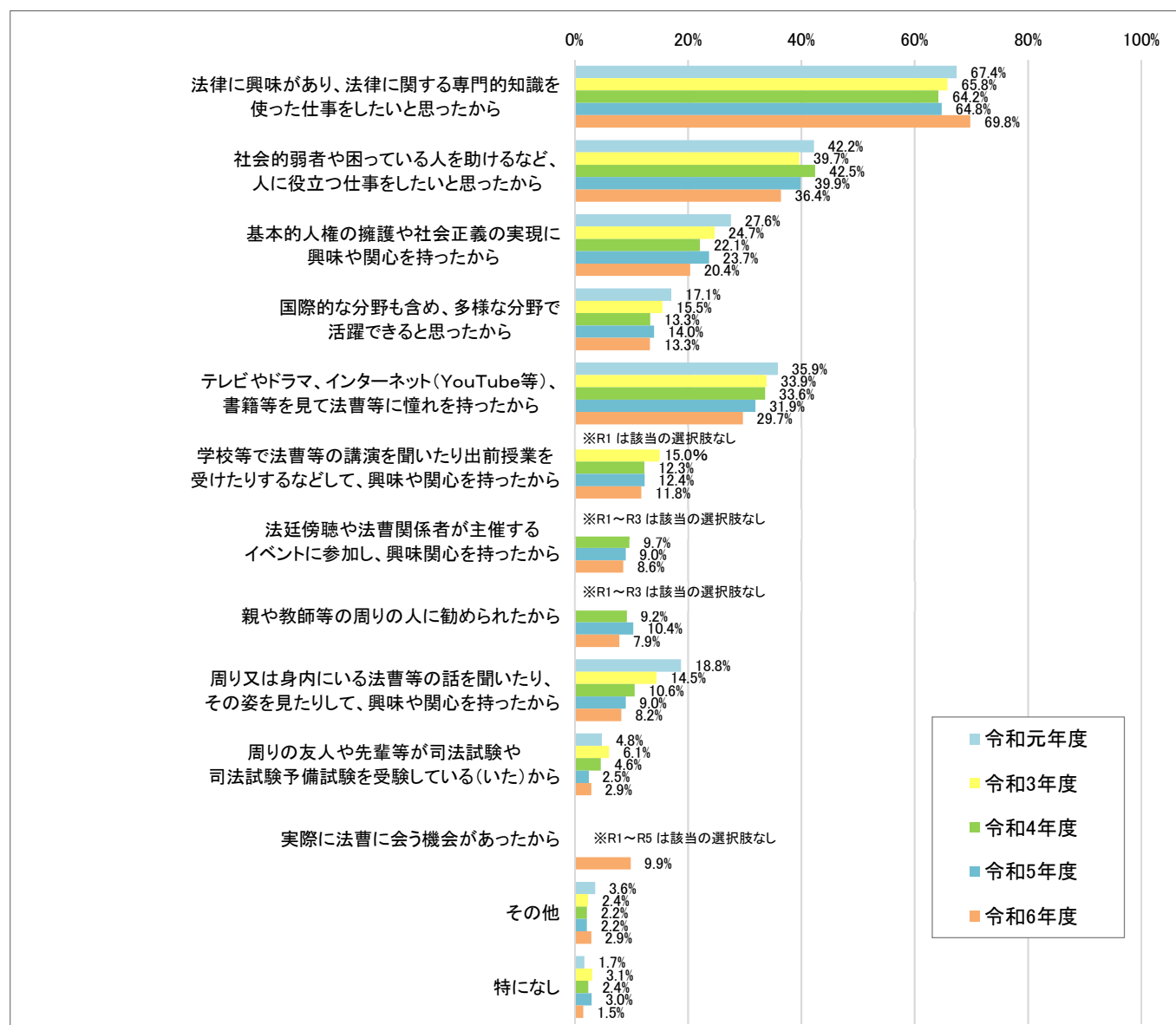
カ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹等を志望した時期が中学生以前の女性



MA	選択肢	法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから	社会的弱者や困っている人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから	基本的人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから	テレビやドラマ、インターネット(YouTube等)、書籍等を見て法曹等に憧れを持ったから	学校等で法曹等の講演を聞いたり出前授業を受けたりするなどして、興味や関心を持ったから	法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベントに参加し、興味関心を持ったから	親や教師等の周りの人に勧められたから	周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたりその姿を見たりして、興味や関心を持ったから	周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から	実際に法曹に会う機会があったから	その他	特になし	回答者数
令和元年度	回答数	111	85	52	14	96	—	—	—	44	8	—	8	1	174
	割合	63.8%	48.9%	29.9%	8.0%	55.2%	—	—	—	25.3%	4.6%	—	4.6%	0.6%	—
令和3年度	回答数	169	99	71	24	147	45	—	—	53	7	—	13	3	271
	割合	62.4%	36.5%	26.2%	8.9%	54.2%	16.6%	—	—	19.6%	2.6%	—	4.8%	1.1%	—
令和4年度	回答数	169	119	53	26	127	35	55	30	33	6	—	7	2	255
	割合	66.3%	46.7%	20.8%	10.2%	49.8%	13.7%	21.6%	11.8%	12.9%	2.4%	—	2.7%	0.8%	—
令和5年度	回答数	132	91	47	22	92	22	40	24	31	5	—	6	2	198
	割合	66.7%	46.0%	23.7%	11.1%	46.5%	11.1%	20.2%	12.1%	15.7%	2.5%	—	3.0%	1.0%	—
令和6年度	回答数	157	100	46	25	110	31	41	31	24	8	36	3	1	236
	割合	66.5%	42.4%	19.5%	10.6%	46.6%	13.1%	17.4%	13.1%	10.2%	3.4%	15.3%	1.3%	0.4%	—

※5番目の選択肢について、令和3年度調査までは「テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから」
 ※6番目の選択肢(法曹等の講演や出前授業)は令和3年度調査から新たに設けたもの
 ※7番目の選択肢(法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベント)は令和4年度調査から新たに設けたもの
 ※8番目の選択肢(親や教師等の周りの人に勧められた)は令和4年度調査から新たに設けたもの
 ※11番目の選択肢(実際に法曹に会う機会があったから)は令和6年度調査から新たに設けたもの

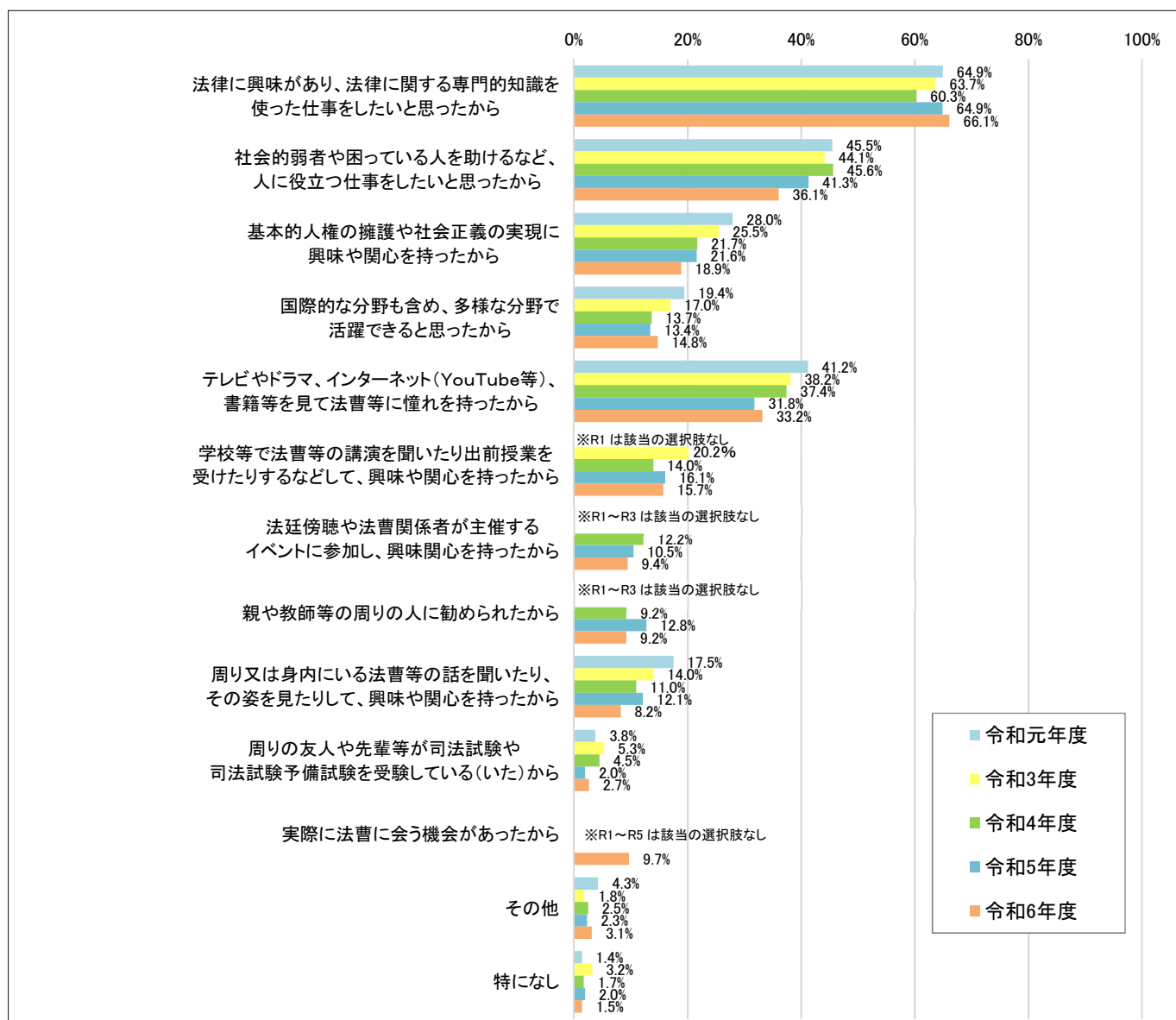
キ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹等を志望した時期が高校生になってからの学生



MA	選択肢	法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから	社会的弱者や困っている人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから	基本的人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから	テレビやドラマ、インターネット(YouTube等)、書籍等を見て法曹等に憧れを持ったから	学校等で法曹等の講演を聞いたり出前授業を受けたりするなどして、興味や関心を持ったから	法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベントに参加し、興味関心を持ったから	親や教師等の周りの人に勧められたから	周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたりその姿を見たりして、興味や関心を持ったから	周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から	実際に法曹に会う機会があったから	その他	特になし	回答者数
令和元年度	回答数	391	245	160	99	208	—	—	—	109	28	—	21	10	580
	割合	67.4%	42.2%	27.6%	17.1%	35.9%	—	—	—	18.8%	4.8%	—	3.6%	1.7%	—
令和3年度	回答数	637	384	239	150	328	145	—	—	140	59	—	23	30	968
	割合	65.8%	39.7%	24.7%	15.5%	33.9%	15.0%	—	—	14.5%	6.1%	—	2.4%	3.1%	—
令和4年度	回答数	558	369	192	116	292	107	84	80	92	40	—	19	21	869
	割合	64.2%	42.5%	22.1%	13.3%	33.6%	12.3%	9.7%	9.2%	10.6%	4.6%	—	2.2%	2.4%	—
令和5年度	回答数	388	239	142	84	191	74	54	62	54	15	—	13	18	599
	割合	64.8%	39.9%	23.7%	14.0%	31.9%	12.4%	9.0%	10.4%	9.0%	2.5%	—	2.2%	3.0%	—
令和6年度	回答数	593	309	173	113	252	100	73	67	70	25	84	25	13	849
	割合	69.8%	36.4%	20.4%	13.3%	29.7%	11.8%	8.6%	7.9%	8.2%	2.9%	9.9%	2.9%	1.5%	—

※5番目の選択肢について、令和3年度調査までは「テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから」
 ※6番目の選択肢(法曹等の講演や出前授業)は令和3年度調査から新たに設けたもの
 ※7番目の選択肢(法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベント)は令和4年度調査から新たに設けたもの
 ※8番目の選択肢(親や教師等の周りの人に勧められた)は令和4年度調査から新たに設けたもの
 ※11番目の選択肢(実際に法曹に会う機会があったから)は令和6年度調査から新たに設けたもの

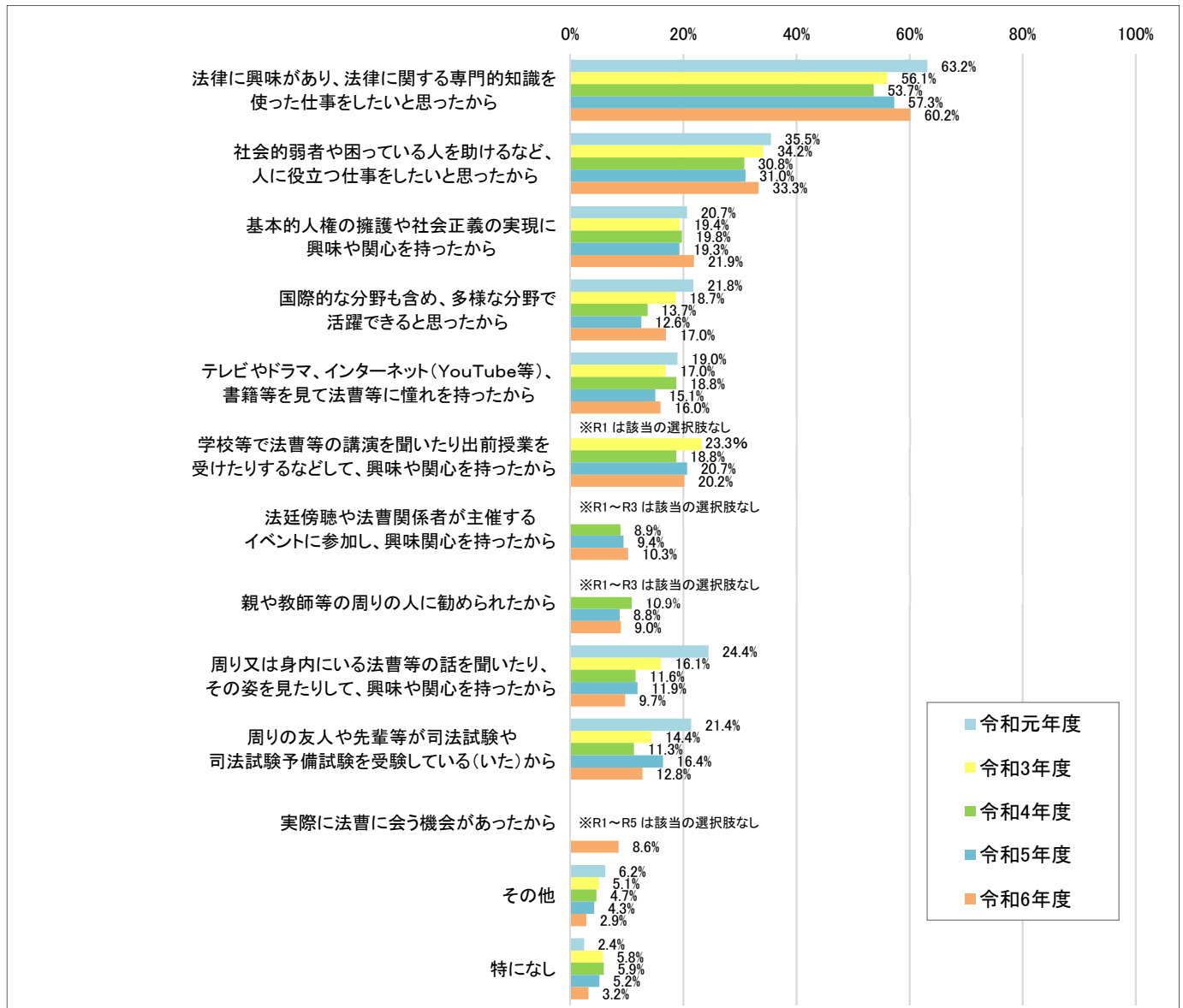
ク 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹等を志望した時期が高校生になってからの女性



MA	選択肢	法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから	社会的弱者や困っている人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから	基本的人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できと思ったから	テレビやドラマ、インターネット(YouTube等)、書籍等を見て法曹等に憧れを持ったから	学校等で法曹等の講演を聞いたり出前授業を受けたりするなどして、興味や関心を持ったから	法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベントに参加し、興味関心を持ったから	親や教師等の周りの人に勧められたから	周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたりその姿を見たりして、興味や関心を持ったから	周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から	実際に法曹に会う機会があったから	その他	特になし	回答者数
令和元年度	回答数	137	96	59	41	87	—	—	—	37	8	—	9	3	211
	割合	64.9%	45.5%	28.0%	19.4%	41.2%	—	—	—	17.5%	3.8%	—	4.3%	1.4%	—
令和3年度	回答数	277	192	111	74	166	88	—	—	61	23	—	8	14	435
	割合	63.7%	44.1%	25.5%	17.0%	38.2%	20.2%	—	—	14.0%	5.3%	—	1.8%	3.2%	—
令和4年度	回答数	242	183	87	55	150	56	49	37	44	18	—	10	7	401
	割合	60.3%	45.6%	21.7%	13.7%	37.4%	14.0%	12.2%	9.2%	11.0%	4.5%	—	2.5%	1.7%	—
令和5年度	回答数	198	126	66	41	97	49	32	39	37	6	—	7	6	305
	割合	64.9%	41.3%	21.6%	13.4%	31.8%	16.1%	10.5%	12.8%	12.1%	2.0%	—	2.3%	2.0%	—
令和6年度	回答数	273	149	78	61	137	65	39	38	34	11	40	12	6	413
	割合	66.1%	36.1%	18.9%	14.8%	33.2%	15.7%	9.4%	9.2%	8.2%	2.7%	9.7%	3.1%	1.5%	—

※5番目の選択肢について、令和3年度調査までは「テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから」
 ※6番目の選択肢(法曹等の講演や出前授業)は令和3年度調査から新たに設けたもの
 ※7番目の選択肢(法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベント)は令和4年度調査から新たに設けたもの
 ※8番目の選択肢(親や教師等の周りの人に勧められた)は令和4年度調査から新たに設けたもの
 ※11番目の選択肢(実際に法曹に会う機会があったから)は令和6年度調査から新たに設けたもの

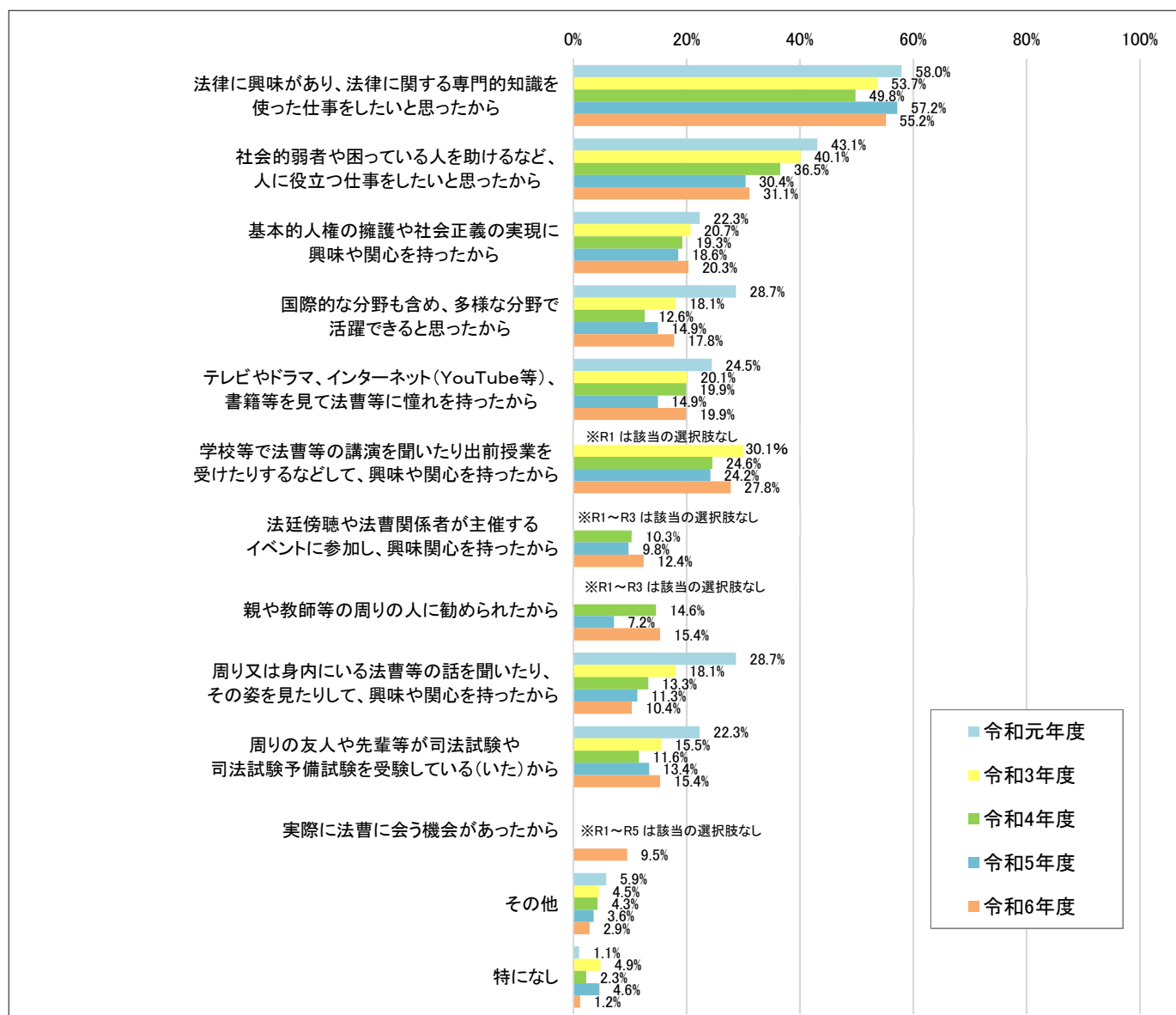
ケ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹等を志望した時期が大学生になってからの学生



MA	選択肢	法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから	社会的弱者や困っている人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから	基本的人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから	テレビやドラマ、インターネット(YouTube等)、書籍等を見て法曹等に憧れを持ったから	学校等で法曹等の講演を聞いたり出前授業を受けたりするなどして、興味や関心を持ったから	法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベントに参加し、興味関心を持ったから	親や教師等の周りの人に勧められたから	周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたりその姿を見たりして、興味や関心を持ったから	周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から	実際に法曹に会う機会があったから	その他	特になし	回答者数
令和元年度	回答数	336	189	110	116	101	—	—	—	130	114	—	33	13	532
	割合	63.2%	35.5%	20.7%	21.8%	19.0%	—	—	—	24.4%	21.4%	—	6.2%	2.4%	—
令和3年度	回答数	453	276	157	151	137	188	—	—	130	116	—	41	47	808
	割合	56.1%	34.2%	19.4%	18.7%	17.0%	23.3%	—	—	16.1%	14.4%	—	5.1%	5.8%	—
令和4年度	回答数	380	218	140	97	133	133	63	77	82	80	—	33	42	708
	割合	53.7%	30.8%	19.8%	13.7%	18.8%	18.8%	8.9%	10.9%	11.6%	11.3%	—	4.7%	5.9%	—
令和5年度	回答数	255	138	86	56	67	92	42	39	53	73	—	19	23	445
	割合	57.3%	31.0%	19.3%	12.6%	15.1%	20.7%	9.4%	8.8%	11.9%	16.4%	—	4.3%	5.2%	—
令和6年度	回答数	316	175	115	89	84	106	54	47	51	67	45	15	17	525
	割合	60.2%	33.3%	21.9%	17.0%	16.0%	20.2%	10.3%	9.0%	9.7%	12.8%	8.6%	2.9%	3.2%	—

※5番目の選択肢について、令和3年度調査までは「テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから」
 ※6番目の選択肢(法曹等の講演や出前授業)は令和3年度調査から新たに設けたもの
 ※7番目の選択肢(法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベント)は令和4年度調査から新たに設けたもの
 ※8番目の選択肢(親や教師等の周りの人に勧められた)は令和4年度調査から新たに設けたもの
 ※11番目の選択肢(実際に法曹に会う機会があったから)は令和6年度調査から新たに設けたもの

コ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹等を志望した時期が大学生になってからの女性



MA	選択肢	法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから	社会的弱者や困っている人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから	基本的な人権の擁護や社会正義の実現に興味を持ったから	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから	テレビやドラマ、インターネット(YouTube等)、書籍等を見て法曹等に憧れたから	学校等で法曹等の講演を聞いたり出前授業を受けたりするなどして、興味や関心を持ったから	法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベントに参加し、興味関心を持ったから	親や教師等の周りの人に勧められたから	周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたりその姿を見たりして、興味や関心を持ったから	周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から	実際に法曹に会う機会があったから	その他	特になし	回答者数	
		令和元年度	回答数	109	81	42	54	46	—	—	—	54	42	—	11	2
令和3年度	割合	58.0%	43.1%	22.3%	28.7%	24.5%	—	—	—	—	28.7%	22.3%	—	5.9%	1.1%	—
	回答数	166	124	64	56	62	93	—	—	—	56	48	—	14	15	309
令和4年度	割合	53.7%	40.1%	20.7%	18.1%	20.1%	30.1%	—	—	—	18.1%	15.5%	—	4.5%	4.9%	—
	回答数	150	110	58	38	60	74	31	44	40	35	—	13	7	301	
令和5年度	割合	49.8%	36.5%	19.3%	12.6%	19.9%	24.6%	10.3%	14.6%	13.3%	11.6%	—	4.3%	2.3%	—	
	回答数	111	59	36	29	29	47	19	14	22	26	—	7	9	194	
令和6年度	割合	57.2%	30.4%	18.6%	14.9%	14.9%	24.2%	9.8%	7.2%	11.3%	13.4%	—	3.6%	4.6%	—	
	回答数	133	75	49	43	48	67	30	37	25	37	23	7	3	241	
	割合	55.2%	31.1%	20.3%	17.8%	19.9%	27.8%	12.4%	15.4%	10.4%	15.4%	9.5%	2.9%	1.2%	—	

※5番目の選択肢について、令和3年度調査までは「テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから」
 ※6番目の選択肢（法曹等の講演や出前授業）は令和3年度調査から新たに設けたもの
 ※7番目の選択肢（法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベント）は令和4年度調査から新たに設けたもの
 ※8番目の選択肢（親や教師等の周りの人に勧められた）は令和4年度調査から新たに設けたもの
 ※11番目の選択肢（実際に法曹に会う機会があったから）は令和6年度調査から新たに設けたもの

3. 法曹等の魅力

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生に、法曹等の仕事のどんなところに魅力を感じるかを尋ねた結果、令和元年度以降の全調査において、「法律に関する専門的知識を使った仕事ができる」との回答割合が最も高い。ただし令和元年度の70%台と比較すると低くなっている。次いで、「社会的弱者や困っている人を助けることができる」と、「社会的地位・信用が高いところ」、「高収入が期待できる」との順となっている。

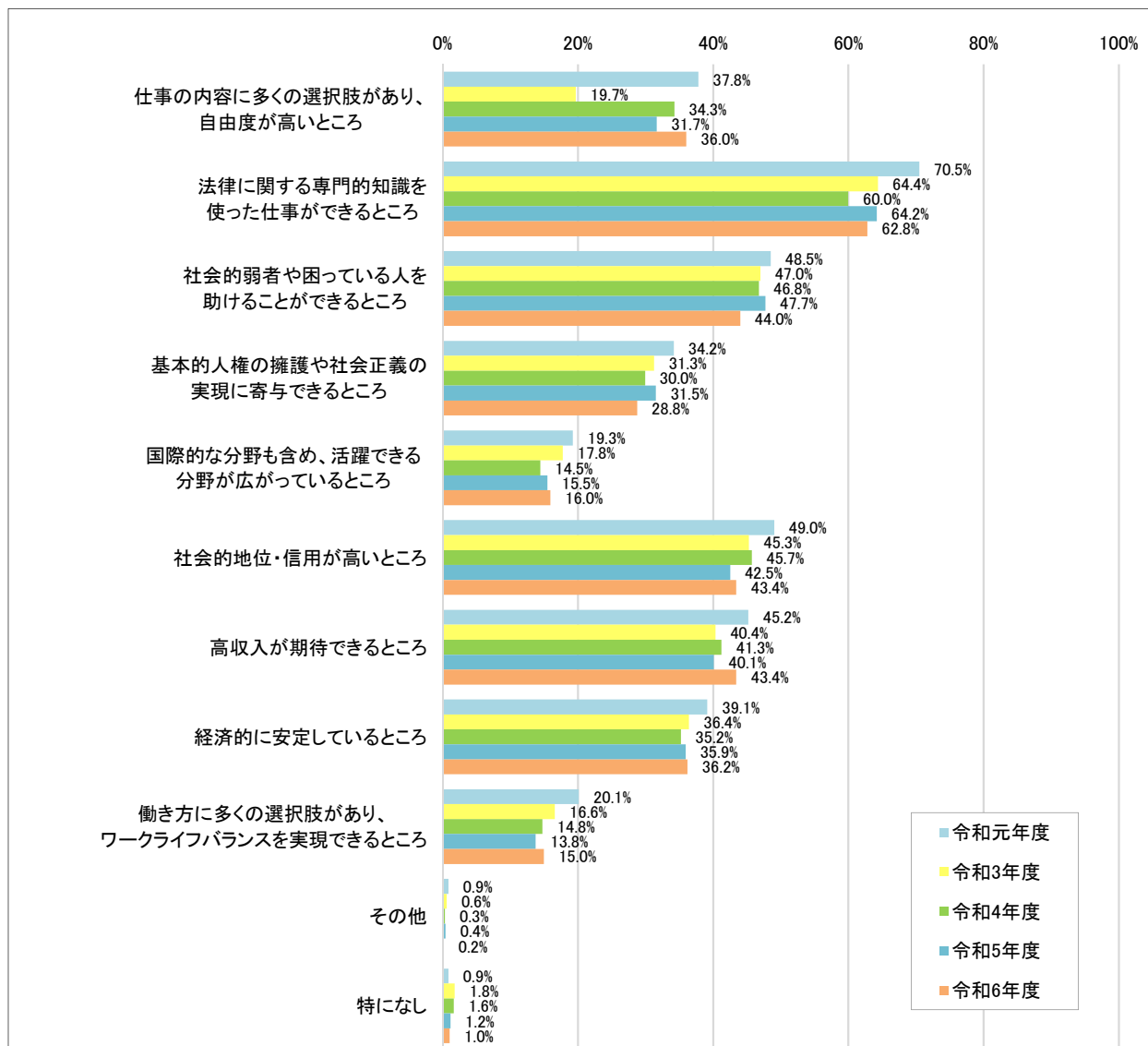
「社会的地位・信用が高いところ」、「高収入が期待できる」と、「働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスを実現できる」とは一定の変動があり、令和6年度にやや増加している。

女性に限って見た場合も同様の傾向が見られた。

また、過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた学生についてみると、令和6年度調査においては、現在志望又は選択肢の1つとして考えている学生に比して、「仕事の内容に多くの選択肢があり、自由度が高いところ」、「経済的に安定しているところ」との回答割合が10%以上低い。この傾向は、女性に限って見た場合も同様である。

なお、「その他」として、令和6年度調査では、「法律知識で自分自身を守ることができる」、「自分の興味があるから」などの回答があった。

ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生

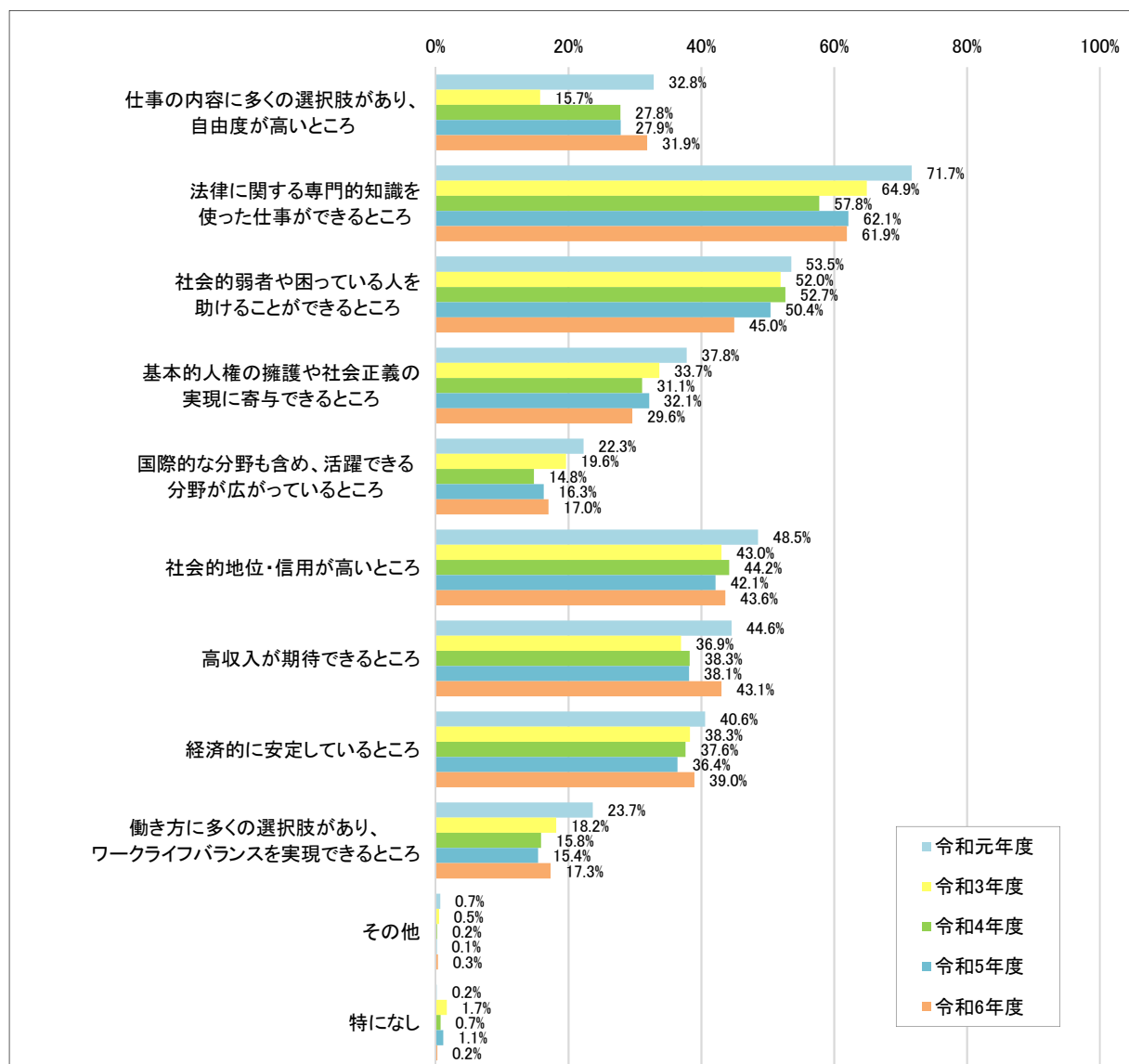


MA	選択肢	仕事の内容に多くの選択肢があり、自由度が高いところ	法律に関する専門的知識を使った仕事ができるところ	社会的弱者や困っている人を助けることができるところ	基本的人権の擁護や社会正義の実現に寄与できるところ	国際的な分野も含め、活躍できる分野が広がっているところ	社会的地位・信用が高いところ	高収入が期待できるところ	経済的に安定しているところ	働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスを実現できるところ	その他	特になし	回答者数
令和元年度	回答数	573	1,068	735	518	292	743	685	593	305	13	13	1,515
	割合	37.8%	70.5%	48.5%	34.2%	19.3%	49.0%	45.2%	39.1%	20.1%	0.9%	0.9%	-
令和3年度	回答数	466	1,523	1,112	740	421	1,072	955	862	393	14	42	2,366
	割合	19.7%	64.4%	47.0%	31.3%	17.8%	45.3%	40.4%	36.4%	16.6%	0.6%	1.8%	-
令和4年度	回答数	713	1,248	973	623	301	951	858	733	307	7	34	2,080
	割合	34.3%	60.0%	46.8%	30.0%	14.5%	45.7%	41.3%	35.2%	14.8%	0.3%	1.6%	-
令和5年度	回答数	456	924	687	454	223	612	577	517	198	6	17	1,439
	割合	31.7%	64.2%	47.7%	31.5%	15.5%	42.5%	40.1%	35.9%	13.8%	0.4%	1.2%	-
令和6年度	回答数	664	1,157	811	530	294	800	800	667	276	3	19	1,842
	割合	36.0%	62.8%	44.0%	28.8%	16.0%	43.4%	43.4%	36.2%	15.0%	0.2%	1.0%	-

※1番目の選択肢について、令和3年度調査までは「仕事の内容を自由に選べるところ」

※9番目の選択肢について、令和3年度調査までは「自分に合った働き方を選択することが可能でありワークライフバランスを実現できるところ」

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性

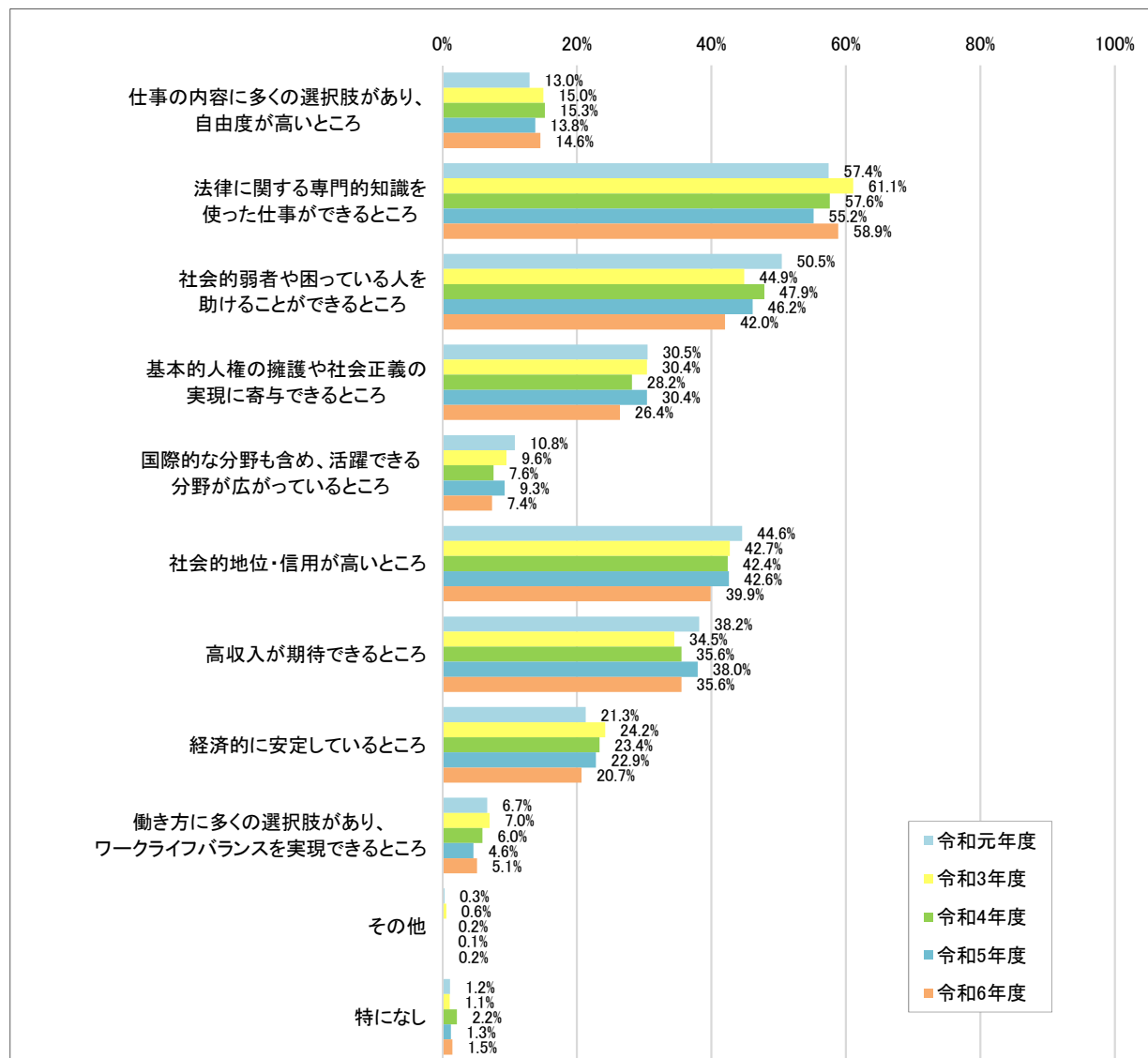


MA	選択肢	仕事の内容に多くの選択肢があり、自由度が高いところ	法律に関する専門的知識を使った仕事ができるところ	社会的弱者や困っている人を助けることができるところ	基本的人権の擁護や社会正義の実現に寄与できるところ	国際的な分野も含め、活躍できる分野が広がっているところ	社会的地位・信用が高いところ	高収入が期待できるところ	経済的に安定しているところ	働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスを実現できるところ	その他	特になし	回答者数
令和元年度	回答数	190	415	310	219	129	281	258	235	137	4	1	579
	割合	32.8%	71.7%	53.5%	37.8%	22.3%	48.5%	44.6%	40.6%	23.7%	0.7%	0.2%	-
令和3年度	回答数	160	661	529	343	200	438	376	390	185	5	17	1,018
	割合	15.7%	64.9%	52.0%	33.7%	19.6%	43.0%	36.9%	38.3%	18.2%	0.5%	1.7%	-
令和4年度	回答数	267	554	505	298	142	424	367	361	152	2	7	959
	割合	27.8%	57.8%	52.7%	31.1%	14.8%	44.2%	38.3%	37.6%	15.8%	0.2%	0.7%	-
令和5年度	回答数	195	435	353	225	114	295	267	255	108	1	8	700
	割合	27.9%	62.1%	50.4%	32.1%	16.3%	42.1%	38.1%	36.4%	15.4%	0.1%	1.1%	-
令和6年度	回答数	287	558	405	267	153	393	388	351	156	3	2	901
	割合	31.9%	61.9%	45.0%	29.6%	17.0%	43.6%	43.1%	39.0%	17.3%	0.3%	0.2%	-

※1番目の選択肢について、令和3年度調査までは「仕事の内容を自由に選べるところ」

※9番目の選択肢について、令和3年度調査までは「自分に合った働き方を選択することが可能でありワークライフバランスを実現できるところ」

ウ 過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた学生

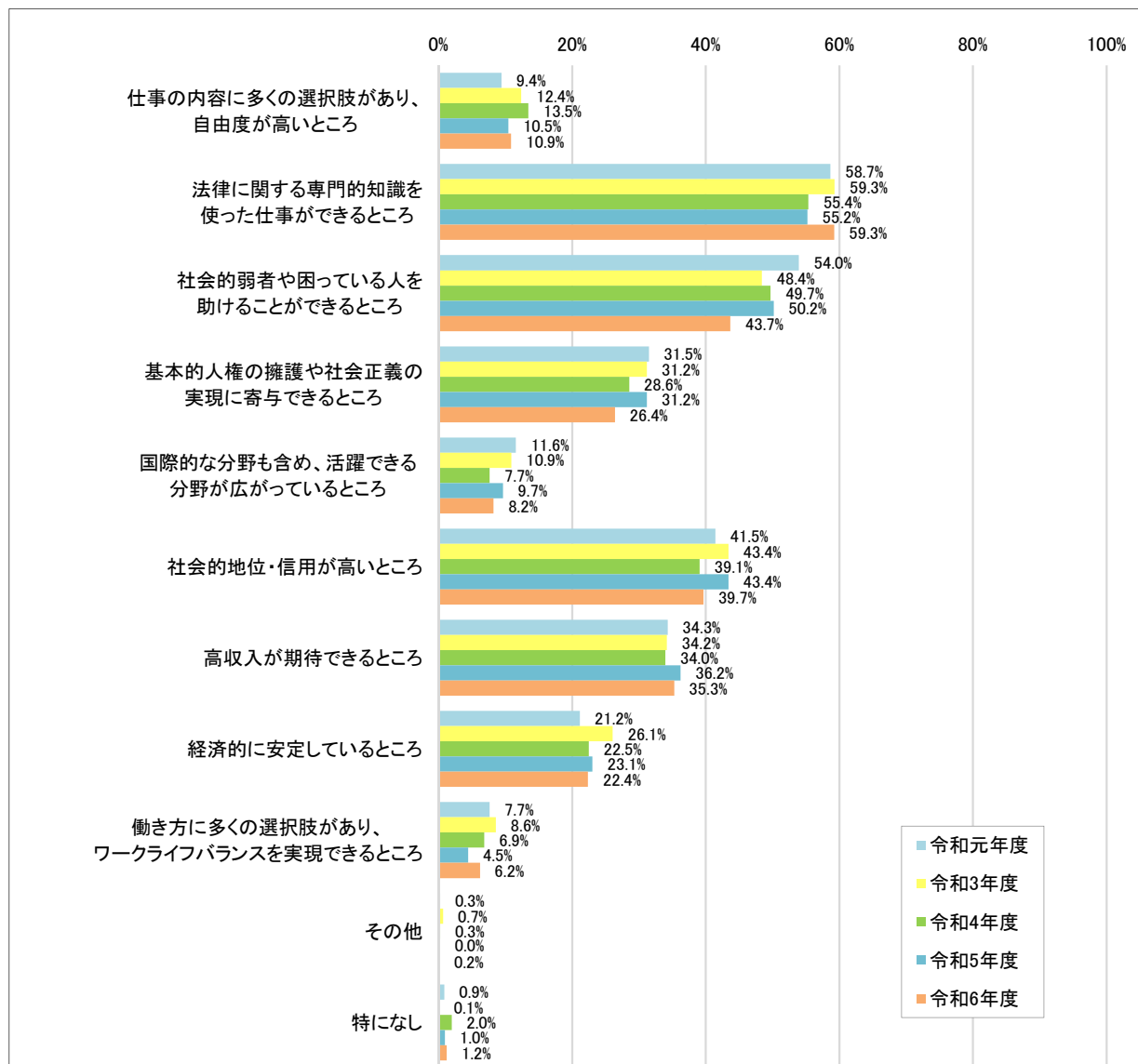


MA	選択肢	仕事の内容に多くの選択肢があり、自由度が高いところ	法律に関する専門的知識を使った仕事ができるところ	社会的弱者や困っている人を助けることができるところ	基本的人権の擁護や社会正義の実現に寄与できるところ	国際的な分野も含め、活躍できる分野が広がっているところ	社会的地位・信用が高いところ	高収入が期待できるところ	経済的に安定しているところ	働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスを実現できるところ	その他	特になし	回答者数
令和元年度	回答数	223	988	868	525	186	767	657	367	115	6	20	1,720
	割合	13.0%	57.4%	50.5%	30.5%	10.8%	44.6%	38.2%	21.3%	6.7%	0.3%	1.2%	-
令和3年度	回答数	203	825	606	411	129	577	466	327	95	8	15	1,350
	割合	15.0%	61.1%	44.9%	30.4%	9.6%	42.7%	34.5%	24.2%	7.0%	0.6%	1.1%	-
令和4年度	回答数	202	762	633	373	101	561	470	309	79	2	29	1,322
	割合	15.3%	57.6%	47.9%	28.2%	7.6%	42.4%	35.6%	23.4%	6.0%	0.2%	2.2%	-
令和5年度	回答数	128	512	428	282	86	395	352	212	43	1	12	927
	割合	13.8%	55.2%	46.2%	30.4%	9.3%	42.6%	38.0%	22.9%	4.6%	0.1%	1.3%	-
令和6年度	回答数	156	629	449	282	79	426	380	221	55	2	16	1,068
	割合	14.6%	58.9%	42.0%	26.4%	7.4%	39.9%	35.6%	20.7%	5.1%	0.2%	1.5%	-

※1番目の選択肢について、令和3年度調査までは「仕事の内容を自由に選べるところ」

※9番目の選択肢について、令和3年度調査までは「自分に合った働き方を選択することが可能でありワークライフバランスを実現できるところ」

エ 過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた女性



MA	選択肢	仕事の内容に多くの選択肢があり、自由度が高いところ	法律に関する専門的知識を使った仕事ができるところ	社会的弱者や困っている人を助けることができるところ	基本的人権の擁護や社会正義の実現に寄与できるところ	国際的な分野も含め、活躍できる分野が広がっているところ	社会的地位・信用が高いところ	高収入が期待できるところ	経済的に安定しているところ	働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスを実現できるところ	その他	特になし	回答者数
令和元年度	回答数	74	460	423	247	91	325	269	166	60	2	7	784
	割合	9.4%	58.7%	54.0%	31.5%	11.6%	41.5%	34.3%	21.2%	7.7%	0.3%	0.9%	-
令和3年度	回答数	89	425	347	224	78	311	245	187	62	5	1	717
	割合	12.4%	59.3%	48.4%	31.2%	10.9%	43.4%	34.2%	26.1%	8.6%	0.7%	0.1%	-
令和4年度	回答数	100	411	369	212	57	290	252	167	51	2	15	742
	割合	13.5%	55.4%	49.7%	28.6%	7.7%	39.1%	34.0%	22.5%	6.9%	0.3%	2.0%	-
令和5年度	回答数	54	285	259	161	50	224	187	119	23	0	5	516
	割合	10.5%	55.2%	50.2%	31.2%	9.7%	43.4%	36.2%	23.1%	4.5%	0.0%	1.0%	-
令和6年度	回答数	70	381	281	170	53	255	227	144	40	1	8	643
	割合	10.9%	59.3%	43.7%	26.4%	8.2%	39.7%	35.3%	22.4%	6.2%	0.2%	1.2%	-

※1番目の選択肢について、令和3年度調査までは「仕事の内容を自由に選べるところ」

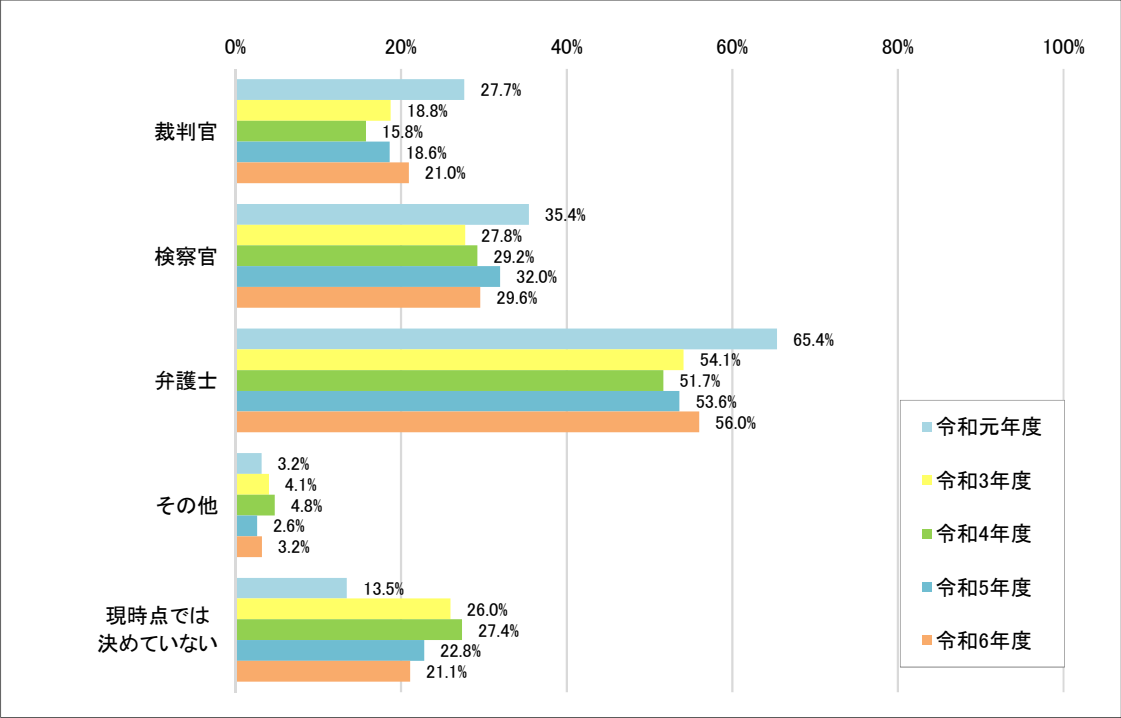
※9番目の選択肢について、令和3年度調査までは「自分に合った働き方を選択することが可能でありワークライフバランスを実現できるところ」

4. 法曹等としての進路

現在、法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生に、法曹等としてどのような進路を考えているかを尋ねた結果、令和元年度以降の全調査では、「弁護士」との回答割合が最も高く、過半数を占めているが、令和元年度の60%台と比較すると低くなっている。次いで「検察官」、「裁判官」の順となった。また、「現時点では決めていない」(令和3年度調査は「まだ決めていない」)の割合はやや低下した。

女性に限って見た場合も、全体と比べて顕著な違いは見られない。

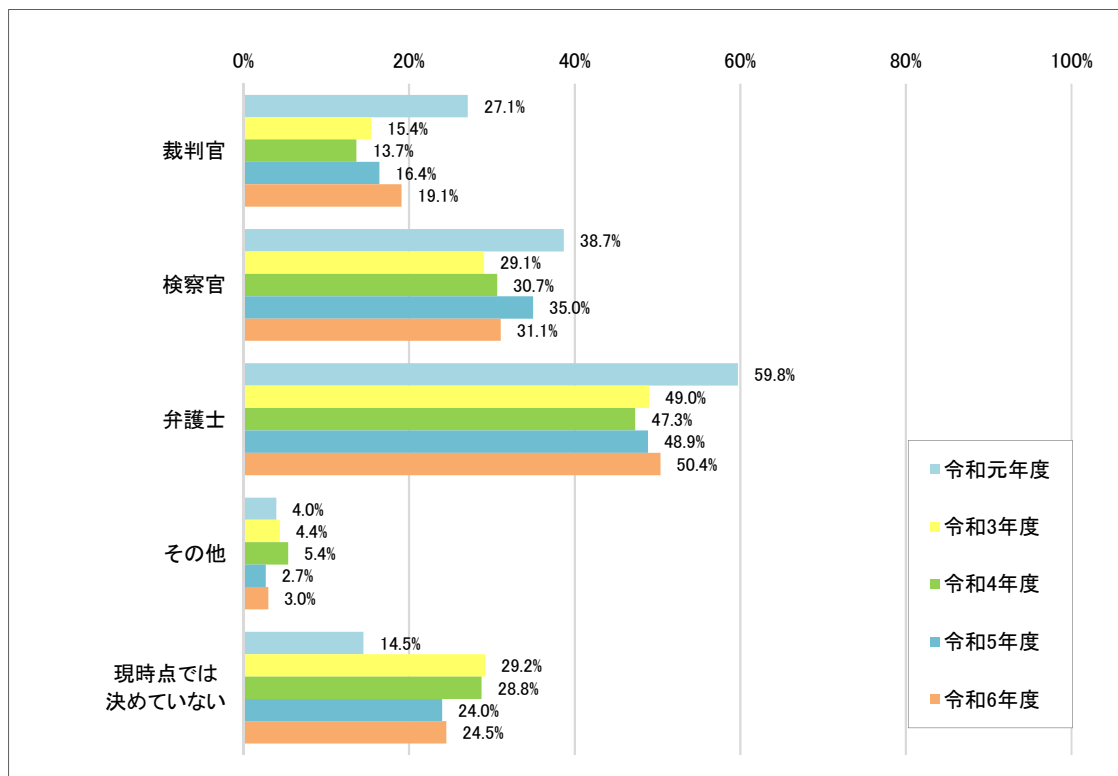
ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



MA	選択肢	裁判官	検察官	弁護士	その他	現時点では決めていない	回答者数
令和元年度	回答数	419	537	991	48	204	1,515
	割合	27.7%	35.4%	65.4%	3.2%	13.5%	—
令和3年度	回答数	444	657	1,281	96	615	2,366
	割合	18.8%	27.8%	54.1%	4.1%	26.0%	—
令和4年度	回答数	328	608	1,075	99	569	2,080
	割合	15.8%	29.2%	51.7%	4.8%	27.4%	—
令和5年度	回答数	268	460	772	38	328	1,439
	割合	18.6%	32.0%	53.6%	2.6%	22.8%	—
令和6年度	回答数	386	545	1,032	59	389	1,842
	割合	21.0%	29.6%	56.0%	3.2%	21.1%	—

※5番目の選択肢について、令和3年度調査までは「まだ決めていない」

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



MA	選択肢	裁判官	検察官	弁護士	その他	現時点では決めていない	回答者数
令和元年度	回答数	157	224	346	23	84	579
	割合	27.1%	38.7%	59.8%	4.0%	14.5%	—
令和3年度	回答数	157	296	499	45	297	1,018
	割合	15.4%	29.1%	49.0%	4.4%	29.2%	—
令和4年度	回答数	131	294	454	52	276	959
	割合	13.7%	30.7%	47.3%	5.4%	28.8%	—
令和5年度	回答数	115	245	342	19	168	700
	割合	16.4%	35.0%	48.9%	2.7%	24.0%	—
令和6年度	回答数	172	280	454	27	221	901
	割合	19.1%	31.1%	50.4%	3.0%	24.5%	—

※5番目の選択肢について、令和3年度調査までは「まだ決めていない」

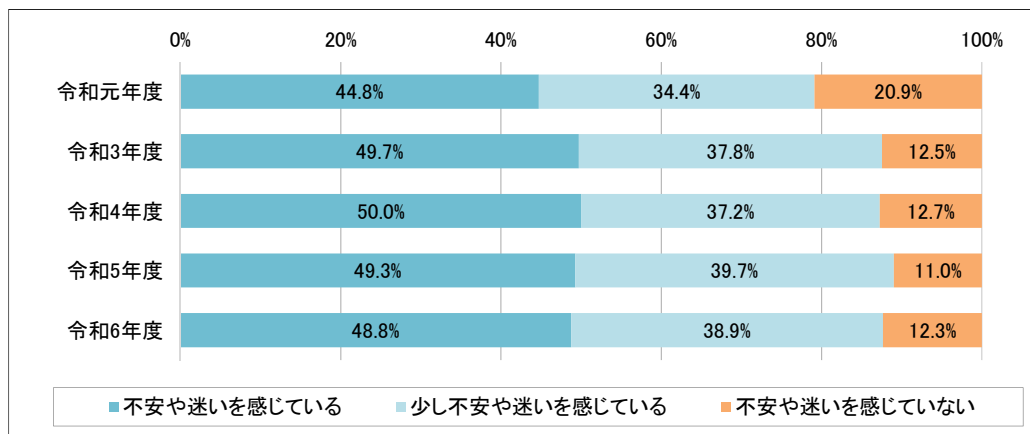
第5 法曹等を志望するに当たっての不安や迷い、法曹等を断念した理由等

1. 法曹等を志望するに当たっての不安や迷いの有無

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生に、法曹等を志望するに当たって不安や迷いを感じているかを尋ねた結果、半数近い学生が「不安や迷いを感じている」と回答した。「不安や迷いを感じている」と「少し不安や迷いを感じている」の回答割合の合計は、令和元年度は80%前後であったところ、令和3年度調査では87%台に増加し、その後も高い水準にある。

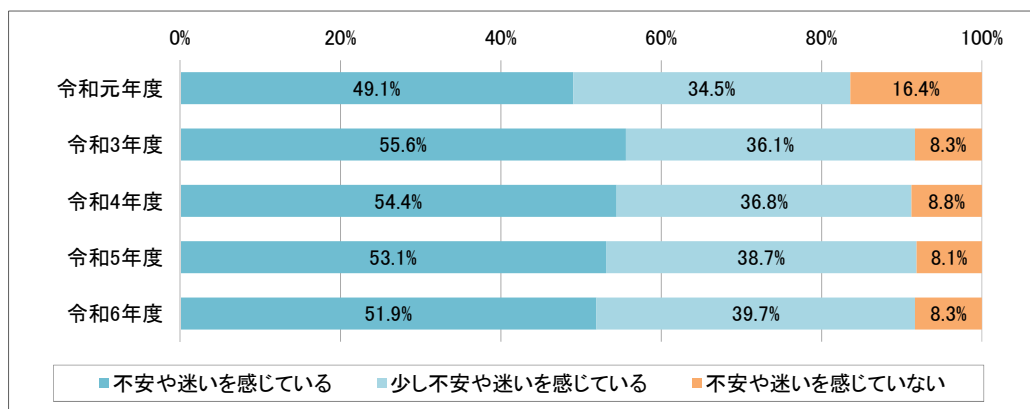
女性に限って見た場合、不安や迷いを感じている割合が相対的に高く、令和3年度以降は90%を超えている。

ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



SA	選択肢	不安や迷いを感じている	少し不安や迷いを感じている	不安や迷いを感じていない	回答者数
令和元年度	回答数	678	521	316	1,515
	割合	44.8%	34.4%	20.9%	100.0%
令和3年度	回答数	1,177	894	295	2,366
	割合	49.7%	37.8%	12.5%	100.0%
令和4年度	回答数	1,041	774	265	2,080
	割合	50.0%	37.2%	12.7%	100.0%
令和5年度	回答数	709	572	158	1,439
	割合	49.3%	39.7%	11.0%	100.0%
令和6年度	回答数	898	717	227	1,842
	割合	48.8%	38.9%	12.3%	100.0%

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



SA	選択肢	不安や迷いを感じている	少し不安や迷いを感じている	不安や迷いを感じていない	回答者数
令和元年度	回答数	284	200	95	579
	割合	49.1%	34.5%	16.4%	100.0%
令和3年度	回答数	566	367	85	1,018
	割合	55.6%	36.1%	8.3%	100.0%
令和4年度	回答数	522	353	84	959
	割合	54.4%	36.8%	8.8%	100.0%
令和5年度	回答数	372	271	57	700
	割合	53.1%	38.7%	8.1%	100.0%
令和6年度	回答数	468	358	75	901
	割合	51.9%	39.7%	8.3%	100.0%

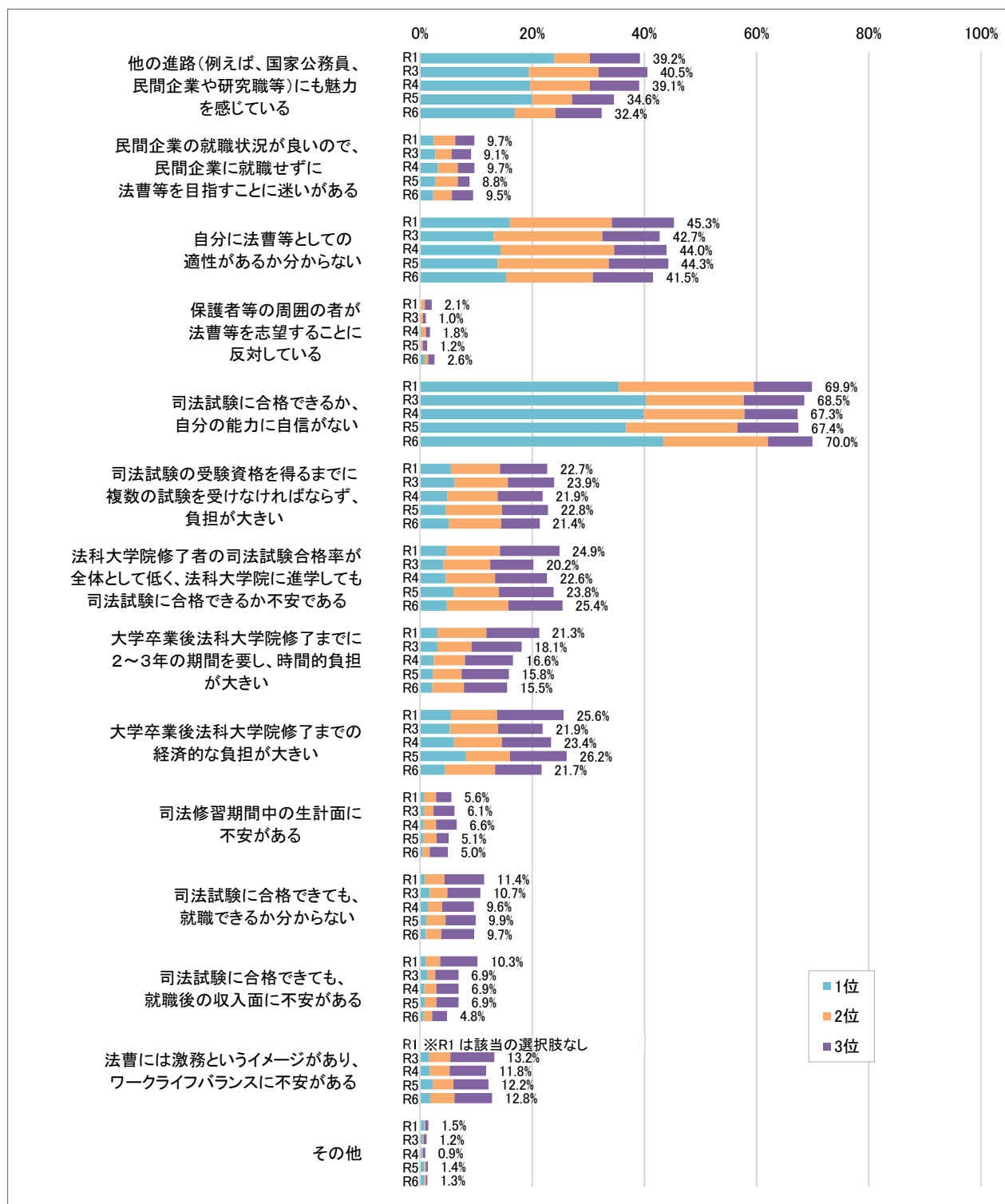
2. 法曹等を志望するに当たって感じている不安や迷いの内容

法曹等を志望するに当たって不安や迷いを感じていると回答した学生に、不安や迷いの内容について大きいものから順に3つ選んでもらった結果、「司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がない」との回答が最も多く、70%となった。続いて、「自分に法曹等としての適性があるか分からない」が約42%、「他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)にも魅力を感じている」が約32%の順であった。一方、時間的負担の大きさを理由に挙げる学生の割合は減少傾向である。令和4年度以降調査で経済的負担については増加傾向にあったが、令和6年度には約22%と令和3年度の水準と同様になっている。

女性に限って見た場合も大きな差はみられないが、「司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がない」との回答が令和5年度、6年度調査で約70%台となった。

なお、「その他」として、令和6年度調査では、「冤罪事件などの報道をきっかけに検察や警察という機関への疑念が生まれたから」、「いまの自分の成績・学力で法曹コースの選抜に選ばれるか」、「勉強時間の確保など」、「検察官の転勤が多く、私生活が充実できないのではないかと考えている」などの回答があった。

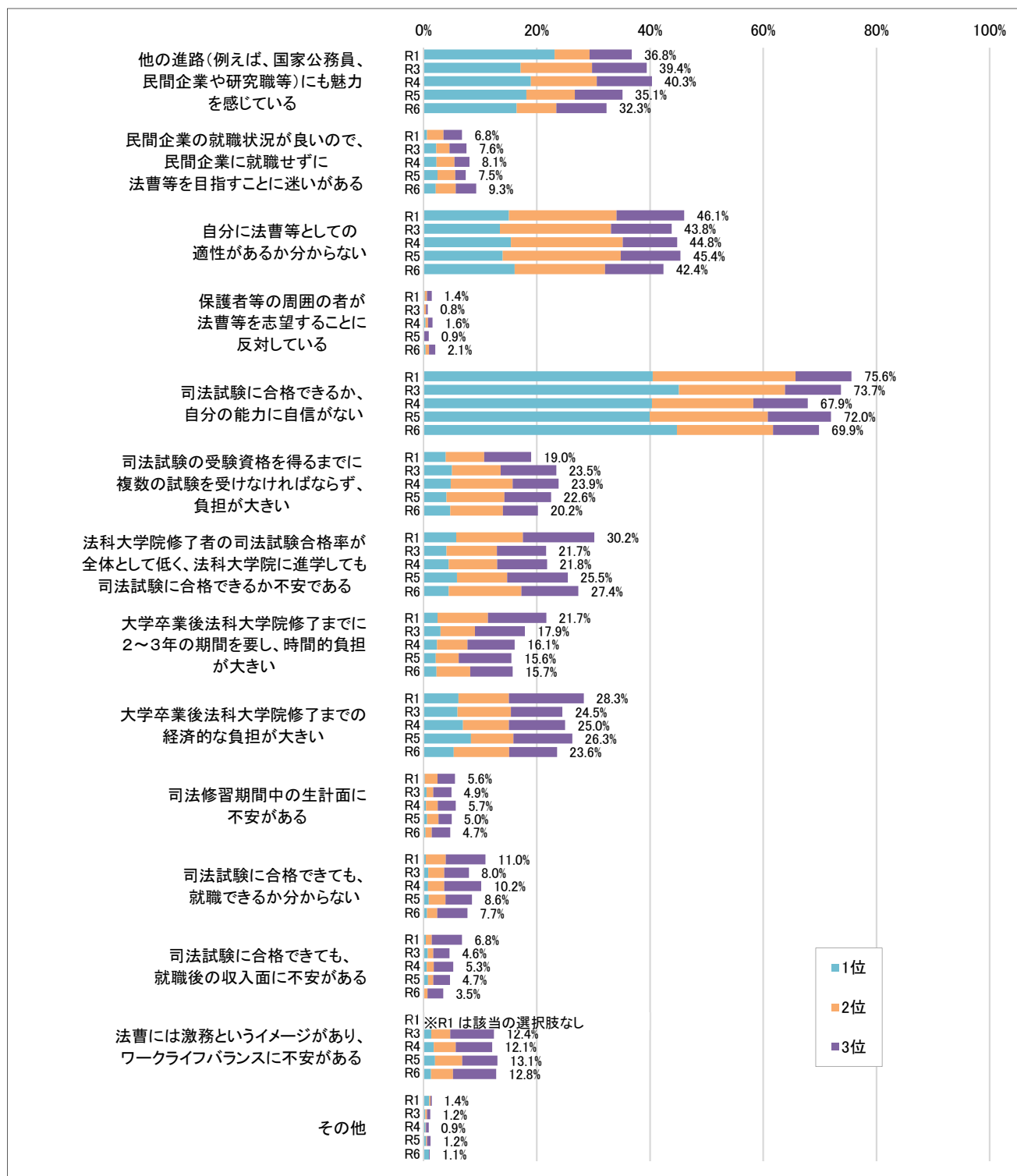
ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



	SA	選択肢	他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)にも魅力を感じている	民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せずに法曹等を指すことに迷いがある	自分に法曹等としての適性があるから	保護者等の周囲者が法曹等を志することに反対している	司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がない	司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならず、負担が大きい	法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できるか不安である	大学卒業後法科大学院修了までに2～3年の期間を要し、時間的負担が大きい	大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きい	司法修習期間中の生活に不安がある	司法試験に合格できても、就職できるからではない	司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安がある	法曹には激務というイメージがあり、ワークライフバランスに不安がある	その他	選択無し	回答者数
1 位	令和元年度	回答数	287	29	192	2	425	66	56	37	66	8	10	12	－	9	0	1,199
		割合	23.9%	2.4%	16.0%	0.2%	35.4%	5.5%	4.7%	3.1%	5.5%	0.7%	0.8%	1.0%	－	0.8%	0.0%	100.0%
		回答数	402	56	271	1	834	127	86	64	110	14	36	28	34	8	0	2,071
		割合	19.4%	2.7%	13.1%	0.0%	40.3%	6.1%	4.2%	3.1%	5.3%	0.7%	1.7%	1.4%	1.6%	0.4%	0.0%	100.0%
		回答数	356	58	260	5	724	88	83	44	110	11	25	14	31	6	0	1,815
		割合	19.6%	3.2%	14.3%	0.3%	39.9%	4.8%	4.6%	2.4%	6.1%	0.6%	1.4%	0.8%	1.7%	0.3%	0.0%	100.0%
		回答数	256	35	177	2	471	58	76	29	105	8	14	11	29	10	0	1,281
		割合	20.0%	2.7%	13.8%	0.2%	36.8%	4.5%	5.9%	2.3%	8.2%	0.6%	1.1%	0.9%	2.3%	0.8%	0.0%	100.0%
		回答数	273	38	248	13	700	83	77	35	72	8	17	10	29	12	0	1,281
		割合	16.9%	2.4%	15.4%	0.8%	43.3%	5.1%	4.8%	2.2%	4.5%	0.5%	1.1%	0.9%	2.3%	0.7%	0.0%	100.0%
2 位	令和元年度	回答数	76	46	218	8	288	105	115	105	99	26	42	31	－	2	38	1,199
		割合	6.3%	3.8%	18.2%	0.7%	24.0%	8.8%	9.6%	8.8%	8.3%	2.2%	3.5%	2.6%	－	0.2%	3.2%	100.0%
		回答数	257	61	402	10	361	197	173	126	178	36	65	28	78	5	94	2,071
		割合	12.4%	2.9%	19.4%	0.5%	17.4%	9.5%	8.4%	6.1%	8.6%	1.7%	3.1%	1.4%	3.8%	0.2%	4.5%	100.0%
		回答数	194	64	368	14	326	163	160	101	154	41	47	39	65	3	76	1,815
		割合	10.7%	3.5%	20.3%	0.8%	18.0%	9.0%	8.8%	5.6%	8.5%	2.3%	2.6%	2.1%	3.6%	0.2%	4.2%	100.0%
		回答数	91	51	254	4	254	129	104	66	100	30	44	26	47	3	78	1,281
		割合	7.1%	4.0%	19.8%	0.3%	19.8%	10.1%	8.1%	5.2%	7.8%	2.3%	3.4%	2.0%	3.7%	0.2%	6.1%	100.0%
		回答数	117	54	250	10	302	151	177	91	144	20	44	25	70	5	155	1,615
		割合	7.2%	3.3%	15.5%	0.6%	18.7%	9.3%	11.0%	5.6%	8.9%	1.2%	2.7%	1.5%	4.3%	0.3%	9.6%	100.0%
3 位	令和元年度	回答数	107	41	133	15	125	101	127	113	142	33	85	80	－	7	90	1,199
		割合	8.9%	3.4%	11.1%	1.3%	10.4%	8.4%	10.6%	9.4%	11.8%	2.8%	7.1%	6.7%	－	0.6%	7.5%	100.0%
		回答数	180	71	212	10	224	171	160	185	165	77	121	86	162	11	236	2,071
		割合	8.7%	3.4%	10.2%	0.5%	10.8%	8.3%	7.7%	8.9%	8.0%	3.7%	5.8%	4.2%	7.8%	0.5%	11.4%	100.0%
		回答数	159	54	170	13	172	146	168	156	160	67	102	72	118	8	250	1,815
		割合	8.8%	3.0%	9.4%	0.7%	9.5%	8.0%	9.3%	8.6%	8.8%	3.7%	5.6%	4.0%	6.5%	0.4%	13.8%	100.0%
		回答数	96	27	136	10	139	105	125	108	130	27	69	51	80	5	173	1,281
		割合	7.5%	2.1%	10.6%	0.8%	10.9%	8.2%	9.8%	8.4%	10.1%	2.1%	5.4%	4.0%	6.2%	0.4%	13.5%	100.0%
		回答数	133	61	173	19	128	111	156	125	134	52	95	43	108	4	273	1,615
		割合	8.2%	3.8%	10.7%	1.2%	7.9%	6.9%	9.7%	7.7%	8.3%	3.2%	5.9%	2.7%	6.7%	0.2%	16.9%	100.0%
合計	令和元年度	回答数	470	116	543	25	838	272	298	255	307	67	137	123	－	18	128	1,199
		割合	39.2%	9.7%	45.3%	2.1%	69.9%	22.7%	24.9%	21.3%	25.6%	5.6%	11.4%	10.3%	－	1.5%	10.7%	100.0%
		回答数	839	188	885	21	1,419	495	419	375	453	127	222	142	274	24	330	2,071
		割合	40.5%	9.1%	42.7%	1.0%	68.5%	23.9%	20.2%	18.1%	21.9%	6.1%	10.7%	6.9%	13.2%	1.2%	15.9%	100.0%
		回答数	709	176	798	32	1,222	397	411	301	424	119	174	125	214	17	326	1,815
		割合	39.1%	9.7%	44.0%	1.8%	67.3%	21.9%	22.6%	16.6%	23.4%	6.6%	9.6%	6.9%	11.8%	0.9%	18.0%	100.0%
		回答数	443	113	567	16	864	292	305	203	335	65	127	88	156	18	251	1,281
		割合	34.6%	8.8%	44.3%	1.2%	67.4%	22.8%	23.8%	15.8%	26.2%	5.1%	9.9%	6.9%	12.2%	1.4%	19.6%	100.0%
		回答数	523	153	671	42	1,130	345	410	251	350	80	156	78	207	21	428	1,615
		割合	32.4%	9.5%	41.5%	2.6%	70.0%	21.4%	25.4%	15.5%	21.7%	5.0%	9.7%	4.8%	12.8%	1.3%	26.5%	100.0%

※13 番目の選択肢(激務でワークライフバランスに不安がある)は令和3年度調査から新たに設けたもの

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



	SA	選択肢	他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)にも魅力を感じている	民間企業の就職状況がよいので、民間企業に就職せずに法曹を目指すことに迷いがある	自分に法曹等としての適性があるから	保護者等の周囲者が法曹等を志望することに反対している	司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がない	司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならず、負担が大きい	法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できるか不安である	大学卒業後法科大学院修了までに2～3年の期間を要し、時間的負担が大きい	大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きい	司法修習期間中の生活に不安がある	司法試験に合格できても、就職できるから	司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安がある	法曹には激務というイメージがあり、ワークライフバランスに不安がある	その他	選択無し	回答者数
1 位	令和元年度	回答数	112	3	73	1	196	19	28	12	30	1	2	2	—	5	0	484
		割合	23.1%	0.6%	15.1%	0.2%	40.5%	3.9%	5.8%	2.5%	6.2%	0.2%	0.4%	0.4%	—	1.0%	0.0%	100.0%
		回答数	160	21	126	0	421	47	38	28	56	5	8	7	13	3	0	933
		割合	17.1%	2.3%	13.5%	0.0%	45.1%	5.0%	4.1%	3.0%	6.0%	0.5%	0.9%	0.8%	1.4%	0.3%	0.0%	100.0%
		回答数	166	20	135	3	353	42	39	21	61	4	7	5	16	3	0	875
		割合	19.0%	2.3%	15.4%	0.3%	40.3%	4.8%	4.5%	2.4%	7.0%	0.5%	0.8%	0.6%	1.8%	0.3%	0.0%	100.0%
		回答数	117	16	90	0	257	26	38	14	54	4	6	5	13	3	0	643
		割合	18.2%	2.5%	14.0%	0.0%	40.0%	4.0%	5.9%	2.2%	8.4%	0.6%	0.9%	0.8%	2.0%	0.5%	0.0%	100.0%
		回答数	136	18	133	3	370	39	37	19	44	3	5	0	11	8	0	826
		割合	16.5%	2.2%	16.1%	0.4%	44.8%	4.7%	4.5%	2.3%	5.3%	0.4%	0.6%	0.0%	1.3%	1.0%	0.0%	100.0%
2 位	令和元年度	回答数	30	14	92	2	122	33	57	43	43	11	17	5	—	1	14	484
		割合	6.2%	2.9%	19.0%	0.4%	25.2%	6.8%	11.8%	8.9%	8.9%	2.3%	3.5%	1.0%	—	0.2%	2.9%	100.0%
		回答数	118	22	183	4	175	80	83	57	88	11	26	9	31	3	43	933
		割合	12.6%	2.4%	19.6%	0.4%	18.8%	8.6%	8.9%	6.1%	9.4%	1.2%	2.8%	1.0%	3.3%	0.3%	4.6%	100.0%
		回答数	102	28	173	4	157	96	75	47	71	18	25	11	34	1	33	875
		割合	11.7%	3.2%	19.8%	0.5%	17.9%	11.0%	8.6%	5.4%	8.1%	2.1%	2.9%	1.3%	3.9%	0.1%	3.8%	100.0%
		回答数	55	20	134	1	134	66	57	26	48	13	19	6	31	1	32	643
		割合	8.6%	3.1%	20.8%	0.2%	20.8%	10.3%	8.9%	4.0%	7.5%	2.0%	3.0%	0.9%	4.8%	0.2%	5.0%	100.0%
		回答数	58	29	132	5	140	77	106	49	81	9	15	6	32	0	87	826
		割合	7.0%	3.5%	16.0%	0.6%	16.9%	9.3%	12.8%	5.9%	9.8%	1.1%	1.8%	0.7%	3.9%	0.0%	10.5%	100.0%
3 位	令和元年度	回答数	36	16	58	4	48	40	61	50	64	15	34	26	—	1	31	484
		割合	7.4%	3.3%	12.0%	0.8%	9.9%	8.3%	12.6%	10.3%	13.2%	3.1%	7.0%	5.4%	—	0.2%	6.4%	100.0%
		回答数	90	28	100	3	92	92	81	82	85	30	41	27	72	5	105	933
		割合	9.6%	3.0%	10.7%	0.3%	9.9%	9.9%	8.7%	8.8%	9.1%	3.2%	4.4%	2.9%	7.7%	0.5%	11.3%	100.0%
		回答数	85	23	84	7	84	71	77	73	87	28	57	30	56	4	109	875
		割合	9.7%	2.6%	9.6%	0.8%	9.6%	8.1%	8.8%	8.3%	9.9%	3.2%	6.5%	3.4%	6.4%	0.5%	12.5%	100.0%
		回答数	54	12	68	5	72	53	69	60	67	15	30	19	40	4	75	643
		割合	8.4%	1.9%	10.6%	0.8%	11.2%	8.2%	10.7%	9.3%	10.4%	2.3%	4.7%	3.0%	6.2%	0.6%	11.7%	100.0%
		回答数	73	30	85	9	67	51	83	62	70	27	44	23	63	1	138	826
		割合	8.8%	3.6%	10.3%	1.1%	8.1%	6.2%	10.0%	7.5%	8.5%	3.3%	5.3%	2.8%	7.6%	0.1%	16.7%	100.0%
合計	令和元年度	回答数	178	33	223	7	366	92	146	105	137	27	53	33	—	7	45	484
		割合	36.8%	6.8%	46.1%	1.4%	75.6%	19.0%	30.2%	21.7%	28.3%	5.6%	11.0%	6.8%	—	1.4%	9.3%	100.0%
		回答数	368	71	409	7	688	219	202	167	229	46	75	43	116	11	148	933
		割合	39.4%	7.6%	43.8%	0.8%	73.7%	23.5%	21.7%	17.9%	24.5%	4.9%	8.0%	4.6%	12.4%	1.2%	15.9%	100.0%
		回答数	353	71	392	14	594	209	191	141	219	50	89	46	106	8	142	875
		割合	40.3%	8.1%	44.8%	1.6%	67.9%	23.9%	21.8%	16.1%	25.0%	5.7%	10.2%	5.3%	12.1%	0.9%	15.2%	100.0%
		回答数	226	48	292	6	463	145	164	100	169	32	55	30	84	8	107	643
		割合	35.1%	7.5%	45.4%	0.9%	72.0%	22.6%	25.5%	15.6%	26.3%	5.0%	8.6%	4.7%	13.1%	1.2%	16.6%	100.0%
		回答数	267	77	350	17	577	167	226	130	195	39	64	29	106	9	225	826
		割合	32.3%	9.3%	42.4%	2.1%	69.9%	20.2%	27.4%	15.7%	23.6%	4.7%	7.7%	3.5%	12.8%	1.1%	27.2%	100.0%

※13 番目の選択肢(激務でワークライフバランスに不安がある)は令和3年度調査から新たに設けたもの

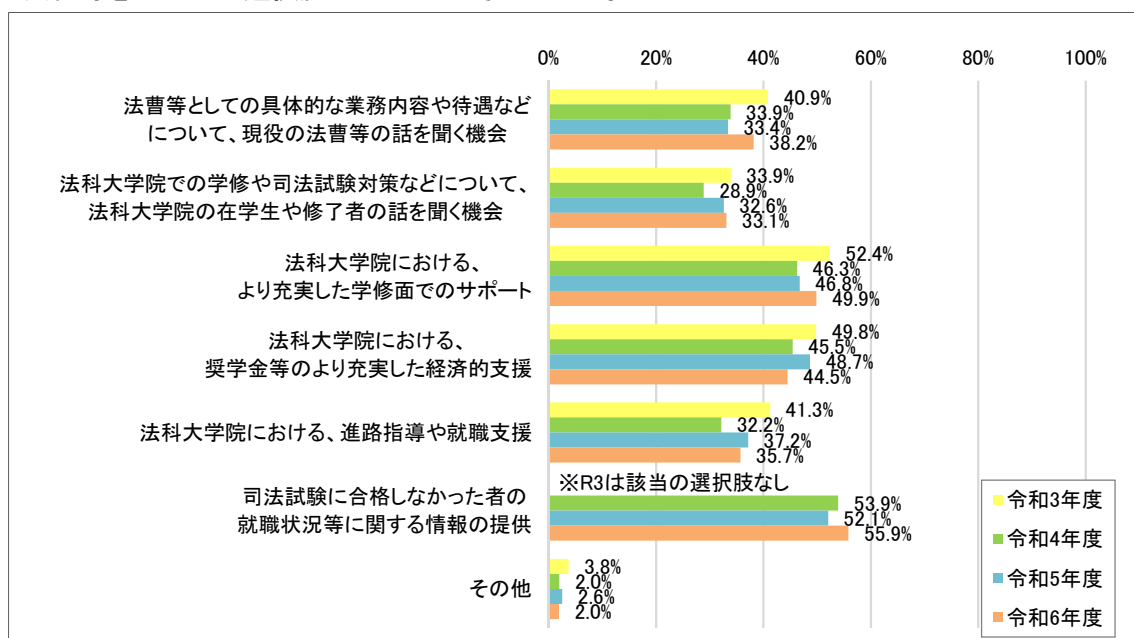
3. 不安や迷いを軽減、払拭するためにあったらよいと思うもの

法曹等を志望するに当たって不安や迷いを感じていると回答した学生に、不安や迷いを軽減、払拭するためにあったらよいと思うものを尋ねた結果、「司法試験に合格しなかった者の就職状況等に関する情報の提供」が約 56%で最も高く、次いで「法科大学院における、より充実した学修面でのサポート」が約 50%、「法科大学院における、奨学金等のより充実した経済的支援」が約 45%と続いている。

女性に限って見ると、「司法試験に合格しなかった者の就職状況等に関する情報の提供」が全体と比べてやや高い。

なお、「その他」として令和 6 年度調査では、学部における「法曹コースや早期卒業などの制度について、不安を与えないような詳細な情報が提供されること」、「普通に大学の授業で司法試験対策をして欲しい。講義は話を聞くだけでは不十分だし、問題演習の機会が圧倒的に少ない」、法科大学院における「早期卒業で大学院に行ったとき、大学院で中退したときに学部卒の権利を得られるようにしてほしい」、経済的支援について「大学院に受かるために予備校などに通いたいのが保護者が金銭面のサポートをしてくれないため自分で払うしかない」、「司法試験を受けるとなると時間的な制約、金銭面での制約等様々な制約がある」などが挙げられたほか、「学部における、論文の書き方指導など」、「所属大学が主催する、法学部生向けの法科大学院への進路指導」、「法科大学院への受験対策の話を聞く機会などの情報提供」などの回答があった。

ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生

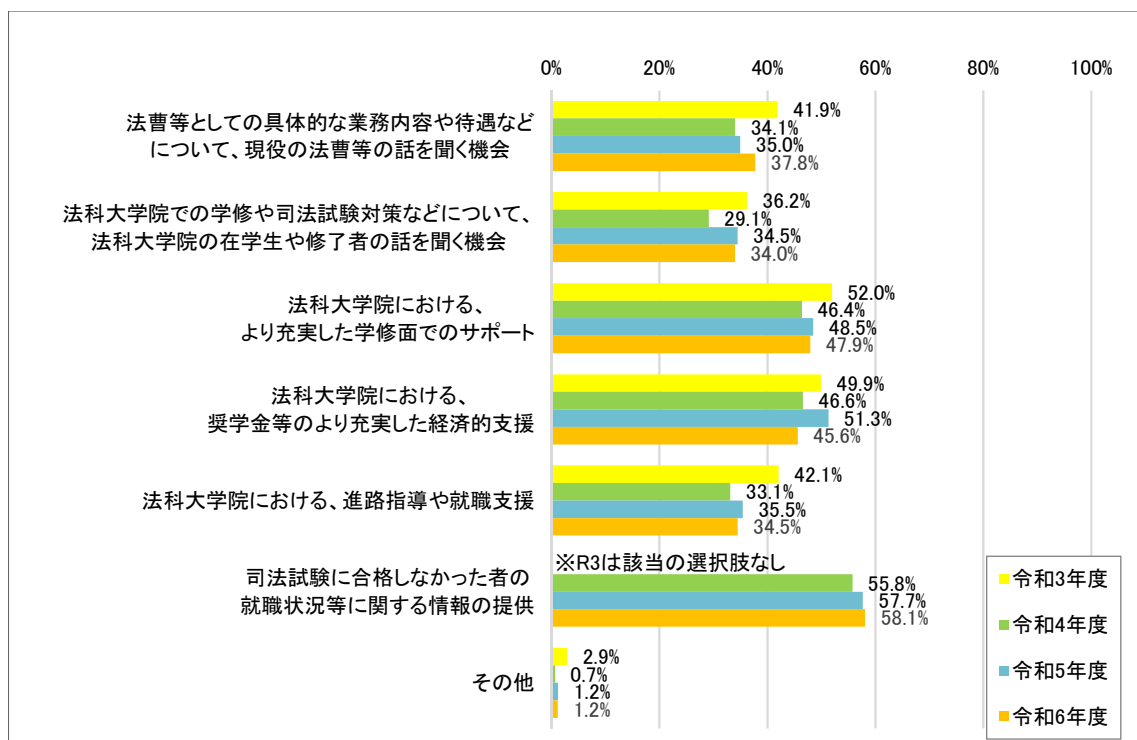


MA	選択肢	法曹等としての具体的な業務内容や待遇などについて、現役の法曹等の話を聞く機会	法科大学院での学修や司法試験対策などについて、法科大学院の在学生や修了者の話を聞く機会	法科大学院における、より充実した学修面でのサポート	法科大学院における、奨学金等のより充実した経済的支援	法科大学院における、進路指導や就職支援	司法試験に合格しなかった者の就職状況等に関する情報の提供	その他	回答者数
令和3年度	回答数	847	703	1,085	1,032	855	—	78	2,071
	割合	40.9%	33.9%	52.4%	49.8%	41.3%	—	3.8%	—
令和4年度	回答数	615	525	840	825	584	979	37	1,815
	割合	33.9%	28.9%	46.3%	45.5%	32.2%	53.9%	2.0%	—
令和5年度	回答数	428	418	599	624	476	667	33	1,281
	割合	33.4%	32.6%	46.8%	48.7%	37.2%	52.1%	2.6%	—
令和6年度	回答数	617	535	806	719	577	902	32	1,615
	割合	38.2%	33.1%	49.9%	44.5%	35.7%	55.9%	2.0%	—

※令和3年度調査で新たに追加した質問

※6番目の選択肢(司法試験に合格しなかった者の就職状況等に関する情報の提供)は令和4年度調査から新たに設けたもの

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



MA	選択肢	法曹等としての具体的な業務内容や待遇などについて、現役の法曹等の話を聞く機会	法科大学院での学修や司法試験対策などについて、法科大学院の在学生や修了者の話を聞く機会	法科大学院における、より充実した学修面でのサポート	法科大学院における、奨学金等のより充実した経済的支援	法科大学院における、進路指導や就職支援	司法試験に合格しなかった者の就職状況等に関する情報の提供	その他	回答者数
令和3年度	回答数	391	338	485	466	393	—	27	933
	割合	41.9%	36.2%	52.0%	49.9%	42.1%	—	2.9%	—
令和4年度	回答数	298	255	406	408	290	488	6	875
	割合	34.1%	29.1%	46.4%	46.6%	33.1%	55.8%	0.7%	—
令和5年度	回答数	225	222	312	330	228	371	8	643
	割合	35.0%	34.5%	48.5%	51.3%	35.5%	57.7%	1.2%	—
令和6年度	回答数	312	281	396	377	285	480	10	826
	割合	37.8%	34.0%	47.9%	45.6%	34.5%	58.1%	1.2%	—

※令和3年度調査で新たに追加した質問

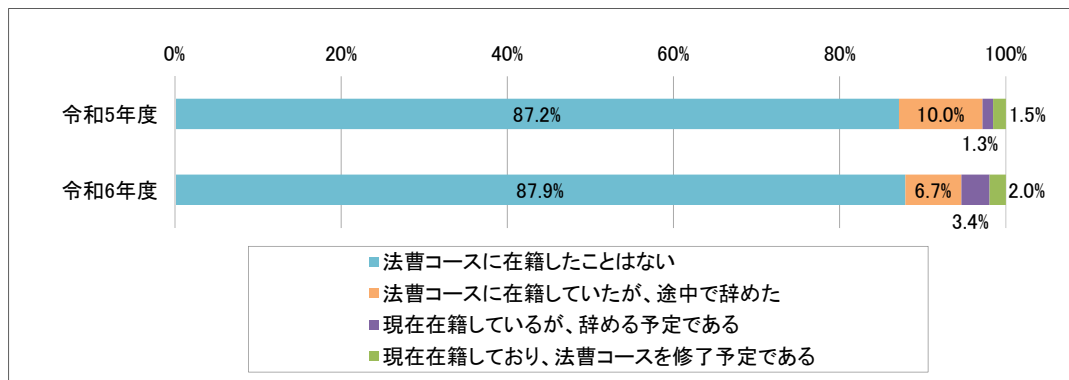
※6番目の選択肢(司法試験に合格しなかった者の就職状況等に関する情報の提供)は令和4年度調査から新たに設けたもの

4. 法曹コースに在籍している又は在籍していたことがあるか

過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた学生に、法曹コースに在籍している、または在籍していたことはあるかを尋ねた結果、「法曹コースに在籍したことはない」が約 88%を占め最も高く、次いで「法曹コースに在籍していたが、途中で辞めた」が約 7%などとなっている。

女性に限って見た場合もほぼ同様の傾向であった。

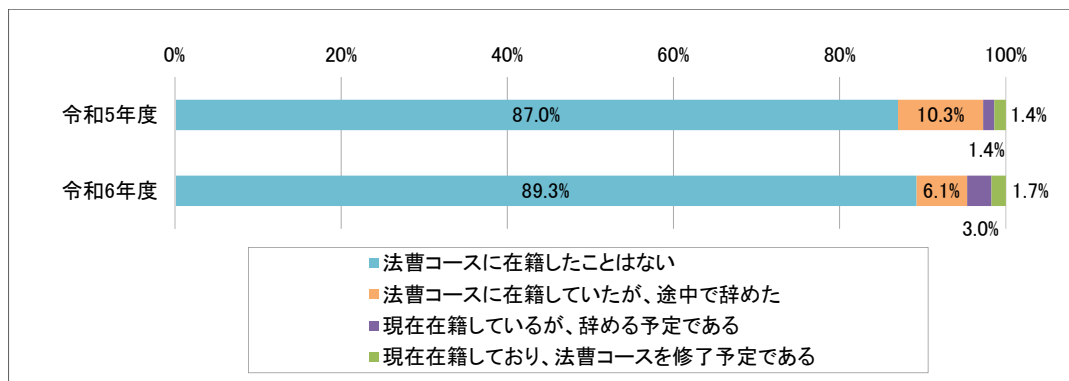
ア 過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた学生



SA	選択肢	法曹コースに在籍したことはない	法曹コースに在籍していたが、途中で辞めた	現在在籍しているが、辞める予定である	現在在籍しており、法曹コースを修了予定である	回答者数
令和5年度	回答数	808	93	12	14	927
	割合	87.2%	10.0%	1.3%	1.5%	100.0%
令和6年度	回答数	939	72	36	21	1,068
	割合	87.9%	6.7%	3.4%	2.0%	100.0%

※令和5年度調査で新たに追加した質問

イ 過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた女性



SA	選択肢	法曹コースに在籍したことはない	法曹コースに在籍していたが、途中で辞めた	現在在籍しているが、辞める予定である	現在在籍しており、法曹コースを修了予定である	回答者数
令和5年度	回答数	449	53	7	7	516
	割合	87.0%	10.3%	1.4%	1.4%	100.0%
令和6年度	回答数	574	39	19	11	643
	割合	89.3%	6.1%	3.0%	1.7%	100.0%

※令和5年度調査で新たに追加した質問

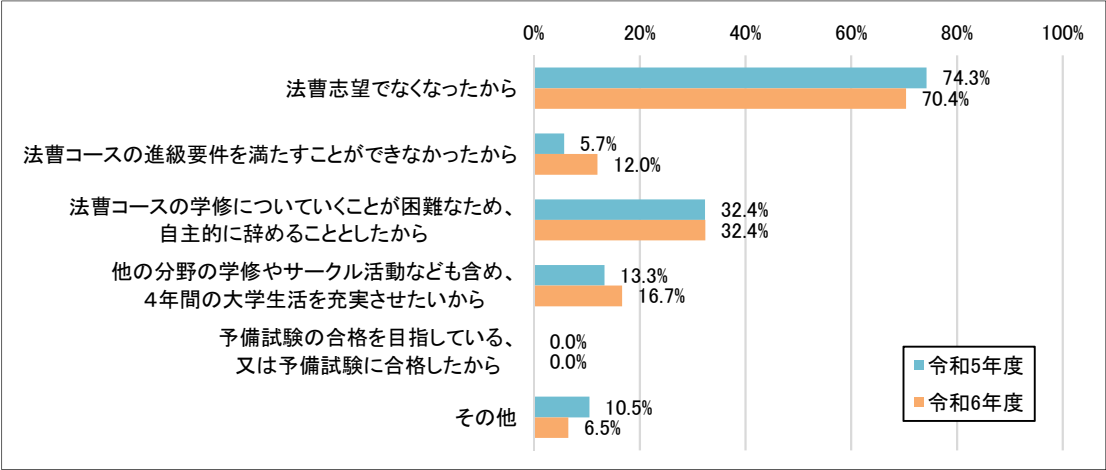
5. 法曹コースに在籍していたが途中で辞めた(辞める)理由

過去に法曹コースに在籍していたが、途中で辞めた又は現在在籍しているが、辞める予定であると回答した学生に途中で辞めた(辞める)理由を尋ねた結果、「法曹志望でなくなったから」が約 70%を占め最も高く、次いで「法曹コースの学修についていくことが困難なため、自主的に辞めることとしたから」が約 32%、「他の分野の学修やサークル活動なども含め、4 年間の大学生活を充実させたいから」が約 17%などと続いている。

なお、「その他」としては、「法律外の学問にも触れなくなったから」、「社会的弱者を助ける仕事は法曹に限らないと感じるようになったから」、「経済的負担」などが挙げられている。

女性に限って見ると「法曹コースの学修についていくことが困難なため、自主的に辞めることとしたから」が約 36%を占め、全体と比べてやや高い。

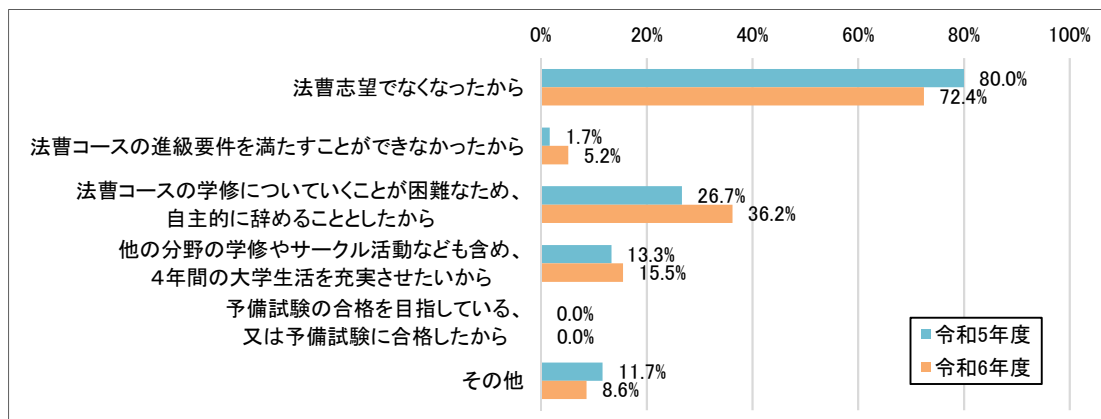
ア 過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた学生



SA	選択肢	法曹志望でなくなったから	法曹コースの進級要件を満たすことができなかったから	法曹コースの学修についていくことが困難なため、自主的に辞めることとしたから	他の分野の学修やサークル活動なども含め、4年間の大学生活を充実させたいから	予備試験の合格を目指している、又は予備試験に合格したから	その他	回答者数
令和5年度	回答数	78	6	34	14	0	11	105
	割合	74.3%	5.7%	32.4%	13.3%	0.0%	10.5%	—
令和6年度	回答数	76	13	35	18	0	7	108
	割合	70.4%	12.0%	32.4%	16.7%	0.0%	6.5%	—

※令和5年度調査で新たに追加した質問

イ 過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた女性



SA	選択肢	法曹志望でなくなったから	法曹コースの進級要件を満たすことができなかったから	法曹コースの学修についていくことが困難なため、自主的に辞めることとしたから	他の分野の学修やサークル活動なども含め、4年間の大学生活を充実させたいから	予備試験の合格を目指している、又は予備試験に合格したから	その他	回答者数
令和5年度	回答数	48	1	16	8	0	7	60
	割合	80.0%	1.7%	26.7%	13.3%	0.0%	11.7%	-
令和6年度	回答数	42	3	21	9	0	5	58
	割合	72.4%	5.2%	36.2%	15.5%	0.0%	8.6%	-

※令和5年度調査で新たに追加した質問

6. 法曹等を断念した(選択肢から外した)理由

過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた学生に、法曹等を断念した(選択肢から外した)理由を尋ねた結果、「他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)に魅力を感じたから」との回答割合が約 56%で最も高く、次いで「司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がなくなったから」との回答割合が約 53%、「自分に法曹等としての適性があるとは思えなかったから」が約 41%などと続いている。

「他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)に魅力を感じたから」や「自分に法曹等としての適性があるとは思えなかったから」などは令和5年度まで増加傾向にあったが、令和6年度に減少している。

女性に限って見た場合は、「司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がなくなったから」が約 55%で最も高くなっている。

法曹等を志望したきっかけ別で最も多かったのは「他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)に魅力を感じた」という理由で、志望したきっかけを問わず約 24~41%程度を占めている。次いで多かったのは「司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がなくなった」という理由で、志望したきっかけを問わず約 10~38%程度となっている。特にきっかけで「親や教師等の周りの人に勧められたから」と回答した学生は約 38%と高い割合となっている。また、「自分に法曹としての適性があるとは思えなかった」と回答した学生もきっかけを問わず約 15~21%程度となっている。一方で、経済的な負担や時間的な負担を理由に挙げた学生はきっかけを問わず約 2~9%程度にとどまり、就職や収入面での不安を理由とした学生はきっかけを問わず約 0~1%程度である。

女性に限って見た場合も大きな差は見られない。

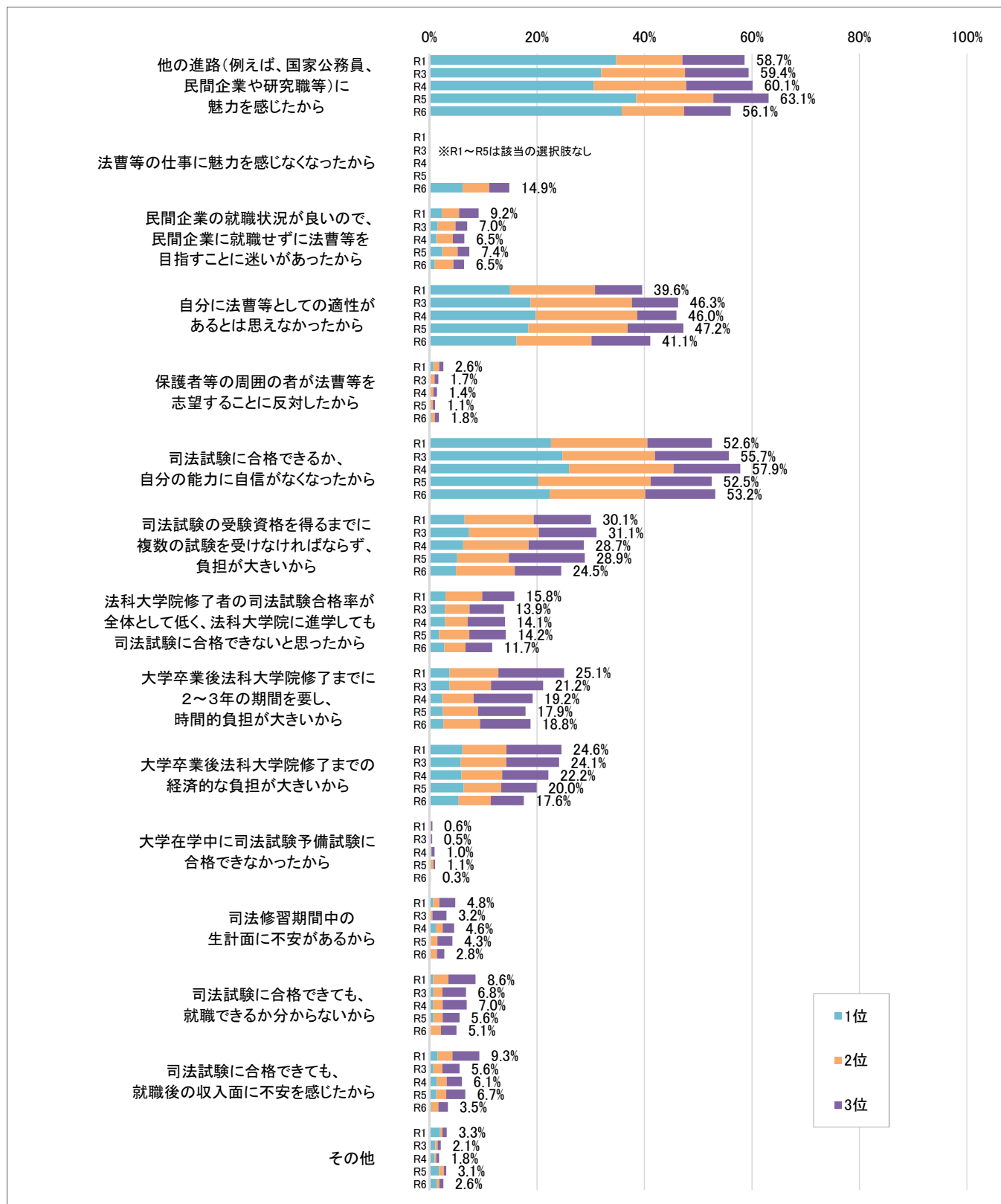
法曹等の仕事に感じていた魅力別では、断念理由として最も多かったのはどこに魅力を感じていたかを問わず「他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)に魅力を感じたから」で約 24~40%程度を占めている。特に「社会的弱者や困っている人を助けることができる」ところに魅力を感じていた学生は約 40%と高く、一方で「経済的に安定しているところ」に魅力を感じていた学生は約 24%と比較的低くなっている。次いで、どこに魅力を感じていたかを問わず「司法試験に合格できるか自信がなくなった」が約 11~26%程度と続き、どこに魅力を感じていたかを問わず「自分に法曹等としての適性があるとは思えなかったから」が約 12~17%程度となっている。

女性に限って見た場合も大きな差は見られない。

なお、「その他」として令和6年度調査では、「弁護士の仕事は本当に社会的弱者等を助けることになっているのか、わからなくなってしまった」、「法学に興味を持てなかった」、「遅れて大学に入学したためこの

ままストレートに法科大学院に進学できたとしても年齢を気にしてしまうため」、「裁判官や検察官の場合、勤務地が自由に選べないから」などの回答があった。

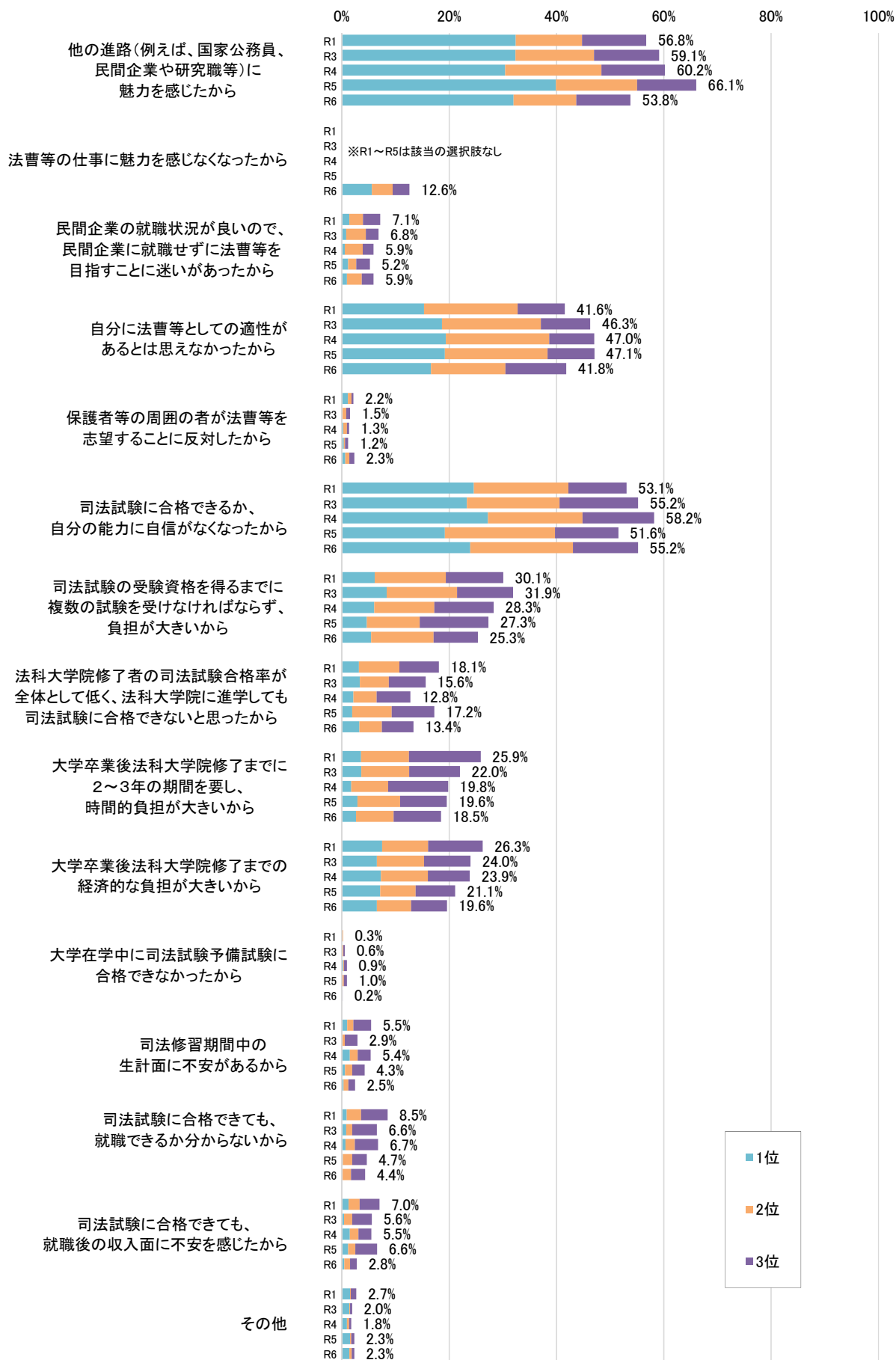
ア 過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた学生



	SA	選択肢	他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)に魅力を感じたから	法曹等の仕事に魅力がなくなったから	民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せずに法曹を目指すことに迷いがあつたから	自分に法曹等としての適性があるとは思えなかったから	保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対したから	司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がなくなったから	司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならず、負担が大きいかから	法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できないと思つたから	大学卒業後法科大学院修了までに2～3年の期間を要し、時間的負担が大きいかから	大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きいかから	大学在学中に司法試験予備試験に合格できなかったから	司法修習期間中の生活に不安があるから	司法試験に合格できても、就職できるから分らないから	司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安を感じたから	その他	選択無し	回答者数
1 位	令和元年度	回答数	598	－	40	258	13	389	113	52	65	106	1	12	12	27	34	0	1,720
		割合	34.8%	－	2.3%	15.0%	0.8%	22.6%	6.6%	3.0%	3.8%	6.2%	0.1%	0.7%	0.7%	1.6%	2.0%	0.0%	100.0%
	令和3年度	回答数	432	－	21	254	1	334	100	39	51	79	3	1	10	10	15	0	1,350
		割合	32.0%	－	1.6%	18.8%	0.1%	24.7%	7.4%	2.9%	3.8%	5.9%	0.2%	0.1%	0.7%	0.7%	1.1%	0.0%	100.0%
	令和4年度	回答数	404	－	17	262	3	344	83	38	31	79	4	16	9	19	13	0	1,322
		割合	30.6%	－	1.3%	19.8%	0.2%	26.0%	6.3%	2.9%	2.3%	6.0%	0.3%	1.2%	0.7%	1.4%	1.0%	0.0%	100.0%
	令和5年度	回答数	357	－	22	171	2	188	48	17	23	59	1	3	7	12	17	0	927
		割合	38.5%	－	2.4%	18.4%	0.2%	20.3%	5.2%	1.8%	2.5%	6.4%	0.1%	0.3%	0.8%	1.3%	1.8%	0.0%	100.0%
2 位	令和元年度	回答数	382	66	11	173	4	239	53	30	28	58	1	2	3	4	14	0	1,068
		割合	35.8%	6.2%	1.0%	16.2%	0.4%	22.4%	5.0%	2.8%	2.6%	5.4%	0.1%	0.2%	0.3%	0.4%	1.3%	0.0%	100.0%
	令和3年度	回答数	212	－	55	272	18	309	221	117	156	141	4	20	49	47	8	91	1,720
		割合	12.3%	－	3.2%	15.8%	1.0%	18.0%	12.8%	6.8%	9.1%	8.2%	0.2%	1.2%	2.8%	2.7%	0.5%	5.3%	100.0%
	令和4年度	回答数	210	－	45	255	12	233	175	62	104	114	1	7	23	23	6	80	1,350
		割合	15.6%	－	3.3%	18.9%	0.9%	17.3%	13.0%	4.6%	7.7%	8.4%	0.1%	0.5%	1.7%	1.7%	0.4%	5.9%	100.0%
	令和5年度	回答数	228	－	41	249	7	257	161	56	78	100	1	17	24	24	4	75	1,322
		割合	17.2%	－	3.1%	18.8%	0.5%	19.4%	12.2%	4.2%	5.9%	7.6%	0.1%	1.3%	1.8%	1.8%	0.3%	5.7%	100.0%
3 位	令和元年度	回答数	133	－	27	171	4	194	89	52	61	65	6	11	16	17	8	73	927
		割合	14.3%	－	2.9%	18.4%	0.4%	20.9%	9.6%	5.6%	6.6%	7.0%	0.6%	1.2%	1.7%	1.8%	0.9%	7.9%	100.0%
	令和3年度	回答数	124	53	37	149	7	190	117	42	73	64	0	13	20	14	6	159	1,068
		割合	11.6%	5.0%	3.5%	14.0%	0.7%	17.8%	11.0%	3.9%	6.8%	6.0%	0.0%	1.2%	1.9%	1.3%	0.6%	14.9%	100.0%
	令和4年度	回答数	199	－	63	151	14	206	183	103	210	176	5	51	87	86	14	172	1,720
		割合	11.6%	－	3.7%	8.8%	0.8%	12.0%	10.6%	6.0%	12.2%	10.2%	0.3%	3.0%	5.1%	5.0%	0.8%	10.0%	100.0%
	令和5年度	回答数	160	－	29	116	10	185	145	86	131	133	3	35	59	43	8	207	1,350
		割合	11.9%	－	2.1%	8.6%	0.7%	13.7%	10.7%	6.4%	9.7%	9.9%	0.2%	2.6%	4.4%	3.2%	0.6%	15.3%	100.0%
合計	令和元年度	回答数	163	－	28	97	9	164	136	92	145	114	8	28	59	37	7	235	1,322
		割合	12.3%	－	2.1%	7.3%	0.7%	12.4%	10.3%	7.0%	11.0%	8.6%	0.6%	2.1%	4.5%	2.8%	0.5%	17.8%	100.0%
	令和3年度	回答数	95	－	20	96	4	105	131	63	82	61	3	26	29	33	4	175	927
		割合	10.2%	－	2.2%	10.4%	0.4%	11.3%	14.1%	6.8%	8.8%	6.6%	0.3%	2.8%	3.1%	3.6%	0.4%	18.9%	100.0%
	令和4年度	回答数	93	40	21	117	8	139	92	53	100	66	2	15	31	19	8	264	1,068
		割合	8.7%	3.7%	2.0%	11.0%	0.7%	13.0%	8.6%	5.0%	9.4%	6.2%	0.2%	1.4%	2.9%	1.8%	0.7%	24.7%	100.0%
	令和5年度	回答数	8.7%	3.7%	2.0%	11.0%	0.7%	13.0%	8.6%	5.0%	9.4%	6.2%	0.2%	1.4%	2.9%	1.8%	0.7%	24.7%	100.0%
		割合	8.7%	3.7%	2.0%	11.0%	0.7%	13.0%	8.6%	5.0%	9.4%	6.2%	0.2%	1.4%	2.9%	1.8%	0.7%	24.7%	100.0%
	令和6年度	回答数	8.7%	3.7%	2.0%	11.0%	0.7%	13.0%	8.6%	5.0%	9.4%	6.2%	0.2%	1.4%	2.9%	1.8%	0.7%	24.7%	100.0%
		割合	8.7%	3.7%	2.0%	11.0%	0.7%	13.0%	8.6%	5.0%	9.4%	6.2%	0.2%	1.4%	2.9%	1.8%	0.7%	24.7%	100.0%
	令和元年度	回答数	1,009	－	158	681	45	904	517	272	431	423	10	83	148	160	56	263	1,720
		割合	58.7%	－	9.2%	39.6%	2.6%	52.6%	30.1%	15.8%	25.1%	24.6%	0.6%	4.8%	8.6%	9.3%	3.3%	15.3%	100.0%
	令和3年度	回答数	802	－	95	625	23	752	420	187	286	326	7	43	92	76	29	287	1,350
		割合	59.4%	－	7.0%	46.3%	1.7%	55.7%	31.1%	13.9%	21.2%	24.1%	0.5%	3.2%	6.8%	5.6%	2.1%	21.3%	100.0%
	令和4年度	回答数	795	－	86	608	19	765	380	186	254	293	13	61	92	80	24	0	1,322
		割合	60.1%	－	6.5%	46.0%	1.4%	57.9%	28.7%	14.1%	19.2%	22.2%	1.0%	4.6%	7.0%	6.1%	1.8%	0.0%	100.0%
	令和5年度	回答数	585	－	69	438	10	487	268	132	166	185	10	40	52	62	29	248	927
		割合	63.1%	－	7.4%	47.2%	1.1%	52.5%	28.9%	14.2%	17.9%	20.0%	1.1%	4.3%	5.6%	6.7%	3.1%	26.8%	100.0%
	令和6年度	回答数	599	159	69	439	19	568	262	125	201	188	3	30	54	32	28	423	1,068
		割合	56.1%	14.9%	6.5%	41.1%	1.8%	53.2%	24.5%	11.7%	18.8%	17.6%	0.3%	2.8%	5.1%	3.5%	2.6%	39.4%	100.0%

※2番目の選択肢(法曹等の仕事に魅力を感じなくなったから)は令和6年度調査から新たに設けたもの

イ 過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた女性



	SA	選択肢	他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)に魅力を感じたから	法曹等の仕事に感じなかったから	民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就くことに法曹等を迷ったから	自分に法曹等としての適性があるとは思えなかったから	保護者等の周囲の者が法曹等を志すことに反対したから	司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がなかったから	司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならない、負担が大きいか	法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できないと思ったから	大学卒業後法科大学院修了までに2～3年の期間を要し、時間的負担が大きいか	大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きいか	大学在学中に司法試験予備に合格できなかったから	司法修習期間中の生活に不安があるから	司法試験に合格できても、就職できるか分からないから	司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安を感じたから	その他	選択無し	回答者数
1 位	令和元年度	回答数	254	－	11	120	9	193	48	25	28	59	0	8	7	10	12	0	784
		割合	32.4%	－	1.4%	15.3%	1.1%	24.6%	6.1%	3.2%	3.6%	7.5%	0.0%	1.0%	0.9%	1.3%	1.5%	0.0%	100.0%
	令和3年度	回答数	232	－	6	134	1	167	60	24	26	47	1	0	6	3	10	0	717
		割合	32.4%	－	0.8%	18.7%	0.1%	23.3%	8.4%	3.3%	3.6%	6.6%	0.1%	0.0%	0.8%	0.4%	1.4%	0.0%	100.0%
	令和4年度	回答数	226	－	4	144	2	202	45	16	13	54	2	11	5	11	7	0	742
		割合	30.5%	－	0.5%	19.4%	0.3%	27.2%	6.1%	2.2%	1.8%	7.3%	0.3%	1.5%	0.7%	1.5%	0.9%	0.0%	100.0%
	令和5年度	回答数	206	－	6	99	2	99	24	10	15	37	0	3	1	6	8	0	516
		割合	39.9%	－	1.2%	19.2%	0.4%	19.2%	4.7%	1.9%	2.9%	7.2%	0.0%	0.6%	0.2%	1.2%	1.6%	0.0%	100.0%
	令和6年度	回答数	206	36	6	107	4	154	35	21	17	42	0	2	1	3	9	0	643
		割合	32.0%	5.6%	0.9%	16.6%	0.6%	17.6%	5.4%	3.3%	2.6%	6.5%	0.0%	0.3%	0.2%	0.5%	1.4%	0.0%	100.0%
2 位	令和元年度	回答数	97	－	20	137	5	138	104	59	70	67	2	9	21	16	1	38	784
		割合	12.4%	－	2.6%	17.5%	0.6%	17.6%	13.3%	7.5%	8.9%	8.5%	0.3%	1.1%	2.7%	2.0%	0.1%	4.8%	100.0%
	令和3年度	回答数	105	－	26	132	5	124	94	39	64	63	1	4	8	11	1	40	717
		割合	14.6%	－	3.6%	18.4%	0.7%	17.3%	13.1%	5.4%	8.9%	8.8%	0.1%	0.6%	1.1%	1.5%	0.1%	5.6%	100.0%
	令和4年度	回答数	133	－	25	143	5	131	83	32	51	65	1	11	13	12	3	34	742
		割合	17.9%	－	3.4%	19.3%	0.7%	17.7%	11.2%	4.3%	6.9%	8.8%	0.1%	1.5%	1.8%	1.6%	0.4%	4.6%	100.0%
	令和5年度	回答数	78	－	8	99	1	106	51	38	41	34	2	7	9	7	1	34	516
		割合	15.1%	－	1.6%	19.2%	0.2%	20.5%	9.9%	7.4%	7.9%	6.6%	0.4%	1.4%	1.7%	1.4%	0.2%	6.6%	100.0%
	令和6年度	回答数	75	25	18	89	5	123	75	27	45	41	0	6	10	7	3	94	643
		割合	11.7%	3.9%	2.8%	13.8%	0.8%	19.1%	11.7%	4.2%	7.0%	6.4%	0.0%	0.9%	1.6%	1.1%	0.5%	14.6%	100.0%
3 位	令和元年度	回答数	94	－	25	69	3	85	84	58	105	80	0	26	39	29	8	79	784
		割合	12.0%	－	3.2%	8.8%	0.4%	10.8%	10.7%	7.4%	13.4%	10.2%	0.0%	3.3%	5.0%	3.7%	1.0%	10.1%	100.0%
	令和3年度	回答数	87	－	17	66	5	105	75	49	68	62	2	17	33	26	3	102	717
		割合	12.1%	－	2.4%	9.2%	0.7%	14.6%	10.5%	6.8%	9.5%	8.6%	0.3%	2.4%	4.6%	3.6%	0.4%	14.2%	100.0%
	令和4年度	回答数	88	－	15	62	3	99	82	47	83	58	4	18	32	18	3	130	742
		割合	11.9%	－	2.0%	8.4%	0.4%	13.3%	11.1%	6.3%	11.2%	7.8%	0.5%	2.4%	4.3%	2.4%	0.4%	17.5%	100.0%
	令和5年度	回答数	57	－	13	45	3	61	66	41	45	38	3	12	14	21	3	94	516
		割合	11.0%	－	2.5%	8.7%	0.6%	11.8%	12.8%	7.9%	8.7%	7.4%	0.6%	2.3%	2.7%	4.1%	0.6%	18.2%	100.0%
	令和6年度	回答数	65	20	14	73	6	78	53	38	57	43	1	8	17	8	3	159	643
		割合	10.1%	3.1%	2.2%	11.4%	0.9%	12.1%	8.2%	5.9%	8.9%	6.7%	0.2%	1.2%	2.6%	1.2%	0.5%	24.7%	100.0%
合計	令和元年度	回答数	445	－	56	326	17	416	236	142	203	206	2	43	67	55	21	117	784
		割合	56.8%	－	7.1%	41.6%	2.2%	53.1%	30.1%	18.1%	25.9%	26.3%	0.3%	5.5%	8.5%	7.0%	2.7%	14.9%	100.0%
	令和3年度	回答数	424	－	49	332	11	396	229	112	158	172	4	21	47	40	14	142	717
		割合	59.1%	－	6.8%	46.3%	1.5%	55.2%	31.9%	15.6%	22.0%	24.0%	0.6%	2.9%	6.6%	5.6%	2.0%	19.8%	100.0%
	令和4年度	回答数	447	－	44	349	10	432	210	95	147	177	7	40	50	41	13	164	742
		割合	60.2%	－	5.9%	47.0%	1.3%	58.2%	28.3%	12.8%	19.8%	23.9%	0.9%	5.4%	6.7%	5.5%	1.8%	22.1%	100.0%
	令和5年度	回答数	341	－	27	243	6	266	141	89	101	109	5	22	24	34	12	128	516
		割合	66.1%	－	5.2%	47.1%	1.2%	51.6%	27.3%	17.2%	19.6%	21.1%	1.0%	4.3%	4.7%	6.6%	2.3%	24.8%	100.0%
	令和6年度	回答数	346	81	38	269	15	355	163	86	119	126	1	16	28	18	15	253	643
		割合	53.8%	12.6%	5.9%	41.8%	2.3%	55.2%	25.3%	13.4%	18.5%	19.6%	0.2%	2.5%	4.4%	2.8%	2.3%	39.3%	100.0%

※2番目の選択肢(法曹等の仕事に魅力を感じなくなったから)は令和6年度調査から新たに設けたもの

ウ 法曹志望を断念した(選択肢から外した)理由【1 位】(法曹等を志望したきっかけ別)

SA	選択肢	他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)に魅力を感じたから	法曹等の仕事に魅力がなくなったから	民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せずに法曹等を目指すことに迷いがあったから	自分に法曹等としての適性があるとは思えなかったから	保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対したから	司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がなかったから	司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならず、負担が大きいから	法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できないと思ったから	大学卒業後法科大学院修了までに2～3年の期間を要し、時間的負担が大きいから	大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きいから	大学在学中に司法試験予備試験に合格できなかったから	司法修習期間の生計面に不安があるから	司法試験に合格できても、就職できるから分らないから	司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安を感じたから	その他	回答者数
	回答数	220	35	8	101	4	157	31	19	13	40	1	1	3	2	7	642
	割合	34.3%	5.5%	1.2%	15.7%	0.6%	24.5%	4.8%	3.0%	2.0%	6.2%	0.2%	0.2%	0.5%	0.3%	1.1%	100.0%
	回答数	139	20	4	49	1	75	13	9	13	27	0	0	0	0	4	354
	割合	39.3%	5.6%	1.1%	13.8%	0.3%	21.2%	3.7%	2.5%	3.7%	7.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	100.0%
	回答数	62	11	1	29	0	46	8	7	7	10	0	0	0	0	3	184
	割合	33.7%	6.0%	0.5%	15.8%	0.0%	25.0%	4.3%	3.8%	3.8%	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	100.0%
	回答数	23	5	3	12	0	9	3	1	4	3	0	0	0	0	0	63
	割合	36.5%	7.9%	4.8%	19.0%	0.0%	14.3%	4.8%	1.6%	6.3%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	回答数	117	18	2	72	0	106	19	10	18	18	0	2	0	3	5	390
	割合	30.0%	4.6%	0.5%	8.5%	0.0%	27.2%	4.9%	2.6%	4.6%	4.6%	0.0%	0.5%	0.0%	0.8%	1.3%	100.0%
	回答数	52	7	2	22	0	26	5	3	6	3	0	0	0	0	0	126
	割合	41.3%	5.6%	1.6%	17.5%	0.0%	20.6%	4.0%	2.4%	4.8%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	回答数	28	2	0	17	0	18	4	4	2	8	0	0	0	0	1	84
	割合	33.3%	2.4%	0.0%	20.2%	0.0%	21.4%	4.8%	4.8%	2.4%	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	100.0%
	回答数	22	7	1	16	0	22	3	3	2	1	0	0	0	1	1	79
	割合	27.8%	8.9%	1.3%	20.3%	0.0%	37.8%	3.8%	3.8%	2.5%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	1.3%	100.0%
	回答数	14	5	0	11	0	16	4	2	2	4	0	0	0	0	1	59
	割合	23.7%	8.5%	0.0%	18.6%	0.0%	27.1%	6.8%	3.4%	3.4%	6.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	100.0%
	回答数	9	2	1	6	1	3	2	1	1	0	1	0	0	0	0	27
	割合	33.3%	7.4%	3.7%	22.2%	3.7%	11.1%	7.4%	3.7%	3.7%	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	回答数	20	3	0	12	0	11	2	4	0	3	0	0	0	0	0	55
	割合	36.4%	5.5%	0.0%	21.8%	0.0%	20.0%	3.6%	7.3%	0.0%	5.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他	回答数	3	3	0	4	0	4	3	0	1	0	0	0	0	0	2	20
	割合	15.0%	15.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	15.0%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	100.0%
特になし	回答数	8	1	0	4	0	2	2	1	0	0	0	0	0	0	2	20
	割合	40.0%	5.0%	0.0%	20.0%	0.0%	10.0%	10.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	100.0%

エ 法曹志望を断念した(選択肢から外した)理由【1 位】(法曹等を志望したきっかけ別 女性)

SA	選択肢	他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)に魅力を感じたから	法曹等の仕事に魅力がなくなったから	民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せずに法曹等を目指すことに迷いがあつたから	自分に法曹等としての適性があるとは思えなかったから	保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対したから	司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がなかったから	司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならず、負担が大きいから	法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できないと思ったから	大学卒業後法科大学院修了までに2～3年の期間を要し、時間的負担が大きいから	大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きいから	大学在学中に司法試験予備試験に合格できなかったから	司法修習期間中の生計面に不安があるから	司法試験に合格できても、就職できるから分らないから	司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安を感じたから	その他	回答者数
	回答数	117	19	5	60	4	95	18	12	7	27	0	1	1	1	4	371
	割合	31.5%	5.1%	1.3%	16.2%	1.1%	25.6%	4.9%	3.2%	1.9%	7.3%	0.0%	0.3%	0.3%	0.3%	1.1%	100.0%
	回答数	77	12	1	33	1	51	11	6	10	19	0	0	0	0	3	224
	割合	34.4%	5.4%	0.4%	14.7%	0.4%	22.8%	4.9%	2.7%	4.5%	8.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	100.0%
	回答数	30	5	0	18	0	32	6	4	5	7	0	0	0	0	3	110
	割合	27.3%	4.5%	0.0%	16.4%	0.0%	29.1%	5.5%	3.6%	4.5%	6.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	100.0%
	回答数	13	5	2	6	0	5	1	1	2	3	0	0	0	0	0	38
	割合	34.2%	13.2%	5.3%	15.8%	0.0%	13.2%	2.6%	2.6%	5.3%	7.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	回答数	72	11	0	48	0	73	13	8	13	14	0	2	0	3	2	259
	割合	27.8%	4.2%	0.0%	18.5%	0.0%	28.2%	5.0%	3.1%	5.0%	5.4%	0.0%	0.8%	0.0%	1.2%	0.8%	100.0%
	回答数	33	4	0	14	0	16	4	3	5	3	0	0	0	0	0	82
	割合	40.2%	4.9%	0.0%	17.1%	0.0%	19.5%	4.9%	3.7%	6.1%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	回答数	16	1	0	12	0	16	2	4	2	7	0	0	0	0	1	61
	割合	26.2%	1.6%	0.0%	19.7%	0.0%	26.2%	3.3%	6.6%	3.3%	11.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	100.0%
	回答数	12	5	0	8	0	11	3	3	1	1	0	0	0	1	1	46
	割合	26.1%	10.9%	0.0%	17.6%	0.0%	23.9%	6.5%	6.5%	2.2%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	2.2%	100.0%
	回答数	6	4	0	6	0	13	3	2	2	4	0	0	0	0	1	41
	割合	14.6%	9.8%	0.0%	14.6%	0.0%	31.7%	7.3%	4.9%	4.9%	9.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	100.0%
	回答数	4	1	1	3	1	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	14
	割合	28.6%	7.1%	7.1%	21.4%	7.1%	14.3%	0.0%	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	回答数	13	3	0	6	0	9	1	3	0	2	0	0	0	0	0	36
	割合	36.1%	5.6%	0.0%	16.7%	0.0%	25.0%	2.8%	8.3%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	回答数	1	2	0	2	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	2	11
	割合	9.1%	18.2%	0.0%	18.2%	0.0%	27.3%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%	100.0%
	回答数	2	0	0	2	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1	9
	割合	22.2%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	22.2%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	100.0%

オ 法曹志望を断念した(選択肢から外した)理由【1位】(法曹等の仕事に感じていた魅力別)

SA	選択肢	他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)に魅力を感じたから	法曹等の仕事に魅力を感じなくなったから	民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せずに法曹等を目指すことに迷いがあつたから	自分に法曹等としての適性があるとは思えなかったから	保護者等の周囲の者が法曹等を志することに反対したから	司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がなかったから	司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならず、負担が大いから	法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できないと思ったから	大学卒業後法科大学院修了までに2～3年の期間を要し、時間的負担が大いから	大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大いから	大学在学中に司法試験予備に合格できなかったから	司法修習期間中の生活に不安があるから	司法試験に合格できても、就職できるから分らないから	司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安を感じたから	その他	回答者数
仕事の内容に多くの選択肢があり、自由度が高いところ	回答数	56	12	3	19	1	40	7	3	5	6	0	1	0	2	1	156
	割合	35.9%	7.7%	1.9%	12.2%	0.6%	25.6%	4.5%	1.9%	3.2%	3.8%	0.0%	0.6%	0.0%	1.3%	1.5%	100.0%
法律に関する専門的知識を使った仕事ができるところ	回答数	229	34	4	102	2	146	32	19	9	41	0	1	3	3	4	629
	割合	36.4%	5.4%	0.6%	16.2%	0.3%	23.2%	5.1%	3.0%	1.4%	6.5%	0.0%	0.2%	0.5%	0.5%	0.6%	100.0%
社会的弱者や困っている人を助けることができる	回答数	178	23	4	66	2	97	22	11	13	24	0	1	1	1	6	449
	割合	39.6%	5.1%	0.9%	14.7%	0.4%	21.6%	4.9%	2.4%	2.9%	5.3%	0.0%	0.2%	0.2%	0.2%	1.3%	100.0%
基本的人権の擁護や社会正義の実現に寄与できるところ	回答数	105	12	2	38	1	68	16	11	12	14	0	0	0	0	3	282
	割合	37.2%	4.3%	0.7%	13.5%	0.4%	24.1%	5.7%	3.9%	4.3%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	100.0%
国際的な分野も含め、活躍できる分野が広がっているところ	回答数	31	5	5	13	0	9	4	1	4	6	0	1	0	0	0	79
	割合	39.2%	6.3%	6.3%	16.5%	0.0%	11.4%	5.1%	1.3%	5.1%	7.6%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
社会的地位・信用が高いところ	回答数	141	28	2	70	0	107	30	11	10	20	0	0	0	2	5	426
	割合	33.1%	6.6%	0.5%	16.4%	0.0%	25.1%	7%	2.6%	2.3%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	1.2%	100.0%
高収入が期待できるところ	回答数	125	22	1	61	0	100	19	10	9	25	1	0	0	2	5	380
	割合	32.9%	5.8%	0.3%	16.1%	0.0%	26.3%	5.0%	2.6%	2.4%	6.6%	0.3%	0.0%	0.0%	0.5%	1.3%	100.0%
経済的に安定しているところ	回答数	76	18	2	33	1	58	7	4	4	14	0	0	0	2	2	221
	割合	24.4%	8.1%	0.9%	14.9%	0.5%	26.2%	3.2%	1.8%	1.8%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.9%	100.0%
働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランス(仕事と生活の調和)を実現できるところ(結婚、出産や育児等のライフイベントに有利であることを含む)	回答数	19	2	0	11	1	13	3	2	0	4	0	0	0	0	0	55
	割合	34.5%	3.6%	0.0%	20.0%	1.8%	23.6%	5.5%	3.6%	0.0%	7.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他	回答数	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
特になし	回答数	5	3	0	2	0	2	2	1	0	0	0	0	0	0	1	16
	割合	31.3%	18.8%	0.0%	12.5%	0.0%	12.5%	12.5%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	100.0%

カ 法曹志望を断念した(選択肢から外した)理由【1 位】(法曹等の仕事に感じていた魅力別 女性)

SA	選択肢	他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)に魅力を感じたから	法曹等の仕事に魅力がなくなったから	民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せずに法曹等を目指すことに迷いがあつたから	自分に法曹等としての適性があるとは思えなかったから	保護者等の周囲の者が法曹等を志することに反対したから	司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がなかったから	司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならず、負担が大いから	法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できないと思ったから	大学卒業後法科大学院修了までに2～3年の期間を要し、時間的負担が大いから	大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大いから	大学在学中に司法試験予備に合格できなかったから	司法修習期間中の生計面に不安があるから	司法試験に合格できても、就職できるから分らないから	司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安を感じたから	その他	回答者数
仕事の内容に多くの選択肢があり、自由度が高いところ	回答数	18	5	1	9	1	19	5	3	3	4	0	1	0	1	0	70
	割合	25.7%	7.1%	1.4%	12.9%	1.4%	27.1%	7.1%	4.3%	4.3%	5.7%	0.0%	1.4%	0.0%	1.4%	0.0%	100.0%
法律に関する専門的知識を使った仕事ができるところ	回答数	123	19	1	61	2	97	22	14	5	30	0	1	1	2	3	381
	割合	32.3%	5.0%	0.3%	16.0%	0.5%	25.5%	5.8%	3.7%	1.3%	7.9%	0.0%	0.3%	0.3%	0.5%	0.8%	100.0%
社会的弱者や困っている人を助けることができるところ	回答数	101	13	2	46	2	64	15	7	9	15	0	1	1	1	4	281
	割合	35.9%	4.6%	0.7%	16.4%	0.7%	22.8%	5.3%	2.5%	3.2%	5.3%	0.0%	0.4%	0.4%	0.4%	1.4%	100.0%
基本的人権の擁護や社会正義の実現に寄与できるところ	回答数	50	6	1	26	1	46	13	7	8	9	0	0	0	0	3	170
	割合	29.4%	3.5%	0.6%	15.3%	0.6%	27.1%	7.6%	4.1%	4.7%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	100.0%
国際的な分野も含め、活躍できる分野が広がっているところ	回答数	17	4	3	9	0	6	3	1	4	5	0	1	0	0	0	53
	割合	32.1%	7.5%	5.7%	17.0%	0.0%	11.3%	5.7%	1.9%	7.5%	9.4%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
社会的地位・信用が高いところ	回答数	76	17	1	41	0	63	19	10	8	14	0	0	0	2	4	255
	割合	29.8%	6.7%	0.4%	16.1%	0.0%	24.7%	7.5%	3.9%	3.1%	5.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	1.6%	100.0%
高収入が期待できるところ	回答数	57	17	0	38	0	62	12	8	6	21	0	0	0	2	4	227
	割合	25.1%	7.5%	0.0%	16.7%	0.0%	27.3%	5.3%	3.5%	2.6%	9.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	1.8%	100.0%
経済的に安定しているところ	回答数	41	17	0	26	1	38	3	3	1	10	0	0	0	2	2	144
	割合	28.5%	11.8%	0.0%	18.1%	0.7%	26.4%	2.1%	2.1%	0.7%	6.9%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	1.4%	100.0%
働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランス(仕事と生活の調和)を実現できるところ(結婚、出産や育児等のライフイベントに有利であることを含む)	回答数	11	2	0	9	1	10	3	1	0	3	0	0	0	0	0	40
	割合	27.5%	5.0%	0.0%	22.5%	2.5%	25.0%	7.5%	2.5%	0.0%	7.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他	回答数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
特になし	回答数	2	0	0	2	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	8
	割合	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

7. 法曹等を志望しない(選択肢の1つとしても考えない)理由

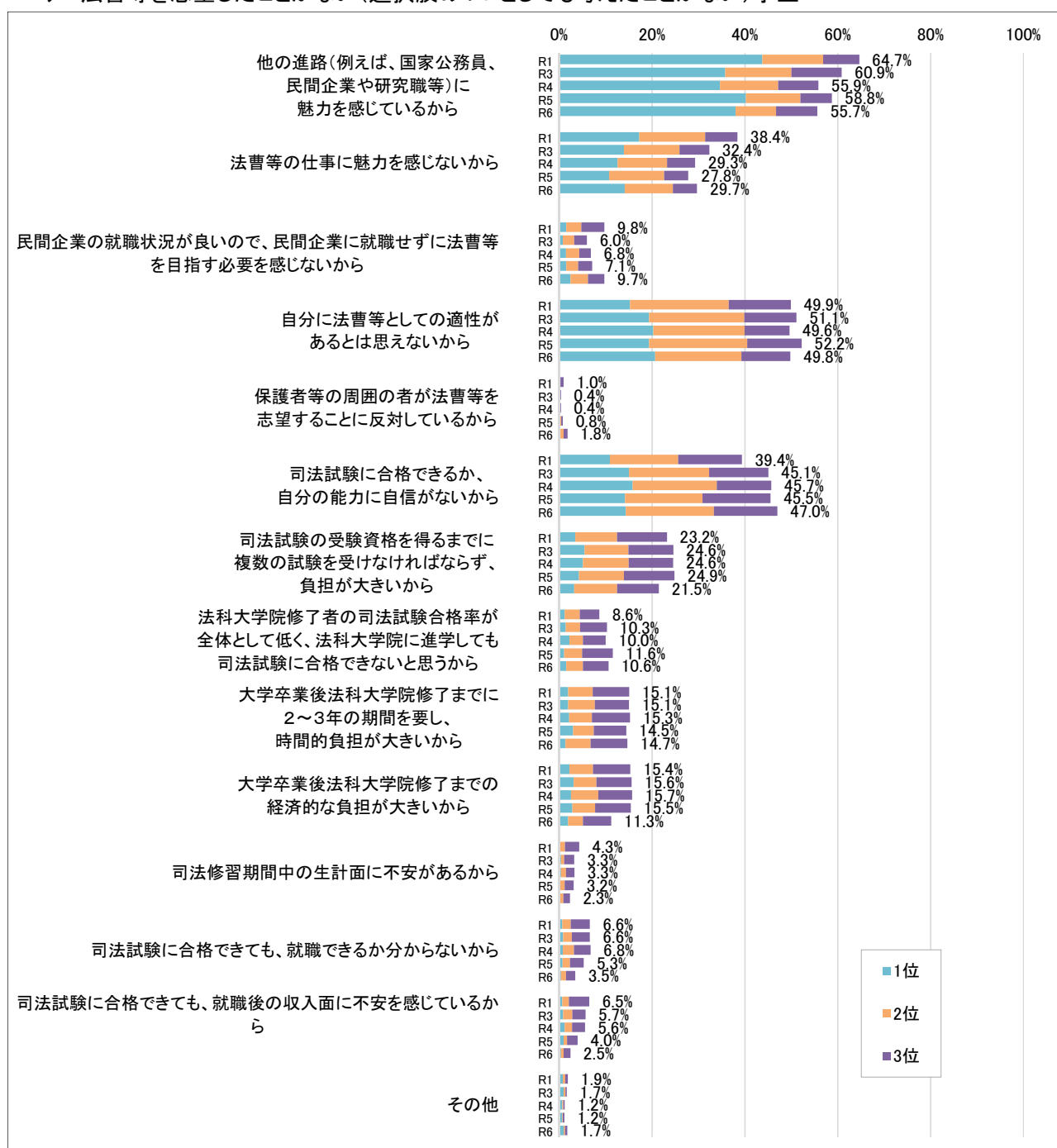
法曹等を志望したことがない(選択肢の1つとしても考えたことがない)学生に、その理由を尋ねた結果、「他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)に魅力を感じているから」との回答割合が約56%と最も高く、次いで「自分に法曹等としての適性があるとは思えないから」が約50%、「司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がないから」が約47%などと続いている。

「法曹等の仕事に魅力を感じないから」は令和元年度以降減少が続いているが令和6年度にやや増加している。

女性に限って見た場合もほぼ同様の結果だが、やや「法曹等の仕事に魅力を感じないから」が全体と比べて低い。

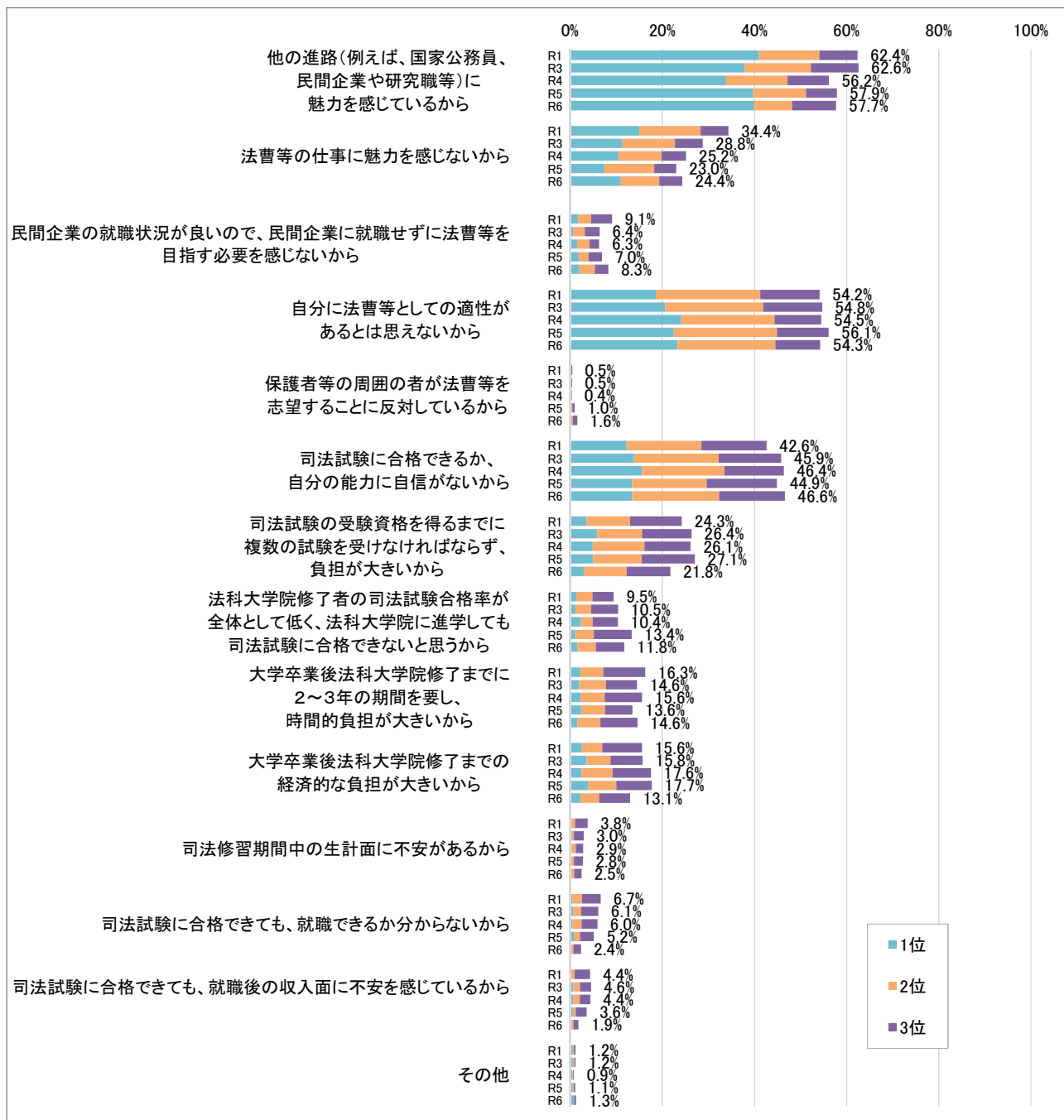
なお、「その他」として、令和6年度調査では、「法曹の仕事、特に弁護士の仕事はかなり忙しく責任の重い仕事だと聞いているから」、「就職後のワークライフバランスに不安があるから」、「法学科ではなく政治学科に所属し、また政治学等に対する興味が強いから」、「仮に司法試験に合格できなかった場合のセーフティーネットが心許ないから」などの回答があった。

ア 法曹等を志望したことがない(選択肢の1つとしても考えたことがない)学生



	SA	選択肢	他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)に魅力を感じているから	法曹等の仕事に魅力を感じないから	民間企業の就職状況が良好で、民間企業に就く必要を感じないから	自分に法曹等としての適性があるとは思えないから	保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対しているから	司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がないから	司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならず、負担が大きいから	法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できないと思うから	大学卒業後法科大学院修了までに2～3年の期間を要し、時間的負担が大きいから	大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きいから	司法修習期間中の生計に不安があるから	司法試験に合格できても、就職できるから分らないから	司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安を感じているから	その他	選択無し	回答者数
1 位	令和元年度	回答数	1,129	445	40	394	0	282	89	31	50	58	5	18	17	21	0	2,579
		割合	43.8%	17.3%	1.6%	15.3%	0.0%	10.9%	3.5%	1.2%	1.9%	2.2%	0.2%	0.7%	0.7%	0.8%	0.0%	100.0%
	令和3年度	回答数	1,144	447	25	619	1	480	174	45	62	101	12	27	27	31	0	3,195
		割合	35.8%	14.0%	0.8%	19.4%	0.0%	15.0%	5.4%	1.4%	1.9%	3.2%	0.4%	0.8%	0.8%	1.0%	0.0%	100.0%
	令和4年度	回答数	940	342	40	551	1	430	139	60	58	69	11	21	32	18	0	2,712
		割合	34.7%	12.6%	1.5%	20.3%	0.0%	15.9%	5.1%	2.2%	2.1%	2.5%	0.4%	0.8%	1.2%	0.7%	0.0%	100.0%
	令和5年度	回答数	726	194	28	350	3	256	77	20	55	51	3	13	17	12	0	1,805
		割合	40.2%	10.7%	1.6%	19.4%	0.2%	14.2%	4.3%	1.1%	3.0%	2.8%	0.2%	0.7%	0.9%	0.7%	0.0%	100.0%
	令和6年度	回答数	804	299	52	438	6	304	69	33	29	41	4	8	8	20	0	2,115
		割合	38.0%	14.1%	2.5%	20.7%	0.3%	14.4%	3.3%	1.6%	1.4%	1.9%	0.2%	0.4%	0.4%	0.9%	0.0%	100.0%
2 位	令和元年度	回答数	338	367	84	548	7	380	233	83	137	130	27	47	37	13	148	2,579
		割合	13.1%	14.2%	3.3%	21.2%	0.3%	14.7%	9.0%	3.2%	5.3%	5.0%	1.0%	1.8%	1.4%	0.5%	5.7%	100.0%
	令和3年度	回答数	454	382	79	656	3	553	303	99	183	156	22	61	64	13	167	3,195
		割合	14.2%	12.0%	2.5%	20.5%	0.1%	17.3%	9.5%	3.1%	5.7%	4.9%	0.7%	1.9%	2.0%	0.4%	5.2%	100.0%
	令和4年度	回答数	340	289	78	532	3	492	267	79	133	160	29	66	44	6	194	2,712
		割合	12.5%	10.7%	2.9%	19.6%	0.1%	18.1%	9.8%	2.9%	4.9%	5.9%	1.1%	2.4%	1.6%	0.2%	7.2%	100.0%
	令和5年度	回答数	212	214	46	381	5	302	175	70	80	89	19	29	14	2	167	1,805
		割合	11.7%	11.9%	2.5%	21.1%	0.3%	16.7%	9.7%	3.9%	4.4%	4.9%	1.1%	1.6%	0.8%	0.1%	9.3%	100.0%
	令和6年度	回答数	185	219	80	392	14	401	195	75	114	68	15	23	12	6	316	2,115
		割合	8.7%	10.4%	3.8%	18.5%	0.7%	19.0%	9.2%	3.5%	5.4%	3.2%	0.7%	1.1%	0.6%	0.3%	14.9%	100.0%
3 位	令和元年度	回答数	201	179	128	345	18	354	277	109	202	208	80	106	114	14	244	2,579
		割合	7.8%	6.9%	5.0%	13.4%	0.7%	13.7%	10.7%	4.2%	7.8%	8.1%	3.1%	4.1%	4.4%	0.5%	9.5%	100.0%
	令和3年度	回答数	347	205	88	359	9	407	309	185	236	242	70	123	92	9	514	3,195
		割合	10.9%	6.4%	2.8%	11.2%	0.3%	12.7%	9.7%	5.8%	7.4%	7.6%	2.2%	3.8%	2.9%	0.3%	16.1%	100.0%
	令和4年度	回答数	235	164	67	263	7	318	260	133	224	198	50	97	76	9	611	2,712
		割合	8.7%	6.0%	2.5%	9.7%	0.3%	11.7%	9.6%	4.9%	8.3%	7.3%	1.8%	3.6%	2.8%	0.3%	22.5%	100.0%
	令和5年度	回答数	123	94	55	212	6	264	197	119	126	139	35	54	41	7	333	1,805
		割合	6.8%	5.2%	3.0%	11.7%	0.3%	14.6%	10.9%	6.6%	7.0%	7.7%	1.9%	3.0%	2.3%	0.4%	18.4%	100.0%
	令和6年度	回答数	188	110	74	224	18	289	191	117	168	129	30	42	32	11	492	2,115
		割合	8.9%	5.2%	3.5%	10.6%	0.9%	13.7%	9.0%	5.5%	7.9%	6.1%	1.4%	2.0%	1.5%	0.5%	23.3%	100.0%
合計	令和元年度	回答数	1,668	991	252	1,287	25	1,016	599	223	389	396	112	171	168	48	392	2,579
		割合	64.7%	38.4%	9.8%	49.9%	1.0%	39.4%	23.2%	8.6%	15.1%	15.4%	4.3%	6.6%	6.5%	1.9%	15.2%	100.0%
	令和3年度	回答数	1,945	1,034	192	1,634	13	1,440	786	329	481	499	104	211	183	53	681	3,195
		割合	60.9%	32.4%	6.0%	51.1%	0.4%	45.1%	24.6%	10.3%	15.1%	15.6%	3.3%	6.6%	5.7%	1.7%	21.3%	100.0%
	令和4年度	回答数	1,515	795	185	1,346	11	1,240	666	272	415	427	90	184	152	33	805	2,712
		割合	55.9%	29.3%	6.8%	49.6%	0.4%	45.7%	24.6%	10.0%	15.3%	15.7%	3.3%	6.8%	5.6%	1.2%	29.7%	100.0%
	令和5年度	回答数	1,061	502	129	943	14	822	449	209	261	279	57	96	72	21	500	1,805
		割合	58.8%	27.8%	7.1%	52.2%	0.8%	45.5%	24.9%	11.6%	14.5%	15.5%	3.2%	5.3%	4.0%	1.2%	27.7%	100.0%
	令和6年度	回答数	1,177	628	206	1,054	38	994	455	225	311	238	49	73	52	37	808	2,115
		割合	55.7%	29.7%	9.7%	49.8%	1.8%	47.0%	21.5%	10.6%	14.7%	11.3%	2.3%	3.5%	2.5%	1.7%	38.2%	100.0%

イ 法曹等を志望したことがない(選択肢の1つとしても考えたことがない)女性



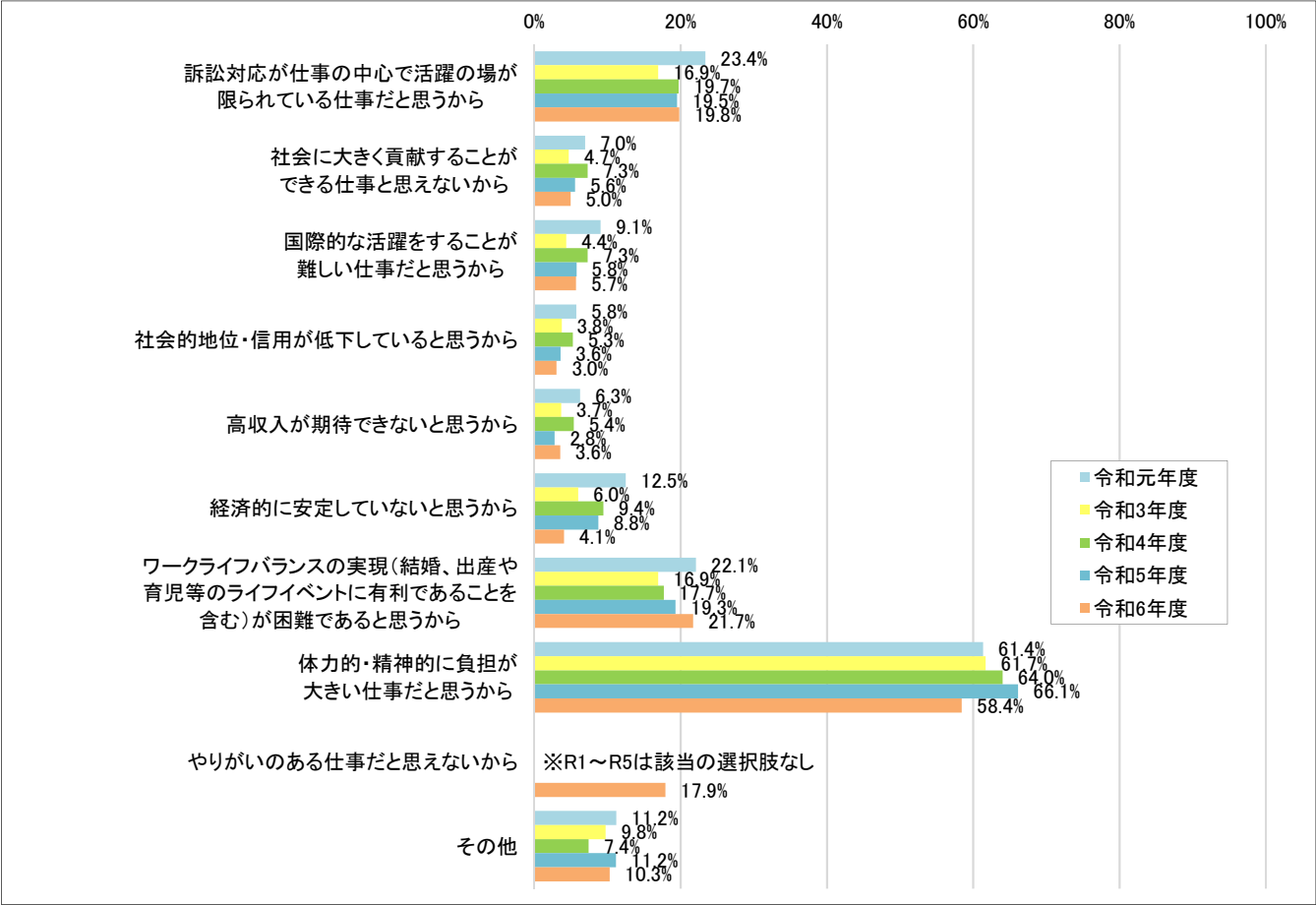
	SA	選択肢	他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)に魅力を感じているから	法曹等の仕事に魅力を感じないから	民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就く必要を感じないから	自分に法曹等としての適性があるとは思えないから	保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対しているから	司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がないから	司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならず、負担が大きいから	法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できないと思うから	大学卒業後法科大学院修了までに2～3年の期間を要し、時間的負担が大きいから	大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きいから	司法修習期間中の生活に不安があるから	司法試験に合格できても、就職できるから分らないから	司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安を感じているから	その他	選択無し	回答者数
1 位	令和元年度	回答数	480	176	20	218	0	144	42	16	26	30	2	6	3	7	0	1,170
		割合	41.0%	15.0%	1.7%	18.6%	0.0%	12.3%	3.6%	1.4%	2.2%	2.6%	0.2%	0.5%	0.3%	0.6%	0.0%	100.0%
		回答数	563	169	10	307	1	206	88	18	30	54	7	10	11	9	0	1,483
		割合	38.0%	11.4%	0.7%	20.7%	0.1%	13.9%	5.9%	1.2%	2.0%	3.6%	0.5%	0.7%	0.7%	0.6%	0.0%	100.0%
		回答数	460	143	21	328	0	212	67	32	32	34	5	8	9	7	0	1,358
		割合	33.9%	10.5%	1.5%	24.2%	0.0%	15.6%	4.9%	2.4%	2.4%	2.5%	0.4%	0.6%	0.7%	0.5%	0.0%	100.0%
		回答数	383	72	18	217	2	130	48	11	23	38	2	8	6	6	0	964
		割合	39.7%	7.5%	1.9%	22.5%	0.2%	13.5%	5.0%	1.1%	2.4%	3.9%	0.2%	0.8%	0.6%	0.6%	0.0%	100.0%
		回答数	431	119	22	252	2	146	32	17	17	25	1	1	5	9	0	1,079
		割合	39.9%	11.0%	2.0%	23.4%	0.2%	13.5%	3.0%	1.6%	1.6%	2.3%	0.1%	0.1%	0.5%	0.8%	0.0%	100.0%
2 位	令和元年度	回答数	153	156	34	265	1	190	111	41	59	52	11	25	9	3	60	1,170
		割合	13.1%	13.3%	2.9%	22.6%	0.1%	16.2%	9.5%	3.5%	5.0%	4.4%	0.9%	2.1%	0.8%	0.3%	5.1%	100.0%
		回答数	212	169	38	315	2	272	144	50	86	76	6	26	21	5	61	1,483
		割合	14.3%	11.4%	2.6%	21.2%	0.1%	18.3%	9.7%	3.4%	5.8%	5.1%	0.4%	1.8%	1.4%	0.3%	4.1%	100.0%
		回答数	181	127	37	275	2	243	152	35	70	92	12	26	20	2	84	1,358
		割合	13.3%	9.4%	2.7%	20.3%	0.1%	17.9%	11.2%	2.6%	5.2%	6.8%	0.9%	1.9%	1.5%	0.1%	6.2%	100.0%
		回答数	111	104	21	216	3	156	102	39	50	59	6	13	6	2	76	964
		割合	11.5%	10.8%	2.2%	22.4%	0.3%	16.2%	10.6%	4.0%	5.2%	6.1%	0.6%	1.3%	0.6%	0.2%	7.9%	100.0%
		回答数	89	90	36	229	5	203	101	44	54	43	9	7	3	1	165	1,079
		割合	8.2%	8.3%	3.3%	21.2%	0.5%	18.8%	9.4%	4.1%	5.0%	4.0%	0.8%	0.6%	0.3%	0.1%	15.3%	100.0%
3 位	令和元年度	回答数	97	70	53	151	5	165	131	54	106	101	32	47	39	4	115	1,170
		割合	8.3%	6.0%	4.5%	12.9%	0.4%	14.1%	11.2%	4.6%	9.1%	8.6%	2.7%	4.0%	3.3%	0.3%	9.8%	100.0%
		回答数	154	89	47	190	4	202	159	87	100	104	31	55	36	4	221	1,483
		割合	10.4%	6.0%	3.2%	12.8%	0.3%	13.6%	10.7%	5.9%	6.7%	7.0%	2.1%	3.7%	2.4%	0.3%	14.9%	100.0%
		回答数	122	72	28	137	3	175	136	74	110	113	22	47	31	3	285	1,358
		割合	9.0%	5.3%	2.1%	10.1%	0.2%	12.9%	10.0%	5.4%	8.1%	8.3%	1.6%	3.5%	2.3%	0.2%	21.0%	100.0%
		回答数	64	46	28	108	5	147	111	79	58	74	19	29	23	3	170	964
		割合	6.6%	4.8%	2.9%	11.2%	0.5%	15.2%	11.5%	8.2%	6.0%	7.7%	2.0%	3.0%	2.4%	0.3%	17.6%	100.0%
		回答数	103	54	32	105	10	154	102	66	87	73	17	18	12	4	242	1,079
		割合	9.5%	5.0%	3.0%	9.7%	0.9%	14.3%	9.5%	6.1%	8.1%	6.8%	1.6%	1.7%	1.1%	0.4%	22.4%	100.0%
合計	令和元年度	回答数	730	402	107	634	6	499	284	111	191	183	45	78	51	14	175	1,170
		割合	62.4%	34.4%	9.1%	54.2%	0.5%	42.6%	24.3%	9.5%	16.3%	15.6%	3.8%	6.7%	4.4%	1.2%	15.0%	100.0%
		回答数	929	427	95	812	7	680	391	155	216	234	44	91	68	18	282	1,483
		割合	62.6%	28.8%	6.4%	54.8%	0.5%	45.9%	26.4%	10.5%	14.6%	15.8%	3.0%	6.1%	4.6%	1.2%	19.0%	100.0%
		回答数	763	342	86	740	5	630	355	141	212	239	39	81	60	12	369	1,358
		割合	56.2%	25.2%	6.3%	54.5%	0.4%	46.4%	26.1%	10.4%	15.6%	17.6%	2.9%	6.0%	4.4%	0.9%	27.2%	100.0%
		回答数	558	222	67	541	10	433	261	129	131	171	27	50	35	11	246	964
		割合	57.9%	23.0%	7.0%	56.1%	1.0%	44.9%	27.1%	13.4%	13.6%	17.7%	2.8%	5.2%	3.6%	1.1%	25.5%	100.0%
		回答数	623	263	90	586	17	503	235	127	158	141	27	26	20	14	407	1,079
		割合	57.7%	24.4%	8.3%	54.3%	1.6%	46.6%	21.8%	11.8%	14.6%	13.1%	2.5%	2.4%	1.9%	1.3%	37.7%	100.0%

8. 法曹等に魅力を感じない理由

法曹等を志望又は選択肢の1つとしても考えたことがなく、またその理由として「法曹等の仕事に魅力を感じないから」と回答した学生に、その理由を尋ねた結果、「体力的・精神的に負担が大きい仕事だと思うから」が約 58%と突出して高い。また、ワークライフバランスの実現が困難であるとの回答も約 22%と増加傾向にある。

女性に限って見た場合もほぼ同様の結果であった。
なお、「その他」として令和 6 年度調査では、「この国の司法制度、法曹の役割について共感できず、また疑問があるから」、「職業として法律を用いて事件を解決することに重みを感じてしまうため」、「法学に対して興味を惹かれないから」、「時に罪を犯した人の弁護をしなくてはならず、弱者を守る立場であるとはいえ、自分の性分に合わないため」などの回答があった。

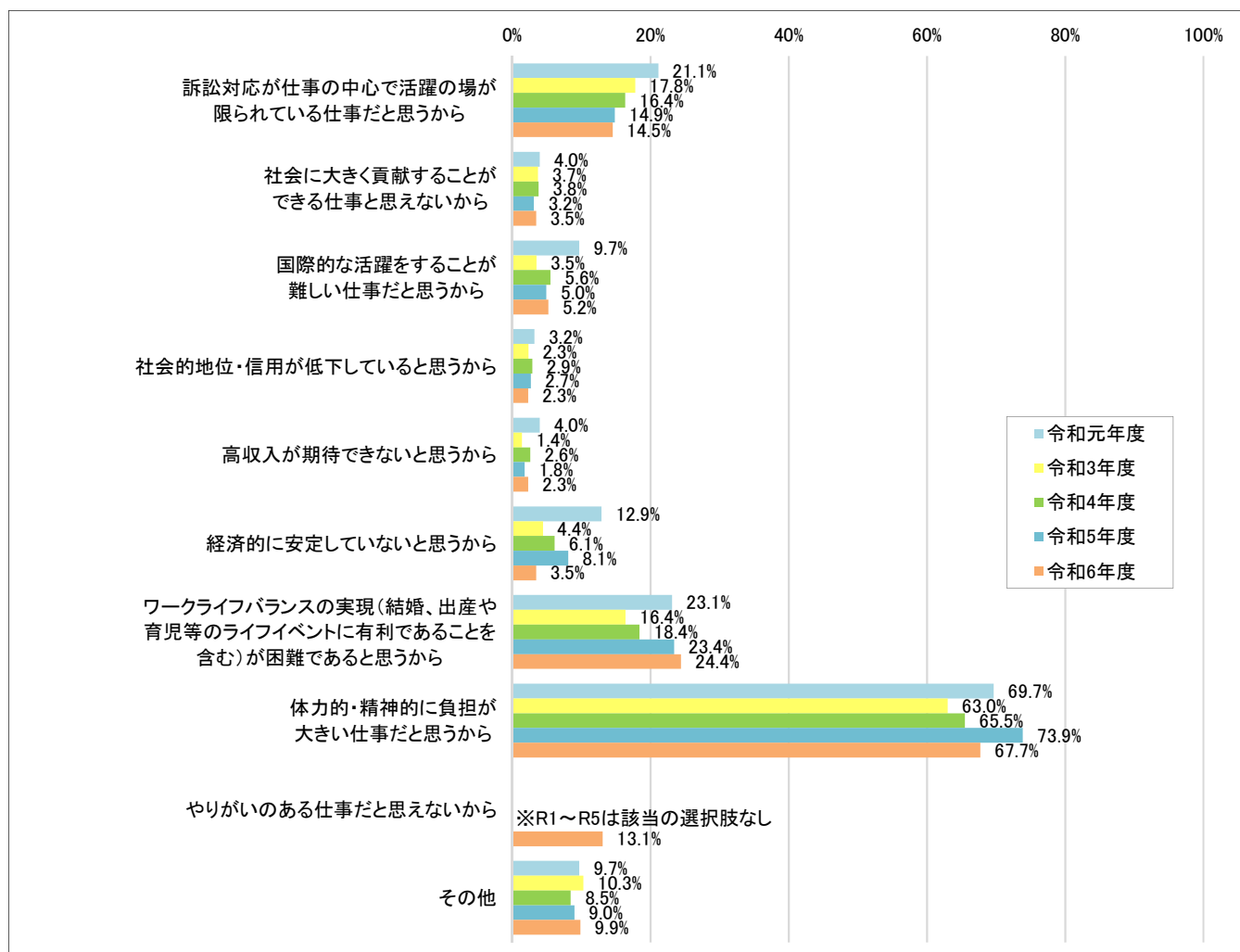
ア 法曹等を志望したことがない(選択肢の1つとしても考えたことがない)学生



MA	選択肢	訴訟対応が仕事の中心で活躍の場が限られている仕事だと思うから	社会に大きく貢献することができる仕事と思えないから	国際的な活躍をすることが難しい仕事だと思うから	社会的地位・信用が低下していると思うから	高収入が期待できないと思うから	経済的に安定していないと思うから	ワークライフバランスの実現(結婚、出産や育児等のライフイベントに有利であることを含む)が困難であると思うから	体力的・精神的に負担が大きい仕事だと思うから	やりがいのある仕事と思えないから	その他	回答者数
令和元年度	回答数	232	69	90	57	62	124	219	608	—	111	991
令和元年度	割合	23.4%	7.0%	9.1%	5.8%	6.3%	12.5%	22.1%	61.4%	—	11.2%	—
令和3年度	回答数	175	49	45	39	38	62	175	638	—	101	1,034
令和3年度	割合	16.9%	4.7%	4.4%	3.8%	3.7%	6.0%	16.9%	61.7%	—	9.8%	—
令和4年度	回答数	157	58	58	42	43	75	141	509	—	59	795
令和4年度	割合	19.7%	7.3%	7.3%	5.3%	5.4%	9.4%	17.7%	64.0%	—	7.4%	—
令和5年度	回答数	98	28	29	18	14	44	97	332	—	56	502
令和5年度	割合	19.5%	5.6%	5.8%	3.6%	2.8%	8.8%	19.3%	66.1%	—	11.2%	—
令和6年度	回答数	156	39	45	24	28	32	171	460	141	81	787
令和6年度	割合	19.8%	5.0%	5.7%	3.0%	3.6%	4.1%	21.7%	58.4%	17.9%	10.3%	—

※9番目の選択肢(やりがいのある仕事と思えないから)は令和6年度調査から新たに設けたもの

イ 法曹等を志望したことがない(選択肢の1つとしても考えたことがない)女性



MA	選択肢	訴訟対応が仕事の中心で活躍の場が限られている仕事だと思うから	社会に大きく貢献することができる仕事と思えないから	国際的な活躍をすることが難しい仕事だと思うから	社会的地位・信用が低下していると思うから	高収入が期待できないと思うから	経済的に安定していないと思うから	ワークライフバランスの実現(結婚、出産や育児等のライフイベントに有利であることを含む)が困難であると思うから	体力的・精神的に負担が大きい仕事だと思うから	やりがいのある仕事と思えないから	その他	回答者数
令和元年度	回答数	85	16	39	13	16	52	93	280	—	39	402
	割合	21.1%	4.0%	9.7%	3.2%	4.0%	12.9%	23.1%	69.7%	—	9.7%	—
令和3年度	回答数	76	16	15	10	6	19	70	269	—	44	427
	割合	17.8%	3.7%	3.5%	2.3%	1.4%	4.4%	16.4%	63.0%	—	10.3%	—
令和4年度	回答数	56	13	19	10	9	21	63	224	—	29	342
	割合	16.4%	3.8%	5.6%	2.9%	2.6%	6.1%	18.4%	65.5%	—	8.5%	—
令和5年度	回答数	33	7	11	6	4	18	52	164	—	20	222
	割合	14.9%	3.2%	5.0%	2.7%	1.8%	8.1%	23.4%	73.9%	—	9.0%	—
令和6年度	回答数	50	12	18	8	8	12	84	233	45	34	344
	割合	14.5%	3.5%	5.2%	2.3%	2.3%	3.5%	24.4%	67.7%	13.1%	9.9%	—

※9番目の選択肢(やりがいのある仕事と思えないから)は令和6年度調査から新たに設けたもの

第6 法曹コース(連携法曹基礎課程)・法科大学院への進学希望の有無等

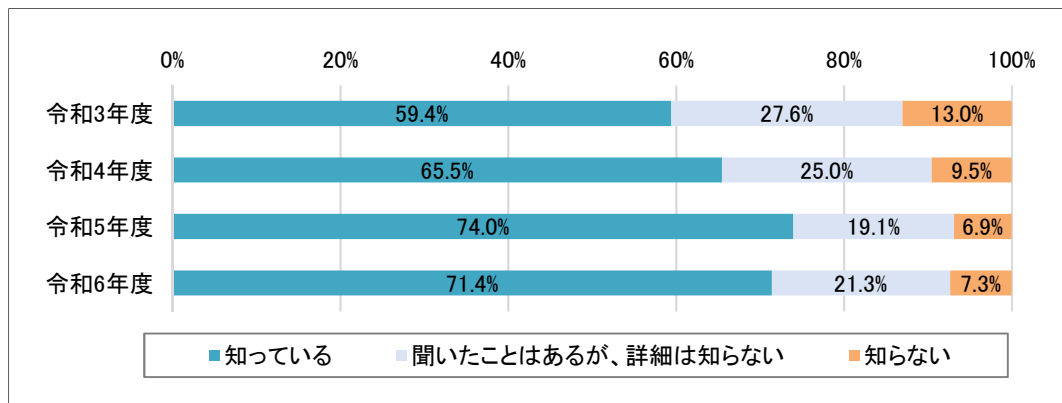
1. 法曹コースの認知度

法曹コースの認知度は学生全体で約 71%、現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生においては約 88%、法曹等を志望している学生においては約 88%と高い水準である。

令和5年度と比べ、法曹等を志望している学生の「知っている」との回答が約 8%減少している。

法曹等を志望していない学生においても 62%に認知されている。

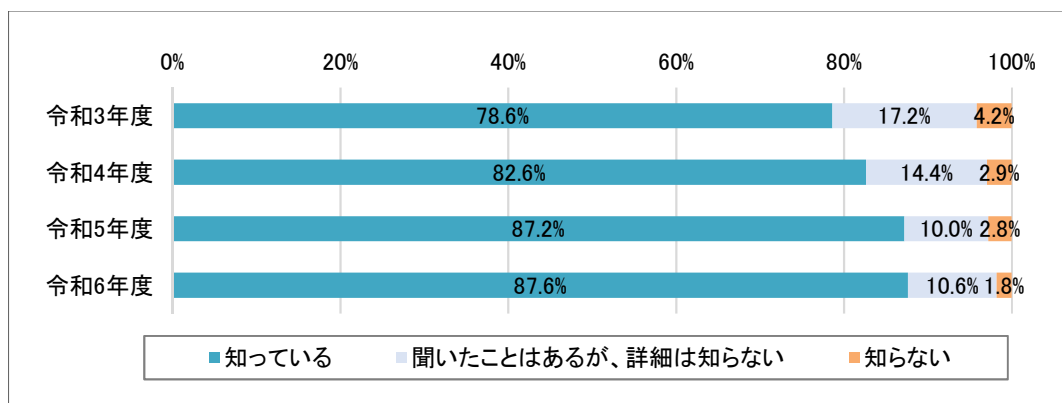
ア 全学生



SA	選択肢	知っている	聞いたことはあるが、 詳細は知らない	知らない	回答者数
令和3年度	回答数	4,107	1,904	900	6,911
	割合	59.4%	27.6%	13.0%	100.0%
令和4年度	回答数	4,003	1,528	583	6,114
	割合	65.5%	25.0%	9.5%	100.0%
令和5年度	回答数	3,086	798	287	4,171
	割合	74.0%	19.1%	6.9%	100.0%
令和6年度	回答数	3,588	1,068	369	5,025
	割合	71.4%	21.3%	7.3%	100.0%

※令和3年度調査で新たに追加した質問

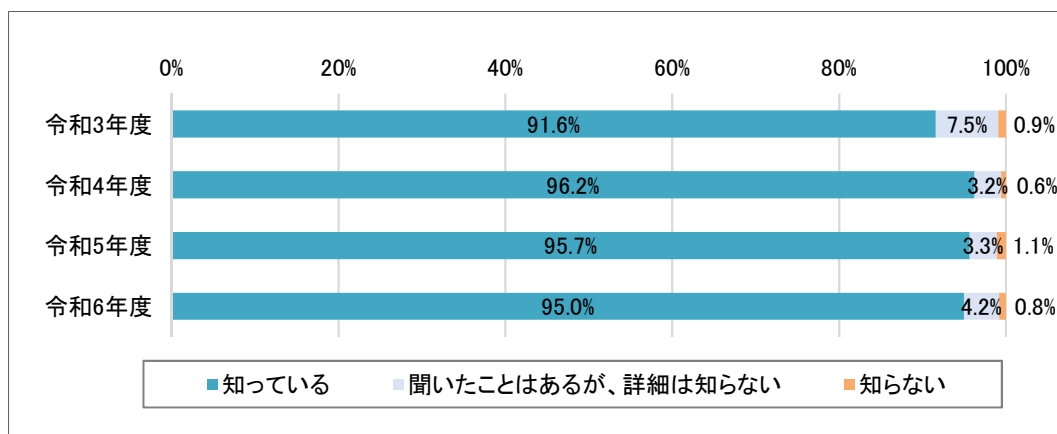
イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



SA	選択肢	知っている	聞いたことはあるが、 詳細は知らない	知らない	回答者数
令和3年度	回答数	1,860	407	99	2,366
	割合	78.6%	17.2%	4.2%	100.0%
令和4年度	回答数	1,719	300	61	2,080
	割合	82.6%	14.4%	2.9%	100.0%
令和5年度	回答数	1,255	144	40	1,439
	割合	87.2%	10.0%	2.8%	100.0%
令和6年度	回答数	1,614	195	33	1,842
	割合	87.6%	10.6%	1.8%	100.0%

※令和3年度調査で新たに追加した質問

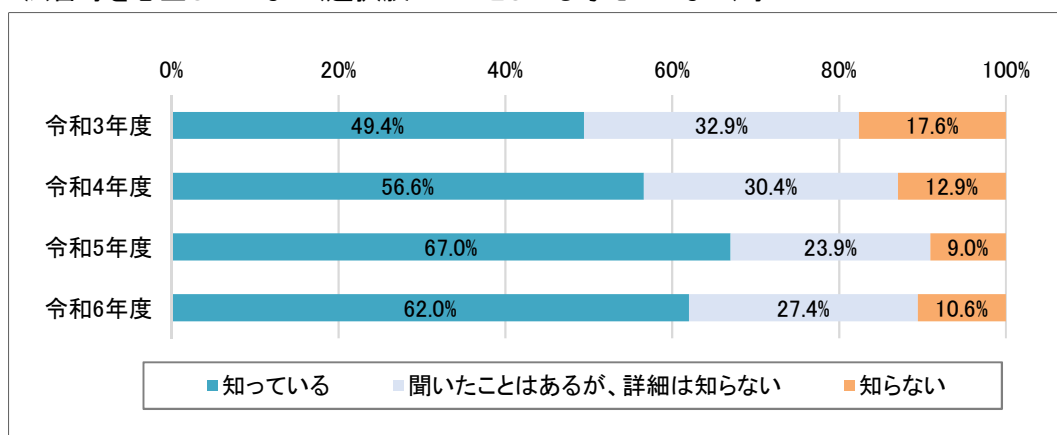
ウ 法曹等を志望している学生



SA	選択肢	知っている	聞いたことはあるが、 詳細は知らない	知らない	回答者数
令和3年度	回答数	906	74	9	989
	割合	91.6%	7.5%	0.9%	100.0%
令和4年度	回答数	821	27	5	853
	割合	96.2%	3.2%	0.6%	100.0%
令和5年度	回答数	618	21	7	646
	割合	95.7%	3.3%	1.1%	100.0%
令和6年度	回答数	815	36	7	858
	割合	95.0%	4.2%	0.8%	100.0%

※令和3年度調査で新たに追加した質問

エ 法曹等を志望していない(選択肢の1つとしても考えていない)学生



SA	選択肢	知っている	聞いたことはあるが、 詳細は知らない	知らない	回答者数
令和3年度	回答数	2,247	1,497	801	4,545
	割合	49.4%	32.9%	17.6%	100.0%
令和4年度	回答数	2,284	1,228	522	4,034
	割合	56.6%	30.4%	12.9%	100.0%
令和5年度	回答数	1,831	654	247	2,732
	割合	67.0%	23.9%	9.0%	100.0%
令和6年度	回答数	1,974	873	336	3,183
	割合	62.0%	27.4%	10.6%	100.0%

※令和3年度調査で新たに追加した質問

2. 法曹コースについてどこで知ったか

法曹コースを知っている又は聞いたことがある学生に、法曹コースをどこで知ったかを尋ねた結果、約 78%の学生が「大学からの情報提供(講義や説明会、資料等)で知った」と回答した。

続いて、「高校や予備校等での進路指導を通じて知った」が約 8%、「新聞やインターネットサイトの記事等のメディアからの情報で知った」と「周囲の人(家族や友人・知人等)から聞いた」が約 7%となっている。

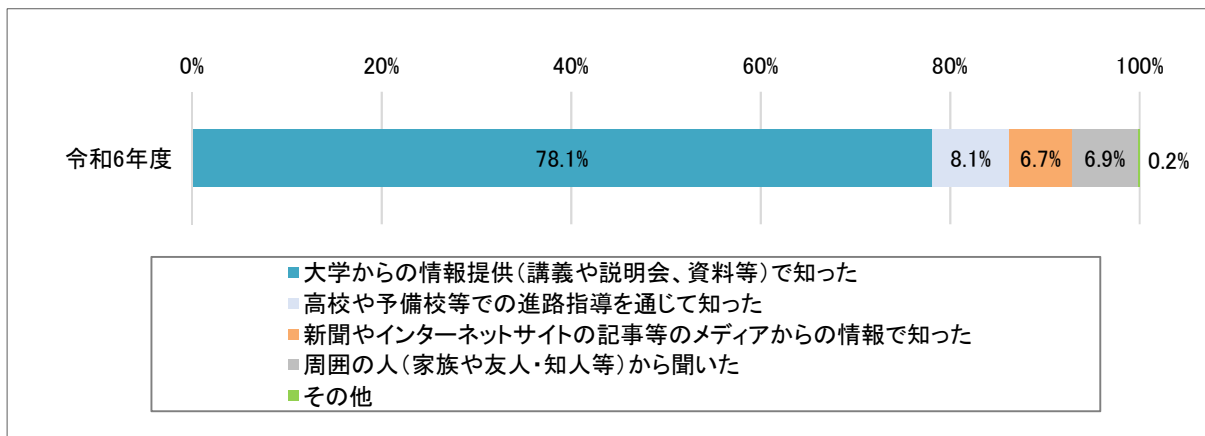
法曹コースを知っている又は聞いたことがあり、法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生に限って見た場合、「高校や予備校等での進路指導を通じて知った」、「新聞やインターネットサイトの記事等のメディアからの情報で知った」が全学生より約 2%高く、「周囲の人(家族や友人・知人等)から聞いた」が全学生より約 2%低くなっている。

法曹コースを知っている又は聞いたことがあり、法曹等を志望している学生に限って見たところ、「大学からの情報提供(講義や説明会、資料等)で知った」が約 69%、続いて「高校や予備校等での進路指導を通じて知った」が約 13%、「新聞やインターネットサイトの記事等のメディアからの情報で知った」が約 12%、「周囲の人(家族や友人・知人等)から聞いた」が約 6%となっている。

法曹コースを知っている又は聞いたことがあり、法曹等を志望していない(選択肢の1つとしても考えていない)学生に限って見た場合は「大学からの情報提供(講義や説明会、資料等)で知った」が約 80%となっており、「周囲の人(家族や友人・知人等)から聞いた」が約 8%と続いている。

なお、「その他」として、「ロースクール入試について調べている際に知った」、「自分で学部の HP を調べた時に知った」、「友人、先輩が法曹コースに在籍している」、「学部別の履修要項で読み、知った」という回答があった。

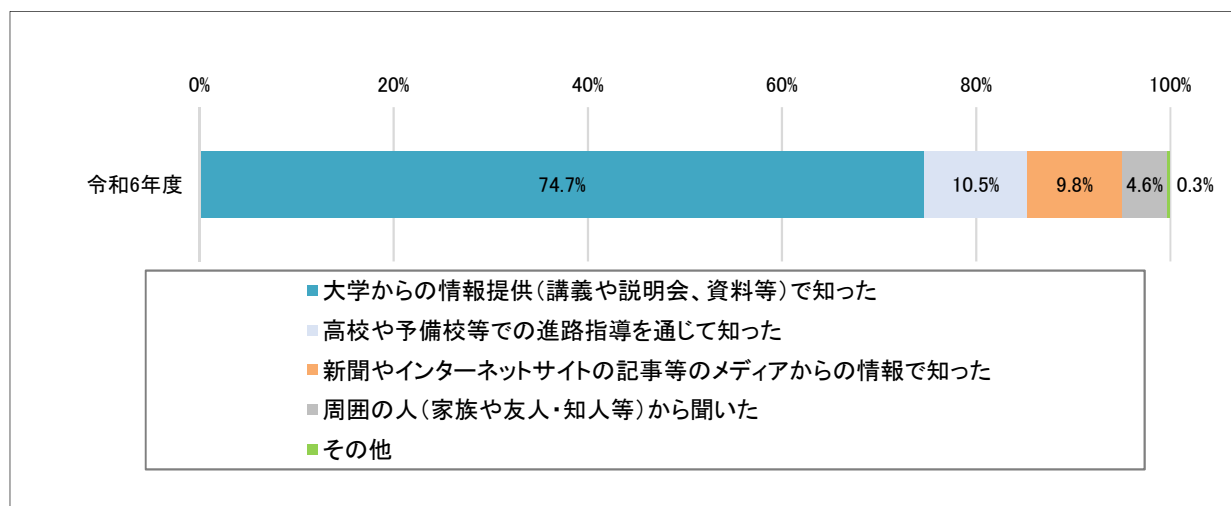
ア 法曹コースを知っている又は聞いたことがある学生



SA	選択肢	大学からの情報提供(講義や説明会、資料等)で知った	高校や予備校等での進路指導を通じて知った	新聞やインターネットサイトの記事等のメディアからの情報で知った	周囲の人(家族や友人・知人等)から聞いた	その他	回答者数
令和6年度	回答数	3,638	377	311	321	9	4,656
	割合	78.1%	8.1%	6.7%	6.9%	0.2%	100.0%

※令和6年度調査で新たに追加した質問

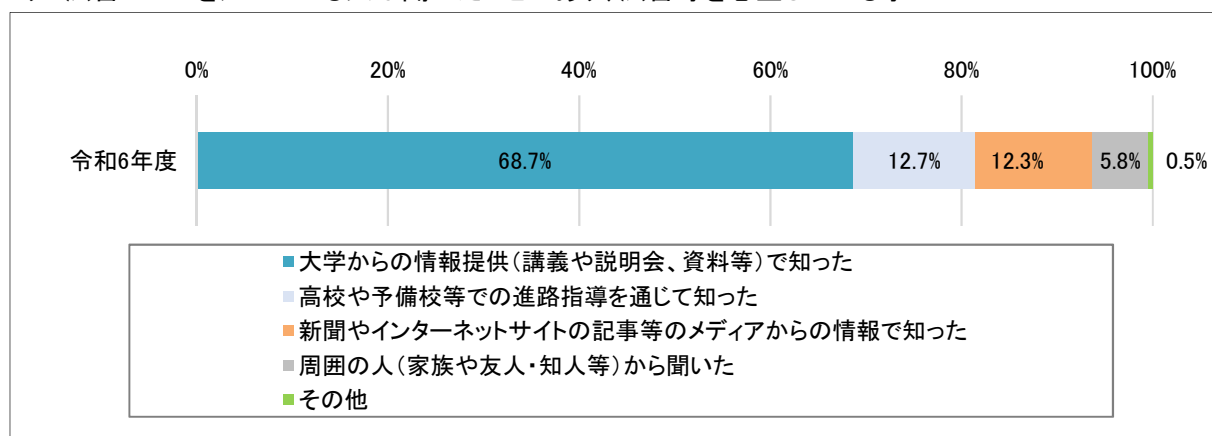
イ 法曹コースを知っている又は聞いたことがあり、法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



SA	選択肢	大学からの情報提供(講義や説明会、資料等)で知った	高校や予備校等での進路指導を通じて知った	新聞やインターネットサイトの記事等のメディアからの情報で知った	周囲の人(家族や友人・知人等)から聞いた	その他	回答者数
令和6年度	回答数	1,352	190	178	84	5	1,809
	割合	74.7%	10.5%	9.8%	4.6%	0.3%	100.0%

※令和6年度調査で新たに追加した質問

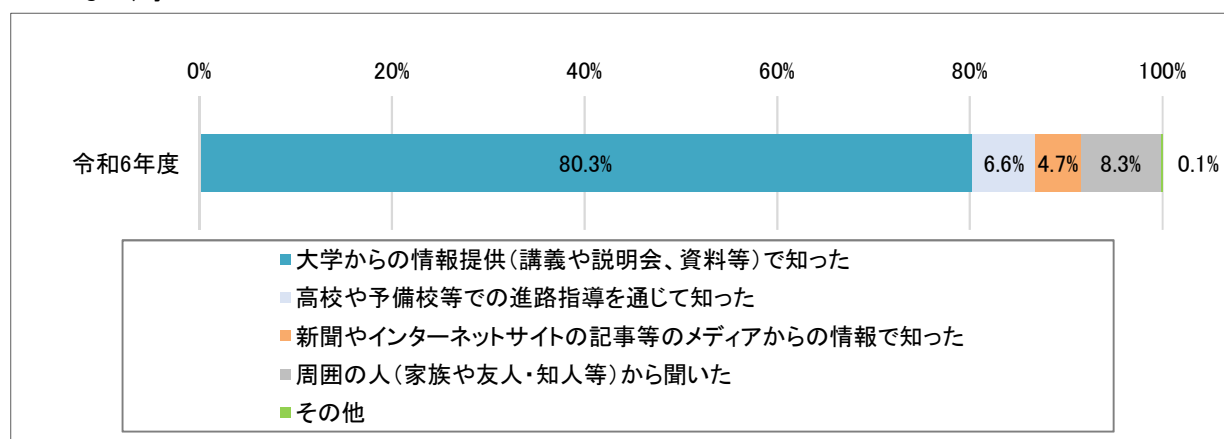
ウ 法曹コースを知っている又は聞いたことがあり、法曹等を志望している学生



SA	選択肢	大学からの情報提供(講義や説明会、資料等)で知った	高校や予備校等での進路指導を通じて知った	新聞やインターネットサイトの記事等のメディアからの情報で知った	周囲の人(家族や友人・知人等)から聞いた	その他	回答者数
令和6年度	回答数	585	108	105	49	4	851
	割合	68.7%	12.7%	12.3%	5.8%	0.52%	100.0%

※令和6年度調査で新たに追加した質問

エ 法曹コースを知っている又は聞いたことがあり、法曹等を志望していない(選択肢の1つとしても考えていない)学生



SA	選択肢	大学からの情報提供(講義や説明会、資料等)で知った	高校や予備校等での進路指導を通じて知った	新聞やインターネットサイトの記事等のメディアからの情報で知った	周囲の人(家族や友人・知人等)から聞いた	その他	回答者数
令和6年度	回答数	2,286	187	133	237	4	2,847
	割合	80.3%	6.6%	4.7%	8.3%	0.1%	100.0%

※令和6年度調査で新たに追加した質問

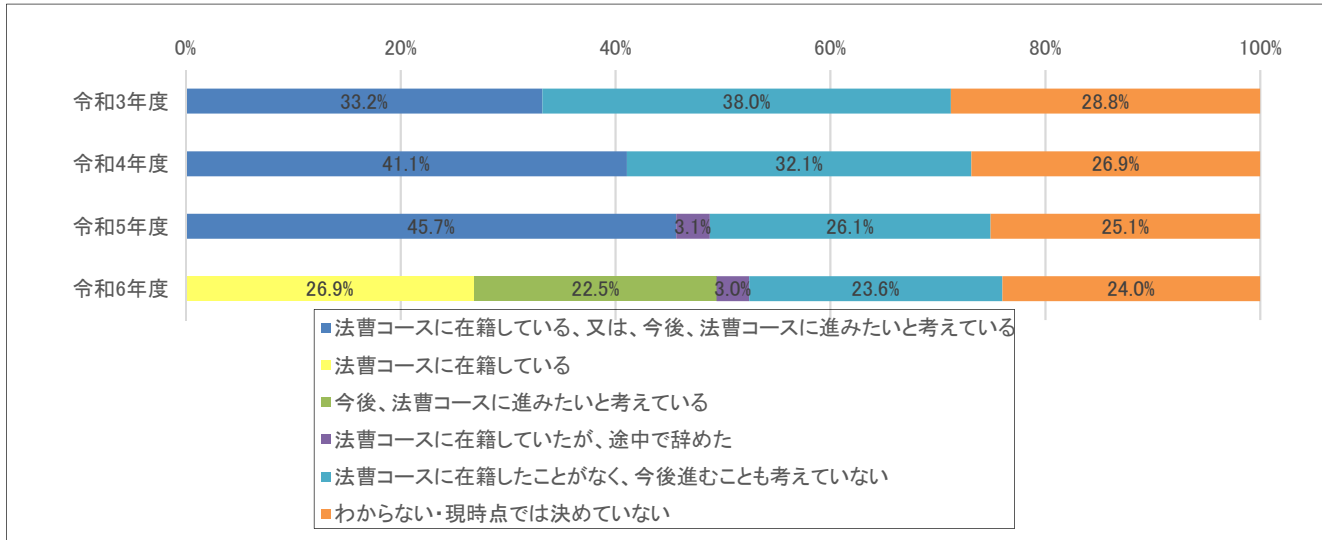
3. 法曹コースへの進学希望

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生に、法曹コースに在籍しているか又は法曹コースへの進学を希望しているかを尋ねた結果、在籍又は希望していると回答した学生は約49%、在籍せず希望もしていないと回答した学生は約24%、未定と回答した学生は24%であった。

令和5年度と比べ「法曹コースに在籍している、又は、今後、法曹コースに進みたいと考えている」との回答が増加している。

女性のみを見た場合もほぼ同様であった。

ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



SA	選択肢	法曹コースに在籍している、又は、今後、法曹コースに進みたいと考えている	法曹コースに在籍している	今後、法曹コースに進みたいと考えている	法曹コースに在籍していたが、途中で辞めた	法曹コースに在籍したことがなく、今後進むことも考えていない	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和3年度	回答数	786	-	-	-	899	681	2,366
	割合	33.2%	-	-	-	38.0%	28.8%	100.0%
令和4年度	回答数	854	-	-	-	667	559	2,080
	割合	41.1%	-	-	-	32.1%	26.9%	100.0%
令和5年度	回答数	657	-	-	45	376	361	1,439
	割合	45.7%	-	-	3.1%	26.1%	25.1%	100.0%
令和6年度	回答数	-	495	415	56	434	442	1,842
	割合	-	26.9%	22.5%	3.0%	23.6%	24.0%	100.0%

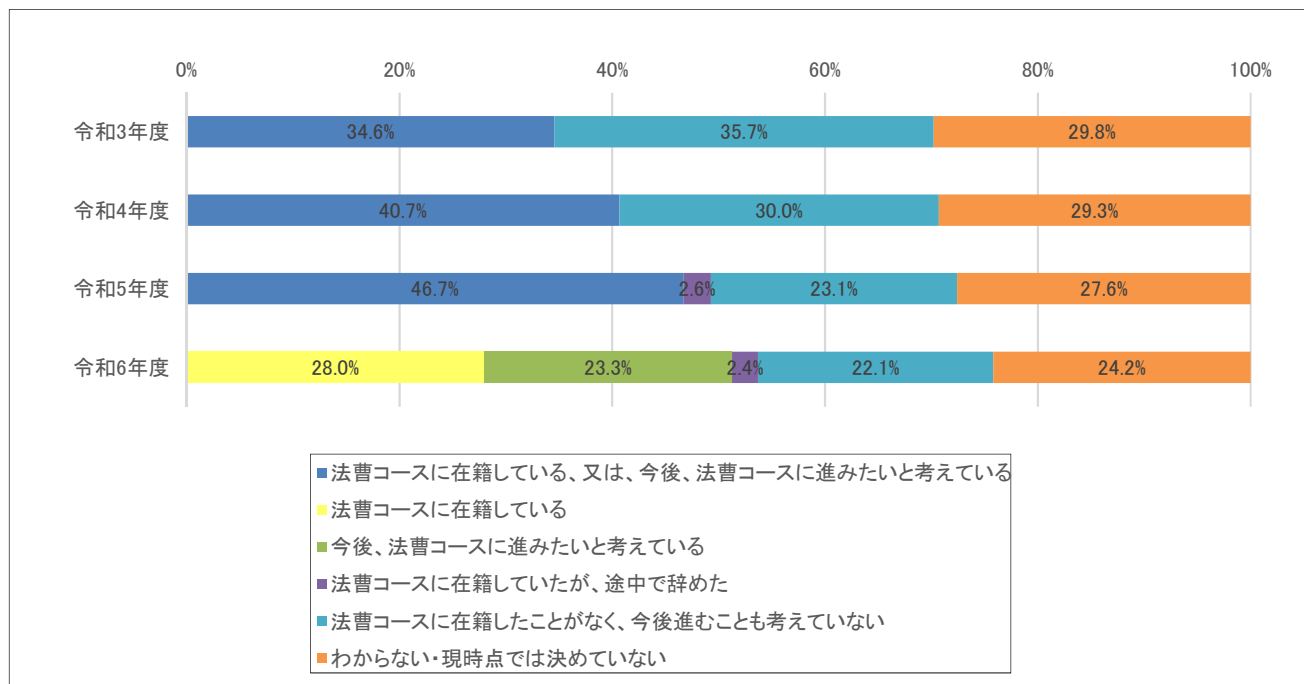
※令和3年度調査で新たに追加した質問

※2番目及び3番目の選択肢(法曹コースに在籍している・今後、法曹コースに進みたいと考えている)は令和6年度調査で新たに設けたもの

※4番目の選択肢(法曹コースに在籍していたが、途中で辞めた)は令和5年度調査から新たに設けたもの

※5番目の選択肢について、令和4年調査までは「法曹コースに在籍しておらず、今後進むことも考えていない」

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



SA	選択肢	法曹コースに在籍している、又は、今後、法曹コースに進みたいと考えている	法曹コースに在籍している	今後、法曹コースに進みたいと考えている	法曹コースに在籍していたが、途中で辞めた	法曹コースに在籍したことがなく、今後進むことも考えていない	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和3年度	回答数	352	-	-	-	363	303	1,018
	割合	34.6%	-	-	-	35.7%	29.8%	100.0%
令和4年度	回答数	390	-	-	-	288	281	959
	割合	40.7%	-	-	-	30.0%	29.3%	100.0%
令和5年度	回答数	327	-	-	18	162	193	700
	割合	46.7%	-	-	2.6%	23.1%	27.6%	100.0%
令和6年度	回答数	-	252	210	22	199	218	901
	割合	-	28.0%	23.3%	2.4%	22.1%	24.2%	100.0%

※令和3年度調査で新たに追加した質問

※2番目及び3番目の選択肢(法曹コースに在籍している・今後、法曹コースに進みたいと考えている)は令和6年度調査で新たに設けたもの

※4番目の選択肢(法曹コースに在籍していたが、途中で辞めた)は令和5年度調査から新たに設けたもの

※5番目の選択肢について、令和4年調査までは「法曹コースに在籍しておらず、今後進むことも考えていない」

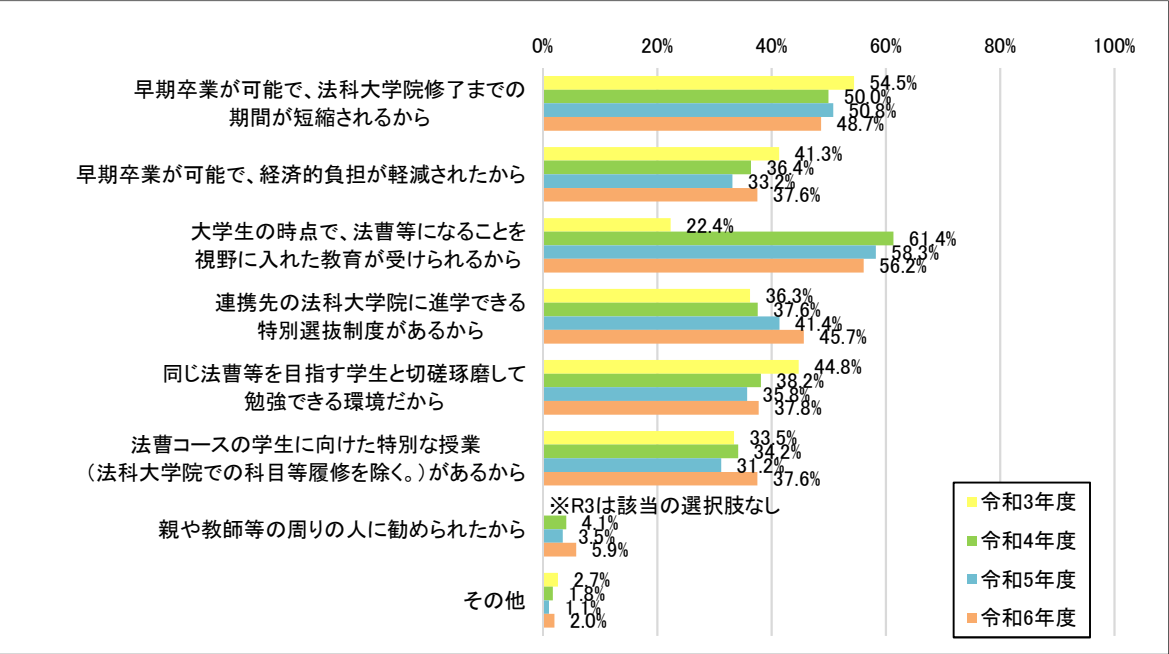
4. 法曹コースへの進学希望理由

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに在籍しているか又は法曹コースへの進学を希望している学生に、法曹コースを希望した理由を尋ねた結果、「大学生の時点で、法曹等になれることを視野に入れた教育が受けられるから」が約56%で最も高く、次いで「早期卒業が可能で、法科大学院修了までの期間が短縮されるから」が約49%、「連携先の法科大学院に進学できる特別選抜制度があるから」が約46%、「同じ法曹等をを目指す学生と切磋琢磨して勉強できる環境だから」が約38%、「早期卒業が可能で、経済的負担が軽減されたから」が約38%、「法曹コースの学生に向けた特別な授業があるから」が約38%となった。令和3年度から「連携先の法科大学院に進学できる特別選抜制度があるから」が増加傾向にある。また、令和6年度は「法曹コースの学生に向けた特別な授業(法科大学院での科目等履修を除く。）」があるから」の回答の増加傾向が見られた。

女性に限って見た場合、「連携先の法科大学院に進学できる特別選抜制度があるから」が約48%と全学生と比べるとやや高い割合となっている。

法曹コースの導入、在学中受験を大いに考慮した又は多少考慮した学生に限って見た場合、「早期卒業が可能で、経済的負担が軽減されたから」が約41%と全学生と比べるとやや高い割合となっている。

ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



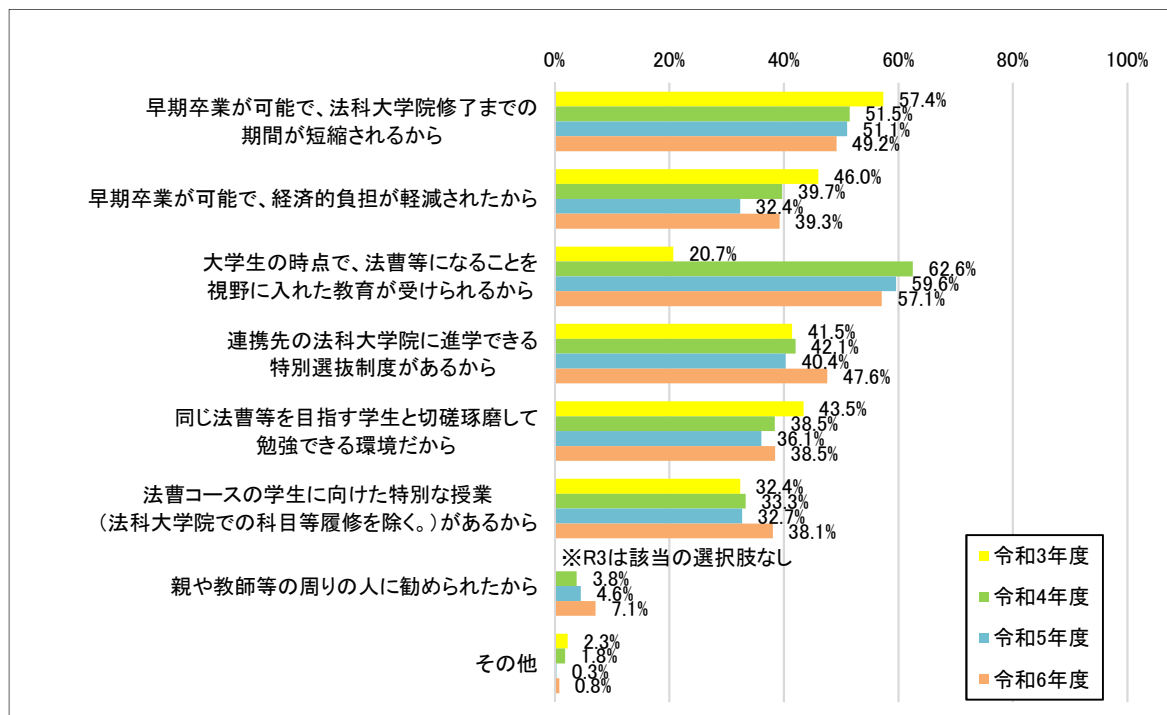
MA	選択肢	早期卒業が可能で、法科大学院修了までの期間が短縮されるから	早期卒業が可能で、経済的負担が軽減されたから	大学生の時点で、法曹等になれることを視野に入れた教育が受けられるから	連携先の法科大学院に進学できる特別選抜制度があるから	同じ法曹等をを目指す学生と切磋琢磨して勉強できる環境だから	法曹コースの学生に向けた特別な授業(法科大学院での科目等履修を除く。）」があるから	親や教師等の周りの人に勧められたから	その他	回答者数
令和3年度	回答数	428	325	176	285	352	263	—	21	786
	割合	54.5%	41.3%	22.4%	36.3%	44.8%	33.5%	—	2.7%	—
令和4年度	回答数	427	311	524	321	326	292	35	15	854
	割合	50.0%	36.4%	61.4%	37.6%	38.2%	34.2%	4.1%	1.8%	—
令和5年度	回答数	334	218	383	272	235	205	23	7	657
	割合	50.8%	33.2%	58.3%	41.4%	35.8%	31.2%	3.5%	1.1%	—
令和6年度	回答数	241	186	278	226	187	186	29	10	495
	割合	48.7%	37.6%	56.2%	45.7%	37.8%	37.6%	5.9%	2.0%	—

※令和3年度調査で新たに追加した質問

※3番目の選択肢について、令和3年度調査までは「大学生の時点で法科大学院の授業を受講できるから」

※7番目の選択肢(親や教師等の周りの人に勧められた)は令和4年度調査から新たに設けたもの

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



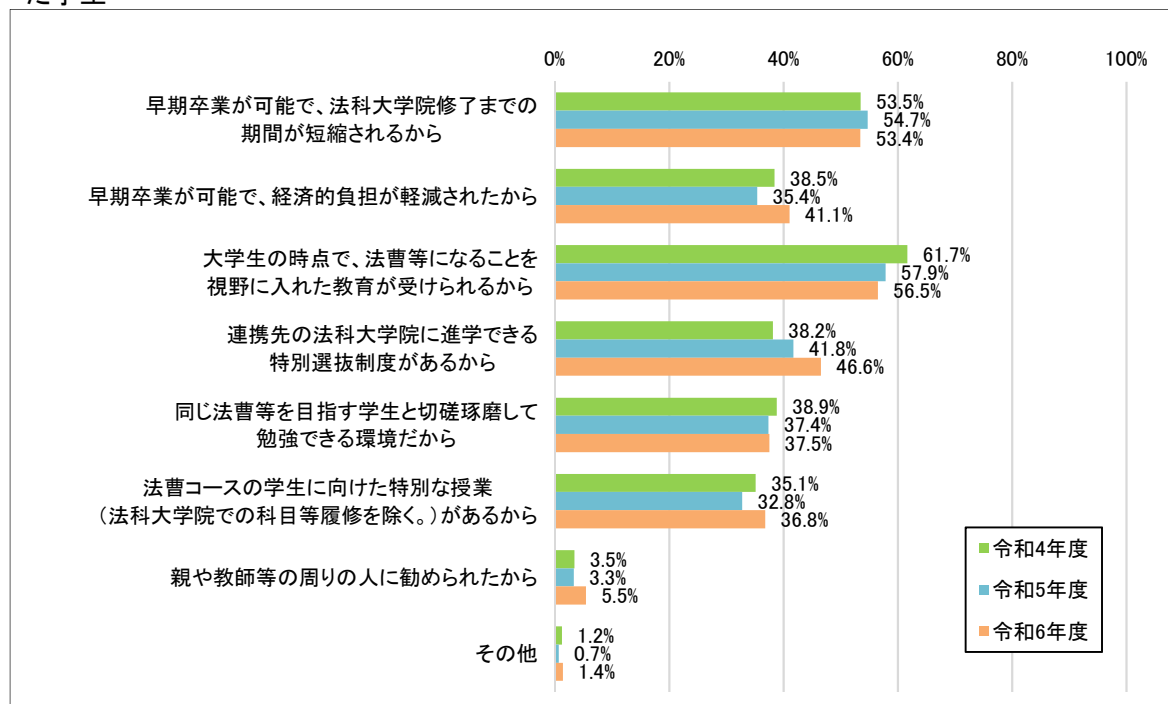
MA	選択肢	早期卒業が可能で、法科大学院修了までの期間が短縮されるから	早期卒業が可能で、経済的負担が軽減されたから	大学生の時点で、法曹等になることを視野に入れた教育が受けられるから	連携先の法科大学院に進学できる特別選抜制度があるから	同じ法曹等をを目指す学生と切磋琢磨して勉強できる環境だから	法曹コースの学生に向けた特別な授業（法科大学院での科目等履修を除く。）があるから	親や教師等の周りの人に勧められたから	その他	回答者数
令和3年度	回答数	202	162	73	146	153	114	—	8	352
	割合	57.4%	46.0%	20.7%	41.5%	43.5%	32.4%	—	2.3%	—
令和4年度	回答数	201	155	244	164	150	130	15	7	390
	割合	51.5%	39.7%	62.6%	42.1%	38.5%	33.3%	3.8%	1.8%	—
令和5年度	回答数	167	106	195	132	118	107	15	1	327
	割合	51.1%	32.4%	59.6%	40.4%	36.1%	32.7%	4.6%	0.3%	—
令和6年度	回答数	124	99	144	120	97	96	18	2	252
	割合	49.2%	39.3%	57.1%	47.6%	38.5%	38.1%	7.1%	0.8%	—

※令和3年度調査で新たに追加した質問

※3番目の選択肢について、令和3年度調査までは「大学生の時点で法科大学院の授業を受講できるから」

※7番目の選択肢(親や教師等の周りの人に勧められた)は令和4年度調査から新たに設けたもの

ウ 将来の職業等を選択するにあたり、法曹コースの導入、在学中受験を大いに考慮した又は多少考慮した学生



MA	選択肢	早期卒業が可能で、法科大学院修了までの期間が短縮されるから	早期卒業が可能で、経済的負担が軽減されたから	大学生の時点で、法曹等になることを視野に入れた教育が受けられるから	連携先の法科大学院に進学できる特別選抜制度があるから	同じ法曹等をを目指す学生と切磋琢磨して勉強できる環境だから	法曹コースの学生に向けた特別な授業（法科大学院での科目等履修を除く。）があるから	親や教師等の周りの人に勧められたから	その他	回答者数
令和4年度	回答数	387	278	446	276	281	254	25	9	723
	割合	53.5%	38.5%	61.7%	38.2%	38.9%	35.1%	3.5%	1.2%	—
令和5年度	回答数	312	202	330	238	213	187	19	4	570
	割合	54.7%	35.4%	57.9%	41.8%	37.4%	32.8%	3.3%	0.7%	—
令和6年度	回答数	225	173	238	196	158	155	23	6	421
	割合	53.4%	41.1%	56.5%	46.6%	37.5%	36.8%	5.5%	1.4%	—

※令和3年度調査で新たに追加した質問

※3番目の選択肢について、令和3年度調査までは「大学生の時点で法科大学院の授業を受講できるから」

※7番目の選択肢（親や教師等の周りの人に勧められた）は令和4年度調査から新たに設けたもの

※「将来の職業等を選択するにあたり、法曹コースの導入、在学中受験を考慮したか」は令和4年度調査で新たに追加した設問

5. 法曹コースに在籍して良かったこと、良くなかったこと

法曹を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに在籍している学生に対して法曹コースに在籍して良かったことを尋ねた結果、「大学生の時点で、法曹等になることを視野に入れた教育が受けられること」が約 53%、続いて「同じ法曹等をを目指す学生と切磋琢磨して勉強できる環境があること」が約 46%、「法曹コースの学生に向けた特別な授業があること」が約 43%であった。

女性に限って見た場合は「同じ法曹等をを目指す学生と切磋琢磨して勉強できる環境があること」、「法曹コースの学生に向けた特別な授業があること」の回答割合が相対的に高い。

法曹を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに在籍し、将来の職業等を選択するにあたり、法曹コースの導入、在学中受験を大いに考慮した又は多少考慮した学生に限って見た場合は、法曹を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに在籍している学生全体とほぼ同様であった。

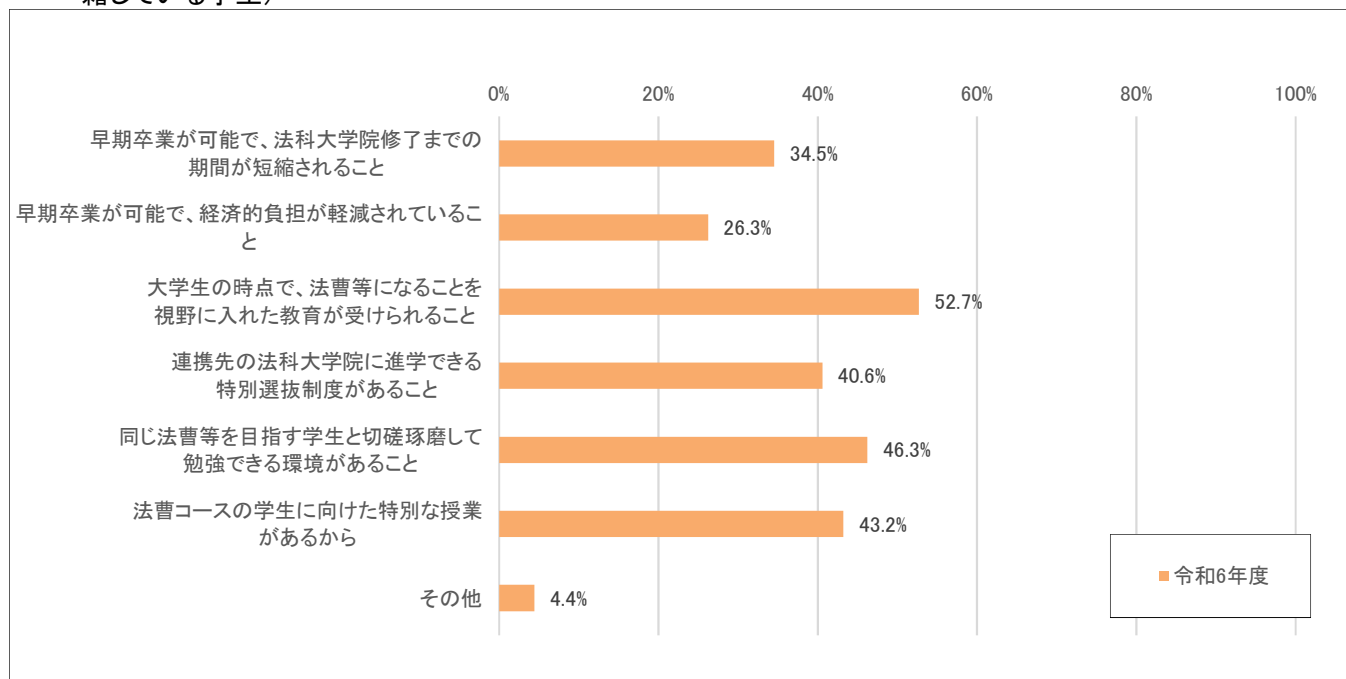
反対に、法曹を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに在籍している学生に対して法曹コースに在籍して良くなかったことを尋ねたところ、「勉強が忙しく、日々の生活に余裕がないこと」が約 55%と半数以上を占め、次いで「カリキュラムの短縮化により、各科目の十分な勉強時間を確保できないこと」が約 35%、「早期卒業以外のメリットが不明であること」が約 27%となった。

女性に限って見た場合、「勉強が忙しく、日々の生活に余裕がないこと」が相対的に高く、「早期卒業以外のメリットが不明であること」が相対的に低い。

法曹を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに在籍し、将来の職業等を選択するにあたり、法曹コースの導入、在学中受験を大いに考慮した又は多少考慮した学生に限って見た場合は、法曹を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに在籍している学生全体とほぼ同様であった。

なお、その他の回答として法曹コースに在籍して良かったことは「学期ごとの上限単位数が増えること」、「一年生のうちから多くの講義を取れること」、「通常の法学コースよりも、法律科目に早く触れることができること」、「開放型選抜の受験資格」が、法曹コースに在籍して良くなかったこととしては「早期卒業のプレッシャー」、「時間割が固定されているため、柔軟に履修が組めない」、「学段階では法曹コースであっても学費等の免除が発生する訳では無いこと」、「学部の履修科目の大部分が拘束されること」などの回答があった。

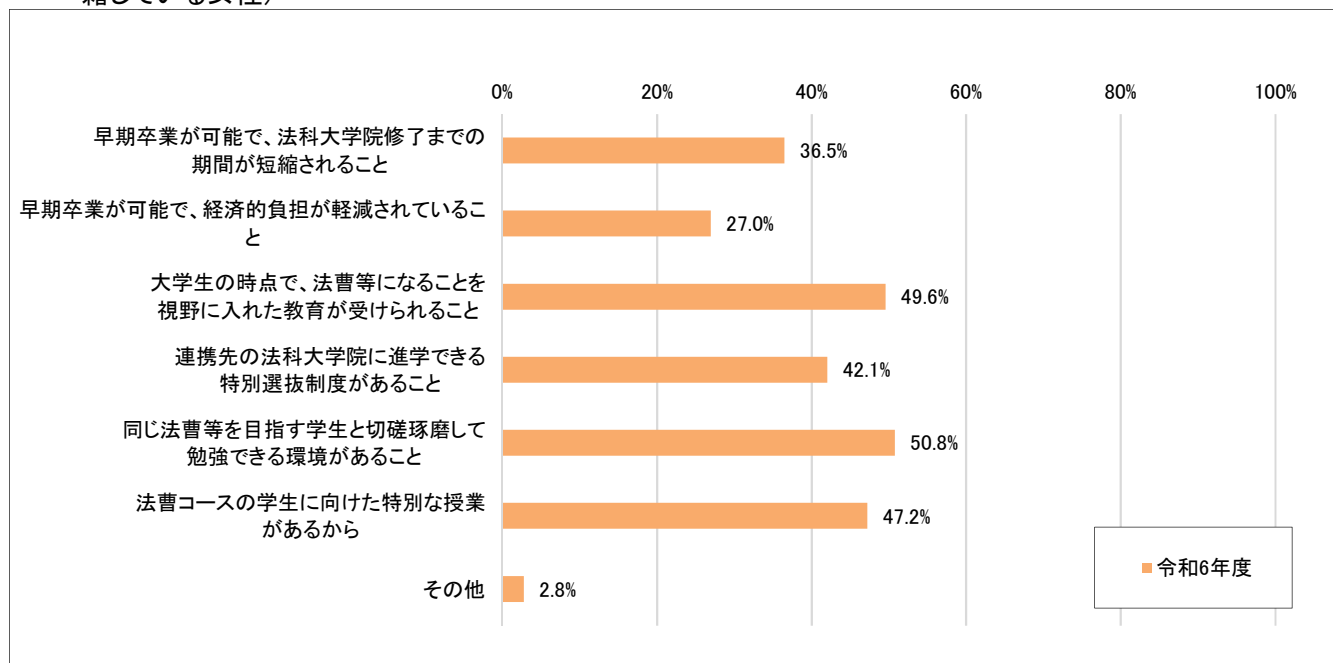
ア 法曹コースに在籍して良かったこと(法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに在籍している学生)



MA	選択肢	早期卒業が可能で、法科大学院修了までの期間が短縮されること	早期卒業が可能で、経済的負担が軽減されていること	大学生の時点で、法曹等になることを視野に入れた教育が受けられること	連携先の法科大学院に進学できる特別選抜制度があること	同じ法曹等をを目指す学生と切磋琢磨して勉強できる環境があること	法曹コースの学生に向けた特別な授業があるから	その他	回答者数
令和6年度	回答数	171	130	261	201	229	214	22	495
	割合	34.5%	26.3%	52.7%	40.6%	46.3%	43.2%	4.4%	—

※令和6年度調査で新たに追加した質問

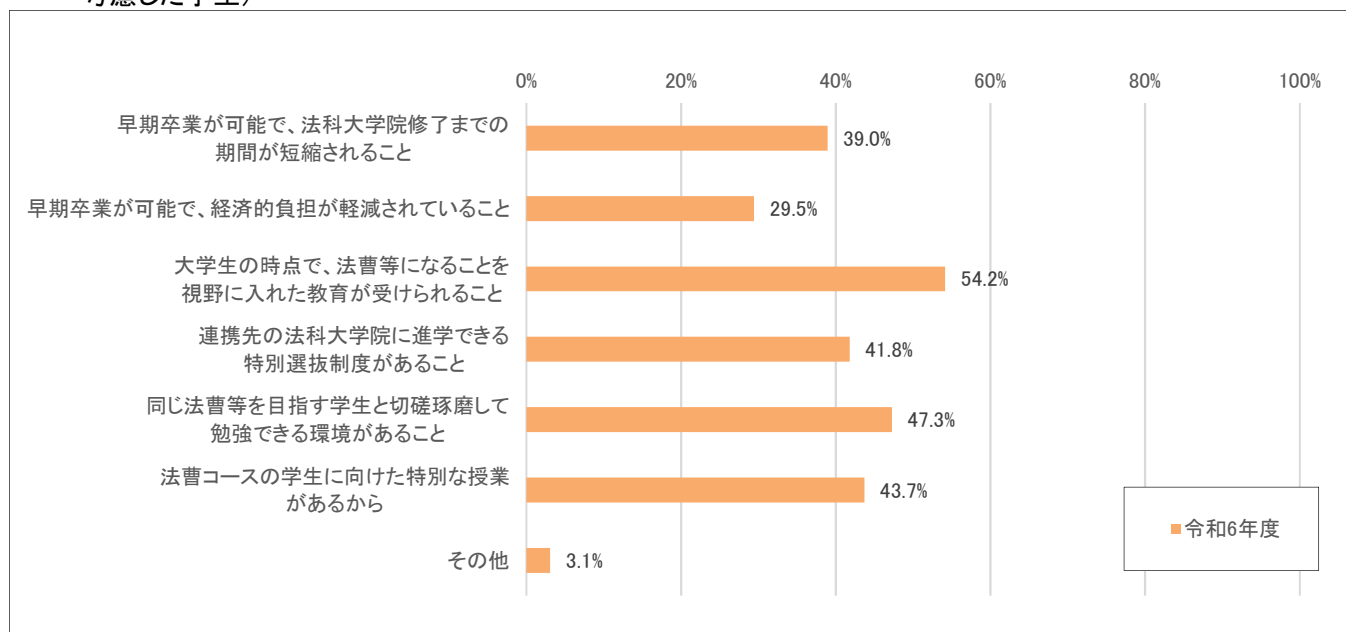
イ 法曹コースに在籍して良かったこと(法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに在籍している女性)



MA	選択肢	早期卒業が可能で、法科大学院修了までの期間が短縮されること	早期卒業が可能で、経済的負担が軽減されていること	大学生の時点で、法曹等になることを視野に入れた教育が受けられること	連携先の法科大学院に進学できる特別選抜制度があること	同じ法曹等をを目指す学生と切磋琢磨して勉強できる環境があること	法曹コースの学生に向けた特別な授業があるから	その他	回答者数
令和6年度	回答数	92	68	125	106	128	119	7	252
	割合	36.5%	27.0%	49.6%	42.1%	50.8%	47.2%	2.8%	—

※令和6年度調査で新たに追加した質問

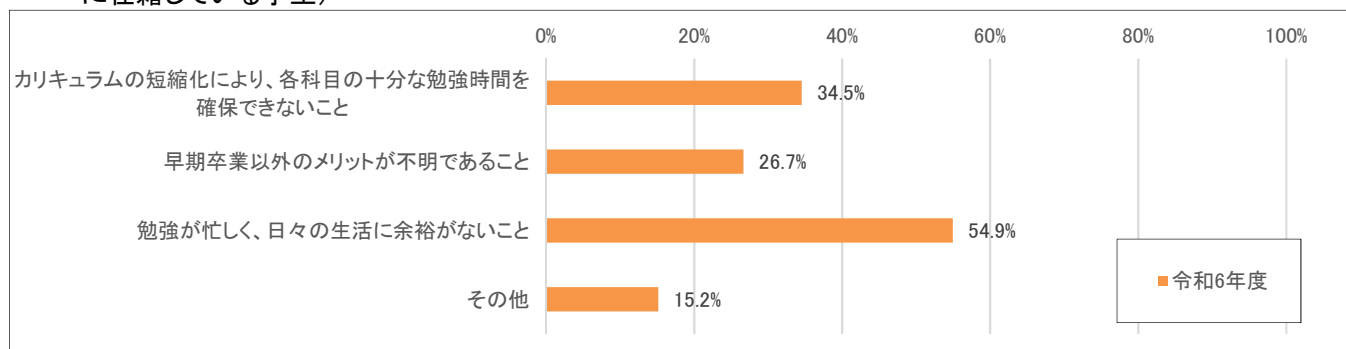
ウ 法曹コースに在籍して良かったこと(法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに在籍し、将来の職業等を選択するにあたり、法曹コースの導入、在学中受験を大いに考慮した又は多少考慮した学生)



MA	選択肢	早期卒業が可能で、法科大学院修了までの期間が短縮されること	早期卒業が可能で、経済的負担が軽減されていること	大学生の時点で、法曹等になることを視野に入れた教育が受けられること	連携先の法科大学院に進学できる特別選抜制度があること	同じ法曹等をを目指す学生と切磋琢磨して勉強できる環境があること	法曹コースの学生に向けた特別な授業があるから	その他	回答者数
令和6年度	回答数	164	124	228	176	199	184	13	421
	割合	39.0%	29.5%	54.2%	41.8%	47.3%	43.7%	3.1%	-

※令和6年度調査で新たに追加した質問

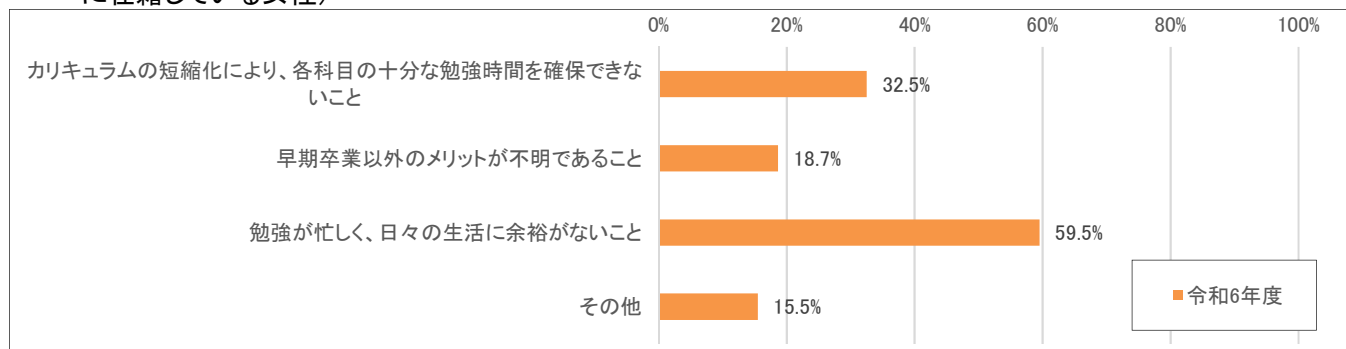
エ 法曹コースに在籍して良くなかったこと(法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに在籍している学生)



MA	選択肢	カリキュラムの短縮化により、各科目の十分な勉強時間を確保できないこと	早期卒業以外のメリットが不明であること	勉強が忙しく、日々の生活に余裕がないこと	その他	回答者数
令和6年度	回答数	171	132	272	75	495
	割合	34.5%	26.7%	54.9%	15.2%	-

※令和6年度調査で新たに追加した質問

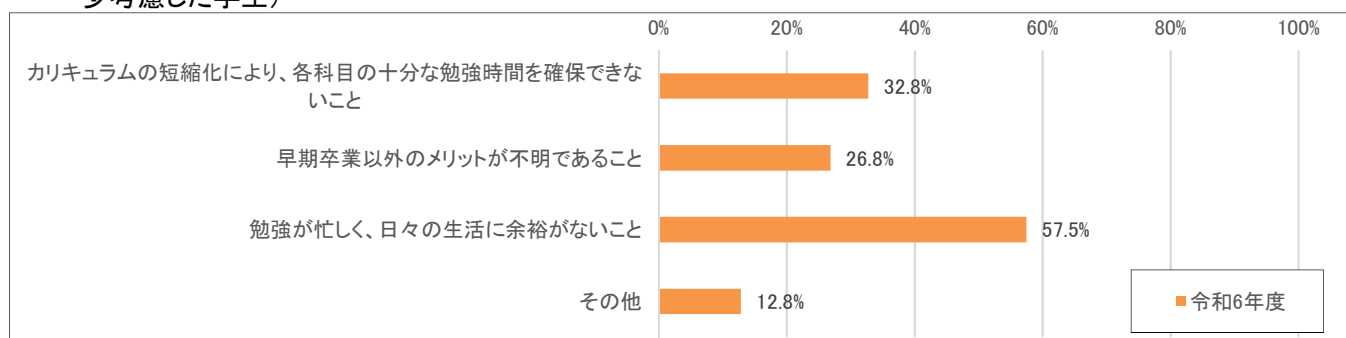
オ 法曹コースに在籍して良くなかったこと(法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに在籍している女性)



MA	選択肢	カリキュラムの短縮化により、各科目の十分な勉強時間を確保できないこと	早期卒業以外のメリットが不明であること	勉強が忙しく、日々の生活に余裕がないこと	その他	回答者数
令和6年度	回答数	82	47	150	39	252
	割合	32.5%	18.7%	59.5%	15.5%	—

※令和6年度調査で新たに追加した質問

カ 法曹コースに在籍して良くなかったこと(法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに在籍し、将来の職業等を選択するにあたり、法曹コースの導入、在学中受験を大いに考慮した又は多少考慮した学生)



MA	選択肢	カリキュラムの短縮化により、各科目の十分な勉強時間を確保できないこと	早期卒業以外のメリットが不明であること	勉強が忙しく、日々の生活に余裕がないこと	その他	回答者数
令和6年度	回答数	138	113	242	54	421
	割合	32.8%	26.8%	57.5%	12.8%	—

※令和6年度調査で新たに追加した質問

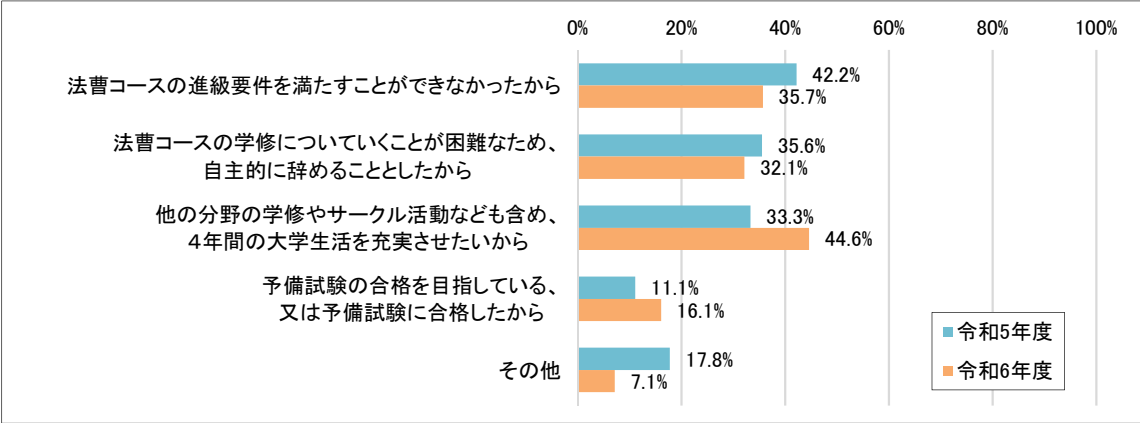
6. 法曹コースに在籍していたが途中で辞めた理由

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに在籍していたが、途中で辞めた学生に、途中で辞めた理由を尋ねた結果、「他の分野の学修やサークル活動なども含め、4年間の大学生活を充実させたいから」が約 45%と最も高く、次いで「法曹コースの進級要件を満たすことができなかったから」が約 36%、「法曹コースの学修についていくことが困難なため、自主的に辞めることとしたから」が約 32%などとなった。

「その他」としては、「法律以外の学問にも触れたいから」、「3 年で学部を卒業しても院に行ってからしんどいと思ったから。カリキュラム上の問題」、「経済的負担」などの回答があった。

※女性に限って見た場合はサンプル数が少ないので参考値

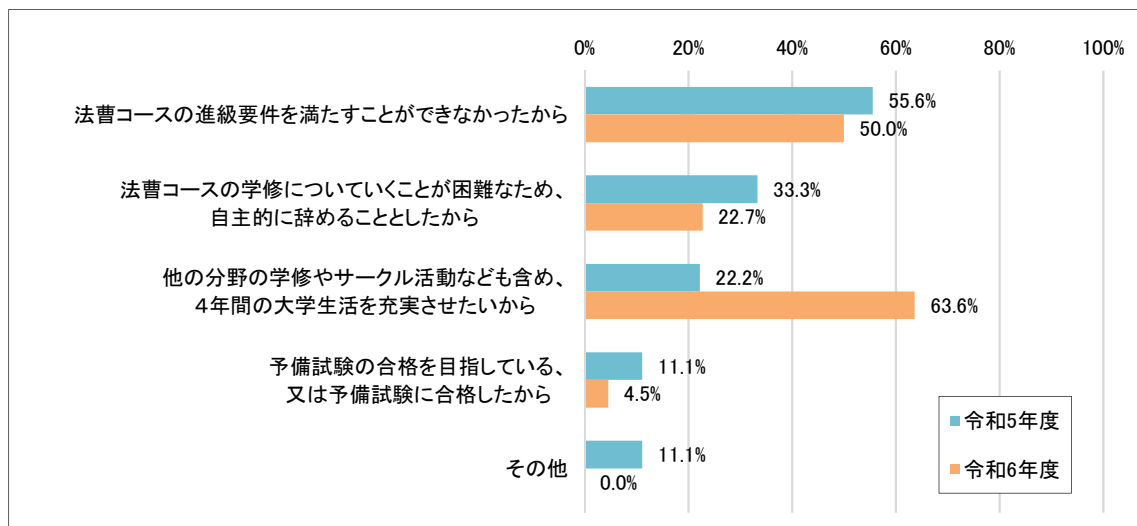
ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



SA	選択肢	法曹コースの進級要件を満たすことができなかったから	法曹コースの学修についていくことが困難なため、自主的に辞めることとしたから	他の分野の学修やサークル活動なども含め、4年間の大学生活を充実させたいから	予備試験の合格を目指している、又は予備試験に合格したから	その他	回答者数
令和5年度	回答数	19	16	15	5	8	45
	割合	42.2%	35.6%	33.3%	11.1%	17.8%	—
令和6年度	回答数	20	18	25	9	4	56
	割合	35.7%	32.1%	44.6%	16.1%	7.1%	—

※令和5年度調査で新たに追加した質問

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



SA	選択肢	法曹コースの進級要件を満たすことができなかったから	法曹コースの学修についていくことが困難なため、自主的に辞めることとしたから	他の分野の学修やサークル活動なども含め、4年間の大学生活を充実させたいから	予備試験の合格を目指している、又は予備試験に合格したから	その他	回答者数
令和5年度	回答数	10	6	4	2	2	18
	割合	55.6%	33.3%	22.2%	11.1%	11.1%	—
令和6年度	回答数	11	5	14	1	0	22
	割合	50.0%	22.7%	63.6%	4.5%	0.0%	—

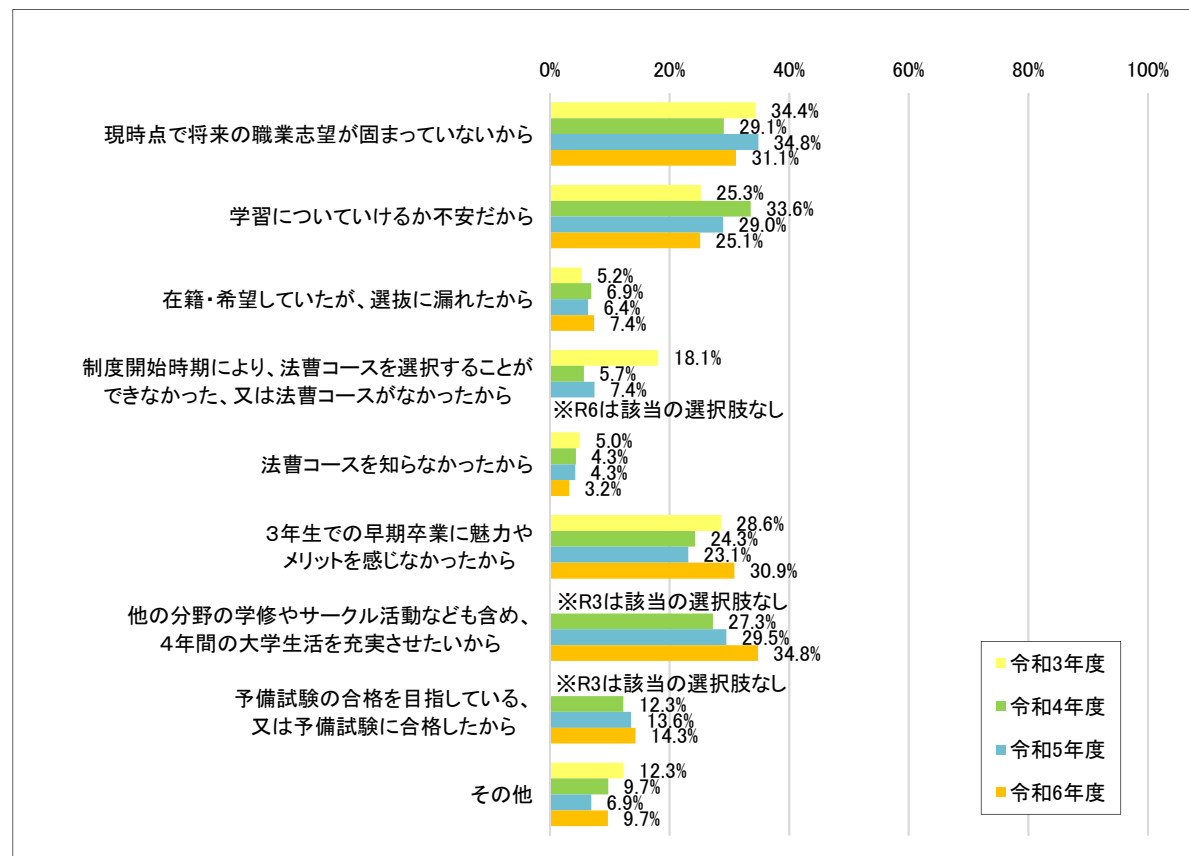
※令和5年度調査で新たに追加した質問

7. 法曹コースを希望しない理由

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに在籍しておらず、希望もしていない学生に、法曹コースを希望しない理由を尋ねた結果、「他の分野の学修やサークル活動なども含め、4年間の大学生活を充実させたいから」との回答割合が約 35%で最も高く、次いで「現時点で将来の職業志望が固まっていないから」が約 31%、「3 年生での早期卒業に魅力やメリットを感じなかった」が約 31%、令和 4 年度調査でトップであった「学修についていけるか不安だから」が減少し、約 25%と 4 位となった。

女性について見ると、昨年度は「学修についていけるか不安だから」が増加傾向にあったが、今年度は全学生の傾向とほぼ同じ傾向となっている。

ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



MA	選択肢	現時点で将来の職業志望が固まっていないから	学修についていけるか不安だから	在籍・希望していたが、選抜に漏れたから	制度開始時期により、法曹コースを選択することができなかった、又は法曹コースがなかったから	法曹コースを知らなかったから	3年生での早期卒業に魅力やメリットを感じなかったから	他の分野の学修やサークル活動なども含め、4年間の大学生活を充実させたいから	予備試験の合格を目指している、又は予備試験に合格したから	その他	回答者数
令和3年度	回答数	309	227	47	163	45	257	—	—	111	899
	割合	34.4%	25.3%	5.2%	18.1%	5.0%	28.6%	—	—	12.3%	—
令和4年度	回答数	194	224	46	38	29	162	182	82	65	667
	割合	29.1%	33.6%	6.9%	5.7%	4.3%	24.3%	27.3%	12.3%	9.7%	—
令和5年度	回答数	131	109	24	28	16	87	111	51	26	376
	割合	34.8%	29.0%	6.4%	7.4%	4.3%	23.1%	29.5%	13.6%	6.9%	—
令和6年度	回答数	135	109	32	—	14	134	151	62	42	434
	割合	31.1%	25.1%	7.4%	—	3.2%	30.9%	34.8%	14.3%	9.7%	—

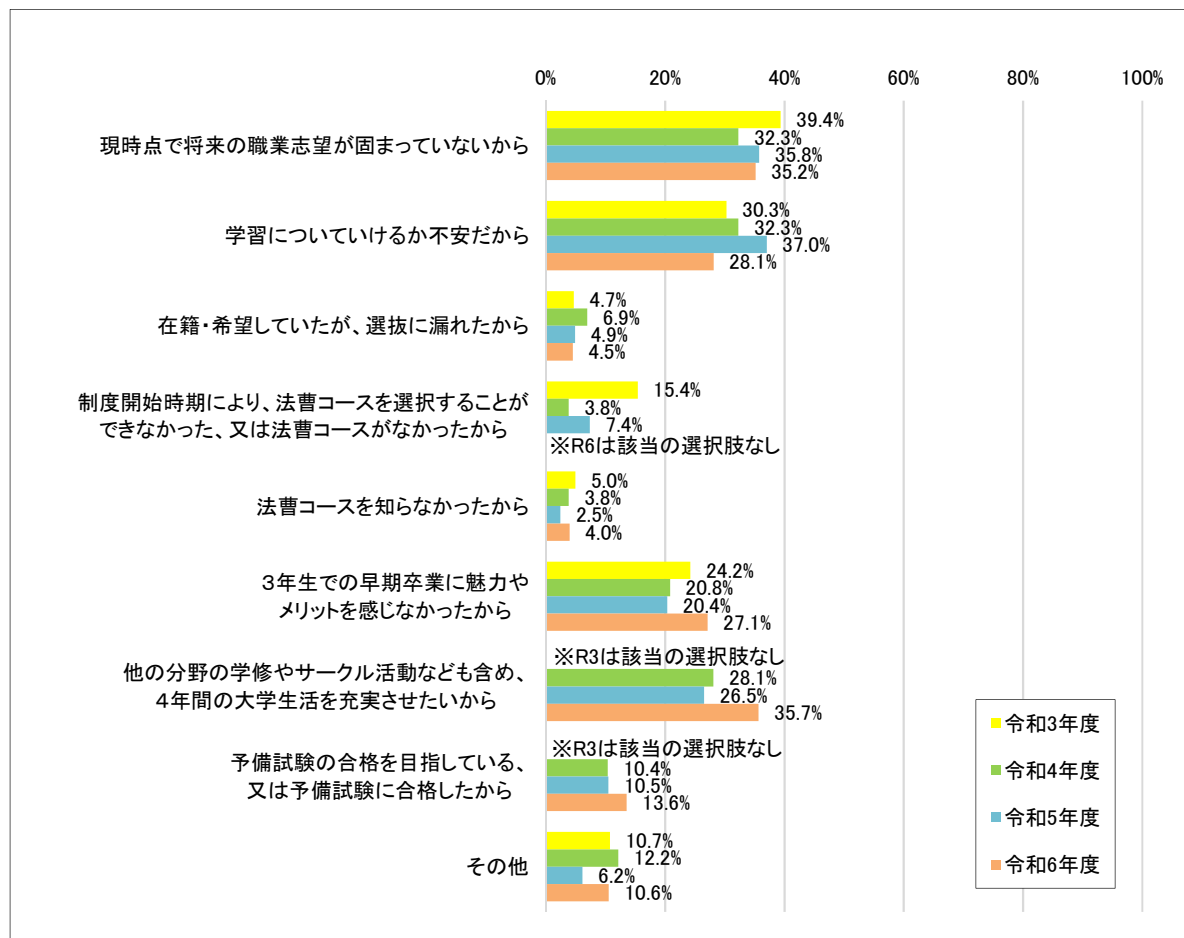
※令和3年度調査で新たに追加した質問

※4番目の選択肢について、令和4年調査までは「制度開始時期により、法曹コースを選択することができなかったから」

※4番目の選択肢は令和6年度調査から削除

※7番目及び8番目の選択肢(他の分野の学修やサークル活動なども含め、4年間の大学生活を充実させたいから/予備試験の合格を目指している、又は予備試験に合格したから)は令和4年度調査から新たに設けたもの

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



MA	選択肢	現時点で将来の職業志望が固まっていないから	学修についていけるか不安だから	在籍・希望していたが、選抜に漏れたから	制度開始時期により、法曹コースを選択することができなかった、又は法曹コースがなかったから	法曹コースを知らなかったから	3年生での早期卒業に魅力やメリットを感じなかったから	他の分野の学修やサークル活動なども含め、4年間の大学生活を充実させたいから	予備試験の合格を目指している、又は予備試験に合格したから	その他	回答者数
令和3年度	回答数	143	110	17	56	18	88	—	—	39	363
	割合	39.4%	30.3%	4.7%	15.4%	5.0%	24.2%	—	—	10.7%	—
令和4年度	回答数	93	93	20	11	11	60	81	30	35	288
	割合	32.3%	32.3%	6.9%	3.8%	3.8%	20.8%	28.1%	10.4%	12.2%	—
令和5年度	回答数	58	60	8	12	4	33	43	17	10	162
	割合	35.8%	37.0%	4.9%	7.4%	2.5%	20.4%	26.5%	10.5%	6.2%	—
令和6年度	回答数	70	56	9	—	8	54	71	27	21	199
	割合	35.2%	28.1%	4.5%	—	4.0%	27.1%	35.7%	13.6%	10.6%	—

※令和3年度調査で新たに追加した質問

※4番目の選択肢について、令和4年調査までは「制度開始時期により、法曹コースを選択することができなかったから」

※4番目の選択肢は令和6年度調査から削除

※7番目及び8番目の選択肢(他の分野の学修やサークル活動なども含め、4年間の大学生活を充実させたいから/予備試験の合格を目指している、又は予備試験に合格したから)は令和4年度調査から新たに設けたもの

8. 法科大学院への進学予定

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生に、法科大学院への進学予定について尋ねた結果、令和6年度調査においては、約53%の学生が「進学するつもりである」と回答した。法科大学院進学予定者の割合は、学生全体を見た場合と女性のみを見た場合のいずれにおいても、令和3年度調査では大きく減少したが、令和4年度以降はやや増加傾向にある。令和6年度調査に関しては令和元年度より高い水準となっている。

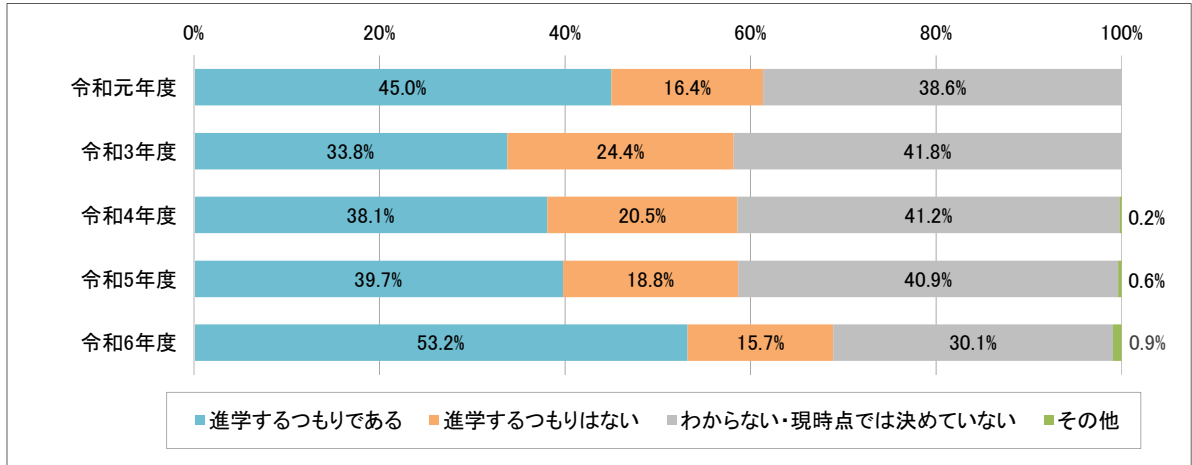
一方で、現在法曹等を志望している学生に限って見た場合には、71%の学生が法科大学院に進学予定であると回答している。令和4年度と近い水準であるが、令和3年度以前と比べると高い。

法曹コースの在籍状況や進学希望の有無との関係で見ると、法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに在籍又は進学を希望している学生の場合、約66%が法科大学院に進学するつもりであると回答している。

また、法曹コースを途中で辞めた学生については、約41%が法科大学院に進学するつもりであると回答している。

法曹コースに在籍しておらず、進学を希望してもいない学生については、法科大学院に「進学するつもりである」と回答した割合は約28%にとどまっている。さらに、法曹コースへの進学について未定であると回答した学生の場合には、法科大学院に「進学するつもりである」との回答割合は約10%にとどまり、70%以上が法科大学院への進学について未定であると回答している。

ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生

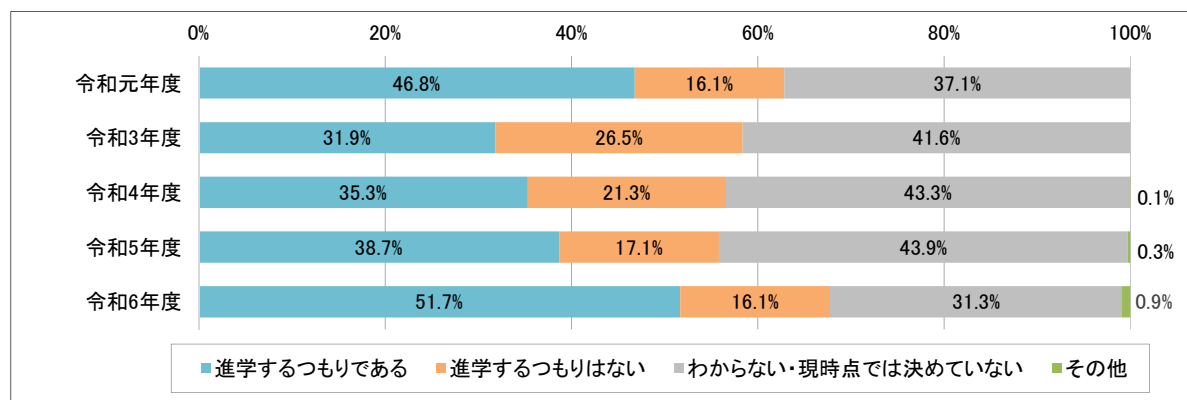


SA	選択肢	進学する つもりである	進学する つもりはない	わからない・現時点 では決めていない	その他	回答者数
令和元年度	回答数	682	248	585	—	1,515
	割合	45.0%	16.4%	38.6%	—	100.0%
令和3年度	回答数	798	575	985	—	2,358
	割合	33.8%	24.4%	41.8%	—	100.0%
令和4年度	回答数	793	426	856	5	2,080
	割合	38.1%	20.5%	41.2%	0.2%	100.0%
令和5年度	回答数	571	271	588	9	1,439
	割合	39.7%	18.8%	40.9%	0.6%	100.0%
令和6年度	回答数	745	220	422	13	1400
	割合	53.2%	15.7%	30.1%	0.9%	100.0%

※1番目の選択肢(進学するつもりである)について、令和3年度以降は、法曹コースに在籍又は進学を希望している学生における「現在通学している大学の連携先の法科大学院に進学する」と「連携先以外の法科大学院に進む」の回答者を含む

※4番目の選択肢(その他)は令和4年度調査から新たに設けたもの

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性

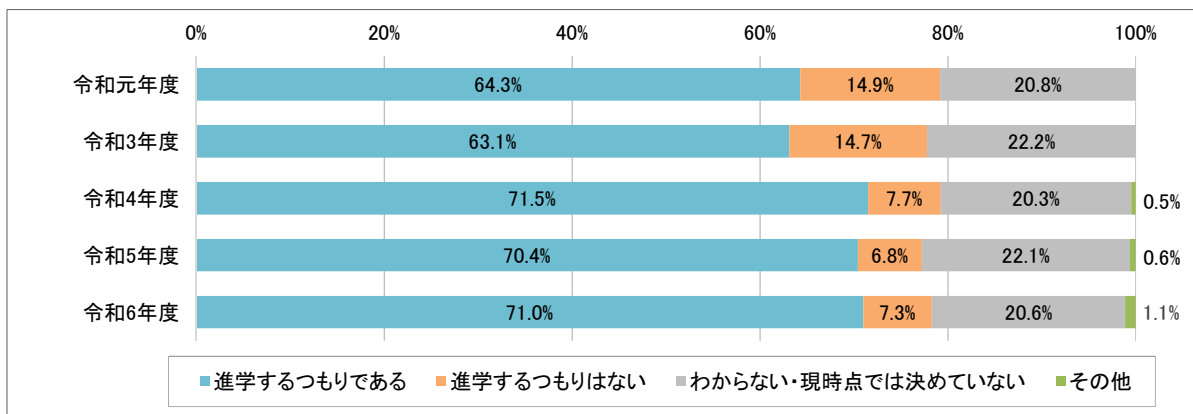


SA	選択肢	進学するつもりである	進学するつもりはない	わからない・現時点では決めていない	その他	回答者数
令和元年度	回答数	271	93	215	—	579
	割合	46.8%	16.1%	37.1%	—	100.0%
令和3年度	回答数	324	270	423	—	1,017
	割合	31.9%	26.5%	41.6%	—	100.0%
令和4年度	回答数	339	204	415	1	959
	割合	35.3%	21.3%	43.3%	0.1%	100.0%
令和5年度	回答数	271	120	307	2	700
	割合	38.7%	17.1%	43.9%	0.3%	100.0%
令和6年度	回答数	353	110	214	6	683
	割合	51.7%	16.1%	31.3%	0.9%	100.0%

※1番目の選択肢(進学するつもりである)について、令和3年度以降は、法曹コースに在籍又は進学を希望している学生における「現在通学している大学の連携先の法科大学院に進学する」と「連携先以外の法科大学院に進む」の回答者を含む

※4番目の選択肢(その他)は令和4年度調査から新たに設けたもの

ウ 法曹等を志望している学生

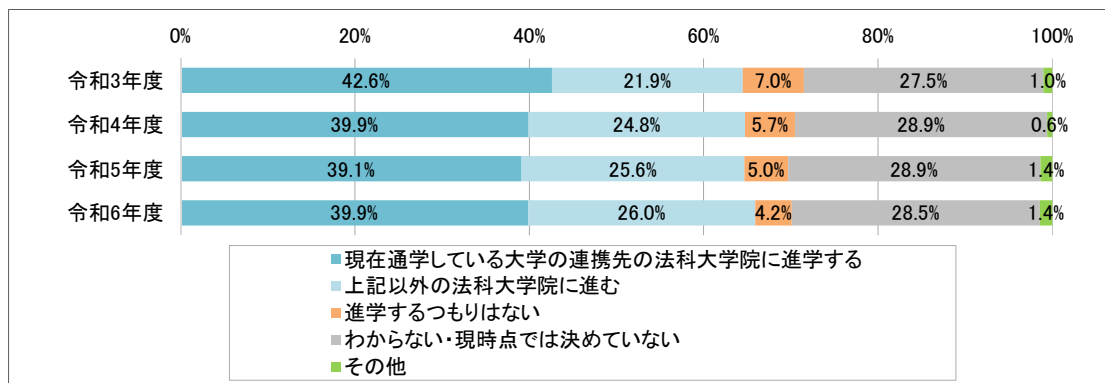


SA	選択肢	進学するつもりである	進学するつもりはない	わからない・現時点では決めていない	その他	回答者数
令和元年度	回答数	553	128	179	—	860
	割合	64.3%	14.9%	20.8%	—	100.0%
令和3年度	回答数	620	144	218	—	982
	割合	63.1%	14.7%	22.2%	—	100.0%
令和4年度	回答数	610	66	173	4	854
	割合	71.5%	7.7%	20.3%	0.5%	100.0%
令和5年度	回答数	455	44	143	4	646
	割合	70.4%	6.8%	22.1%	0.6%	100.0%
令和6年度	回答数	563	58	163	9	793
	割合	71.0%	7.3%	20.6%	1.1%	100.0%

※1番目の選択肢(進学するつもりである)について、令和3年度以降は、法曹コースに在籍又は進学を希望している学生における「現在通学している大学の連携先の法科大学院に進学する」と「連携先以外の法科大学院に進む」の回答者を含む

※4番目の選択肢(その他)は令和4年度調査から新たに設けたもの

エ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに在籍又は進学を希望している学生

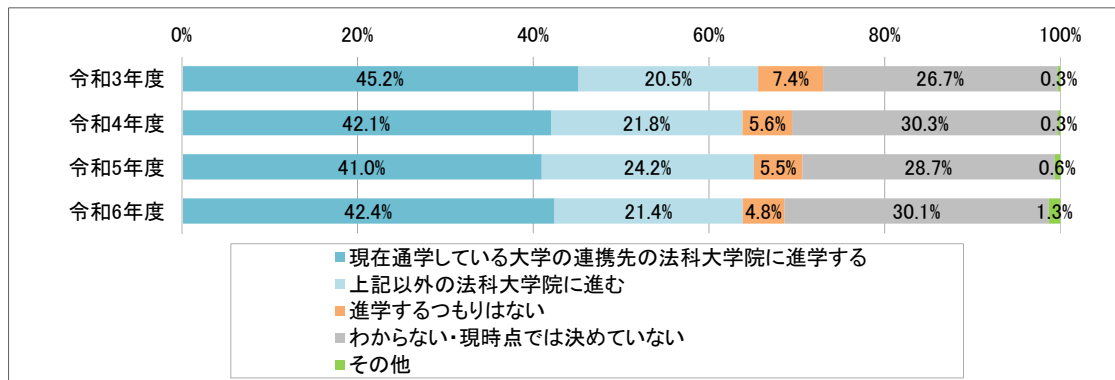


SA	選択肢	現在通学している大学の連携先の法科大学院に進学する	連携先以外の法科大学院に進む	進学するつもりはない	わからない・現時点では決めていない	その他	回答者数
令和3年度	回答数	335	172	55	216	8	786
	割合	42.6%	21.9%	7.0%	27.5%	1.0%	100.0%
令和4年度	回答数	341	212	49	247	5	854
	割合	39.9%	24.8%	5.7%	28.9%	0.6%	100.0%
令和5年度	回答数	257	168	33	190	9	657
	割合	39.1%	25.6%	5.0%	28.9%	1.4%	100.0%
令和6年度	回答数	363	327	38	259	13	910
	割合	39.9%	26.0%	4.2%	28.5%	1.4%	100.0%

※令和3年度調査で新たに追加した質問

※4番目の選択肢について、令和3年度調査までは「現時点では決めていない」

オ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに在籍又は進学を希望している女性

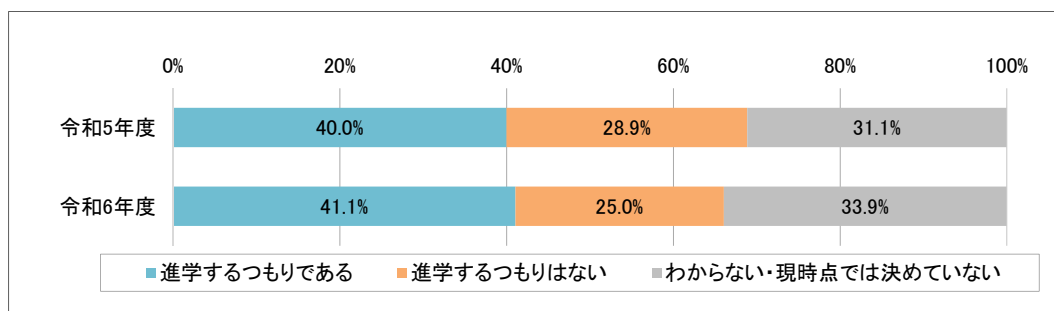


SA	選択肢	現在通学している大学の連携先の法科大学院に進学する	連携先以外の法科大学院に進む	進学するつもりはない	わからない・現時点では決めていない	その他	回答者数
令和3年度	回答数	159	72	26	94	1	352
	割合	45.2%	20.5%	7.4%	26.7%	0.3%	100.0%
令和4年度	回答数	164	85	22	118	1	390
	割合	42.1%	21.8%	5.6%	30.3%	0.3%	100.0%
令和5年度	回答数	134	79	18	94	2	327
	割合	41.0%	24.2%	5.5%	28.7%	0.6%	100.0%
令和6年度	回答数	196	99	22	139	6	462
	割合	42.4%	21.4%	4.8%	30.1%	1.3%	100.0%

※令和3年度調査で新たに追加した質問

※4番目の選択肢について、令和3年度調査までは「現時点では決めていない」

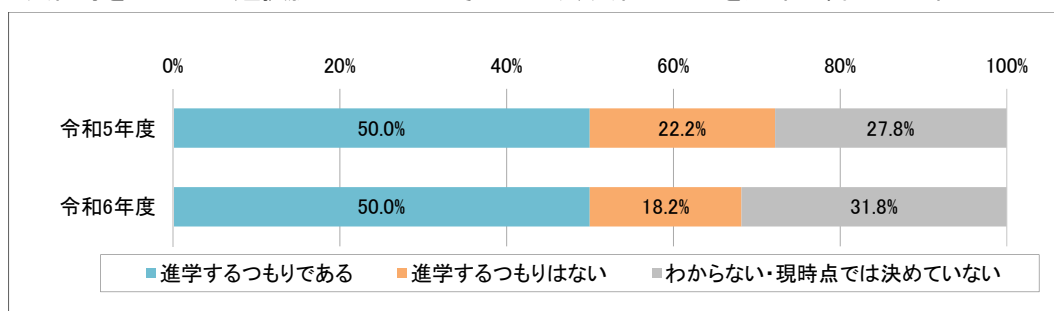
カ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースを途中で辞めた学生



SA	選択肢	進学するつもりである	進学するつもりはない	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和5年度	回答数	18	13	14	45
	割合	40.0%	28.9%	31.1%	100.0%
令和6年度	回答数	23	14	19	56
	割合	41.4%	25.0%	33.9%	100.0%

※令和5年度調査で新たに追加した質問

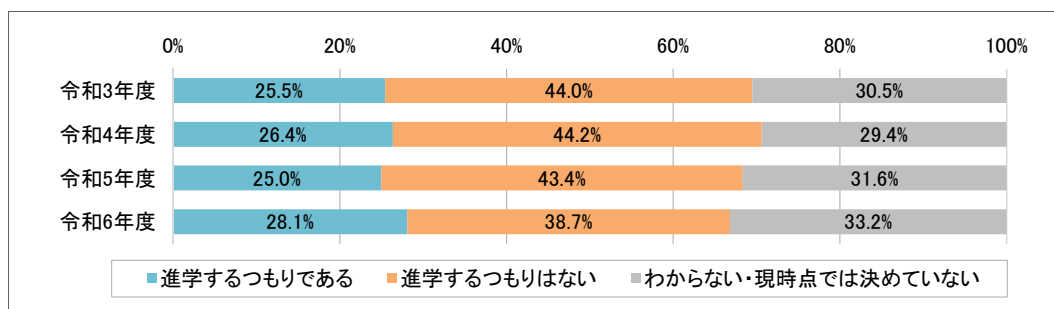
キ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースを途中で辞めた女性



SA	選択肢	進学するつもりである	進学するつもりはない	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和5年度	回答数	9	4	5	18
	割合	50.0%	22.2%	27.8%	100.0%
令和6年度	回答数	11	4	7	22
	割合	50.0%	18.2%	31.8%	100.0%

※令和5年度調査で新たに追加した質問

ク 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに非在籍又は進学を希望していない学生

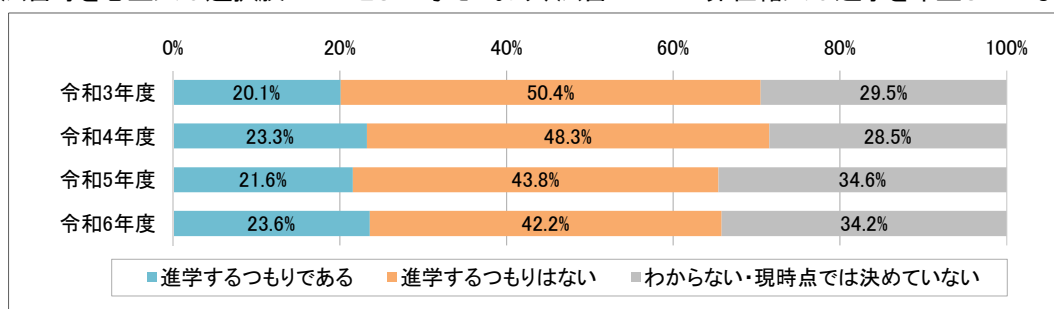


SA	選択肢	進学するつもりである	進学するつもりはない	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和3年度	回答数	229	396	274	899
	割合	25.5%	44.0%	30.5%	100.0%
令和4年度	回答数	176	295	196	667
	割合	26.4%	44.2%	29.4%	100.0%
令和5年度	回答数	94	163	119	376
	割合	25.0%	43.4%	31.6%	100.0%
令和6年度	回答数	122	168	144	434
	割合	28.1%	38.7%	33.2%	100.0%

※令和3年度調査で新たに追加した質問

※4番目の選択肢について、令和3年度調査までは「現時点では決めていない」

ケ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに非在籍又は進学を希望していない女性

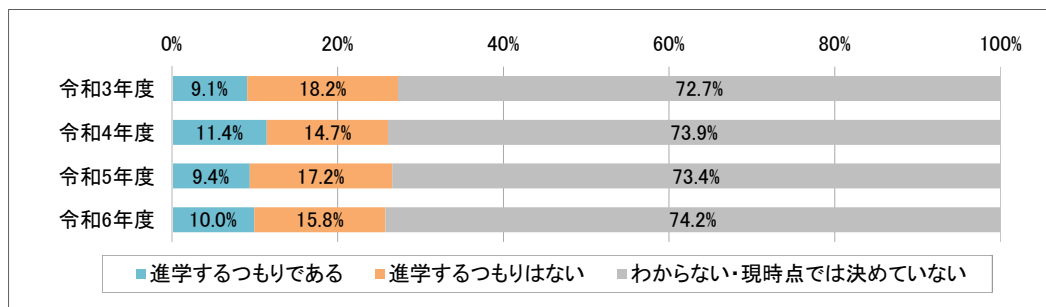


SA	選択肢	進学するつもりである	進学するつもりはない	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和3年度	回答数	73	183	107	363
	割合	20.1%	50.4%	29.5%	100.0%
令和4年度	回答数	67	139	82	288
	割合	23.3%	48.3%	28.5%	100.0%
令和5年度	回答数	35	71	56	162
	割合	21.6%	43.8%	34.6%	100.0%
令和6年度	回答数	47	84	68	199
	割合	23.8%	42.2%	34.2%	100.0%

※令和3年度調査で新たに追加した質問

※4番目の選択肢について、令和3年度調査までは「現時点では決めていない」

コ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースへの進学は未定である学生

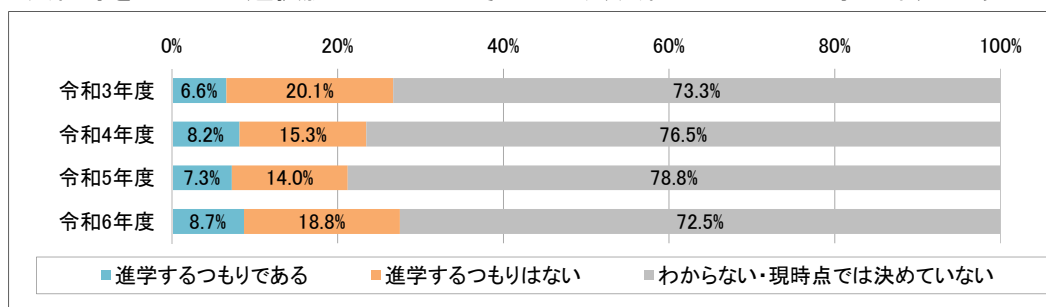


SA	選択肢	進学するつもりである	進学するつもりはない	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和3年度	回答数	62	124	495	681
	割合	9.1%	18.2%	72.7%	100.0%
令和4年度	回答数	64	82	413	559
	割合	11.4%	14.7%	73.9%	100.0%
令和5年度	回答数	34	62	265	361
	割合	9.4%	17.2%	73.4%	100.0%
令和6年度	回答数	44	70	328	442
	割合	10.0%	15.8%	74.2%	100.0%

※令和3年度調査で新たに追加した質問

※4番目の選択肢について、令和3年度調査までは「現時点では決めていない」

サ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースへの進学は未定である女性



SA	選択肢	進学するつもりである	進学するつもりはない	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和3年度	回答数	20	61	222	303
	割合	6.6%	20.1%	73.3%	100.0%
令和4年度	回答数	23	43	215	281
	割合	8.2%	15.3%	76.5%	100.0%
令和5年度	回答数	14	27	152	193
	割合	7.3%	14.0%	78.8%	100.0%
令和6年度	回答数	19	41	158	218
	割合	8.7%	18.8%	72.5%	100.0%

※令和3年度調査で新たに追加した質問

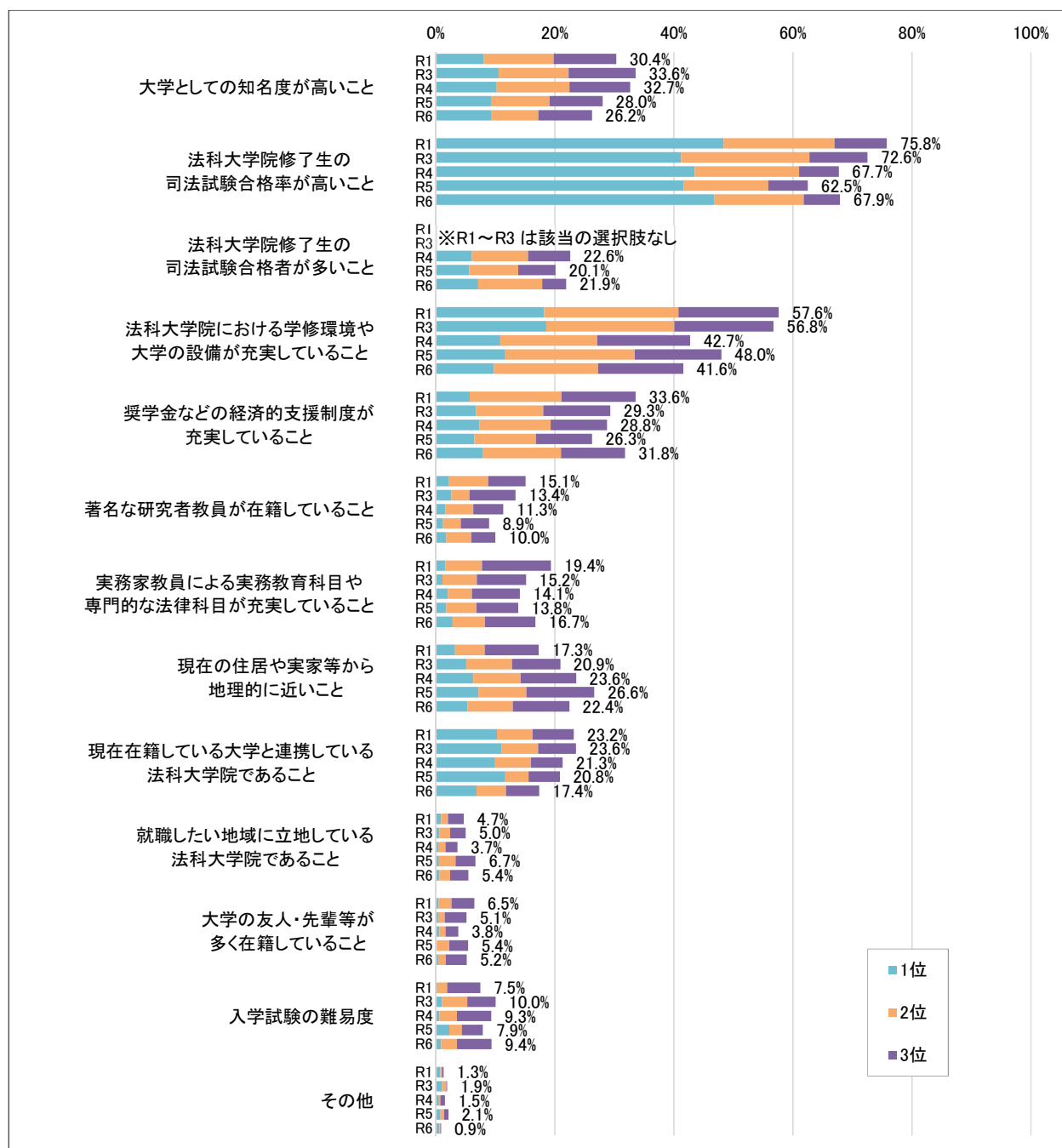
※4番目の選択肢について、令和3年度調査までは「現時点では決めていない」

9. 法科大学院選択の際に重視するもの

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法科大学院に進学するつもりであると回答した学生に、法科大学院を選択する際に重視することを、その度合いが高いものから順に3つ選んでもらった結果、「法科大学院修了生の司法試験合格率が高いこと」との回答割合が約68%で最多、次いで「法科大学院における学修環境や大学の設備が充実していること」が約42%、「奨学金などの経済的支援制度が充実していること」が約32%と続いている。最多の「法科大学院修了生の司法試験合格率が高いこと」は令和5年度までは減少傾向にあったが、令和6年度は増加している。

女性のみを見た場合もほぼ同様であった。

ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生

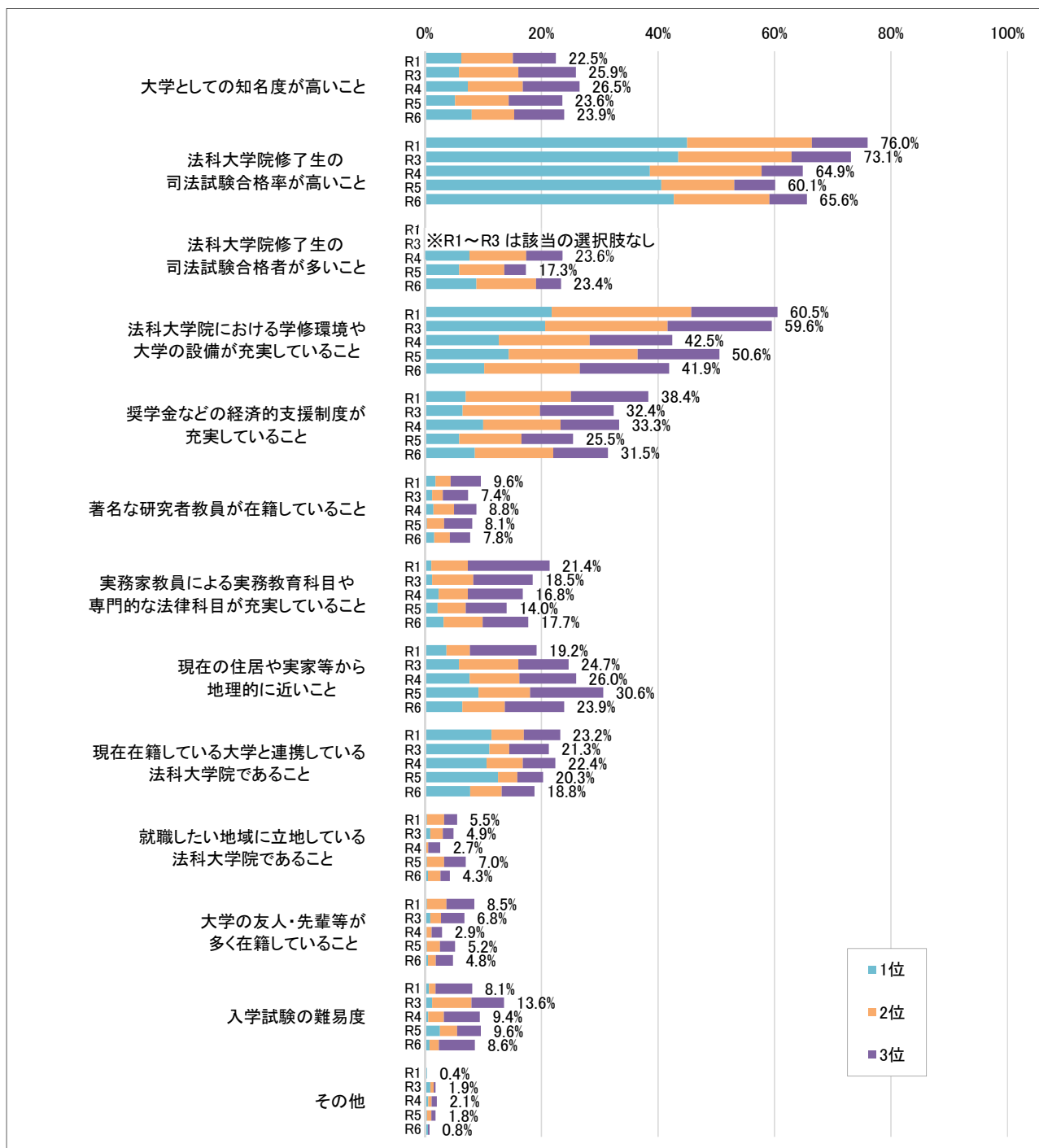


	SA	選択肢	大学としての知名度が高いこと	法科大学院修了生の司法試験合格率が高いこと	法科大学院修了生の司法試験合格者が多いこと	法科大学院における学修環境や大学の設備が充実していること	奨学金などの経済的支援制度が充実していること	著名な研究者が在籍していること	実務家教員による実務教育科目や専門的な法律科目が充実していること	現在の住居や実家等から地理的に近いこと	現在在籍している大学と連携している法科大学院であること	就職したい地域に立地している法科大学院であること	大学の友人・先輩等が多く在籍していること	入学試験の難易度	その他	選択無し	回答者数
1 位	令和元年度	回答数	55	330	－	124	39	15	11	22	70	6	3	2	5	0	682
		割合	8.1%	48.4%	－	18.2%	5.7%	2.2%	1.6%	3.2%	10.3%	0.9%	0.4%	0.3%	0.7%	0.0%	100.0%
	令和3年度	回答数	84	329	－	148	54	21	9	41	88	5	3	8	8	0	798
		割合	10.5%	41.2%	－	18.5%	6.8%	2.6%	1.1%	5.1%	11.0%	0.6%	0.4%	1.0%	1.0%	0.0%	100.0%
	令和4年度	回答数	81	345	48	86	58	13	16	50	79	3	5	5	4	0	793
		割合	10.2%	43.5%	6.1%	10.8%	7.3%	1.6%	2.0%	6.3%	10.0%	0.4%	0.6%	0.6%	0.5%	0.0%	100.0%
	令和5年度	回答数	53	238	32	66	37	7	10	41	66	3	1	13	4	0	571
		割合	9.3%	41.7%	5.6%	11.6%	6.5%	1.2%	1.8%	7.2%	11.6%	0.5%	0.2%	2.3%	0.7%	0.0%	100.0%
	令和6年度	回答数	73	369	56	77	62	14	22	42	54	5	3	7	5	0	789
		割合	9.3%	46.8%	7.1%	9.8%	7.9%	1.8%	2.8%	5.3%	6.8%	0.6%	0.4%	0.9%	0.6%	0.0%	100.0%
2 位	令和元年度	回答数	80	127	－	154	105	45	42	34	41	8	15	11	2	18	682
		割合	11.7%	18.6%	－	22.6%	15.4%	6.6%	6.2%	5.0%	6.0%	1.2%	2.2%	1.6%	0.3%	2.6%	100.0%
	令和3年度	回答数	94	172	－	172	90	24	46	61	49	14	9	34	6	27	798
		割合	11.8%	21.6%	－	21.6%	11.3%	3.0%	5.8%	7.6%	6.1%	1.8%	1.1%	4.3%	0.8%	3.4%	100.0%
	令和4年度	回答数	97	139	75	129	95	37	32	63	48	10	8	23	2	35	793
		割合	12.2%	17.5%	9.5%	16.3%	12.0%	4.7%	4.0%	7.9%	6.1%	1.3%	1.0%	2.9%	0.3%	4.4%	100.0%
	令和5年度	回答数	56	81	47	125	59	17	29	46	23	16	12	12	4	44	571
		割合	9.8%	14.2%	8.2%	21.9%	10.3%	3.0%	5.1%	8.1%	4.0%	2.8%	2.1%	2.1%	0.7%	7.7%	100.0%
	令和6年度	回答数	63	119	85	138	104	33	43	60	39	14	10	21	1	59	789
		割合	8.0%	15.1%	10.8%	17.5%	13.2%	4.2%	5.4%	7.6%	4.9%	1.8%	1.3%	2.7%	0.1%	7.5%	100.0%
3 位	令和元年度	回答数	72	60	－	115	85	43	79	62	47	18	26	38	2	35	682
		割合	10.6%	8.8%	－	16.9%	12.5%	6.3%	11.6%	9.1%	6.9%	2.6%	3.8%	5.6%	0.3%	5.1%	100.0%
	令和3年度	回答数	90	78	－	133	90	62	66	65	51	21	29	38	1	74	798
		割合	11.3%	9.8%	－	16.7%	11.3%	7.8%	8.3%	8.1%	6.4%	2.6%	3.6%	4.8%	0.1%	9.3%	100.0%
	令和4年度	回答数	81	53	56	124	75	40	64	74	42	16	17	46	6	99	793
		割合	10.2%	6.7%	7.1%	15.6%	9.5%	5.0%	8.1%	9.3%	5.3%	2.0%	2.1%	5.8%	0.8%	12.5%	100.0%
	令和5年度	回答数	51	38	36	83	54	27	40	65	30	19	18	20	4	86	571
		割合	8.9%	6.7%	6.3%	14.5%	9.5%	4.7%	7.0%	11.4%	5.3%	3.3%	3.2%	3.5%	0.7%	15.1%	100.0%
	令和6年度	回答数	71	48	32	113	85	32	67	75	44	24	28	46	1	123	789
		割合	9.0%	6.1%	4.1%	14.3%	10.8%	4.1%	8.5%	9.5%	5.6%	3.0%	3.5%	5.8%	0.1%	15.6%	100.0%
合計	令和元年度	回答数	207	517	－	393	229	103	132	118	158	32	44	51	9	53	682
		割合	30.4%	75.8%	－	57.6%	33.6%	15.1%	19.4%	17.3%	23.2%	4.7%	6.5%	7.5%	1.3%	7.8%	100.0%
	令和3年度	回答数	268	579	－	453	234	107	121	167	188	40	41	80	15	101	798
		割合	33.6%	72.6%	－	56.8%	29.3%	13.4%	15.2%	20.9%	23.6%	5.0%	5.1%	10.0%	1.9%	12.7%	100.0%
	令和4年度	回答数	259	537	179	339	228	90	112	187	169	29	30	74	12	107	793
		割合	32.7%	67.7%	22.6%	42.7%	28.8%	11.3%	14.1%	23.6%	21.3%	3.7%	3.8%	9.3%	1.5%	13.5%	100.0%
	令和5年度	回答数	160	357	115	274	150	51	79	152	119	38	31	45	12	130	571
		割合	28.0%	62.5%	20.1%	48.0%	26.3%	8.9%	13.8%	26.6%	20.8%	6.7%	5.4%	7.9%	2.1%	22.8%	100.0%
	令和6年度	回答数	207	536	173	328	251	79	132	177	137	43	41	74	7	182	789
		割合	26.2%	67.9%	21.9%	41.6%	31.8%	10.0%	16.7%	22.4%	17.4%	5.4%	5.2%	9.4%	0.9%	23.1%	100.0%

※3番目の選択肢(法科大学院修了生の司法試験合格者が多いこと)は令和4年度調査から新たに設けたもの

※9番目の選択肢について、令和5年度調査までは「現在在籍している大学と連携している法科大学院であること」

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



	SA	選択肢	大学としての 知名度が高いこと	法科大学院修了生の 司法試験合格 率が高いこと	法科大学院修了生の 司法試験合格 者が多いこと	法科大学院に おける学修環 境や大学の設 備が充実して いること	奨学金などの 経済的支援制 度が充実して いること	著名な研究 者が在籍して いること	実務家教員に よる実務教育 科目や専門的 な法律科目が 充実している こと	現在の住居や 実家等から地 理的に近しい こと	現在在籍して いる大学と連 携している法 科大学院であ ること	就職したい地 域に立地して いる法科大学 院であること	大学の友人・ 先輩等が多く 在籍している こと	入学試験の難 易度	その他	選択無し	回答者 数
1 位	令和元年度	回答数	17	122	－	59	19	5	3	10	31	1	1	2	1	0	271
		割合	6.3%	45.0%	－	21.8%	7.0%	1.8%	1.1%	3.7%	11.4%	0.4%	0.4%	0.7%	0.4%	0.0%	100.0%
	令和3年度	回答数	19	141	－	67	21	4	4	19	36	3	3	4	3	0	324
		割合	5.9%	43.5%	－	20.7%	6.5%	1.2%	1.2%	5.9%	11.1%	0.9%	0.9%	1.2%	0.9%	0.0%	100.0%
	令和4年度	回答数	25	131	26	43	34	5	8	26	36	0	1	2	2	0	339
		割合	7.4%	38.6%	7.7%	12.7%	10.0%	1.5%	2.4%	7.7%	10.6%	0.0%	0.3%	0.6%	0.6%	0.0%	100.0%
	令和5年度	回答数	14	110	16	39	16	1	6	25	34	1	1	7	1	0	271
		割合	5.2%	40.6%	5.9%	14.4%	5.9%	0.4%	2.2%	9.2%	12.5%	0.4%	0.4%	2.6%	0.4%	0.0%	100.0%
	令和6年度	回答数	30	159	33	38	32	6	12	24	29	2	2	3	2	0	372
		割合	8.1%	42.7%	8.9%	10.2%	8.6%	1.6%	3.2%	6.5%	7.8%	0.5%	0.5%	0.8%	0.5%	0.0%	100.0%
2 位	令和元年度	回答数	24	58	－	65	49	7	17	11	15	8	9	3	0	5	271
		割合	8.9%	21.4%	－	24.0%	18.1%	2.6%	6.3%	4.1%	5.5%	3.0%	3.3%	1.1%	0.0%	1.8%	100.0%
	令和3年度	回答数	33	63	－	68	43	6	23	33	11	7	6	22	2	7	324
		割合	10.2%	19.4%	－	21.0%	13.3%	1.9%	7.1%	10.2%	3.4%	2.2%	1.9%	6.8%	0.6%	2.2%	100.0%
	令和4年度	回答数	32	65	33	53	45	12	17	29	21	2	3	9	2	16	339
		割合	9.4%	19.2%	9.7%	15.6%	13.3%	3.5%	5.0%	8.6%	6.2%	0.6%	0.9%	2.7%	0.6%	4.7%	100.0%
	令和5年度	回答数	25	34	21	60	29	8	13	24	9	8	6	8	2	24	271
		割合	9.2%	12.5%	7.7%	22.1%	10.7%	3.0%	4.8%	8.9%	3.3%	3.0%	2.2%	3.0%	0.7%	8.9%	100.0%
	令和6年度	回答数	27	61	38	61	50	10	25	27	20	8	5	6	0	34	372
		割合	7.3%	16.4%	10.2%	16.4%	13.4%	2.7%	6.7%	7.3%	5.4%	2.2%	1.3%	1.6%	0.0%	9.1%	100.0%
3 位	令和元年度	回答数	20	26	－	40	36	14	38	31	17	6	13	17	0	13	270
		割合	7.4%	9.6%	－	14.8%	13.3%	5.2%	14.0%	11.4%	6.3%	2.2%	4.8%	6.3%	0.0%	4.8%	100.0%
	令和3年度	回答数	32	33	－	58	41	14	33	28	22	6	13	18	1	25	271
		割合	9.9%	10.2%	－	17.9%	12.7%	4.3%	10.2%	8.6%	6.8%	1.9%	4.0%	5.6%	0.3%	7.7%	100.0%
	令和4年度	回答数	33	24	21	48	34	13	32	33	19	7	6	21	3	45	324
		割合	9.7%	7.1%	6.2%	14.2%	10.0%	3.8%	9.4%	9.7%	5.6%	2.1%	1.8%	6.2%	0.9%	13.3%	100.0%
	令和5年度	回答数	25	19	10	38	24	13	19	34	12	10	7	11	2	47	339
		割合	9.2%	7.0%	3.7%	14.0%	8.9%	4.8%	7.0%	12.5%	4.4%	3.7%	2.6%	4.1%	0.7%	17.3%	100.0%
	令和6年度	回答数	32	24	16	57	35	13	29	38	21	6	11	23	1	66	372
		割合	8.6%	6.5%	4.3%	15.3%	9.4%	3.5%	7.8%	10.2%	5.6%	1.6%	3.0%	6.2%	0.3%	17.7%	100.0%
合計	令和元年度	回答数	61	206	－	164	104	26	58	52	63	15	23	22	1	18	271
		割合	22.5%	76.0%	－	60.5%	38.4%	9.6%	21.4%	19.2%	23.2%	5.5%	8.5%	8.1%	0.4%	6.6%	100.0%
	令和3年度	回答数	84	237	－	193	105	24	60	80	69	16	22	44	6	32	324
		割合	25.9%	73.1%	－	59.6%	32.4%	7.4%	18.5%	24.7%	21.3%	4.9%	6.8%	13.6%	1.9%	9.9%	100.0%
	令和4年度	回答数	90	220	80	144	113	30	57	88	76	9	10	32	7	45	339
		割合	26.5%	64.9%	23.6%	42.5%	33.3%	8.8%	16.8%	26.0%	22.4%	2.7%	2.9%	9.4%	2.1%	13.3%	100.0%
	令和5年度	回答数	64	163	47	137	69	22	38	83	55	19	14	26	5	71	271
		割合	23.6%	60.1%	17.3%	50.6%	25.5%	8.1%	14.0%	30.6%	20.3%	7.0%	5.2%	9.6%	1.8%	26.2%	100.0%
	令和6年度	回答数	89	244	87	156	117	29	66	89	70	16	18	32	3	100	372
		割合	23.9%	65.6%	23.4%	41.9%	31.5%	7.8%	17.7%	23.9%	18.8%	4.3%	4.8%	8.6%	0.8%	26.9%	100.0%

※3番目の選択肢(法科大学院修了生の司法試験合格者が多いこと)は令和4年度調査から新たに設けたもの

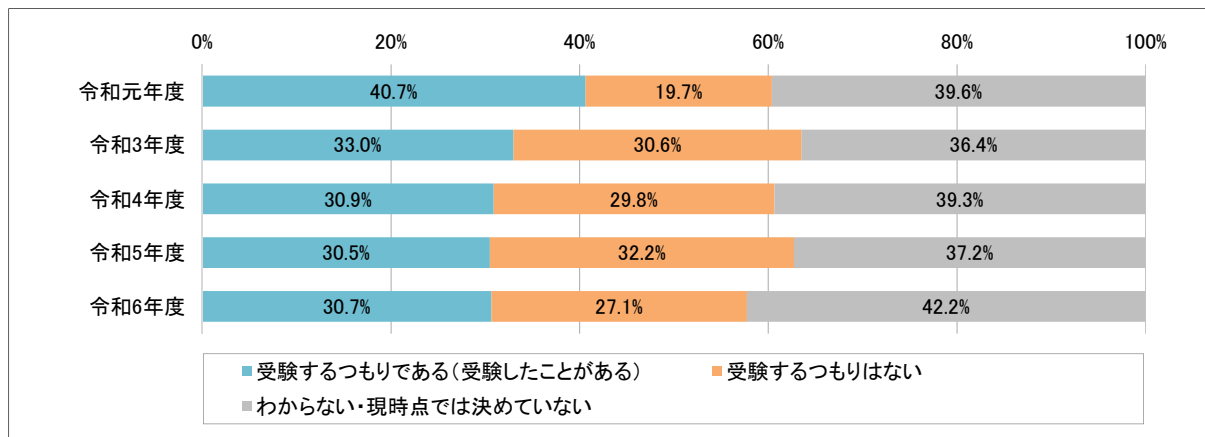
※9番目の選択肢について、令和5年度調査までは「現在在籍している大学と連携している法科大学院であること」

10. 予備試験受験予定

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生の、大学在学中の予備試験受験予定について、「受験するつもりである(受験したことがある)」との回答割合は約31%となり、令和5年度とほぼ同水準であった。

女性に限って見た場合、大学在学中に予備試験を受験する予定と回答した学生の割合は、全体に比してやや低く、令和5年度までは減少傾向が続いていたが令和6年度は微増している。

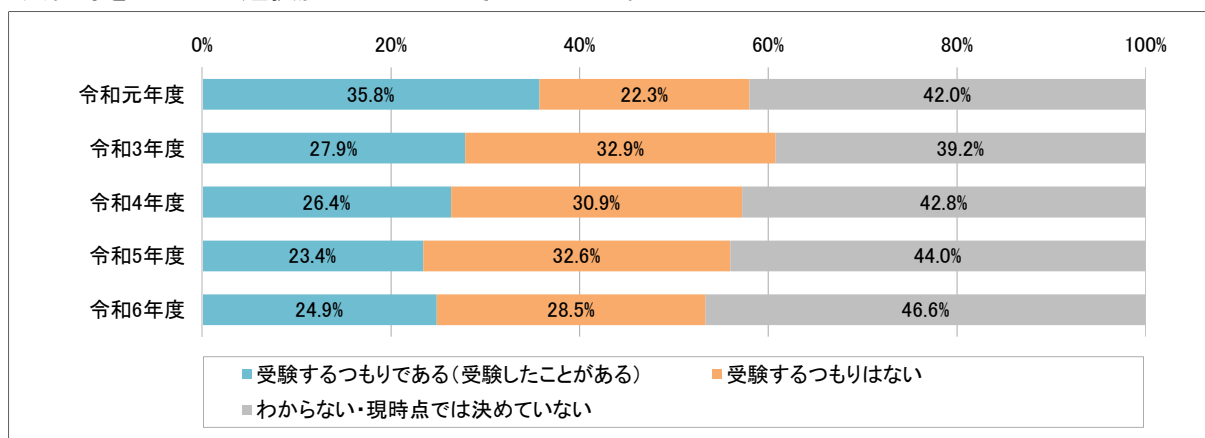
ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



SA	選択肢	受験するつもりである (受験したことがある)	受験するつもりはない	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和元年度	回答数	616	299	600	1,515
	割合	40.7%	19.7%	39.6%	100.0%
令和3年度	回答数	781	723	862	2,366
	割合	33.0%	30.6%	36.4%	100.0%
令和4年度	回答数	643	619	818	2,080
	割合	30.9%	29.8%	39.3%	100.0%
令和5年度	回答数	439	464	536	1,439
	割合	30.5%	32.2%	37.2%	100.0%
令和6年度	回答数	565	499	778	1,842
	割合	30.7%	27.1%	42.2%	100.0%

※3番目の選択肢について、令和3年度調査までは「現時点では決めていない」

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



SA	選択肢	受験するつもりである (受験したことがある)	受験するつもりはない	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和元年度	回答数	207	129	243	579
	割合	35.8%	22.3%	42.0%	100.0%
令和3年度	回答数	284	335	399	1,018
	割合	27.9%	32.9%	39.2%	100.0%
令和4年度	回答数	253	296	410	959
	割合	26.4%	30.9%	42.8%	100.0%
令和5年度	回答数	164	228	308	700
	割合	23.4%	32.6%	44.0%	100.0%
令和6年度	回答数	224	257	420	901
	割合	24.9%	28.5%	46.6%	100.0%

※3番目の選択肢について、令和3年度調査までは「現時点では決めていない」

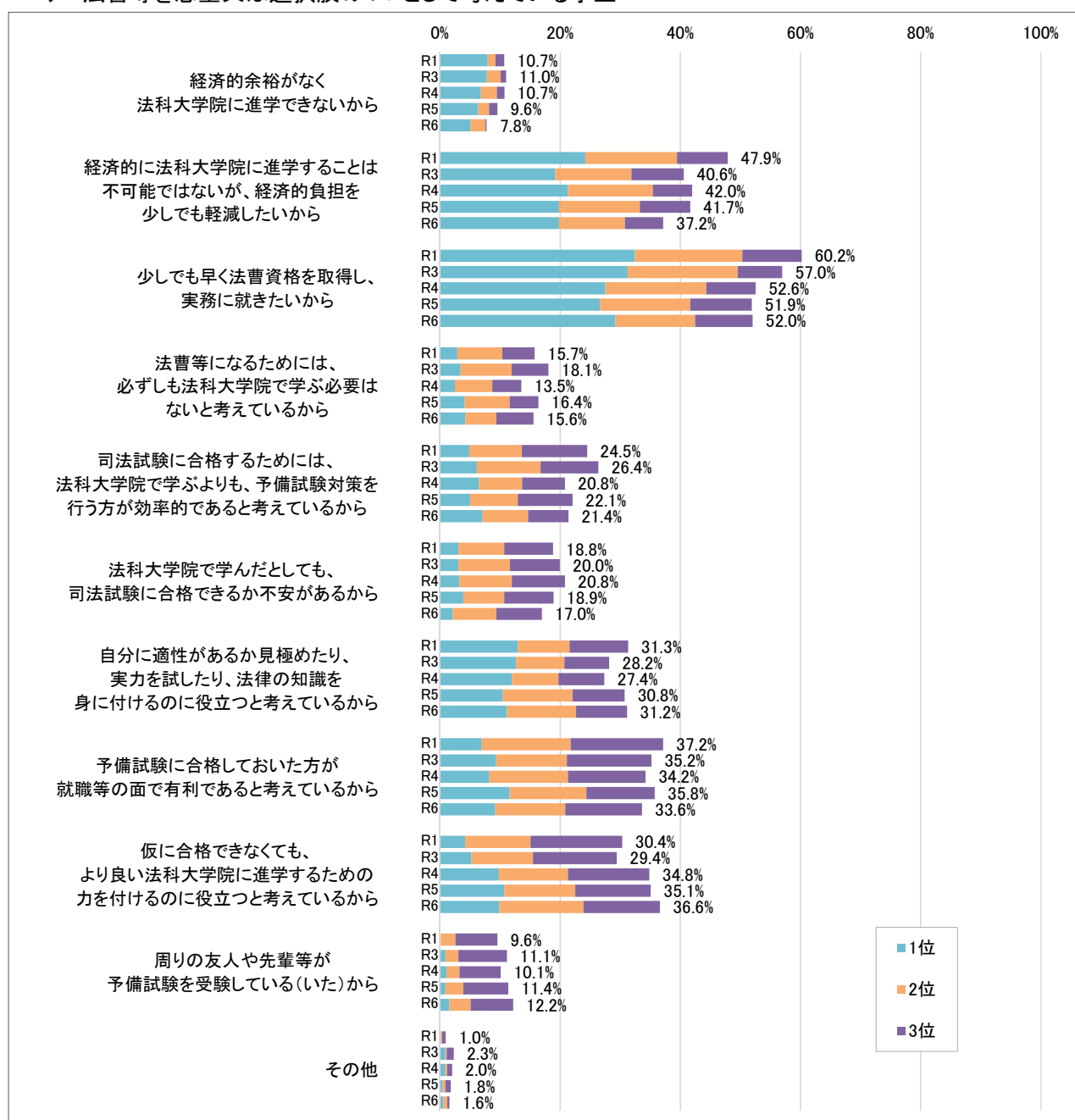
11. 予備試験受験理由

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、大学在学中に予備試験を受験予定であると回答した学生に、予備試験の受験理由を尋ねた結果、「少しでも早く法曹資格を取得し、実務に就きたいから」の回答割合が52%で最も高い。次いで「経済的に法科大学院に進学することは不可能ではないが、経済的負担を少しでも軽減したいから」が約37%となっており、令和5年度と比較すると「仮に合格できなくても、より良い法科大学院に進学するための力を付けるのに役立つと考えているから」が増加し「経済的に法科大学院に進学することは不可能ではないが、経済的負担を少しでも軽減したいから」が減少傾向であった。

女性に限って見ると、令和6年度はおおむね全学生と同じ傾向であるが、学生全体に比して「少しでも早く法曹資格を取得し、実務に就きたいから」の割合が少し低く、「自分に適性があるか見極めたり、実力を試したり、法律の知識を身に付けるのに役立つと考えているから」が少し高い。

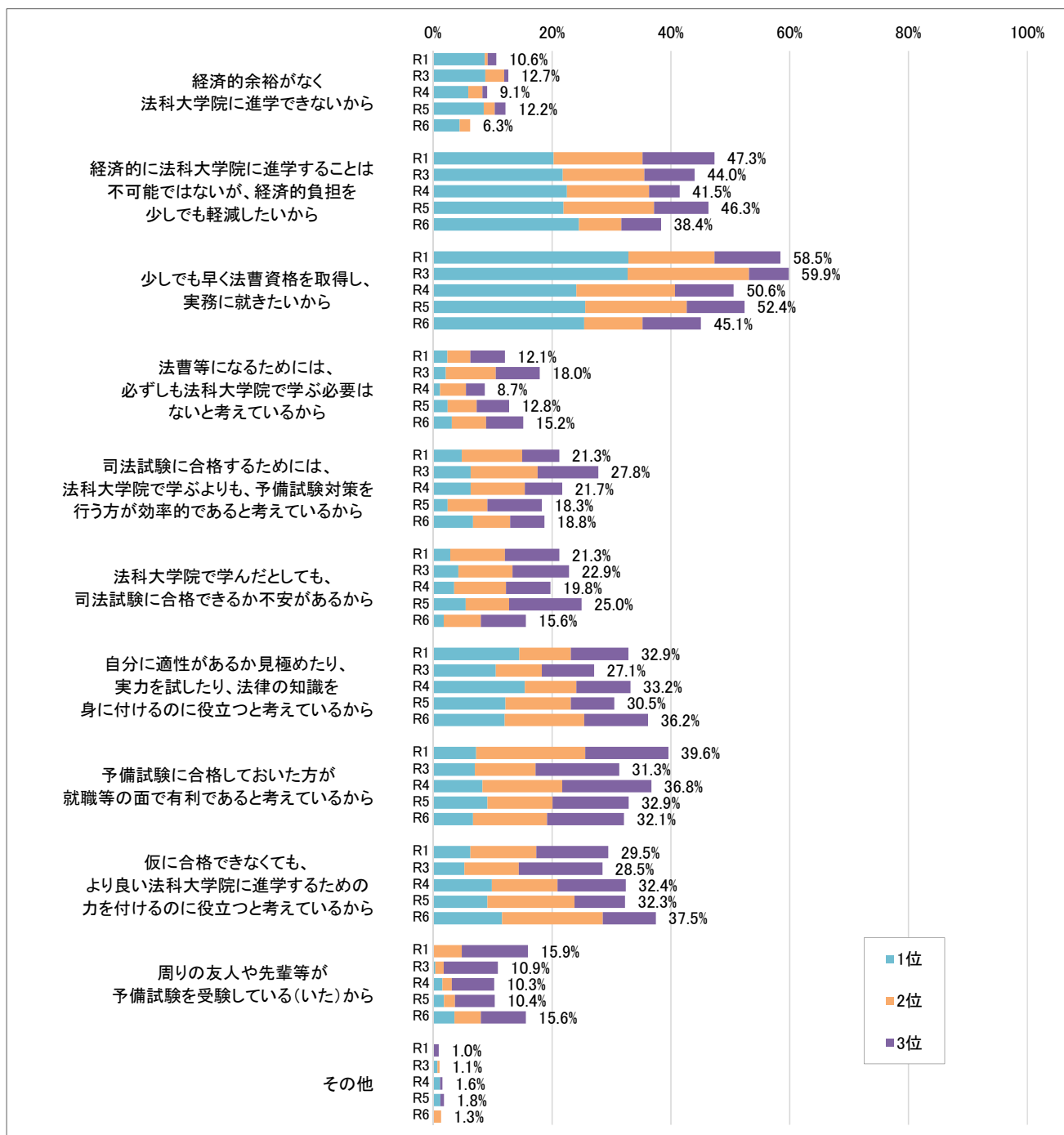
なお、「その他」として、令和6年度調査では「法科大学院に合格できるか不安だったから」、「目標の一つにすることで逆算した勉強ができるから」、「司法試験本試験と出題傾向が類似し、公的模擬試験として良い準備になりそうだから」などの回答があった。

ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



	SA	選択肢	経済的 余裕が なく法科 大学院に 進学でき ないから	経済的 に法科大 学院に進 学するこ とは不可 能ではな いが、経 済的負担 を少なく したいか ら	少なく も早く法 曹資格を 取得し、 実務に就 きたいか ら	法曹等 になるた めには、 必ずしも 法科大学 院で学ぶ 必要はな いと考 えている から	司法試験 に合格す るため には、法 科大学 院で学 ぶより も、予備 試験対 策を行 う方が 効率的 である と考 えている から	法科大 学院で 学んだ として も、司法 試験に 合格で きるか 不安が あるか ら	自分に 適性か あるか 見極め たり、実 力を試 したり、 法律の 知識を 身に付 けるの に役立 つと考 えている から	予備試験 に合格し ておいた 方が就 職等の 面で有 利である と考 えている から	仮に合格 できなく ても、よ り良い法 科大学 院に進 学する ための 力を付 けるの に役立 つと考 えている から	周りの 友人や 先輩等 が予備 試験を 受験し ている (いた) から	その他	選択無 し	回答者 数
1 位	令和元年度	回答数	49	149	200	18	30	19	80	43	26	1	1	0	616
		割合	8.0%	24.2%	32.5%	2.9%	4.9%	3.1%	13.0%	7.0%	4.2%	0.2%	0.2%	0.0%	100.0%
	令和3年度	回答数	61	150	244	27	48	24	99	73	41	7	7	0	781
		割合	7.8%	19.2%	31.2%	3.5%	6.1%	3.1%	12.7%	9.3%	5.2%	0.9%	0.9%	0.0%	100.0%
	令和4年度	回答数	44	137	177	16	42	21	77	53	63	7	6	0	643
		割合	6.8%	21.3%	27.5%	2.5%	6.5%	3.3%	12.0%	8.2%	9.8%	1.1%	0.9%	0.0%	100.0%
	令和5年度	回答数	28	87	117	18	22	17	46	51	47	4	2	0	439
		割合	6.4%	19.8%	26.7%	4.1%	5.0%	3.9%	10.5%	11.6%	10.7%	0.9%	0.5%	0.0%	100.0%
	令和6年度	回答数	29	112	165	24	40	12	63	52	56	9	3	0	565
		割合	5.1%	19.8%	29.2%	4.2%	7.1%	2.1%	11.2%	9.2%	9.9%	1.6%	0.5%	0.0%	100.0%
2 位	令和元年度	回答数	8	94	110	46	54	47	53	91	67	15	1	30	616
		割合	1.3%	15.3%	17.9%	7.5%	8.8%	7.6%	8.6%	14.8%	10.9%	2.4%	0.2%	4.9%	100.0%
	令和3年度	回答数	18	99	143	66	83	67	63	92	80	17	2	51	781
		割合	2.3%	12.7%	18.3%	8.5%	10.6%	8.6%	8.1%	11.8%	10.2%	2.2%	0.3%	6.5%	100.0%
	令和4年度	回答数	17	91	108	40	46	56	50	84	74	14	2	61	643
		割合	2.6%	14.2%	16.8%	6.2%	7.2%	8.7%	7.8%	13.1%	11.5%	2.2%	0.3%	9.5%	100.0%
	令和5年度	回答数	8	59	66	33	35	30	51	56	52	13	2	34	439
		割合	1.8%	13.4%	15.0%	7.5%	8.0%	6.8%	11.6%	12.8%	11.8%	3.0%	0.5%	7.7%	100.0%
	令和6年度	回答数	14	62	75	29	43	41	65	66	79	20	4	67	565
		割合	2.5%	11.0%	13.3%	5.1%	7.6%	7.3%	11.5%	11.7%	14.0%	3.5%	0.7%	11.9%	100.0%
3 位	令和元年度	回答数	9	52	61	33	67	50	60	95	94	43	4	48	616
		割合	1.5%	8.4%	9.9%	5.4%	10.9%	8.1%	9.7%	15.4%	15.3%	7.0%	0.6%	7.8%	100.0%
	令和3年度	回答数	7	68	58	48	75	65	58	110	109	63	9	111	781
		割合	0.9%	8.7%	7.4%	6.1%	9.6%	8.3%	7.4%	14.1%	14.0%	8.1%	1.2%	14.2%	100.0%
	令和4年度	回答数	8	42	53	31	46	57	49	83	87	44	5	138	643
		割合	1.2%	6.5%	8.2%	4.8%	7.2%	8.9%	7.6%	12.9%	13.5%	6.8%	0.8%	21.5%	100.0%
	令和5年度	回答数	6	37	45	21	40	36	38	50	55	33	4	74	439
		割合	1.4%	8.4%	10.3%	4.8%	9.1%	8.2%	8.7%	11.4%	12.5%	7.5%	0.9%	16.9%	100.0%
	令和6年度	回答数	1	36	54	35	38	43	48	72	72	40	2	124	565
		割合	0.2%	6.4%	9.6%	6.2%	6.7%	7.6%	8.5%	12.7%	12.7%	7.1%	0.4%	21.9%	100.0%
合計	令和元年度	回答数	66	295	371	97	151	116	193	229	187	59	6	78	616
		割合	10.7%	47.9%	60.2%	15.7%	24.5%	18.8%	31.3%	37.2%	30.4%	9.6%	1.0%	12.7%	100.0%
	令和3年度	回答数	86	317	445	141	206	156	220	275	230	87	18	162	781
		割合	11.0%	40.6%	57.0%	18.1%	26.4%	20.0%	28.2%	35.2%	29.4%	11.1%	2.3%	20.7%	100.0%
	令和4年度	回答数	69	270	338	87	134	134	176	220	224	65	13	227	643
		割合	10.7%	42.0%	52.6%	13.5%	20.8%	20.8%	27.4%	34.2%	34.8%	10.1%	2.0%	35.3%	100.0%
	令和5年度	回答数	42	183	228	72	97	83	135	157	154	50	8	108	439
		割合	9.6%	41.7%	51.9%	16.4%	22.1%	18.9%	30.8%	35.8%	35.1%	11.4%	1.8%	24.6%	100.0%
	令和6年度	回答数	44	210	294	88	121	96	176	190	207	69	9	191	565
		割合	7.8%	37.2%	52.0%	15.6%	21.4%	17.0%	31.2%	33.6%	36.6%	12.2%	1.6%	33.8%	100.0%

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



	SA	選択肢	経済的 余裕が なく法科 大学院に 進学でき ないから	経済的 に法科大 学院に進 学するこ とは不可 能ではな いが、経 済的負担 を少なく したいか ら	少なく も法曹資 格を取得 し、実務 に就きた いから	法曹等 になるた めには、 必ずしも 法科大学 院で学ぶ 必要はな いと考 えている から	司法試験 に合格す るため には、法 科大学 院で学 ぶより も、予備 試験対 策を行 う方が 効率的 である と考 えている から	法科大 学院で 学んだ として も、司法 試験に 合格で きるか 不安が あるか ら	自分に 適性か あるか 見極め たり、実 力を試 したり、 法律の 知識を 身に付 けるの に役立 つと考 えている から	予備試験 に合格し ておいた 方が就 職等の 面で有 利である と考 えている から	仮に合 格でき なくても 、より 良い法 科大学 院に進 学する ための 力を付 けるの に役立 つと考 えている から	周りの 友人や 先輩等 が予備 試験を 受験し ている (いた)から	その他	選択無 し	回答者 数
1 位	令和元年度	回答数	18	42	68	5	10	6	30	15	13	0	0	0	207
		割合	8.7%	20.3%	32.9%	2.4%	4.8%	2.9%	14.5%	7.2%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	令和3年度	回答数	25	62	93	6	18	12	30	20	15	1	2	0	284
		割合	8.8%	21.8%	32.7%	2.1%	6.3%	4.2%	10.6%	7.0%	5.3%	0.4%	0.7%	0.0%	100.0%
	令和4年度	回答数	15	57	61	3	16	9	39	21	25	4	3	0	253
		割合	5.9%	22.5%	24.1%	1.2%	6.3%	3.6%	15.4%	8.3%	9.9%	1.6%	1.2%	0.0%	100.0%
	令和5年度	回答数	14	36	42	4	4	9	20	15	15	3	2	0	164
		割合	8.5%	22.0%	25.6%	2.4%	2.4%	5.5%	12.2%	9.1%	9.1%	1.8%	1.2%	0.0%	100.0%
	令和6年度	回答数	10	55	57	7	15	4	27	15	26	8	0	0	224
		割合	4.5%	24.6%	35.4%	3.1%	6.7%	1.8%	12.1%	6.7%	11.6%	3.6%	0.0%	0.0%	100.0%
2 位	令和元年度	回答数	1	31	30	8	21	19	18	38	23	10	0	8	207
		割合	0.5%	15.0%	14.5%	3.9%	10.1%	9.2%	8.7%	18.4%	11.1%	4.8%	0.0%	3.9%	100.0%
	令和3年度	回答数	9	39	58	24	32	26	22	29	26	4	1	14	284
		割合	3.2%	13.7%	20.4%	8.5%	11.3%	9.2%	7.7%	10.2%	9.2%	1.4%	0.4%	4.9%	100.0%
	令和4年度	回答数	6	35	42	11	23	22	22	34	28	4	0	26	253
		割合	2.4%	13.8%	16.6%	4.3%	9.1%	8.7%	8.7%	13.4%	11.1%	1.6%	0.0%	10.3%	100.0%
	令和5年度	回答数	3	25	28	8	11	12	18	18	24	3	0	14	164
		割合	1.8%	15.2%	17.1%	4.9%	6.7%	7.3%	11.0%	11.0%	14.6%	1.8%	0.0%	8.5%	100.0%
	令和6年度	回答数	4	16	22	13	14	14	30	28	38	10	3	32	224
		割合	1.8%	7.1%	9.8%	5.8%	6.3%	6.3%	13.4%	12.5%	17.0%	4.5%	1.3%	14.3%	100.0%
3 位	令和元年度	回答数	3	25	23	12	13	19	20	29	25	23	2	13	207
		割合	1.4%	12.1%	11.1%	5.8%	6.3%	9.2%	9.7%	14.0%	12.1%	11.1%	1.0%	6.3%	100.0%
	令和3年度	回答数	2	24	19	21	29	27	25	40	40	26	0	31	284
		割合	0.7%	8.5%	6.7%	7.4%	10.2%	9.5%	8.8%	14.1%	14.1%	9.2%	0.0%	10.9%	100.0%
	令和4年度	回答数	2	13	25	8	16	19	23	38	29	18	1	61	253
		割合	0.8%	5.1%	9.9%	3.2%	6.3%	7.5%	9.1%	15.0%	11.5%	7.1%	0.4%	24.1%	100.0%
	令和5年度	回答数	3	15	16	9	15	20	12	21	14	11	1	27	164
		割合	1.8%	9.1%	9.8%	5.5%	9.1%	12.2%	7.3%	12.8%	8.5%	6.7%	0.6%	16.5%	100.0%
	令和6年度	回答数	0	15	22	14	13	17	24	29	20	17	0	53	224
		割合	0.0%	6.7%	9.8%	6.3%	5.8%	7.6%	10.7%	12.9%	8.9%	7.6%	0.0%	23.7%	100.0%
合計	令和元年度	回答数	22	98	121	25	44	44	68	82	61	33	2	21	207
		割合	10.6%	47.3%	58.5%	12.1%	21.3%	21.3%	32.9%	39.6%	29.5%	15.9%	1.0%	10.1%	100.0%
	令和3年度	回答数	36	125	170	51	79	65	77	89	81	31	3	45	284
		割合	12.7%	44.0%	59.9%	18.0%	27.8%	22.9%	27.1%	31.3%	28.5%	10.9%	1.1%	15.8%	100.0%
	令和4年度	回答数	23	105	128	22	55	50	84	93	82	26	4	45	253
		割合	9.1%	41.5%	50.6%	8.7%	21.7%	19.8%	33.2%	36.8%	32.4%	10.3%	1.6%	15.8%	100.0%
	令和5年度	回答数	20	76	86	21	30	41	50	54	53	17	3	41	164
		割合	12.2%	46.3%	52.4%	12.8%	18.3%	25.0%	30.5%	32.9%	32.3%	10.4%	1.8%	25.0%	100.0%
	令和6年度	回答数	14	86	101	34	42	35	81	72	84	35	3	85	224
		割合	6.3%	38.4%	45.1%	15.2%	18.8%	15.6%	36.2%	32.1%	37.5%	15.6%	1.3%	37.9%	100.0%

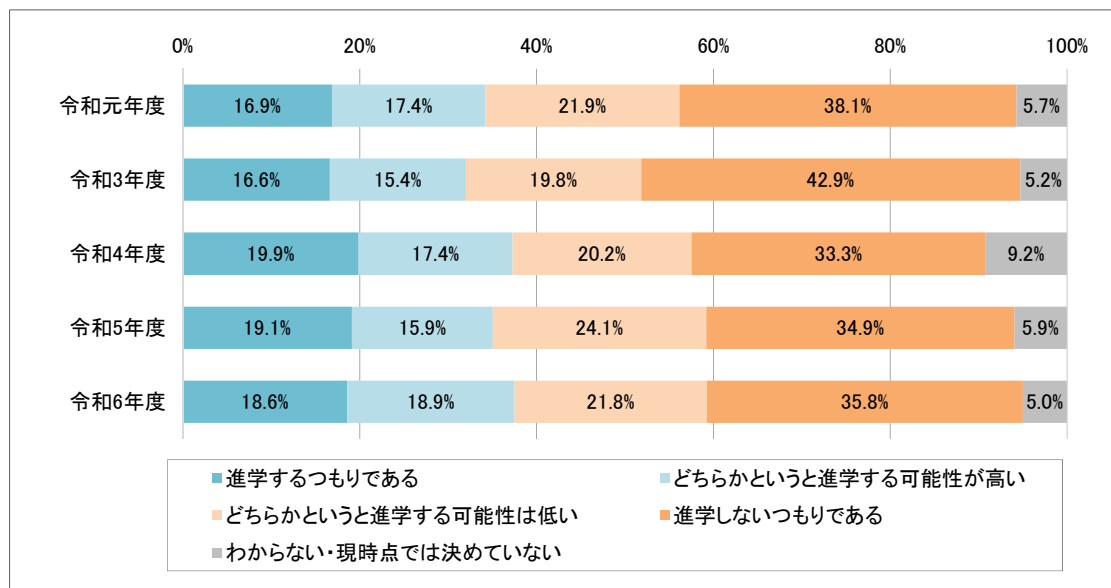
12. 予備試験に合格した場合の法科大学院進学予定

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、大学在学中に予備試験を受験予定であると回答した学生に、予備試験に合格した場合の法科大学院進学予定を尋ねた結果、「進学するつもりである」と「どちらかというに進学する可能性が高い」との回答割合の合計は約38%で、令和5年度から微増した。

女性に限って見た場合もほぼ同様の結果であるが、アンケート実施年度により増加、減少の差が大きい。

また、法曹等を志望している学生に限定した場合には、「進学するつもりである」と「どちらかというに進学する可能性が高い」との回答割合の合計は約40%であり、令和5年度から微増した。

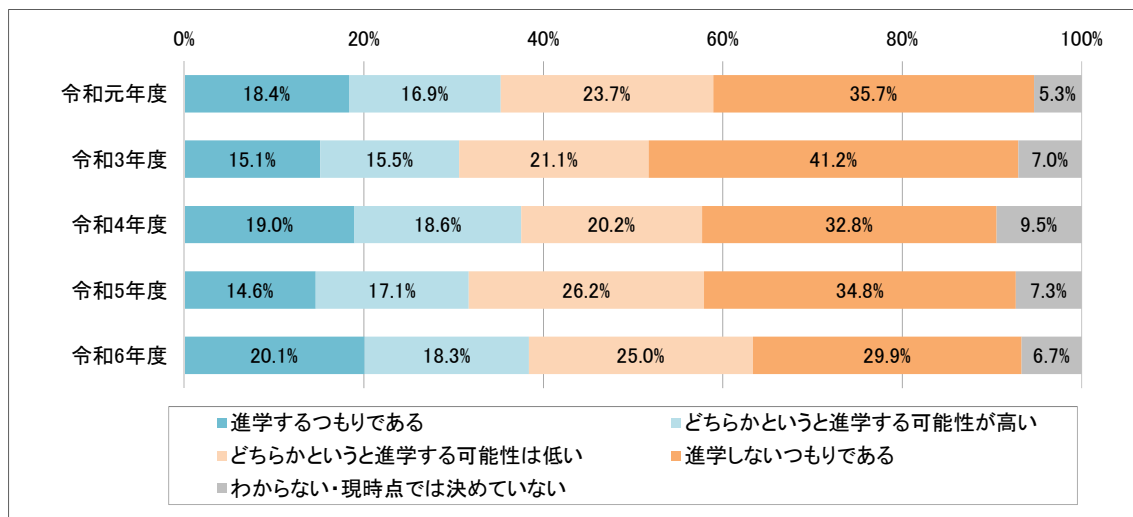
ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



SA	選択肢	進学するつもりである	どちらかというに進学する可能性が高い	どちらかというに進学する可能性は低い	進学しないつもりである	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和元年度	回答数	104	107	135	235	35	616
	割合	16.9%	17.4%	21.9%	38.1%	5.7%	100.0%
令和3年度	回答数	130	120	155	335	41	781
	割合	16.6%	15.4%	19.8%	42.9%	5.2%	100.0%
令和4年度	回答数	128	112	130	214	59	643
	割合	19.9%	17.4%	20.2%	33.3%	9.2%	100.0%
令和5年度	回答数	84	70	106	153	26	439
	割合	19.1%	15.9%	24.1%	34.9%	5.9%	100.0%
令和6年度	回答数	105	107	123	202	28	565
	割合	18.6%	18.9%	21.8%	35.8%	5.0%	100.0%

※5番目の選択肢について、令和3年度調査までは「現時点ではよく分からない」

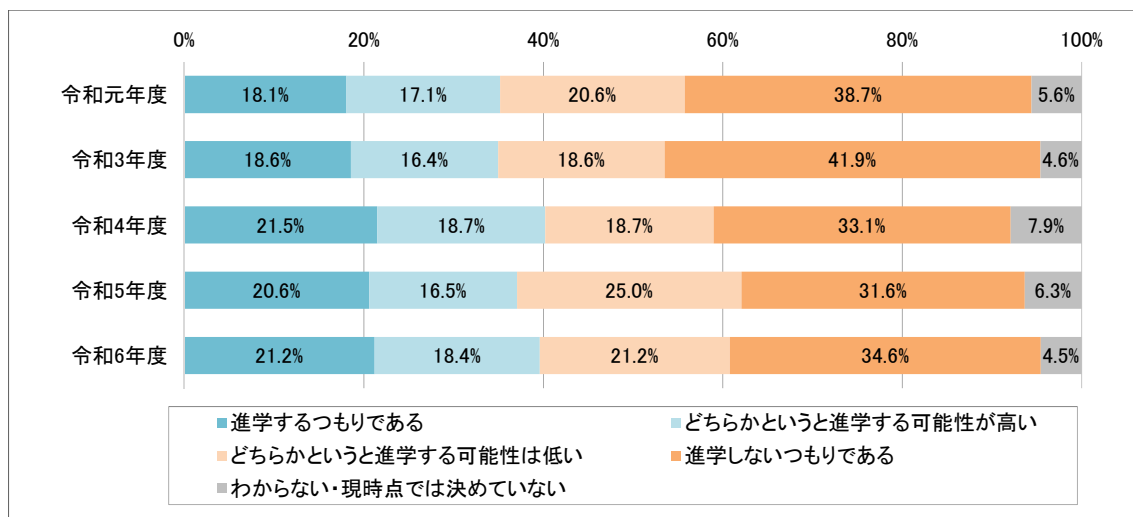
イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



SA	選択肢	進学するつもりである	どちらかというに進学する可能性が高い	どちらかというに進学する可能性は低い	進学しないつもりである	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和元年度	回答数	38	35	49	74	11	207
	割合	18.4%	16.9%	23.7%	35.7%	5.3%	100.0%
令和3年度	回答数	43	44	60	117	20	284
	割合	15.1%	15.5%	21.1%	41.2%	7.0%	100.0%
令和4年度	回答数	48	47	51	83	24	253
	割合	19.0%	18.6%	20.2%	32.8%	9.5%	100.0%
令和5年度	回答数	24	28	43	57	12	164
	割合	14.6%	17.1%	26.2%	34.8%	7.3%	100.0%
令和6年度	回答数	45	51	56	67	15	224
	割合	20.1%	18.3%	25.0%	29.9%	6.7%	100.0%

※5番目の選択肢について、令和3年度調査までは「現時点ではよく分からない」

ウ 法曹等を志望している学生



SA	選択肢	進学するつもりである	どちらかというに進学する可能性が高い	どちらかというに進学する可能性は低い	進学しないつもりである	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和元年度	回答数	94	89	107	201	29	520
	割合	18.1%	17.1%	20.6%	38.7%	5.6%	100.0%
令和3年度	回答数	113	100	113	255	28	609
	割合	18.6%	16.4%	18.6%	41.9%	4.6%	100.0%
令和4年度	回答数	109	95	95	168	40	507
	割合	21.5%	18.7%	18.7%	33.1%	7.9%	100.0%
令和5年度	回答数	75	60	91	115	23	364
	割合	20.6%	16.5%	25.0%	31.6%	6.3%	100.0%
令和6年度	回答数	98	85	98	160	21	462
	割合	21.2%	18.4%	21.2%	34.6%	4.5%	100.0%

※5番目の選択肢について、令和3年度調査までは「現時点ではよく分からない」

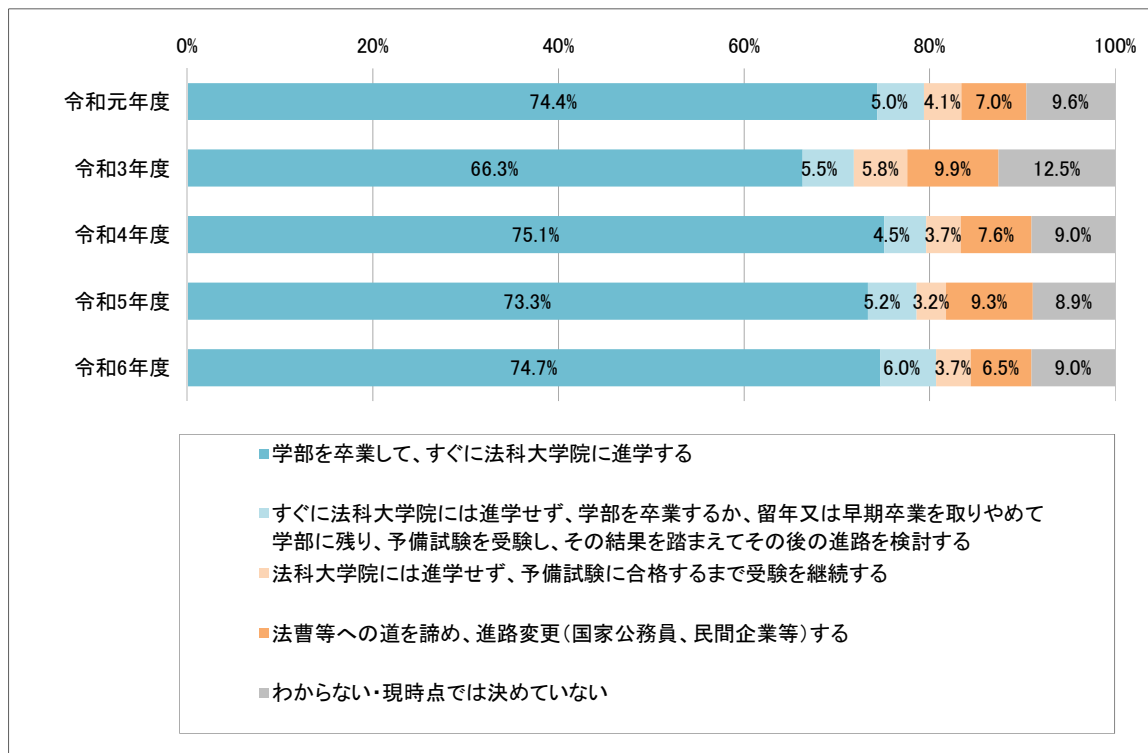
13. 予備試験に合格しなかった場合の法科大学院進学予定

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、大学在学中に予備試験を受験予定であると回答した学生に、在学中に予備試験に合格しなかった場合の進路について尋ねた結果、「学部を卒業して、すぐに法科大学院に進学する」との回答割合が最も高く、約75%であった。

「わからない・現時点では決めていない」を除くその他の選択肢の回答割合は、おおむね5-10%にとどまった。

女性に限って見た場合もほぼ同様の結果であった。

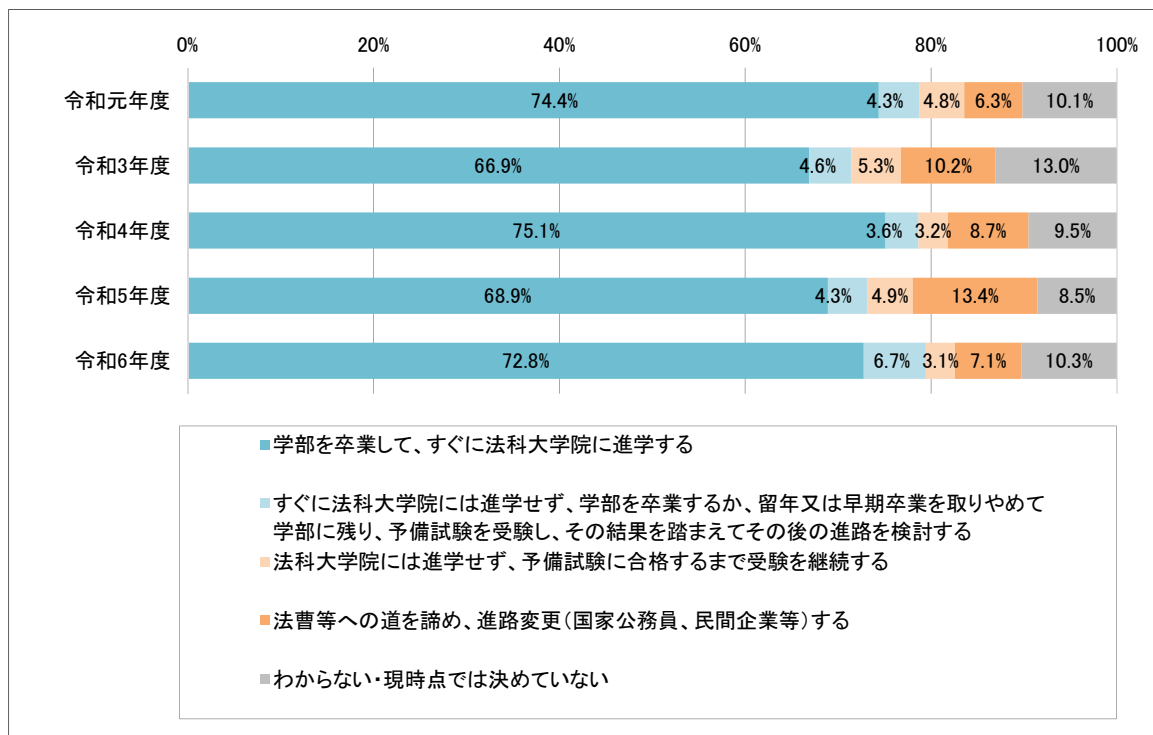
ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



SA	選択肢	学部を卒業して、すぐに法科大学院に進学する	すぐに法科大学院には進学せず、学部を卒業するか、留年又は早期卒業を取りやめて学部に残り、予備試験を受験し、その結果を踏まえてその後の進路を検討する	法科大学院には進学せず、予備試験に合格するまで受験を継続する	法曹等への道を諦め、進路変更(国家公務員、民間企業等)する	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和元年度	回答数	458	31	25	43	59	616
	割合	74.4%	5.0%	4.1%	7.0%	9.6%	100.0%
令和3年度	回答数	518	43	45	77	98	781
	割合	66.3%	5.5%	5.8%	9.9%	12.5%	100.0%
令和4年度	回答数	483	29	24	49	58	643
	割合	75.1%	4.5%	3.7%	7.6%	9.0%	100.0%
令和5年度	回答数	322	23	14	41	39	439
	割合	73.3%	5.2%	3.2%	9.3%	8.9%	100.0%
令和6年度	回答数	422	34	21	37	51	565
	割合	74.7%	6.0%	3.7%	6.5%	9.0%	100.0%

※5番目の選択肢について、令和3年度調査までは「現時点ではよく分からない」

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



SA	選択肢	学部を卒業して、すぐに法科大学院に進学する	すぐに法科大学院には進学せず、学部を卒業するか、留年又は早期卒業を取りやめて学部に残り、予備試験を受験し、その結果を踏まえてその後の進路を検討する	法科大学院には進学せず、予備試験に合格するまで受験を継続する	法曹等への道を諦め、進路変更(国家公務員、民間企業等)する	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和元年度	回答数	154	9	10	13	21	207
	割合	74.4%	4.3%	4.8%	6.3%	10.1%	100.0%
令和3年度	回答数	190	13	15	29	37	284
	割合	66.9%	4.6%	5.3%	10.2%	13.0%	100.0%
令和4年度	回答数	190	9	8	22	24	253
	割合	75.1%	3.6%	3.2%	8.7%	9.5%	100.0%
令和5年度	回答数	113	7	8	22	14	164
	割合	68.9%	4.3%	4.9%	13.4%	8.5%	100.0%
令和6年度	回答数	163	15	7	16	23	224
	割合	72.8%	6.7%	3.1%	7.1%	10.3%	100.0%

※5番目の選択肢について、令和3年度調査までは「現時点ではよく分からない」

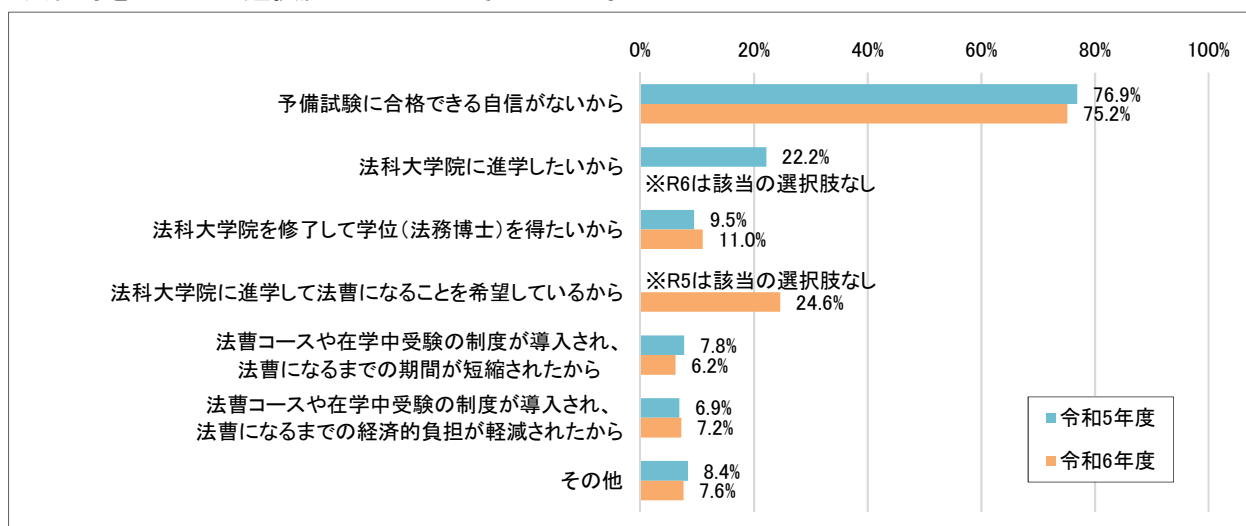
14. 予備試験を受験しない理由

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、大学在学中に予備試験を受験するつもりはないと回答した学生に、その理由を尋ねた結果、「予備試験に合格できる自信がないから」が約75%と最多、次いで「法科大学院に進学して法曹になることを希望しているから」が約25%と続いた。

女性に限って見た場合もほぼ同様の傾向であった。

また、法曹を志望している学生に限定した場合には、「法科大学院に進学して法曹になることを希望しているから」が全体と比べて高く、約47%を占めている。

ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



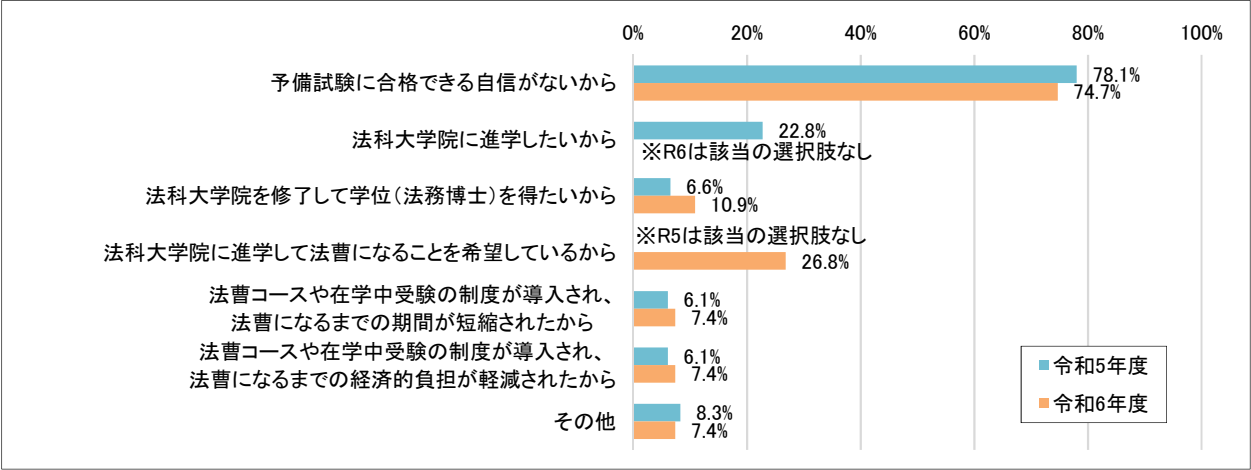
MA	選択肢	予備試験に合格できる自信がないから	法科大学院に進学したいから	法科大学院を修了して学位(法務博士)を得たいから	法科大学院に進学して法曹になることを希望しているから	法曹コースや在学中受験の制度が導入され、法曹になるまでの期間が短縮されたから	法曹コースや在学中受験の制度が導入され、法曹になるまでの経済的負担が軽減されたから	その他	回答者数
令和5年度	回答数	357	103	44	—	36	32	39	464
	割合	76.9%	22.2%	9.5%	—	7.8%	6.9%	8.4%	—
令和6年度	回答数	375	—	55	123	31	36	38	499
	割合	75.2%	—	11.0%	24.6%	6.2%	7.2%	7.6%	—

※令和5年度調査で新たに追加した質問

※4番目の選択肢(法科大学院に進学して法曹になることを希望しているから)は令和6年度調査から新たに設けたもの

※2番目の選択肢(法科大学院に進学したいから)は令和6年度調査から削除

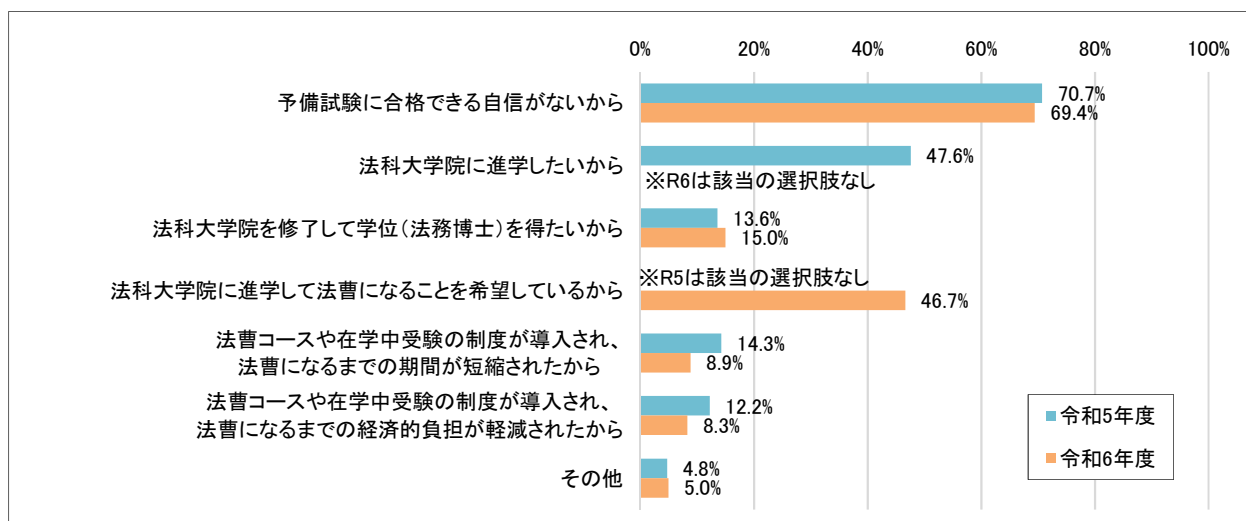
イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



MA	選択肢	予備試験に合格できる自信がないから	法科大学院に進学したいから	法科大学院を修了して学位(法務博士)を得たいから	法科大学院に進学して法曹になることを希望しているから	法曹コースや在学中受験の制度が導入され、法曹になるまでの期間が短縮されたから	法曹コースや在学中受験の制度が導入され、法曹になるまでの経済的負担が軽減されたから	その他	回答者数
令和5年度	回答数	178	52	15	—	14	14	19	228
	割合	78.1%	22.8%	6.6%	—	6.1%	6.1%	8.3%	—
令和6年度	回答数	192	—	28	69	19	19	19	257
	割合	74.7%	—	10.9%	26.8%	7.4%	7.4%	7.4%	—

※令和5年度調査で新たに追加した質問
※4番目の選択肢(法科大学院に進学して法曹になることを希望しているから)は令和6年度調査から新たに設けたもの
※2番目の選択肢(法科大学院に進学したいから)は令和6年度調査から削除

ウ 法曹等を志望している学生



MA	選択肢	予備試験に合格できる自信がないから	法科大学院に進学したいから	法科大学院を修了して学位(法務博士)を得たいから	法科大学院に進学して法曹になることを希望しているから	法曹コースや在学中受験の制度が導入され、法曹になるまでの期間が短縮されたから	法曹コースや在学中受験の制度が導入され、法曹になるまでの経済的負担が軽減されたから	その他	回答者数
令和5年度	回答数	104	70	20	—	21	18	7	147
	割合	70.7%	47.6%	13.6%	—	14.3%	12.2%	4.8%	—
令和6年度	回答数	125	—	27	84	16	15	9	180
	割合	69.4%	—	15.0%	46.7%	8.9%	8.3%	5.0%	—

※令和5年度調査で新たに追加した質問

※4番目の選択肢(法科大学院に進学して法曹になることを希望しているから)は令和6年度調査から新たに設けたもの

※2番目の選択肢(法科大学院に進学したいから)は令和6年度調査から削除

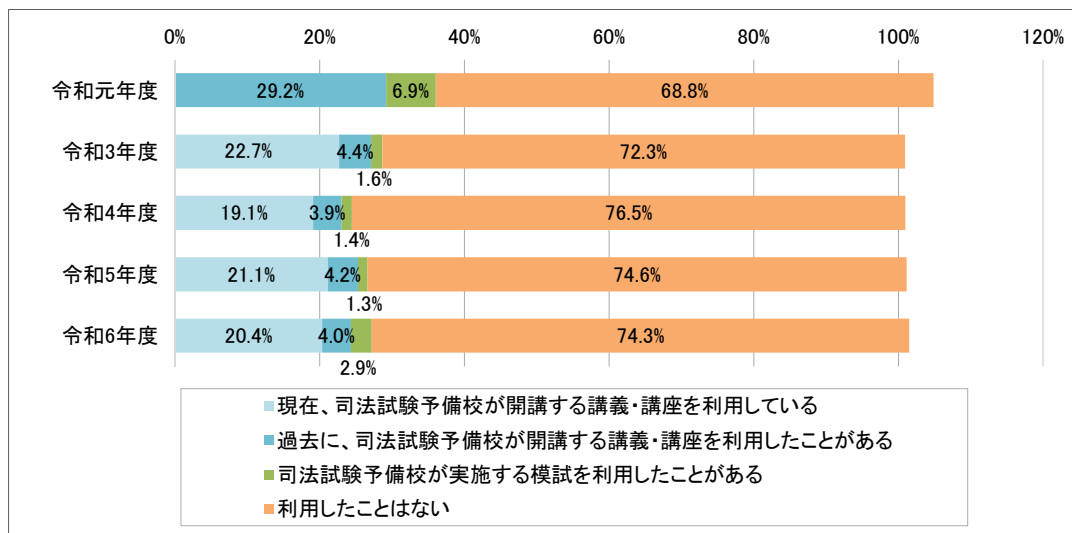
15. 司法試験予備校の利用の有無

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生に、司法試験予備校を利用したことがあるかを尋ねた結果、約24%の学生が、現在利用している又は利用したことがあると回答した。その割合は令和3年度以降大きな差は見られない。

女性に限って見た場合、「現在、司法試験予備校が開講する講義・講座を利用している」が低い傾向がある。

法曹等を志望している学生についてのみ見た場合には、司法試験予備校を現在利用している又は利用したことがあると回答した学生の割合は約48%となっている(「司法試験予備校が実施する模試を利用したことがある」を含む)。

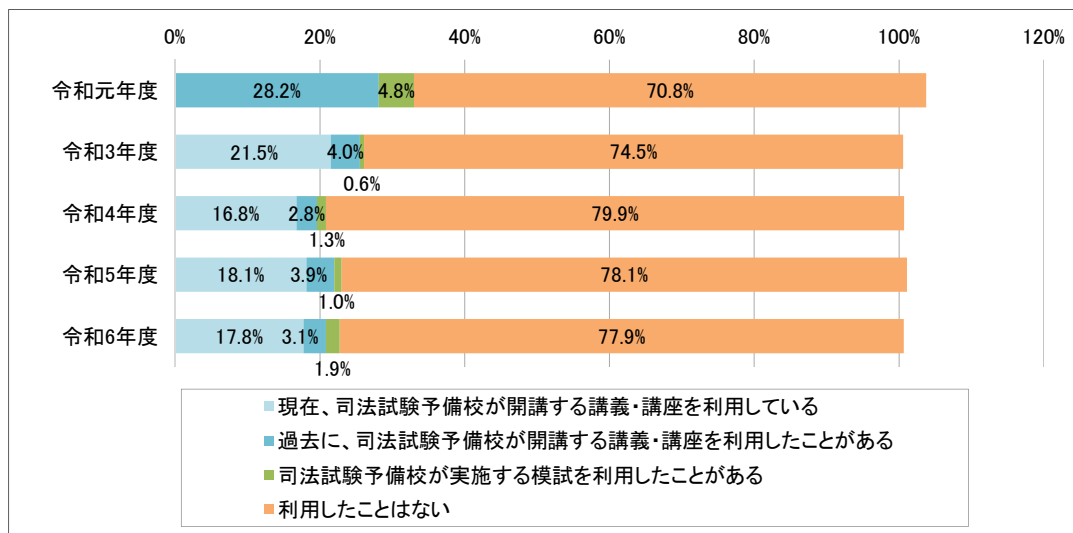
ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



MA	選択肢	現在、司法試験予備校が開講する講義・講座を利用している	過去に、司法試験予備校が開講する講義・講座を利用したことがある	司法試験予備校が実施する模試を利用したことがある	利用したことはない	回答者数
令和元年度	回答数	—	442	104	1,043	1,515
	割合	—	29.2%	6.9%	68.8%	—
令和3年度	回答数	537	104	37	1,710	2,366
	割合	22.7%	4.4%	1.6%	72.3%	—
令和4年度	回答数	397	82	30	1,591	2,080
	割合	19.1%	3.9%	1.4%	76.5%	—
令和5年度	回答数	304	60	19	1,073	1,439
	割合	21.1%	4.2%	1.3%	74.6%	—
令和6年度	回答数	375	73	53	1,369	1,842
	割合	20.4%	4.0%	2.9%	74.3%	—

※最初の選択肢(現在、予備校を利用している)は令和3年度調査から新たに設けたもの

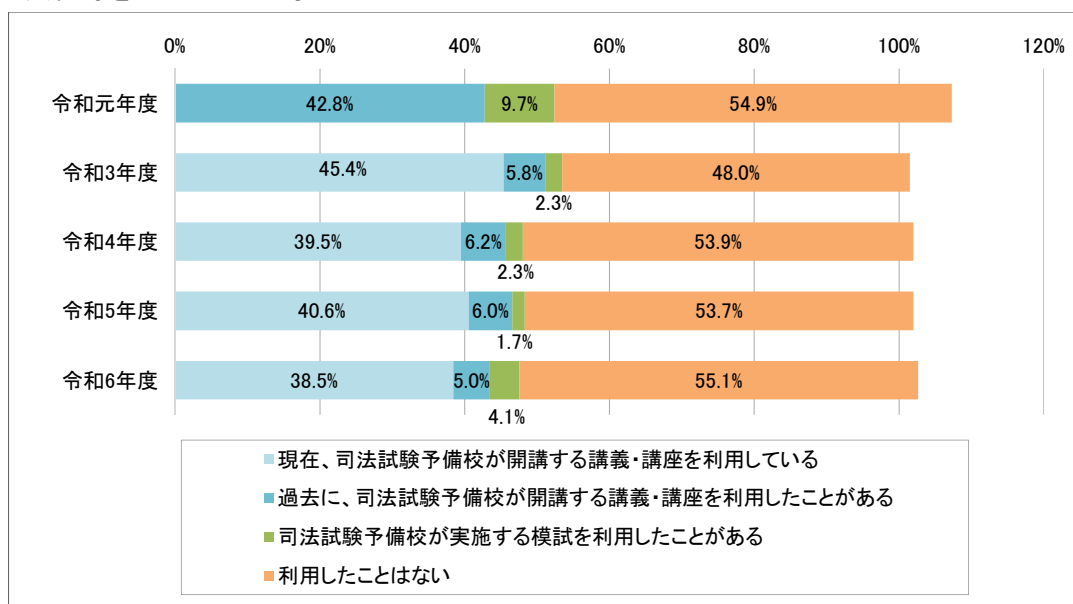
イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



MA	選択肢	現在、司法試験予備校が開講する講義・講座を利用している	過去に、司法試験予備校が開講する講義・講座を利用したことがある	司法試験予備校が実施する模試を利用したことがある	利用したことはない	回答者数
令和元年度	回答数	—	163	28	410	579
	割合	—	28.2%	4.8%	70.8%	—
令和3年度	回答数	219	41	6	758	1,018
	割合	21.5%	4.0%	0.6%	74.5%	—
令和4年度	回答数	161	27	12	766	959
	割合	16.8%	2.8%	1.3%	79.9%	—
令和5年度	回答数	127	27	7	547	700
	割合	18.1%	3.9%	1.0%	78.1%	—
令和6年度	回答数	160	28	17	702	901
	割合	17.8%	3.1%	1.9%	77.9%	—

※最初の選択肢(現在、予備校を利用している)は令和3年度調査から新たに設けたもの

ウ 法曹等を志望している学生



MA	選択肢	現在、司法試験予備校が開講する講義・講座を利用している	過去に、司法試験予備校が開講する講義・講座を利用したことがある	司法試験予備校が実施する模試を利用したことがある	利用したことはない	回答者数
令和元年度	回答数	—	368	83	472	860
	割合	—	42.8%	9.7%	54.9%	—
令和3年度	回答数	449	57	23	475	989
	割合	45.4%	5.8%	2.3%	48.0%	—
令和4年度	回答数	337	53	20	460	853
	割合	39.5%	6.2%	2.3%	53.9%	—
令和5年度	回答数	262	39	11	347	646
	割合	40.6%	6.0%	1.7%	53.7%	—
令和6年度	回答数	330	43	35	473	858
	割合	38.5%	5.0%	4.1%	55.1%	—

※最初の選択肢(現在、予備校を利用している)は令和3年度調査から新たに設けたもの

16. 在学中受験の予定

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生の、法科大学院在学中の司法試験受験予定について、「受験することを考えている」との回答割合は約39%となり、令和5年度より増加している。

女性に限って見た場合、「受験することを考えている」と回答した学生の割合は、全体より相対的に低く、この傾向は法曹コースの在籍又は進学希望状況によらず同様にみられる。

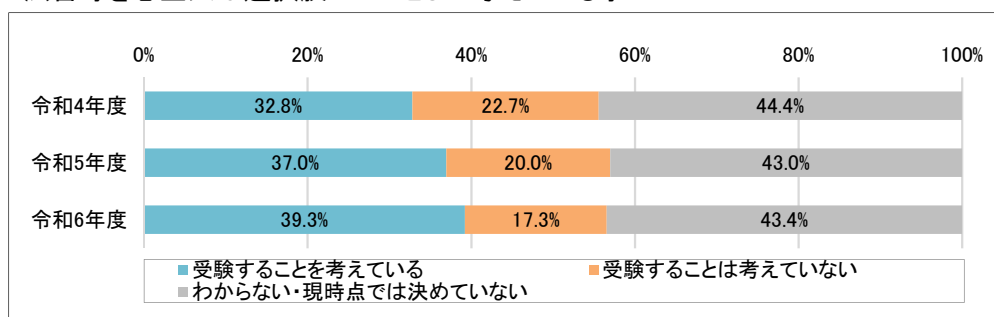
法曹等を志望している学生に限って見た場合、「受験することを考えている」と回答した学生の割合は約69%となり、令和5年度とほぼ同水準である。

法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに在籍又は進学を希望している学生に限って見た場合、「受験することを考えている」と回答した学生の割合は約59%となっており、令和5年度よりわずかに減少している。

法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに非在籍又は進学を希望していない学生に限って見た場合、「受験することは考えていない」との回答割合が約37%となっており、令和5年度よりわずかに減少している。

法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースへの進学は未定である学生に限って見た場合、「わからない・現時点では決めていない」との回答割合が約77%となっており、令和5年度と同程度である。

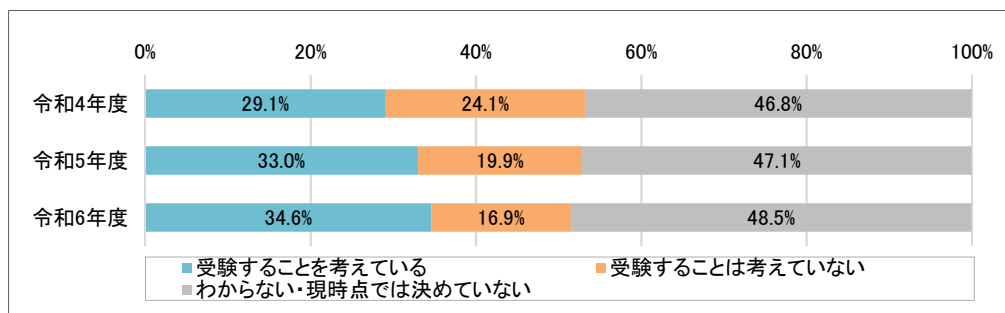
ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



SA	選択肢	受験することを考えている	受験することは考えていない	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和4年度	回答数	683	473	924	2,080
	割合	32.8%	22.7%	44.4%	100.0%
令和5年度	回答数	532	288	619	1,439
	割合	37.0%	20.0%	43.0%	100.0%
令和6年度	回答数	723	319	800	1,842
	割合	39.3%	17.3%	43.4%	100.0%

※令和4年度調査で新たに追加した設問

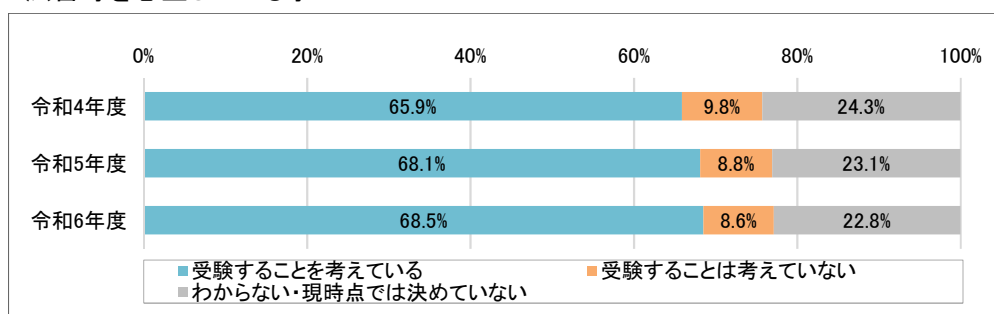
イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



SA	選択肢	受験することを考えている	受験することは考えていない	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和4年度	回答数	279	231	449	959
	割合	29.1%	24.1%	46.8%	100.0%
令和5年度	回答数	231	139	330	700
	割合	33.0%	19.9%	47.1%	100.0%
令和6年度	回答数	312	152	437	901
	割合	34.6%	16.9%	48.5%	100.0%

※令和4年度調査で新たに追加した設問

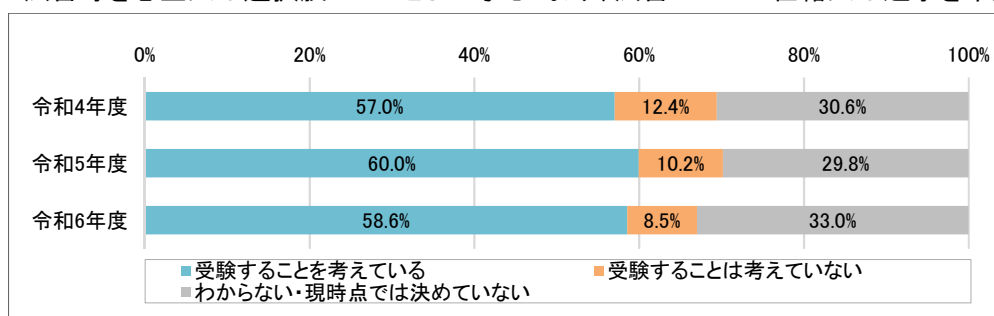
ウ 法曹等を志望している学生



SA	選択肢	受験することを考えている	受験することは考えていない	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和4年度	回答数	562	84	207	853
	割合	65.9%	9.8%	24.3%	100.0%
令和5年度	回答数	440	57	149	646
	割合	68.1%	8.8%	23.1%	100.0%
令和6年度	回答数	588	74	196	858
	割合	68.5%	8.6%	22.8%	100.0%

※令和4年度調査で新たに追加した設問

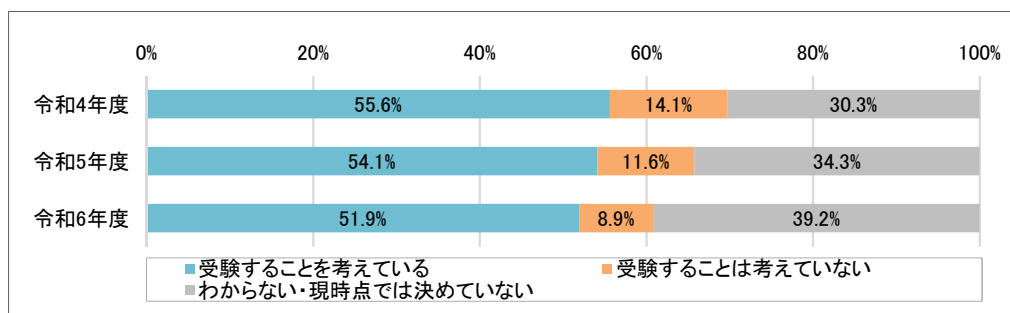
エ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに在籍又は進学を希望している学生



SA	選択肢	受験することを考えている	受験することは考えていない	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和4年度	回答数	487	106	261	854
	割合	57.0%	12.4%	30.6%	100.0%
令和5年度	回答数	394	67	196	657
	割合	60.0%	10.2%	29.8%	100.0%
令和6年度	回答数	533	77	300	910
	割合	58.6%	8.5%	33.0%	100.0%

※令和4年度調査で新たに追加した設問

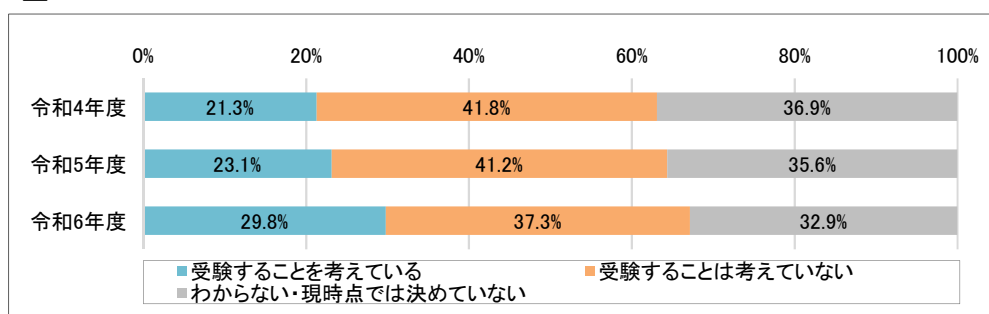
オ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに在籍又は進学を希望している女性



SA	選択肢	受験することを考えている	受験することは考えていない	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和4年度	回答数	217	55	118	390
	割合	55.6%	14.1%	30.3%	100.0%
令和5年度	回答数	177	38	112	327
	割合	54.1%	11.6%	34.3%	100.0%
令和6年度	回答数	240	41	181	462
	割合	51.9%	8.9%	39.2%	100.0%

※令和4年度調査で新たに追加した設問

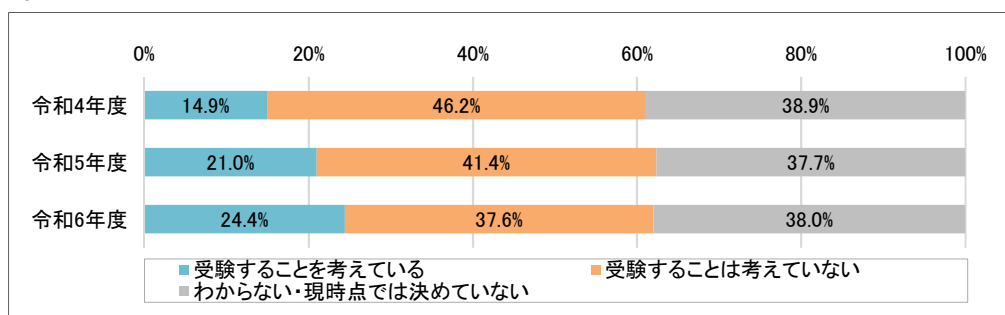
カ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに非在籍又は進学を希望していない学生



SA	選択肢	受験することを考えている	受験することは考えていない	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和4年度	回答数	142	279	246	667
	割合	21.3%	41.8%	36.9%	100.0%
令和5年度	回答数	87	155	134	376
	割合	23.1%	41.2%	35.6%	100.0%
令和6年度	回答数	146	183	161	490
	割合	29.8%	37.3%	32.9%	100.0%

※令和4年度調査で新たに追加した設問

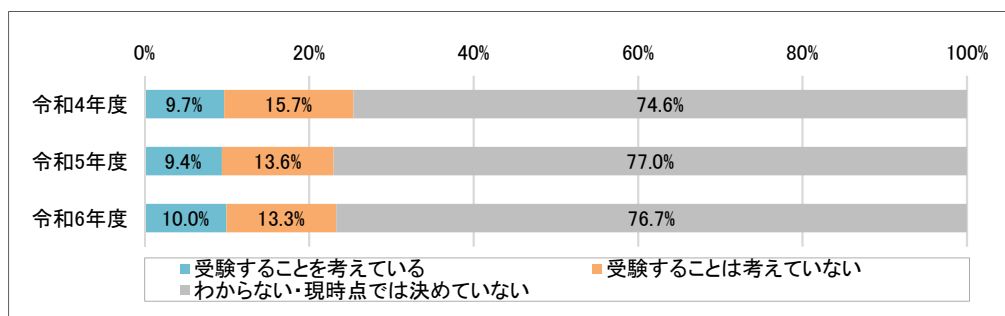
キ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに非在籍又は進学を希望していない女性



SA	選択肢	受験することを考えている	受験することは考えていない	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和4年度	回答数	43	133	112	288
	割合	14.9%	46.2%	38.9%	100.0%
令和5年度	回答数	34	67	61	162
	割合	21.0%	41.4%	37.7%	100.0%
令和6年度	回答数	54	83	84	221
	割合	24.4%	37.6%	38.0%	100.0%

※令和4年度調査で新たに追加した設問

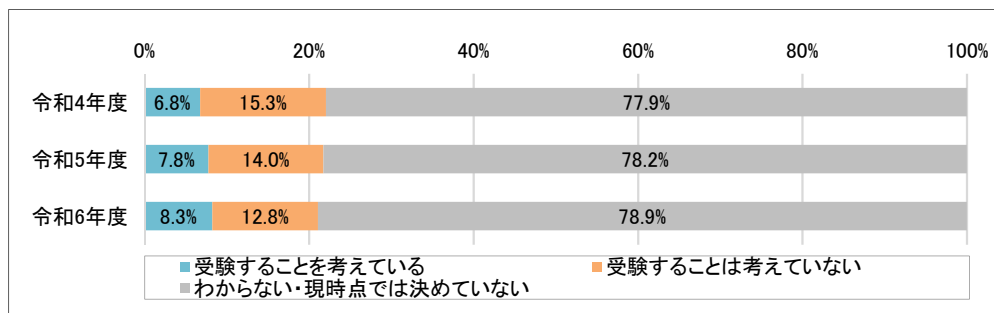
ク 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースへの進学は未定である学生



SA	選択肢	受験することを考えている	受験することは考えていない	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和4年度	回答数	54	88	417	559
	割合	9.7%	15.7%	74.6%	100.0%
令和5年度	回答数	34	49	278	361
	割合	9.4%	13.6%	77.0%	100.0%
令和6年度	回答数	44	59	339	442
	割合	10.0%	13.3%	76.7%	100.0%

※令和4年度調査で新たに追加した設問

ケ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースへの進学は未定である女性



SA	選択肢	受験することを考えている	受験することは考えていない	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和4年度	回答数	19	43	219	281
	割合	6.8%	15.3%	77.9%	100.0%
令和5年度	回答数	15	27	151	193
	割合	7.8%	14.0%	78.2%	100.0%
令和6年度	回答数	18	28	172	218
	割合	8.3%	12.8%	78.9%	100.0%

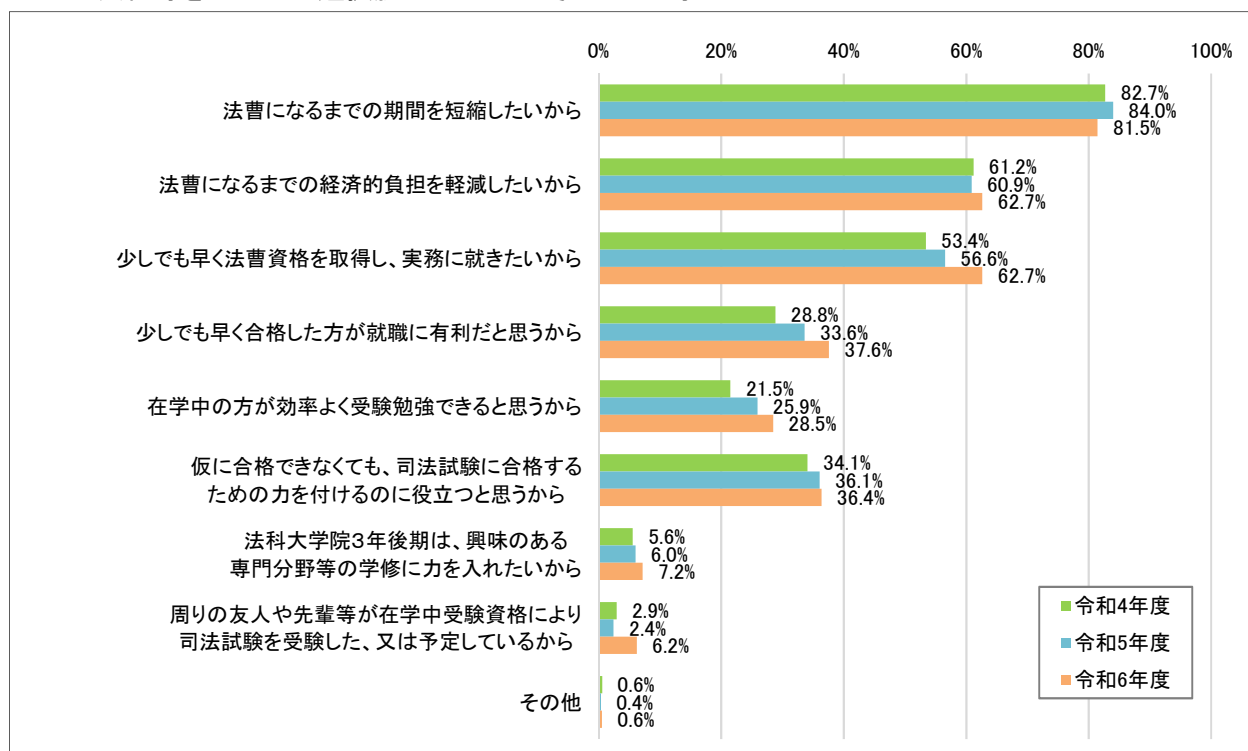
※令和4年度調査で新たに追加した設問

17. 在学中受験を希望する理由

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法科大学院在学中に司法試験を受験することを考えていると回答した学生に、在学中受験を希望する理由を尋ねた結果、「法曹になるまでの期間を短縮したいから」の回答割合が約82%で最多であった。次いで、「法曹になるまでの経済的負担を軽減したいから」が約63%、「少しでも早く法曹資格を取得し、実務に就きたいから」が約63%となっており、令和5年度より微増している。

女性や将来の職業等を選択するにあたり、法曹コースの導入、在学中受験を大いに考慮した又は多少考慮した学生に限って見た場合もほぼ同様である。

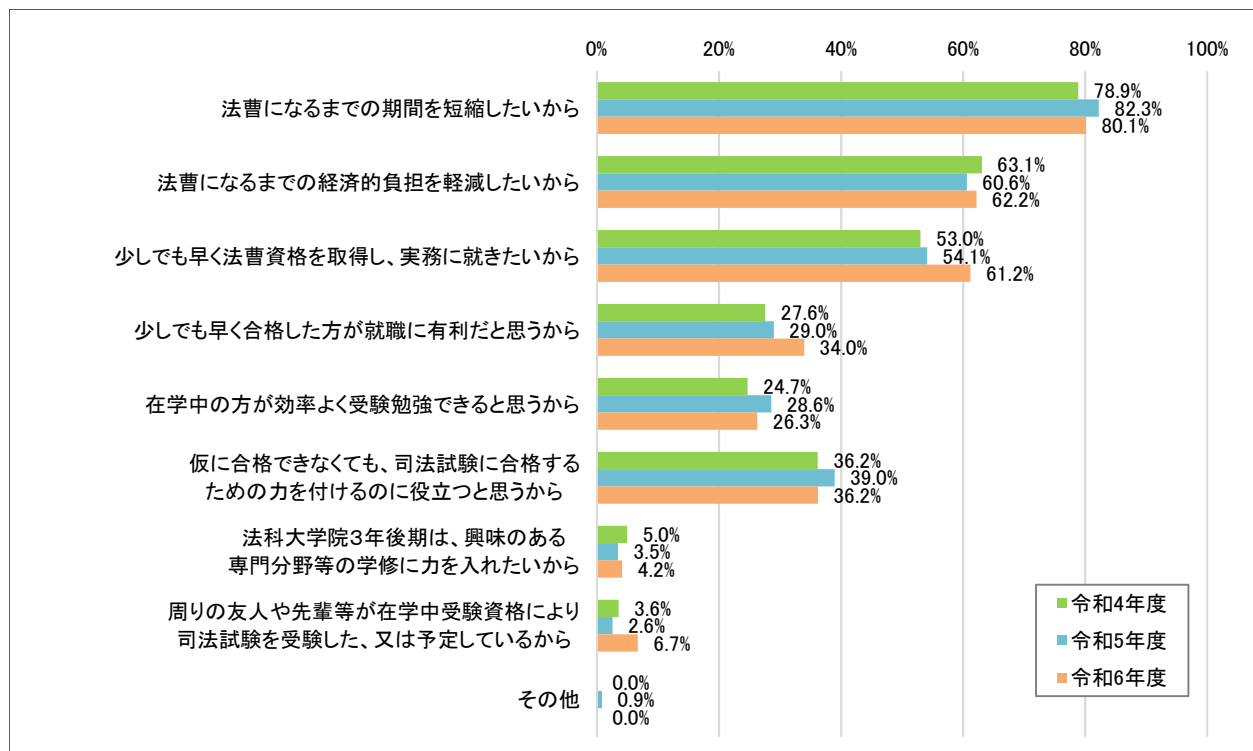
ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



MA	選択肢	法曹になるまでの期間を短縮したいから	法曹になるまでの経済的負担を軽減したいから	少しでも早く法曹資格を取得し、実務に就きたいから	少しでも早く合格した方が就職に有利だと思うから	在学中の方が効率よく受験勉強できると思うから	仮に合格できなくても、司法試験に合格するための力を付けるのに役立つと思うから	法科大学院3年後期は、興味のある専門分野等の学修に力を入れたいから	周りの友人や先輩等が在学中受験資格により司法試験を受験した、又は予定しているから	その他	回答者数
令和4年度	回答数	565	418	365	197	147	233	38	20	4	683
	割合	82.7%	61.2%	53.4%	28.8%	21.5%	34.1%	5.6%	2.9%	0.6%	-
令和5年度	回答数	447	324	301	179	138	192	32	13	2	532
	割合	84.0%	60.9%	56.6%	33.6%	25.9%	36.1%	6.0%	2.4%	0.4%	-
令和6年度	回答数	589	453	453	272	206	263	52	45	4	723
	割合	81.5%	62.7%	62.7%	37.6%	28.5%	36.4%	7.2%	6.2%	0.6%	-

※令和4年度調査で新たに追加した設問

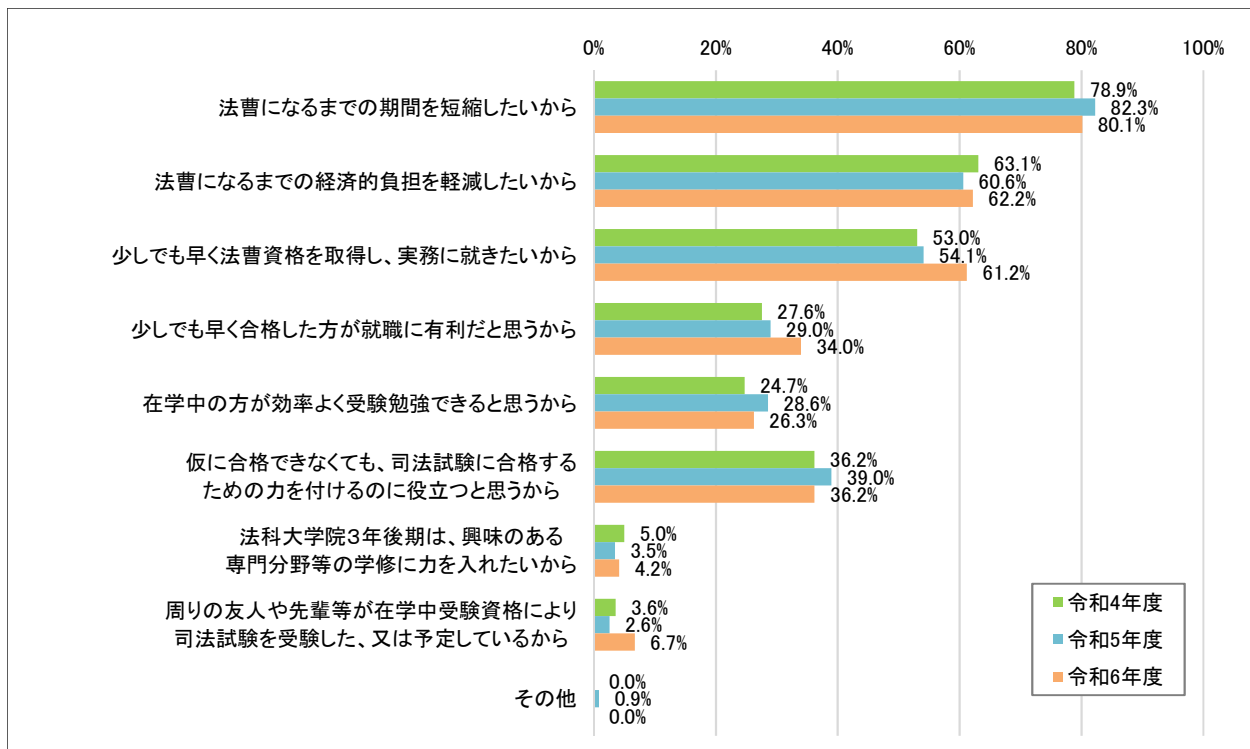
イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



MA	選択肢	法曹になるまでの期間を短縮したいから	法曹になるまでの経済的負担を軽減したいから	少しでも早く法曹資格を取得し、実務に就きたいから	少しでも早く合格した方が就職に有利だと思うから	在学中の方が効率よく受験勉強できると思うから	仮に合格できなくても、司法試験に合格するための力を付けるのに役立つと思うから	法科大学院3年後期は、興味のある専門分野等の学修に力を入れたいから	周りの友人や先輩等が在学中受験資格により司法試験を受験した、又は予定しているから	その他	回答者数
令和4年度	回答数	220	176	148	77	69	101	14	10	0	279
	割合	78.9%	63.1%	53.0%	27.6%	24.7%	36.2%	5.0%	3.6%	0.0%	—
令和5年度	回答数	190	140	125	67	66	90	8	6	2	231
	割合	82.3%	60.6%	54.1%	29.0%	28.6%	39.0%	3.5%	2.6%	0.9%	—
令和6年度	回答数	250	194	191	106	82	113	13	21	0	312
	割合	80.1%	62.2%	61.2%	34.0%	26.3%	36.2%	4.2%	6.7%	0.0%	—

※令和4年度調査で新たに追加した設問

ウ 将来の職業等を選択するにあたり、法曹コースの導入、在学中受験を大いに考慮した又は多少考慮した学生



MA	選択肢	法曹になるまでの期間を短縮したいから	法曹になるまでの経済的負担を軽減したいから	少しでも早く法曹資格を取得し、実務に就きたいから	少しでも早く合格した方が就職に有利だと思うから	在学中の方が効率よく受験勉強できると思うから	仮に合格できなくても、司法試験に合格するための力を付けるのに役立つと思うから	法科大学院3年後期は、興味のある専門分野等の学修に力を入れたいから	周りの友人や先輩等が在学中受験資格により司法試験を受験した、又は予定しているから	その他	回答者数
令和4年度	回答数	471	338	302	154	121	189	29	16	3	557
	割合	84.6%	60.7%	54.2%	27.6%	21.7%	33.9%	5.2%	2.9%	0.5%	-
令和5年度	回答数	371	271	247	144	114	155	21	10	2	433
	割合	85.7%	62.6%	57.0%	33.3%	26.3%	35.8%	4.8%	2.3%	0.5%	-
令和6年度	回答数	497	383	381	224	179	217	41	37	3	598
	割合	83.1%	64.0%	63.7%	37.5%	29.9%	36.3%	6.9%	6.2%	0.5%	-

※令和4年度調査で新たに追加した設問

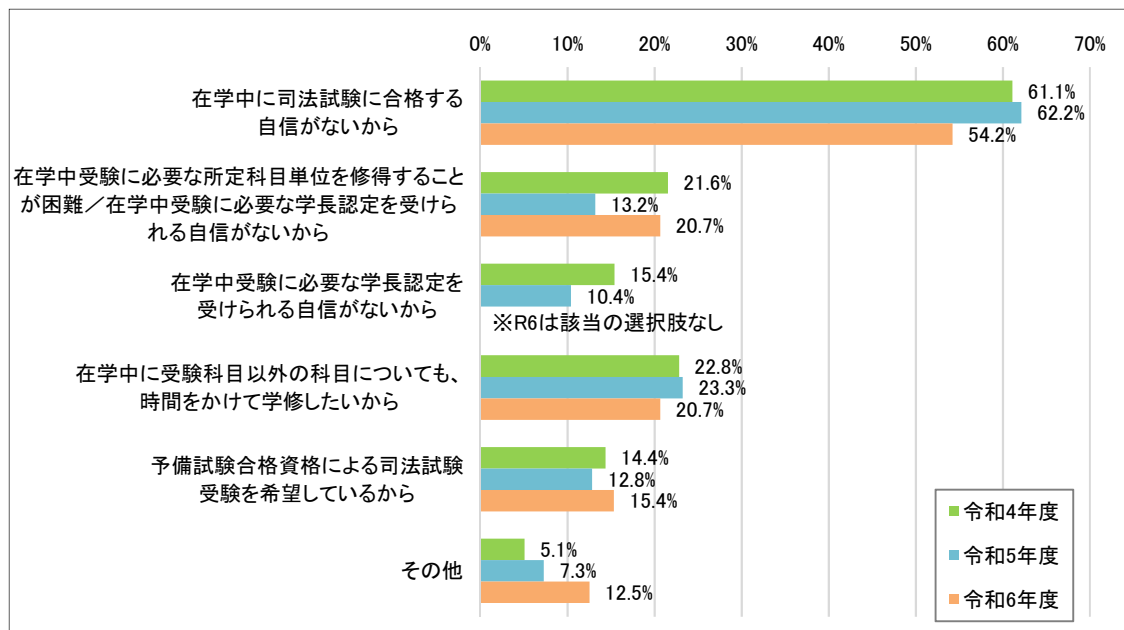
18. 在学中受験を希望しない理由

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法科大学院在学中に司法試験を受験することは考えていないと回答した学生に、在学中受験を希望しない理由を尋ねた結果、「在学中に司法試験に合格する自信がないから」の回答割合が約54%で最多であった。次いで、「在学中に受験科目以外の科目についても、時間をかけて学修したいから」が約21%、「在学中受験に必要な所定科目単位を修得することが困難／在学中受験に必要な学長認定を受けられる自信がないから」が約21%となっている。令和5年度と比較して、「在学中に司法試験に合格する自信がないから」の減少が目立つ。

女性に限って見た場合も同傾向であるが、「在学中受験に必要な所定科目単位を修得することが困難／在学中受験に必要な学長認定を受けられる自信がないから」が全体と比較してやや高い。

なお、「その他」として令和6年度調査では、「予備校に通うための費用などが捻出できない」、「学部卒業直後に法曹になることを、現時点では考えていないため」、「法科大学院で学びたいから」などの回答があった。

ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生

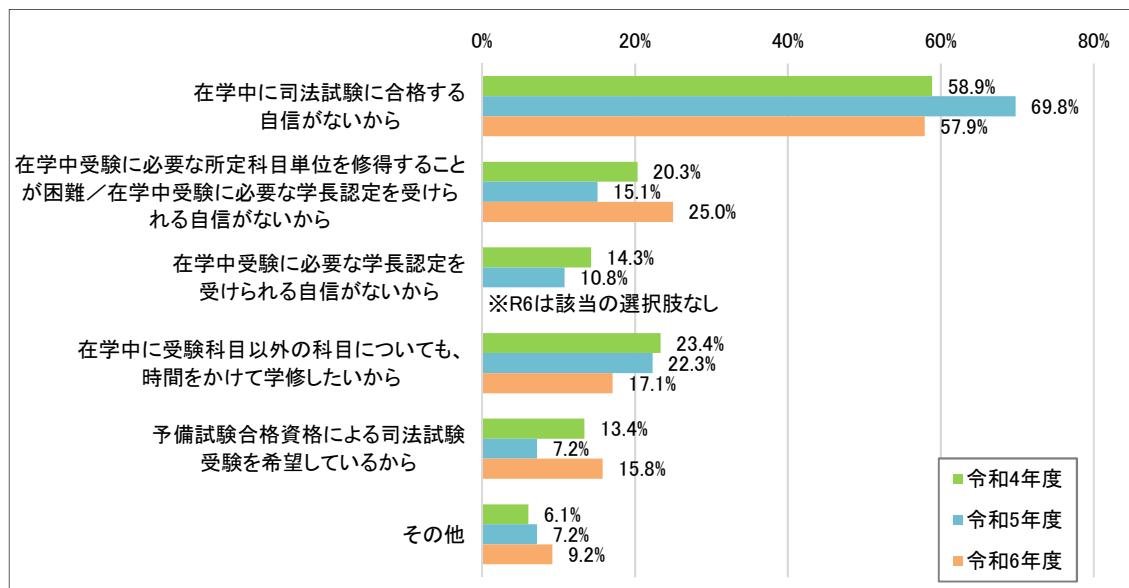


MA	選択肢	在学中に司法試験に合格する自信がないから	在学中受験に必要な所定科目単位を修得することが困難／在学中受験に必要な学長認定を受けられる自信がないから	在学中受験に必要な学長認定を受けられる自信がないから	在学中に受験科目以外の科目についても、時間をかけて学修したいから	予備試験合格資格による司法試験受験を希望しているから	その他	回答者数
令和4年度	回答数	289	102	73	108	68	24	473
	割合	61.1%	21.6%	15.4%	22.8%	14.4%	5.1%	—
令和5年度	回答数	179	38	30	67	37	21	288
	割合	62.2%	13.2%	10.4%	23.3%	12.8%	7.3%	—
令和6年度	回答数	173	66	—	66	49	40	319
	割合	54.2%	20.7%	—	20.7%	15.4%	12.5%	—

※令和4年度調査で新たに追加した設問

※選択肢2について、令和6年度調査までは「在学中受験に必要な所定科目単位を修得することが困難だから」

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



MA	選択肢	在学中に司法試験に合格する自信がないから	在学中受験に必要な所定科目単位を修得することが困難／在学中受験に必要な学長認定を受けられる自信がないから	在学中受験に必要な学長認定を受けられる自信がないから	在学中に受験科目以外の科目についても、時間をかけて学修したいから	予備試験合格資格による司法試験受験を希望しているから	その他	回答者数
令和4年度	回答数	136	47	33	54	31	14	231
	割合	58.9%	20.3%	14.3%	23.4%	13.4%	6.1%	—
令和5年度	回答数	97	21	15	31	10	10	139
	割合	69.8%	15.1%	10.8%	22.3%	7.2%	7.2%	—
令和6年度	回答数	88	38	—	26	24	14	152
	割合	57.9%	25.0%	—	17.1%	15.8%	9.2%	—

※令和4年度調査で新たに追加した設問

※選択肢2について、令和6年度調査までは「在学中受験に必要な所定科目単位を修得することが困難だから」

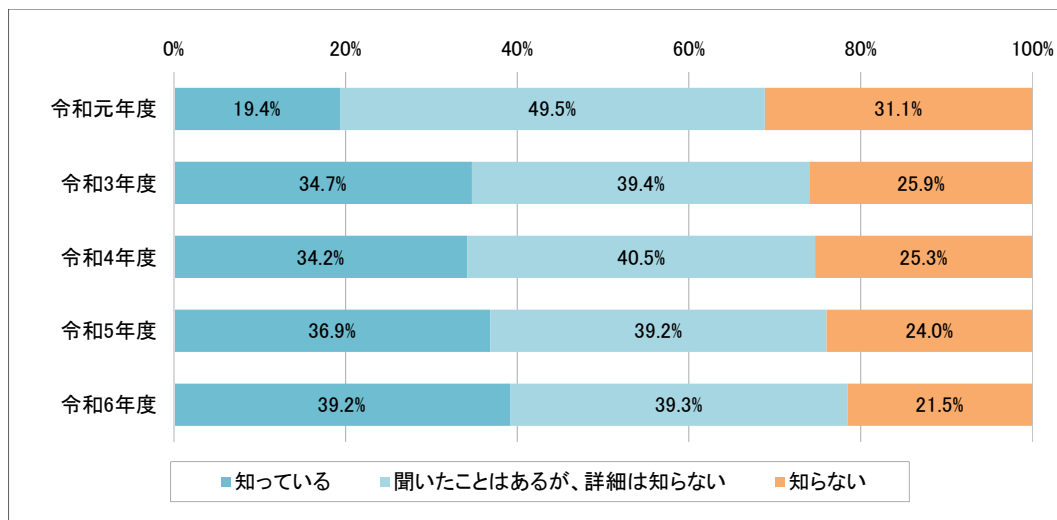
第7 法曹等の活動領域拡大についての認知度・関心

1. 法曹等の活動領域拡大についての認知度

法曹等の活動領域の広がりについての認知度について、令和6年度調査では「知っている」との回答割合は約39%で、「聞いたことはあるが、詳細は知らない」を合わせると約79%となっている。同回答割合は、現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生においては約92%、法曹等を志望している学生においては約96%に及び、法曹等を志望していない学生においても約71%に認知されている。

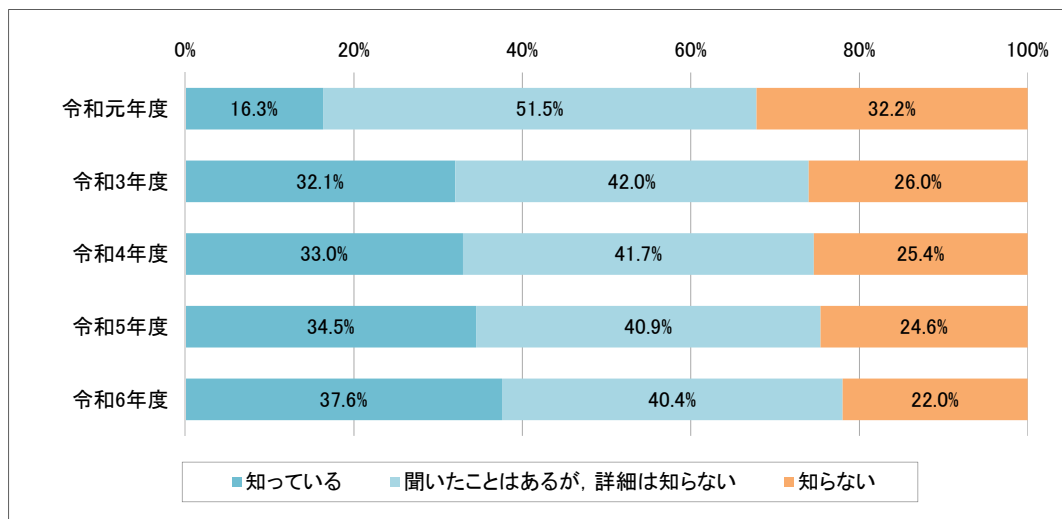
いずれの属性においても令和5年度から認知度は向上が見られる。

ア 全学生



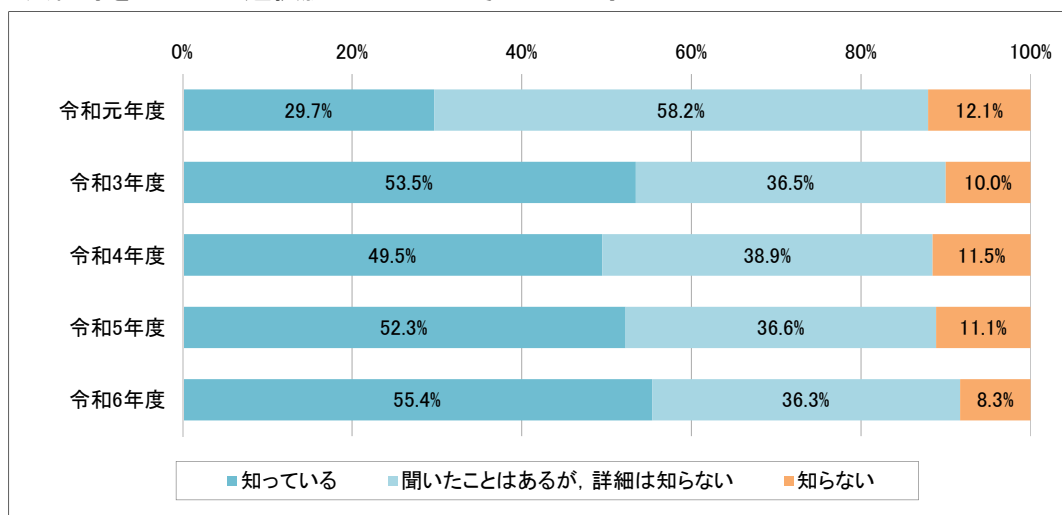
SA	選択肢	知っている	聞いたことはあるが、詳細は知らない	知らない	回答者数
令和元年度	回答数	1,126	2,877	1,811	5,814
	割合	19.4%	49.5%	31.1%	100.0%
令和3年度	回答数	2,401	2,721	1,789	6,911
	割合	34.7%	39.4%	25.9%	100.0%
令和4年度	回答数	2,093	2,474	1,547	6,114
	割合	34.2%	40.5%	25.3%	100.0%
令和5年度	回答数	1,538	1,634	999	4,171
	割合	36.9%	39.2%	24.0%	100.0%
令和6年度	回答数	1,968	1,976	1,081	5,025
	割合	39.2%	39.3%	21.5%	100.0%

イ 女性



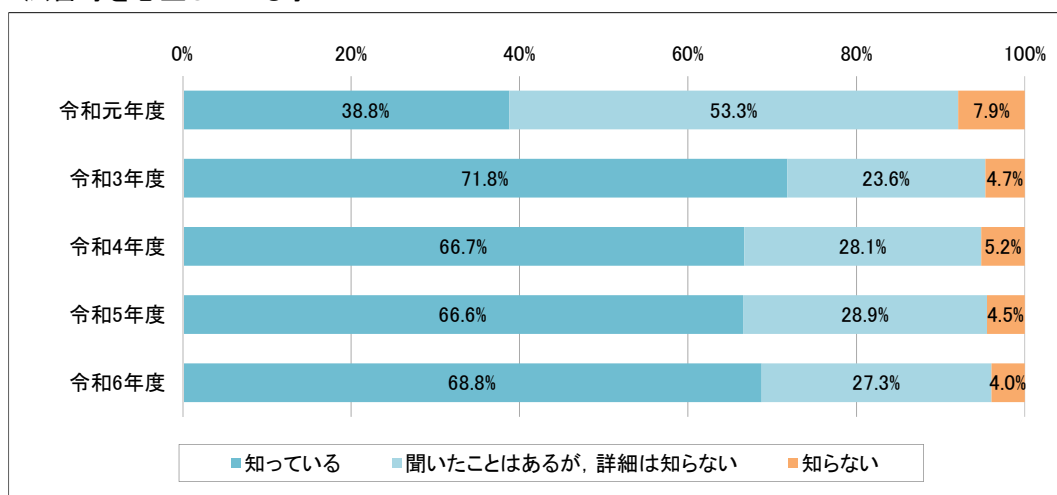
SA	選択肢	知っている	聞いたことはあるが、詳細は知らない	知らない	回答者数
令和元年度	回答数	414	1,304	815	2,533
	割合	16.3%	51.5%	32.2%	100.0%
令和3年度	回答数	1,032	1,350	836	3,218
	割合	32.1%	42.0%	26.0%	100.0%
令和4年度	回答数	1,008	1,275	776	3,059
	割合	33.0%	41.7%	25.4%	100.0%
令和5年度	回答数	753	891	536	2,180
	割合	34.5%	40.9%	24.6%	100.0%
令和6年度	回答数	986	1,061	576	2,623
	割合	37.6%	40.4%	22.0%	100.0%

ウ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



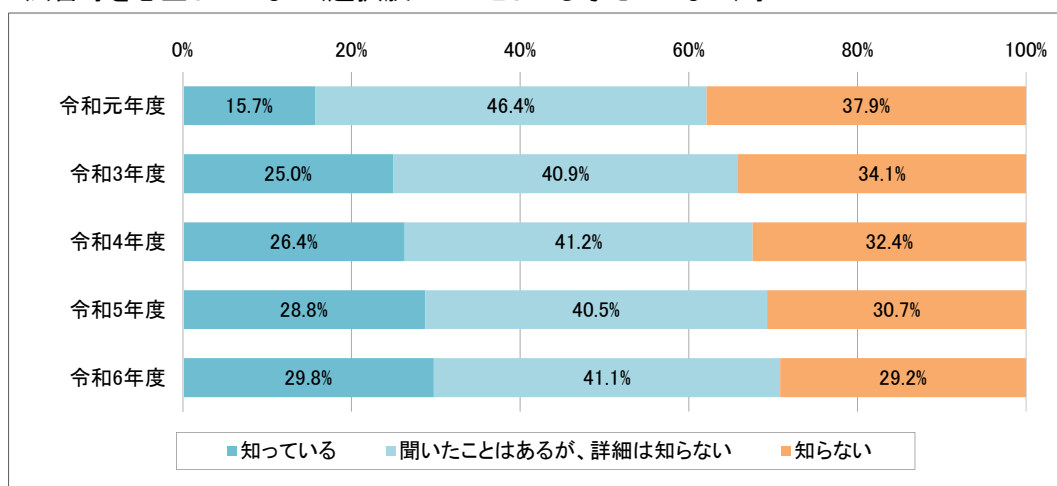
SA	選択肢	知っている	聞いたことはあるが、詳細は知らない	知らない	回答者数
令和元年度	回答数	450	882	183	1,515
	割合	29.7%	58.2%	12.1%	100.0%
令和3年度	回答数	1,265	864	237	2,366
	割合	53.5%	36.5%	10.0%	100.0%
令和4年度	回答数	1,030	810	240	2,080
	割合	49.5%	38.9%	11.5%	100.0%
令和5年度	回答数	752	527	160	1,439
	割合	52.3%	36.6%	11.1%	100.0%
令和6年度	回答数	1,020	669	153	1,842
	割合	55.4%	36.3%	8.3%	100.0%

エ 法曹等を志望している学生



SA	選択肢	知っている	聞いたことはあるが、詳細は知らない	知らない	回答者数
令和元年度	回答数	334	458	68	860
	割合	38.8%	53.3%	7.9%	100.0%
令和3年度	回答数	710	233	46	989
	割合	71.8%	23.6%	4.7%	100.0%
令和4年度	回答数	569	240	44	853
	割合	66.7%	28.1%	5.2%	100.0%
令和5年度	回答数	430	187	29	646
	割合	66.6%	28.9%	4.5%	100.0%
令和6年度	回答数	590	234	34	858
	割合	68.8%	27.3%	4.0%	100.0%

オ 法曹等を志望していない(選択肢の1つとしても考えていない)学生

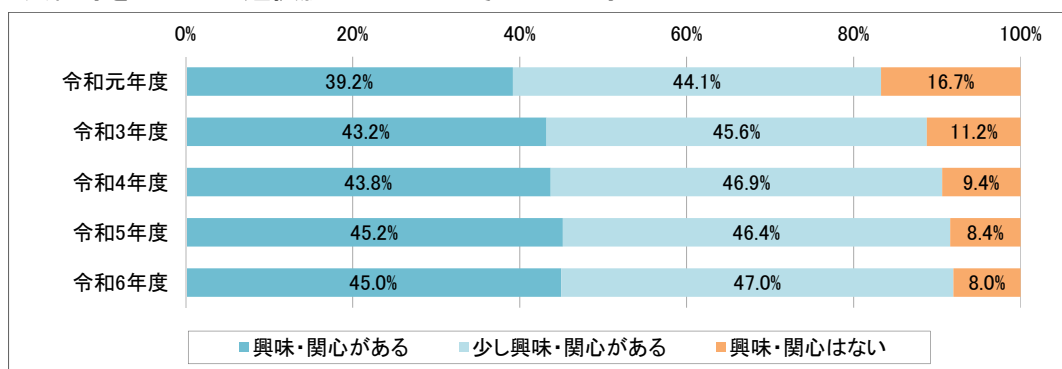


SA	選択肢	知っている	聞いたことはあるが、詳細は知らない	知らない	回答者数
令和元年度	回答数	676	1,995	1,628	4,299
	割合	15.7%	46.4%	37.9%	100.0%
令和3年度	回答数	1,136	1,857	1,552	4,545
	割合	25.0%	40.9%	34.1%	100.0%
令和4年度	回答数	1,063	1,664	1,307	4,034
	割合	26.4%	41.2%	32.4%	100.0%
令和5年度	回答数	786	1,107	839	2,732
	割合	28.8%	40.5%	30.7%	100.0%
令和6年度	回答数	948	1,307	928	3,183
	割合	29.8%	41.1%	29.2%	100.0%

2. 拡大領域への関心の有無

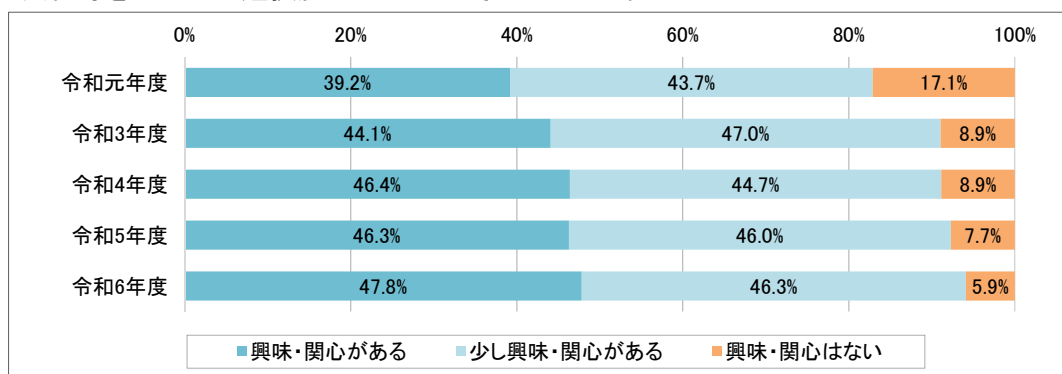
現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生に、将来の進路を考える上で拡大領域で働くことに興味や関心があるかを尋ねた結果、令和6年度調査では45%の学生が「興味・関心がある」と回答した。「少し興味・関心がある」と回答した学生と合わせると92%に及んでおり、両回答の割合は令和元年度以降微増傾向にある。女性に限って見た場合、令和6年度は「興味・関心がある」がわずかに増加した。

ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



SA	選択肢	興味・関心がある	少し興味・関心がある	興味・関心はない	回答者数
令和元年度	回答数	594	668	253	1,515
	割合	39.2%	44.1%	16.7%	100.0%
令和3年度	回答数	1,023	1,078	265	2,366
	割合	43.2%	45.6%	11.2%	100.0%
令和4年度	回答数	910	975	195	2,080
	割合	43.8%	46.9%	9.4%	100.0%
令和5年度	回答数	650	668	121	1,439
	割合	45.2%	46.4%	8.4%	100.0%
令和6年度	回答数	829	865	148	1,842
	割合	45.0%	47.0%	8.0%	100.0%

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



SA	選択肢	興味・関心がある	少し興味・関心がある	興味・関心はない	回答者数
令和元年度	回答数	227	253	99	579
	割合	39.2%	43.7%	17.1%	100.0%
令和3年度	回答数	449	478	91	1,018
	割合	44.1%	47.0%	8.9%	100.0%
令和4年度	回答数	445	429	85	959
	割合	46.4%	44.7%	8.9%	100.0%
令和5年度	回答数	324	322	54	700
	割合	46.3%	46.0%	7.7%	100.0%
令和6年度	回答数	431	417	23	901
	割合	47.8%	46.3%	5.9%	100.0%

3. 具体的な関心分野

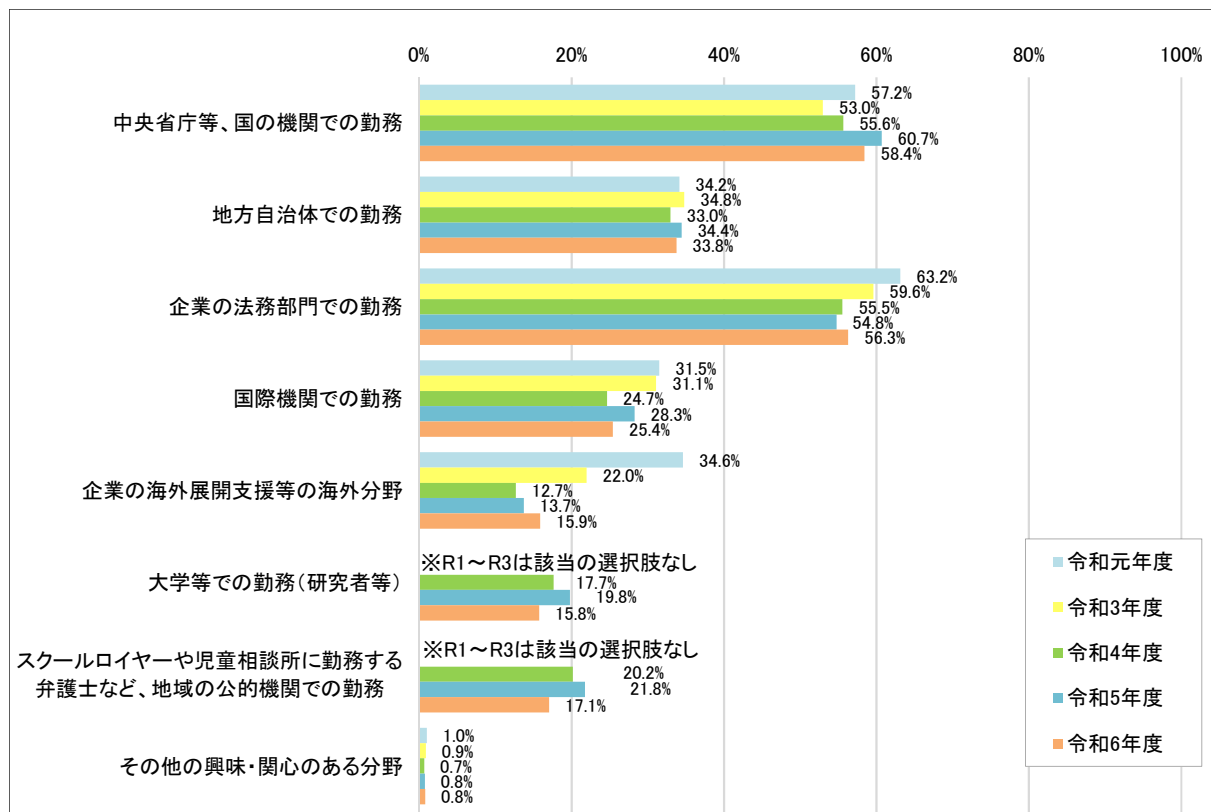
現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、拡大領域で働くことに興味や関心がある又は少し興味・関心があると回答した学生に、具体的にどのような分野に興味・関心があるかを尋ねた結果、「中央省庁等、国の機関での勤務」が令和5年度より減少したが約58%を超えている。次いで「企業の法務部門での勤務」が令和5年より増加し約56%になっている。

女性に限って見た場合にもほぼ同様の傾向である。

法曹の魅力別の関心分野を見ると、「中央省庁等、国の機関での勤務」が約58～67%程度、「企業の法務部門での勤務」が約54～71%程度と関心が高くなっている。特に「働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスを実現できるところ」に魅力を感じている学生の「企業の法務部門での勤務」が約71%と高くなっている。

女性に限ると、どこに魅力を感じていたか問わず「大学等での勤務(研究者等)」が約10～15%程度(全体では約17～23%程度)と低い傾向が見られた。「働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスを実現できるところ」に魅力を感じている女性は、「企業の法務部門での勤務」が約70%と高い割合となっている。

ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



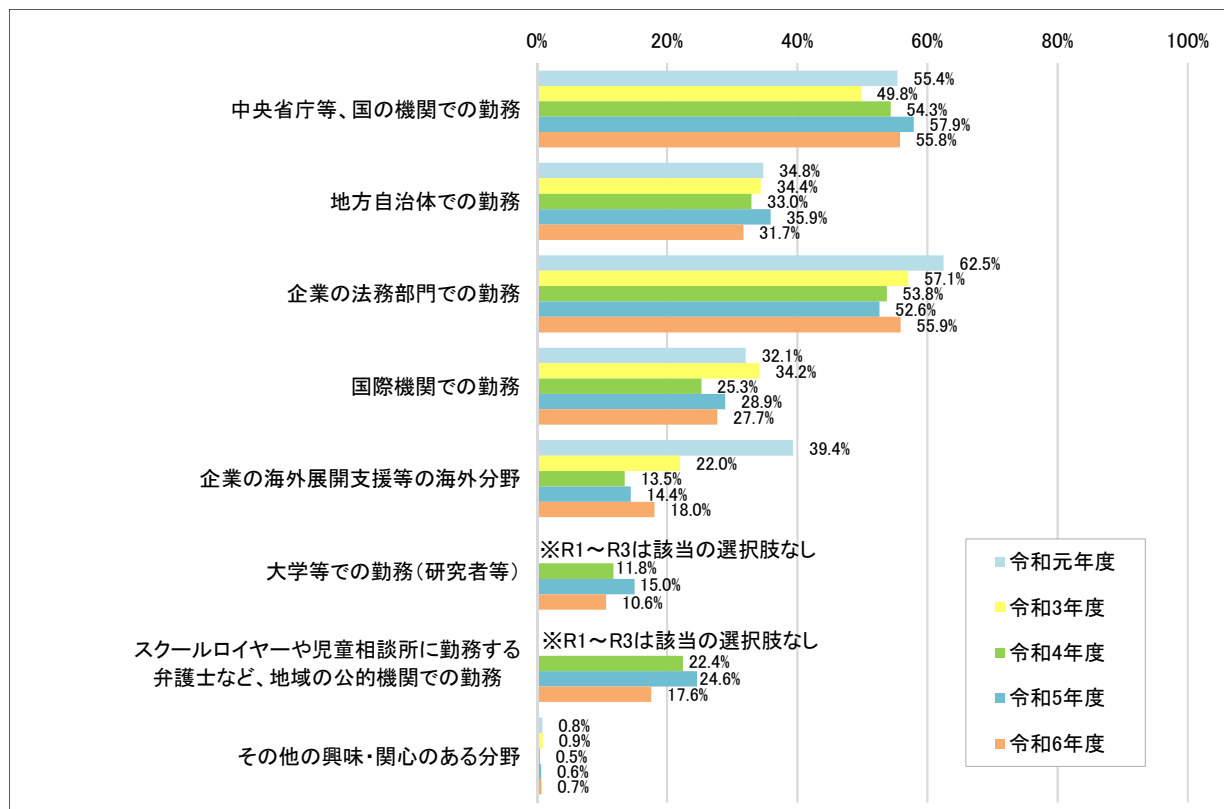
MA	選択肢	中央省庁等、国の機関での勤務	地方自治体での勤務	企業の法務部門での勤務	国際機関での勤務	企業の海外展開支援等の海外分野	大学等での勤務(研究者等)	スクールロイヤーや児童相談所に勤務する弁護士など、地域の公的機関での勤務	その他の興味・関心のある分野	回答者数
令和元年度	回答数	722	431	797	398	437	—	—	13	1,262
	割合	57.2%	34.2%	63.2%	31.5%	34.6%	—	—	1.0%	—
令和3年度	回答数	1,114	731	1,253	653	462	—	—	18	2,101
	割合	53.0%	34.8%	59.6%	31.1%	22.0%	—	—	0.9%	—
令和4年度	回答数	1,049	622	1,047	465	239	333	380	13	1,885
	割合	55.6%	33.0%	55.5%	24.7%	12.7%	17.7%	20.2%	0.7%	—
令和5年度	回答数	800	454	722	373	181	261	287	10	1,318
	割合	60.7%	34.4%	54.8%	28.3%	13.7%	19.8%	21.8%	0.8%	—
令和6年度	回答数	990	572	954	431	269	267	289	14	1,694
	割合	58.4%	33.8%	56.3%	25.4%	15.9%	15.8%	17.1%	0.8%	—

※3番目の選択肢について、令和6年度調査までは「企業での勤務」

※6番目の選択肢(大学等での勤務)は令和4年度調査から新たに設けたもの

※7番目の選択肢(地域の公的機関での勤務)は令和4年度調査から新たに設けたもの

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



MA	選択肢	中央省庁等、国の機関での勤務	地方自治体での勤務	企業の法務部門での勤務	国際機関での勤務	企業の海外展開支援等の海外分野	大学等での勤務(研究者等)	スクールロイヤーや児童相談所に勤務する弁護士など、地域の公的機関での勤務	その他の興味・関心のある分野	回答者数
令和元年度	回答数	266	167	300	154	189	—	—	4	480
	割合	55.4%	34.8%	62.5%	32.1%	39.4%	—	—	0.8%	—
令和3年度	回答数	462	319	529	317	204	—	—	8	927
	割合	49.8%	34.4%	57.1%	34.2%	22.0%	—	—	0.9%	—
令和4年度	回答数	475	288	470	221	118	103	196	4	874
	割合	54.3%	33.0%	53.8%	25.3%	13.5%	11.8%	22.4%	0.5%	—
令和5年度	回答数	374	232	340	187	93	97	159	4	646
	割合	57.9%	35.9%	52.6%	28.9%	14.4%	15.0%	24.6%	0.6%	—
令和6年度	回答数	473	269	474	235	153	90	149	6	848
	割合	55.8%	31.7%	55.9%	27.7%	18.0%	10.6%	17.6%	0.7%	—

※3番目の選択肢について、令和6年度調査までは「企業での勤務」

※6番目の選択肢(大学等での勤務)は令和4年度調査から新たに設けたもの

※7番目の選択肢(地域の公的機関での勤務)は令和4年度調査から新たに設けたもの

ウ 関心分野(法曹の魅力別)

MA	選択肢	中央省庁等、国の機関での勤務	地方自治体での勤務	企業の法務部門での勤務	国際機関での勤務	企業の海外展開支援等の海外分野	大学等での勤務(研究者等)	スクールロイヤーや児童相談所に勤務する弁護士など、地域の公的機関での勤務	その他の興味・関心のある分野	回答者数
仕事の内容に多くの選択肢があり、自由度が高いところ	回答数	363	185	354	186	116	112	125	7	616
	割合	58.9%	30.0%	57.5%	30.2%	18.8%	18.2%	20.3%	1.1%	－
法律に関する専門的知識を使った仕事ができるところ	回答数	665	386	639	274	170	203	185	9	1082
	割合	61.5%	35.7%	59.1%	25.3%	15.7%	18.8%	17.1%	0.8%	－
社会的弱者や困っている人を助けることができるところ	回答数	455	269	431	212	117	144	192	5	752
	割合	60.5%	35.8%	57.3%	28.2%	15.6%	19.1%	25.5%	0.7%	－
基本的人権の擁護や社会正義の実現に寄与できるところ	回答数	332	180	283	149	92	113	127	5	498
	割合	66.7%	36.1%	56.8%	29.9%	18.5%	22.7%	25.5%	1%	－
国際的な分野も含め、活躍できる分野が広がっているところ	回答数	170	61	156	196	130	53	45	2	287
	割合	59.2%	21.3%	54.4%	68.3%	45.3%	18.5%	15.7%	0.7%	－
社会的地位・信用が高いところ	回答数	460	249	463	226	145	135	130	4	738
	割合	62.3%	33.7%	62.7%	30.6%	19.6%	18.3%	17.6%	0.5%	－
高収入が期待できるところ	回答数	452	205	467	219	152	123	122	5	726
	割合	62.3%	28.2%	64.3%	30.2%	20.9%	16.9%	16.8%	0.7%	－
経済的に安定しているところ	回答数	387	208	395	180	116	113	112	4	622
	割合	62.2%	33.4%	63.5%	28.9%	18.6%	18.2%	18.0%	0.6%	－
働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスを実現できるところ	回答数	146	94	185	81	59	53	71	5	259
	割合	57.5%	36.3%	71.4%	31.3%	22.8%	20.5%	27.4%	1.9%	－
その他	回答数	1	0	2	1	1	1	1	0	3
	割合	33.3%	0.0%	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	－
特になし	回答数	6	6	7	2	2	1	2	0	13
	割合	46.2%	46.2%	53.8%	15.4%	15.4%	7.7%	15.4%	0.0%	－

エ 関心分野(法曹の魅力別 女性)

MA	選択肢	中央省庁等、国の機関での勤務	地方自治体での勤務	企業の法務部門での勤務	国際機関での勤務	企業の海外展開支援等の海外分野	大学等での勤務(研究者等)	スクールロイヤーや児童相談所に勤務する弁護士など、地域の公的機関での勤務	その他の興味・関心のある分野	回答者数
仕事の内容に多くの選択肢があり、自由度が高いところ	回答数	152	81	153	85	53	35	55	3	273
	割合	55.7%	29.7%	56.0%	31.1%	19.4%	12.8%	20.1%	1.1%	－
法律に関する専門的知識を使った仕事ができるところ	回答数	305	169	303	141	92	61	93	3	529
	割合	57.7%	31.9%	57.3%	26.7%	17.4%	11.5%	17.6%	0.6%	－
社会的弱者や困っている人を助けることができるところ	回答数	224	127	206	112	62	45	98	2	383
	割合	58.5%	33.2%	53.8%	29.2%	16.2%	11.7%	25.6%	0.5%	－
基本的人権の擁護や社会正義の実現に寄与できるところ	回答数	166	81	134	75	47	39	69	3	255
	割合	65.1%	31.8%	52.5%	29.4%	18.4%	15.3%	27.1%	1.2%	－
国際的な分野も含め、活躍できる分野が広がっているところ	回答数	84	27	82	112	79	17	21	0	150
	割合	56.0%	18.0%	54.7%	74.7%	52.7%	11.3%	14.0%	0.0%	－
社会的地位・信用が高いところ	回答数	223	119	230	115	78	46	79	1	373
	割合	59.8%	31.9%	61.7%	30.8%	20.9%	12.3%	21.2%	0.3%	－
高収入が期待できるところ	回答数	216	100	230	11	86	35	65	1	364
	割合	59.3%	27.5%	63.2%	31.6%	23.6%	9.6%	17.9%	0.3%	－
経済的に安定しているところ	回答数	194	104	201	103	68	35	61	2	334
	割合	58.1%	31.1%	60.2%	30.8%	20.4%	10.5%	18.3%	0.6%	－
働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスを実現できるところ	回答数	79	49	105	49	37	19	43	2	151
	割合	52.3%	32.5%	69.5%	32.5%	24.5%	12.6%	28.5%	1.3%	－
その他	回答数	1	0	2	1	1	1	1	0	3
	割合	33.3%	0.0%	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	－
特になし	回答数	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	割合	0.0%	0.0%	100%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	－

令和6年度 法学部に在籍されている皆様に対する志望アンケート

法 務 省
文部科学省

※ 法学部（法学系課程を含む。）に在籍されているあなたの法曹志望等についてお聞きします。所要10分程度で終了しますので、御協力をお願いします。

※ 結果については、個人が特定できないように集計した上で、法曹養成制度の充実のために活用させていただきます。

問1 年齢(令和6年9月末日現在)について、以下の選択肢から当てはまるものを1つ選んでお答えください。

- | | |
|---|--------|
| 1 | 18 歳以下 |
| 2 | 19 歳 |
| 3 | 20 歳 |
| 4 | 21 歳 |
| 5 | 22 歳 |
| 6 | 23 歳 |
| 7 | 24 歳 |
| 8 | 25 歳以上 |

問2 性別について、以下の選択肢から当てはまるものを1つ選んでお答えください。

- | | |
|---|-----------|
| 1 | 男性 |
| 2 | 女性 |
| 3 | その他、回答しない |

問3 在籍中の大学名、学部、学科と在籍学年を教えてください(学科について、設置されていない場合やまだ選択していない場合は回答不要です。)

大学名		学部	
学科		学年	(年次)

問4 大学進学の際、法学部(法学系課程を含む。)を選んだ理由は何ですか。

以下の選択肢から当てはまるものを全て選んでお答えください(複数回答可)。

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 法律学で興味のある授業・コース・学科等があったから2 法律学以外で興味のある授業・コース・学科(政治学等)等があったから3 法曹志望だから4 法曹コース(連携法曹基礎課程)ができたから5 就職に有利だと思ったから6 公務員試験に有利だと思ったから7 資格試験に有利だと思ったから8 法的な考え方や法律の知識を身につけることは、社会人になる上で有用だと思ったから9 法学部を選んだというよりは、この大学に行きたかったから10 法学部を選んだというよりは、難易度や入試の方式を優先して選んだ結果11 第一志望の学部合格しなかったから12 親や教師等の周りの人に勧められたから13 その他[具体的に |] |
|--|---|

問5 令和2年から、大学を早期卒業(3年で卒業)して法科大学院(2年コース)に進学し、法曹を目指す「法曹コース(連携法曹基礎課程)」の運用が始まっています。この「法曹コース(連携法曹基礎課程)」について知っていますか。

以下の選択肢から当てはまるものを1つ選んでお答えください。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 知っている2 聞いたことはあるが、詳細は知らない3 知らない |
|--|

問6 問5で「1 知っている」又は「2 聞いたことはあるが、詳細は知らない」を選択した方にお聞きます。

法曹コースについて、どこで知りましたか。

以下の選択肢から、当てはまるものを1つ選んでお答えください。

- | | |
|---|-----|
| <ol style="list-style-type: none">1 大学からの情報提供(講義や説明会、資料等)で知った2 高校や予備校等での進路指導を通じて知った2 新聞やインターネットサイトの記事等のメディアからの情報で知った3 周囲の人(家族や友人・知人等)から聞いた4 その他[具体的 | に] |
|---|-----|

問7 将来の職業についてお尋ねします。

(1) 現時点で第一志望として考えている職業は何ですか。

以下の選択肢から当てはまるものを1つ選んでお答えください。

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 国内企業2 外資系企業3 国家公務員4 地方公務員5 教員等教育関係者6 国際機関職員(NGOを含む)7 公益法人・特定非営利活動法人(NPO法人)職員8 法曹等(※)9 法曹以外の隣接法律専門職(司法書士、行政書士、弁理士、税理士など)10 経営者、自営・自由業11 研究者12 その他[具体的に13 わからない・現時点では決めていない |] |
|---|---|

※ 法曹（裁判官、検察官及び弁護士）だけでなく、司法試験合格後、法曹資格を取得せずに活動する場合があります。以下の質問、選択肢についても同じとします。（参考）法曹になるには

(2) 将来の職業を選択するに当たって重視することは何ですか。

法曹になるには、司法試験に合格する必要があります。

司法試験の受験資格を得るためには、法科大学院を修了するほか、経済的事情や実社会で十分な経験を経ているなどの理由により法科大学院を経由しない方のために設けられている司法試験予備試験（以下、「予備試験」という。）（※1）に合格する必要があります。また、改正司法試験法の施行により、令和5年の司法試験から、法科大学院在学中の方であっても一定の要件を満たした場合には司法試験の受験資格が付与されることとなりました。

司法試験合格後、1年間の司法修習（※2）を経て裁判官、検察官及び弁護士等として活躍されている方のほか、法曹資格を取得せずに社会で活躍されている方もいます。

（※1）

予備試験とは、法科大学院課程の修了者と同等の学識及びその応用能力並びに法律に関する実務の基礎的素養を有するかどうかを判定することを目的とした試験です。同試験の合格者については、法科大学院修了者等と同様、司法試験の受験資格を得ることができます。

（※2）

司法修習生に対する経済的支援については、平成29年11月に修習を開始した第71期司法修習生から、修習給付金を支給する制度が実施されています（希望者全員に対して修習専念資金（基本額月額10万円、扶養親族を有する場合は月額12.5万円）を無利息で貸与する制度も併存）。

〔修習給付金の額〕

・基本給付金（司法修習生に対して一律に支給）

月額13.5万円

・住居給付金（住宅を借り受け、家賃を支払っている場合に支給）

月額3.5万円

・移転給付金（修習に伴い住所・居所を移転する必要がある場合に支給）

移動距離に応じた額

以下の選択肢から当てはまるものを全て選んでお答えください（複数回答可）。

- 1 自分の興味・関心のある分野で活躍できること
- 2 身に付けたスキルや専門的知識を生かせること
- 3 仕事の内容が幅広いこと
- 4 社会への貢献度が高いこと
- 5 国際的な分野で活躍できること
- 6 社会的地位・信用が高いこと
- 7 高収入が期待できること
- 8 経済的に安定していること
- 9 希望する地域で働けること（転勤がないこと）
- 10 ワークライフバランス（仕事と生活の調和）を実現できること（結婚、出産や育児等のライフイベントに有利であることを含む）
- 11 その他〔具体的に

(3) 将来の職業として、法曹等を志望していますか。

以下の選択肢から当てはまるものを1つ選んでお答えください。

- 1 現在、志望している
- 2 現在、選択肢の1つとして考えている
- 3 志望していない（選択肢の1つとしても考えていない）

(4) 問7(3)で「1 現在、志望している」又は「2 現在、選択肢の1つとして考えている」と答えた方にお聞きします。

大学を早期卒業（3年で卒業）して法科大学院（2年コース）に進学し、法曹を目指す「法曹コース（連携法曹基礎課程）」が創設されたことや、法科大学院在学中に司法試験を受験することができるようになったことにより、時間的・経済的負担が軽減されたことは、将来の職業として法曹等を志望する上で考慮しましたか。

以下の選択肢から当てはまるものを1つ選んでお答えください

- 1 大いに考慮した
- 2 多少考慮した
- 3 全く考慮しなかった
- 4 わからない、各改正を知らない

問8 現在、法曹等の活躍の場は、国内の裁判分野にとどまらず様々な分野へと広がっています。例えば、国や地方自治体の公務員となる者や、企業の法務部門に就職する者、国際機関で活動する者など、その専門性を生かして多様な分野で活躍する法曹等が増えています。このような法曹等の活動領域の広がりについて知っていますか。

以下の選択肢から当てはまるものを1つ選んでお答えください。

- 1 知っている
- 2 聞いたことはあるが、詳細は知らない
- 3 知らない

《以下、法曹を志望又は選択肢の1つとして考えている学生への質問》

以下問 30 まで、問 7 (3)で「1 現在、志望している」又は「2 現在、選択肢の1つとして考えている」と答えた方にお聞きします。

問9 法曹等を志望した(将来の選択肢の1つとして考えるようになった)のはいつ頃ですか。

以下の選択肢から当てはまるものを1つ選んでお答えください。

- 1 中学生以前
- 2 高校生になってから
- 3 大学生になってから
- 4 その他〔具体的に

問 10 法曹等を志望した(将来の選択肢の1つとして考えるようになった)きっかけは何ですか。

以下の選択肢から当てはまるものを全て選んでお答えください(複数回答可)。

- 1 法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから
- 2 社会的弱者や困っている人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから
- 3 基本的人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから
- 4 国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから
- 5 テレビやドラマ、インターネット (Y o u T u b e 等)、書籍等を見て法曹等に憧れを持ったから
- 6 学校等で法曹等の講演を聞いたり出前授業を受けたりするなどして、興味や関心を持ったから
- 7 法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベントに参加し、興味関心を持ったから
- 8 親や教師等の周りの人に勧められたから
- 9 周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたり、その姿を見たりして、興味や関心を持ったから
- 10 周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している (いた) から
- 11 実際に法曹に会う機会があったから
- 12 その他〔具体的に
- 13 特になし

問 11 法曹等の仕事のどんなところに魅力を感じますか。

以下の選択肢から当てはまるものを全て選んでお答えください(複数回答可)。

- | | | |
|----|---|---|
| 1 | 仕事の内容に多くの選択肢があり、自由度が高いところ | |
| 2 | 法律に関する専門的知識を使った仕事ができるところ | |
| 3 | 社会的弱者や困っている人を助けることができるところ | |
| 4 | 基本的人権の擁護や社会正義の実現に寄与できるところ | |
| 5 | 国際的な分野も含め、活躍できる分野が広がっているところ | |
| 6 | 社会的地位・信用が高いところ | |
| 7 | 高収入が期待できるところ | |
| 8 | 経済的に安定しているところ | |
| 9 | 働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランス（仕事と生活の調和）を実現できるところ（結婚、出産や育児等のライフイベントに有利であることを含む） | |
| 10 | その他〔具体的に | 〕 |
| 11 | 特になし | |

問 12 法曹等として、どのような進路を考えていますか。

以下の選択肢から、当てはまるものを全て選んでお答えください(複数回答可)。

- | | | |
|---|-------------|---|
| 1 | 裁判官 | |
| 2 | 検察官 | |
| 3 | 弁護士 | |
| 4 | その他〔具体的に | 〕 |
| 5 | 現時点では決めていない | |

問 13 将来の進路を考える上で、法曹等として、国や地方自治体、企業、国際機関などで働くことに興味や関心はありますか。

以下の選択肢から、当てはまるものを1つ選んでお答えください。

- | | |
|---|---------------------|
| 1 | 興味・関心がある（→問 14 へ） |
| 2 | 少し興味・関心がある（→問 14 へ） |
| 3 | 興味・関心はない（→問 15 へ） |

問 14 問 13 で「1 興味・関心がある」又は「2 少し興味・関心がある」を選択した方にお聞きます。

具体的に、どのような分野で働くことに興味・関心がありますか。

以下の選択肢から、当てはまるものを全て選んでお答えください(複数回答可)。

- | |
|--|
| 1 中央省庁等、国の機関での勤務
2 地方自治体での勤務
3 企業の法務部門での勤務
4 国際機関での勤務
5 企業の海外展開支援等の海外分野
6 大学等での勤務(研究者等)
7 スクールロイヤーや児童相談所に勤務する弁護士など、地域の公的機関での勤務
8 その他の興味・関心のある分野 [具体的に] |
|--|

問 15 法曹等を志望するに当たって、現在、不安や迷いを感じていますか。

以下の選択肢から当てはまるものを1つ選んでお答えください。

- | |
|--|
| 1 不安や迷いを感じている (→問 16 へ)
2 少し不安や迷いを感じている (→問 16 へ)
3 不安や迷いを感じていない (→問 17 へ) |
|--|

問 16 問 15 で「1 不安や迷いを感じている」又は「2 少し不安や迷いを感じている」を選択した方にお聞きます。

(1) あなたが法曹等を志望するに当たって感じている不安や迷いは何ですか。

以下の選択肢から当てはまる番号を3つまで選び、不安や迷いの大きい順に1位から3位まで順位を付けてお答えください(1位のみ、2位まででも可)。

- | |
|--|
| 1 他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)にも魅力を感じている
2 民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せずに法曹等を目指すことに迷いがある
3 自分に法曹等としての適性があるか分からない
4 保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対している
5 司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がない
6 司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならない、負担が大きい
7 法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できるか不安である
8 大学卒業後法科大学院修了までに2～3年の期間を要し、時間的負担が大きい
9 大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きい
10 司法修習期間中の生計面に不安がある
11 司法試験に合格できても、就職できるか分からない
12 司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安がある
13 法曹には激務というイメージがあり、ワークライフバランスに不安がある
14 その他 [具体的に] |
|--|

1 位 2 位 3 位

(2) あなたが感じている不安や迷いを軽減、払拭するために、あったらよいと思うものは何ですか。

以下の選択肢から当てはまるものを全て選んでお答えください(複数回答可)。

- | |
|--|
| 1 法曹等としての具体的な業務内容や待遇などについて、現役の法曹等の話を聞く機会
2 法科大学院での学修や司法試験対策などについて、法科大学院の在学生や修了者の話を聞く機会
3 法科大学院における、より充実した学修面でのサポート |
|--|

- 4 法科大学院における、奨学金等のより充実した経済的支援
- 5 法科大学院における、進路指導や就職支援
- 6 司法試験に合格しなかった者の就職状況等に関する情報の提供
- 7 その他〔具体的に

]

問17 現在、法曹コース(連携法曹基礎課程)(※)に在籍していますか。また、これからコース選択の時期を迎える方は、法曹コースに進みたいと考えていますか。

以下の選択肢から当てはまるものを1つ選んでお答えください。

※ 大学によっては法曹コース定員を定めていなかったり、コース登録や選抜がなかったりしますが、法科大学院への進学に向けて体系的に編成されたプログラムを受講している方は「1 在籍している」を選択してください。

- 1 法曹コースに在籍している(→問18へ)
- 2 今後、法曹コースに進みたいと考えている(→問19へ)
- 3 法曹コースに在籍していたが、途中で辞めた(→問20へ)
- 4 法曹コースに在籍したことがなく、今後進むことも考えていない(→問21へ)
- 5 わからない・現時点では決めていない(→問22へ)

問18 問17で「1 法曹コースに在籍している」と回答した方にお聞きます。

(1) 法曹コースを希望した理由は何ですか。

以下の選択肢から当てはまるものを全て選んでお答えください(複数回答可)。

- 1 早期卒業が可能で、法科大学院修了までの期間が短縮されるから
- 2 早期卒業が可能で、経済的負担が軽減されるから
- 3 大学生の時点で、法曹等になることを視野に入れた教育が受けられるから
- 4 連携先の法科大学院に進学できる特別選抜制度があるから
- 5 同じ法曹等を目指す学生と切磋琢磨して勉強できる環境だから
- 6 法曹コースの学生に向けた特別な授業があるから
- 7 親や教師等の周りの人に勧められたから
- 8 その他〔具体的に

]

(2) 実際に法曹コースに在籍して良かったことは何ですか。

以下の選択肢から当てはまるものを全て選んでお答えください(複数回答可)。

- 1 早期卒業が可能で、法科大学院修了までの期間が短縮されること
- 2 早期卒業が可能で、経済的負担が軽減されていること
- 3 大学生の時点で、法曹等になることを視野に入れた教育が受けられること
- 4 連携先の法科大学院に進学できる特別選抜制度があること
- 5 同じ法曹等を目指す学生と切磋琢磨して勉強できる環境があること
- 6 法曹コースの学生に向けた特別な授業があること
- 7 その他〔具体的に

]

(3) 実際に法曹コースに在籍して良くなかったことは何ですか。

以下の選択肢から当てはまるものを全て選んでお答えください(複数回答可)。

- 1 カリキュラムの短縮化により、各科目の十分な勉強時間を確保できないこと
- 2 早期卒業以外のメリットが不明であること
- 3 勉強が忙しく、日々の生活に余裕がないこと
- 4 その他〔具体的に

]

(4) 法科大学院への進学について、現時点でどのように考えていますか。

以下の選択肢から当てはまるものを1つ選んでお答えください。

- 1 現在通学している大学の連携先の法科大学院に進学する
- 2 上記1以外の法科大学院に進む
- 3 進学するつもりはない
- 4 わからない・現時点では決めていない
- 5 その他〔具体的に

〕

問 19 問 17 で「2 今後、法曹コースに進みたいと考えている」と回答した方にお聞きます。

(1) 法曹コースを希望する理由は何ですか。

以下の選択肢から当てはまるものを全て選んでお答えください(複数回答可)。

- 1 早期卒業が可能で、法科大学院修了までの期間が短縮されるから
- 2 早期卒業が可能で、経済的負担が軽減されるから
- 3 大学生の時点で、法曹等になることを視野に入れた教育が受けられるから
- 4 連携先の法科大学院に進学できる特別選抜制度があるから
- 5 同じ法曹等を目指す学生と切磋琢磨して勉強できる環境だから
- 6 法曹コースの学生に向けた特別な授業(法科大学院での科目等履修を除く。)があるから
- 7 親や教師等の周りの人に勧められたから
- 8 その他〔具体的に

〕

(2) 法科大学院への進学について、現時点でどのように考えていますか。

以下の選択肢から当てはまるものを1つ選んでお答えください。

- 1 現在通学している大学の連携先の法科大学院に進学する
- 2 上記1以外の法科大学院に進む
- 3 進学するつもりはない
- 4 わからない・現時点では決めていない

問 20 問 17 で「3 法曹コースに在籍していたが、途中で辞めた」と回答した方にお聞きます。

(1) 法曹コースを途中で辞めた理由は何ですか。

以下の選択肢から当てはまるものを全て選んでお答えください(複数回答可)。

- 1 法曹コースの進級要件を満たすことができなかったから
- 2 法曹コースの学修についていくことが困難なため、自主的に辞めることとしたから
- 3 他の分野の学修やサークル活動なども含め、4年間の大学生活を充実させたから
- 4 予備試験の合格を目指している、又は予備試験に合格したから
- 6 その他〔具体的に

〕

(2) 法科大学院への進学について、現時点でどのように考えていますか。

以下の選択肢から当てはまるものを1つ選んでお答えください。

- 1 進学するつもりである
- 2 進学するつもりはない
- 3 わからない・現時点では決めていない

問 21 問 17 で「4 法曹コースに在籍したことがなく、今後進むことも考えていない」と回答した方にお聞きます。

(1) 法曹コースを希望しない理由は何ですか。

以下の選択肢から当てはまるものを全て選んでお答えください(複数回答可)。

- 1 現時点で将来の職業志望が固まっていないから
- 2 学修についていけるか不安だから
- 3 在籍・希望していたが、選抜に漏れたから
- 4 法曹コースを知らなかったから
- 5 3年生での早期卒業に魅力やメリットを感じなかったから

- 6 他の分野の学修やサークル活動なども含め、4年間の大学生活を充実させた
いから
- 7 予備試験の合格を目指している、又は予備試験に合格したから
- 8 その他〔具体的に

]

(2) 法科大学院への進学について、現時点でどのように考えていますか。

以下の選択肢から当てはまるものを1つ選んでお答えください。

- 1 進学するつもりである
- 2 進学するつもりはない
- 3 わからない・現時点では決めていない

問 22 問 17 で「5 わからない・現時点では決めていない」と回答した方にお聞きします。

法科大学院への進学について、現時点でどのように考えていますか。

以下の選択肢から当てはまるものを1つ選んでお答えください。

- 1 進学するつもりである
- 2 進学するつもりはない
- 3 わからない・現時点では決めていない

問 23 問 18(4)で「1 現在通学している大学の連携先の法科大学院に進学する」若しくは「2 上記1以外の法科大学院に進む」と回答した方、問 19(2)で「1 現在通学している大学の連携先の法科大学院に進学する」若しくは「2 上記1以外の法科大学院に進む」と回答した方、問 20(2)で「1 進学するつもりである」と回答した方、問 21(2)で「1 進学するつもりである」又は問 22 で「1 進学するつもりである」と回答した方にお聞きします。

あなたが進学する法科大学院を選択する時に重視することは何ですか。

以下の選択肢から当てはまるものを3つまで選び、重視する順に1位から3位まで順位をつけてお答えください(1位のみ、2位まででも可)。

- 1 大学としての知名度が高いこと
- 2 法科大学院修了生の司法試験合格率が高いこと
- 3 法科大学院修了生の司法試験合格者が多いこと
- 4 法科大学院における学修環境や大学の設備が充実していること
- 5 奨学金などの経済的支援制度が充実していること
- 6 著名な研究者教員が在籍していること
- 7 実務家教員による実務教育科目や専門的な法律科目が充実していること
- 8 現在の住居や実家等から地理的に近いこと
- 9 現在在籍している大学と連携している法科大学院であること
- 10 就職したい地域に立地している法科大学院であること
- 11 大学の友人・先輩等が多く在籍していること
- 12 入学試験の難易度
- 13 その他〔具体的に

]

1 位 2 位 3 位

問 24 現時点で、法科大学院在学中に司法試験を受験(以下「在学中受験」といいます。)することを考えていますか。

※在学中受験資格は、法科大学院の課程に在学中であっても一定の要件を満たす者に付与される受験資格です。法科大学院2年次(未修者コース2年目、既修者コース1年目)までに所定科目単位を修得し、3年次に司法試験を受験することが想定されています。

以下の選択肢から当てはまるものを1つ選んでお答えください。

- 1 受験することを考えている(→問 25 へ)
- 2 受験することは考えていない(→問 26 へ)
- 3 わからない・現時点では決めていない(→問 27 へ)

問 25 問 24 で「1 受験することを考えている」と回答した方にお聞きします。

在学中受験を希望する理由は何ですか。

以下の選択肢から当てはまるものを全て選んでお答えください(複数回答可)。

- 1 法曹になるまでの期間を短縮したいから
- 2 法曹になるまでの経済的負担を軽減したいから
- 3 少しでも早く法曹資格を取得し、実務に就きたいから
- 4 少しでも早く合格した方が就職に有利だと思うから
- 5 在学中の方が効率よく受験勉強できると思うから
- 6 仮に合格できなくても、司法試験に合格するための力を付けるのに役立つと思うから
- 7 法科大学院3年後期は、興味のある専門分野等の学修に力を入れたいから
- 8 周りの友人や先輩等が在学中受験資格により司法試験を受験した、又は予定しているから
- 9 その他〔具体的に 〕

問 26 問 24 で「2 受験することは考えていない」と回答した方にお聞きます。

在学中受験を希望しない理由は何ですか。

以下の選択肢から当てはまるものを全て選んでお答えください（複数回答可）。

- 1 在学中に司法試験に合格する自信がないから
- 2 在学中受験に必要な所定科目単位を修得することが困難／在学中受験に必要な学長認定を受けられる自信がないから
- 3 在学中に受験科目以外の科目についても、時間をかけて学修したいから
- 4 予備試験合格資格による司法試験受験を希望しているから
- 5 その他〔具体的に 〕

問 27 予備試験について、現時点で、大学在学中に予備試験を受験することを予定していますか。

以下の選択肢から当てはまるものを1つ選んでお答えください。

- 1 受験するつもりである（受験したことがある）（→問 28 へ）
- 2 受験するつもりはない（→問 29 へ）
- 3 わからない・現時点では決めていない

問 28 問 27 で「1 受験するつもりである（受験したことがある）」と回答した方にお聞きます。

(1) 大学在学中に予備試験を受験した、又は受験しようとする理由は何ですか。

以下の選択肢から当てはまるものを3つまで選び、要因の強い順に1位から3位まで順位を付けて番号でお答えください（1位のみ、2位まででも可）。

- 1 経済的余裕がなく法科大学院に進学できないから
- 2 経済的に法科大学院に進学することは不可能ではないが、経済的負担を少しでも軽減したいから
- 3 少しでも早く法曹資格を取得し、実務に就きたいから
- 4 法曹等になるためには、必ずしも法科大学院で学ぶ必要はないと考えているから
- 5 司法試験に合格するためには、法科大学院で学ぶよりも、予備試験対策を行う方が効率的であると考えているから
- 6 法科大学院で学んだとしても、司法試験に合格できるか不安があるから
- 7 自分に適性があるか見極めたり、実力を試したり、法律の知識を身に付けるのに役立つと考えているから
- 8 予備試験に合格しておいた方が就職等の面で有利であると考えているから
- 9 仮に合格できなくても、より良い法科大学院に進学するための力を付けるのに役立つと考えているから
- 10 周りの友人や先輩等が予備試験を受験している（いた）から
- 11 その他〔具体的に 〕

1 位 2 位 3 位

(2) 大学在学中に予備試験に合格した場合、法科大学院に進学する予定はありますか。

以下の選択肢から当てはまるものを1つ選んでお答えください。

- 1 進学するつもりである

- 2 どちらかというに進学する可能性が高い
- 3 どちらかというに進学する可能性は低い
- 4 進学しないつもりである
- 5 わからない・現時点では決めていない

(3) 大学を卒業できる年次(3年次又は4年次)までに予備試験に合格しなかった場合、どのような進路を考えていますか。

以下の選択肢から当てはまるものを1つ選んでお答えください。

- 1 学部を卒業して、すぐに法科大学院に進学する
- 2 すぐに法科大学院には進学せず、学部を卒業するか、留年又は早期卒業を取りやめて学部に残り、予備試験を受験し、その結果を踏まえてその後の進路を検討する
- 3 法科大学院には進学せず、予備試験に合格するまで受験を継続する
- 4 法曹等への道を諦め、進路変更(国家公務員、民間企業等)する
- 5 わからない・現時点では決めていない

問 29 問 27 で「2 受験するつもりはない」と回答した方にお聞きします。

大学在学中に予備試験を受験しない理由は何ですか。

以下の選択肢から当てはまるものを全て選んでお答えください(複数回答可)。

- 1 予備試験に合格できる自信がないから
- 2 法科大学院を修了して学位(法務博士)を得たいから
- 3 法科大学院に進学して法曹になることを希望しているから
- 4 法曹コースや在学中受験の制度が導入され、法曹になるまでの期間が短縮されたから
- 5 法曹コースや在学中受験の制度が導入され、法曹になるまでの経済的負担が軽減されたから
- 6 その他[具体的に]

問 30 学部在学中に司法試験予備校を利用したことがありますか。

以下の選択肢から当てはまるものを全て選んでお答えください(複数回答可)。

- 1 現在、司法試験予備校が開講する講義・講座を利用している
- 2 過去に、司法試験予備校が開講する講義・講座を利用したことがある
- 3 司法試験予備校が実施する模試を利用したことがある
- 4 利用したことはない

《以下、法曹を志望していない(選択肢の1つとしても考えていない)学生への質問》

以下、問7(3)で「3 志望していない(選択肢の1つとしても考えていない)」と答えた方にお聞きします。

問31 これまでに法曹等を志望したことはありますか。

当てはまるものを選んでお答えください。

- | |
|--|
| 1 以前、志望していた、又は、選択肢の1つとして考えたことがあった
(→問32へ) |
| 2 志望したことはない (→問33へ) |

問32 問31で「1 以前、志望していた、又は、選択肢の1つとして考えたことがあった」を選択した方にお聞きします。

(1) 法曹等を志望した(将来の選択肢の1つとして考えるようになった)のはいつ頃ですか。

以下の選択肢から当てはまるものを1つを選んでお答えください。

- | |
|-------------|
| 1 中学生以前 |
| 2 高校生になってから |
| 3 大学生になってから |
| 4 その他〔具体的に |

]

(2) 法曹等を志望した(将来の選択肢の1つとして考えるようになった)きっかけは何ですか。

以下の選択肢から当てはまるものを全てを選んでお答えください(複数回答可)。

- | |
|--|
| 1 法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから |
| 2 社会的弱者や困っている人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから |
| 3 基本的人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから |
| 4 国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから |
| 5 テレビやドラマ、インターネット(Youtube等)、書籍等を見て法曹等に憧れを持ったから |
| 6 学校等で法曹等の講演を聞いたり出前授業を受けたりするなどして、興味や関心を持ったから |
| 7 法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベントに参加し、興味関心を持ったから |
| 8 親や教師等の周りの人に勧められたから |
| 9 周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたり、その姿を見たりして、興味や関心を持ったから |
| 10 周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から |
| 11 実際に法曹に会う機会があったから |
| 12 その他〔具体的に |
| 13 特になし |

]

(3) 法曹等の仕事のどんなところに魅力を感じていましたか。

以下の選択肢から当てはまるものを全て選んでお答えください(複数回答可)。

- | |
|---|
| 1 仕事の内容に多くの選択肢があり、自由度が高いところ |
| 2 法律に関する専門的知識を使った仕事ができるところ |
| 3 社会的弱者や困っている人を助けることができるところ |
| 4 基本的人権の擁護や社会正義の実現に寄与できるところ |
| 5 国際的な分野も含め、活躍できる分野が広がっているところ |
| 6 社会的地位・信用が高いところ |
| 7 高収入が期待できるところ |
| 8 経済的に安定しているところ |
| 9 働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランス（仕事と生活の調和）を実現できるところ（結婚、出産や育児等のライフイベントに有利であることを含む） |
| 10 その他〔具体的に |
| 11 特になし |

(4) 大学を早期卒業(3年で卒業)して法科大学院(2年コース)に進学し、法曹を目指す「法曹コース(連携法曹基礎課程)」が創設されたことや、法科大学院在学中に司法試験を受験することができるようになったことにより、時間的・経済的負担が軽減されたことは、将来の職業として法曹等を志望した際に考慮しましたか。

以下の選択肢から当てはまるものを1つ選んでお答えください

- | |
|-------------------|
| 1 大いに考慮した |
| 2 多少考慮した |
| 3 全く考慮しなかった |
| 4 わからない、各改正を知らない。 |

(5) 法曹コース(連携法曹基礎課程)(※)に在籍している、または在籍していたことはありますか。

※ 大学によっては法曹コース定員を定めていなかったり、コース登録や選抜がなかったりしますが、法科大学院への進学に向けて体系的に編成されたプログラムを受講していた方は「在籍している（または在籍していた）」ものとして、2～4の選択肢から選択してください。

- | |
|--------------------------|
| 1 法曹コースに在籍したことはない |
| 2 法曹コースに在籍していたが、途中で辞めた |
| 3 現在在籍しているが、辞める予定である |
| 4 現在在籍しており、法曹コースを修了予定である |

(6) 問 32(5)で「2 法曹コースに在籍していたが、途中で辞めた」又は「3 現在在籍しているが、辞める予定である」と回答した方にお聞きます。

法曹コースを途中で辞めた(辞める)理由は何ですか。

以下の選択肢から当てはまるものを全て選んでお答えください(複数回答可)。

- | |
|---|
| 1 法曹志望でなくなったから |
| 2 法曹コースの進級要件を満たすことができなかったから |
| 3 法曹コースの学修についていくことが困難なため、自主的に辞めることとしたから |
| 4 他の分野の学修やサークル活動なども含め、4年間の大学生活を充実させたいから |
| 5 その他〔具体的に |

(7) あなたが法曹志望を断念した(選択肢から外した)理由は何ですか。

以下の選択肢から当てはまるものを3つまで選び、要因の強い順に1位から3位まで順位を付けてお答えください(1位のみ、2位まででも可)。

- | |
|--------------------------------------|
| 1 他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)に魅力を感じたから |
|--------------------------------------|

- 2 法曹等の仕事に魅力を感じなくなったから
- 3 民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せずに法曹等を目指すことに迷いがあったから
- 4 自分に法曹等としての適性があるとは思えなかったから
- 5 保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対したから
- 6 司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がなくなったから
- 7 司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならず、負担が大きいから
- 8 法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できないと思ったから
- 9 大学卒業後法科大学院修了までに2～3年の期間を要し、時間的負担が大きいから
- 10 大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きいから
- 11 大学在学中に司法試験予備試験に合格できなかったから
- 12 司法修習期間中の生計面に不安があるから
- 13 司法試験に合格できても、就職できるか分からないから
- 14 司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安を感じたから
- 15 その他〔具体的に

〕

1 位 2 位 3 位

問 33 問 31 で「2 志望したことはない」と答えた方にお聞きます。

あなたが法曹等を志望しない(選択肢の1つとしても考えない)理由は何ですか。

以下の選択肢から当てはまるものを3つまで選び、要因の強い順に1位から3位まで順位を付けてお答えください(1位のみ、2位まででも可)。

- 1 他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)に魅力を感じているから
- 2 法曹等の仕事に魅力を感じないから
- 3 民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せずに法曹等を目指す必要を感じないから
- 4 自分に法曹等としての適性があるとは思えないから
- 5 保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対しているから
- 6 司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がないから
- 7 司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならず、負担が大きいから
- 8 法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できないと思うから
- 9 大学卒業後法科大学院修了までに2～3年の期間を要し、時間的負担が大きいから
- 10 大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きいから
- 11 司法修習期間中の生計面に不安があるから
- 12 司法試験に合格できても、就職できるか分からないから
- 13 司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安を感じているから
- 14 その他〔具体的に

〕

1 位 2 位 3 位

問 34 問 32(7)で「2 法曹等の仕事に魅力を感じなくなったから」又は問 33 で「2 法曹等の仕事に魅力を感じないから」を選択した方にお聞きます。

あなたが法曹等の仕事に魅力を感じない理由は何ですか。

以下の選択肢から当てはまるものを全て選んでお答えください(複数回答可)。

- 1 訴訟対応が仕事の中心で活躍の場が限られている仕事だと思うから
- 2 社会に大きく貢献することができる仕事と思えないから
- 3 国際的な活躍をすることが難しい仕事だと思うから
- 4 社会的地位・信用が低下していると思うから
- 5 高収入が期待できないと思うから
- 6 経済的に安定していないと思うから

- | | |
|----|--|
| 7 | ワークライフバランス（仕事と生活の調和）の実現（結婚、出産や育児等のライフイベントに有利であることを含む）が困難であると思うから |
| 8 | 体力的・精神的に負担が大きい仕事だと思うから |
| 9 | やりがいのある仕事だと思えないから |
| 10 | その他〔具体的に |

]